

保存用

大学研究ノート

アメリカ合衆国の主要大学に関する基本資料……関 正夫・川上昭吾

通 卷 5 号

1972年 8 月

広島大学大学教育研究センター

アメリカ合衆国の主要大学に関する基本資料

Basic data on main universities and colleges in the United States of America

関 正 夫 ・ 川 上 昭 吾

まえがき

本資料の作成は、広島大学大学教育研究センターの課題研究「理科系学部のカリキュラムに関する調査研究」および「大学院・研究体制に関する調査研究」の基礎的作業の一環としてなされたものである。

また、本資料の一部は、既に本年4月に出発した広島大学海外大学調査団に参考資料として提供し、利用していただいた。

本稿の基本文献は、アメリカ教育協議会 (American Council on Education) が4年ごとに発行しているアメリカ大学一覧 (American Universities and Colleges, 10th Ed. 1968) と、A. M. カーター、「大学院教育の質の評価 (An Assessment of Quality in Graduate Education)」(1966, American Council on Education) である。

本資料では、主要大学として127校を選んだ。この127校のうち106校は上記基本文献(カーター報告)で対象とされた大学である。残りの21校は1966-67年において25名以上の博士号取得者を輩出した大学である。この他に、アメリカには、博士課程を有する大学がこれとほぼ同数あるが、それらは博士課程の規模が小さいために今回の調査からは除外されている。

本稿、第1章においては、第2章以下の理解を深めるために、アメリカ合衆国における高等教育の概略を述べることにした。

第2章で各大学別基本資料(付録 別表I-XII)の各事項の説明をおこない、これを参照すれば、別表の内容を一応理解できるように配慮した。

また第3章においては、第2章および別表I-XIIに示された各大学別基本資料の分析・考察を試みた。

各大学別基本資料を分析・考察する上で、若干の文献から高等教育機関の各種資料を引用したが、その際、わが国のそれに関連した資料との二、三の比較も試みてみた。

第4章には、基本文献(カーター報告)の概要を紹介した。これは論文の表題の示すとおり、アメリカの大学院の質を学者達のアンケートの回答を通して評価したものである。アンケートの結果は付録の別表XIIに掲載した。

基本文献として用いたアメリカ大学一覧は主として1966-67年のデータであるし、カーター報告は1964年のアンケート結果の報告である。最近聞くところによれば、ベトナム戦争によるアメリカ国内の経済不況が大学に対しても少なからざる影響を与え、ph. D. 取得者の大量失業とか、例えばハーバードの大学院の $\frac{1}{4}$ 縮小、ウィスコンシン大学の教育助手に対する補助金計画の約 $\frac{1}{2}$ 縮小など深刻な事態が起っているという。したがってこの基本資料が1970年代のアメリカの大学を知る上で、その有効性に疑問がないではない。また、この基本資料は統計的処理により、個々の現象の起伏を平滑化したものになっている傾向があろう。したがって、この資料は、アメリカ大学の種々の制度のメリットやデメリットの検討をするには十分なものでないことはいうまでもない。

しかし、この基本資料は単に1960年代後半のアメリカの主要大学の記録としてではなく、現在の、できうれば今後のアメリカの大学の動向を見る上で一つの手掛りを与えるものであることを期待して公表することにした。

本稿を作成するに当たって、本研究センター主任横尾壮英助教授に数々の助言を頂いた。また、研究センターの喜多村和之助教授をはじめスタッフの方々には各種資料の提供をして頂いた。本学教育学部名和弘彦教授には大学財政問題に関して、同吉岡一郎助教授には入学者選抜問題に関して助言して頂いた。ここに改めて謝意を表する。

目 次

| | |
|---|----|
| まえがき | 1 |
| 第1章 アメリカ合衆国における高等教育の概説 | 6 |
| § 1 高等教育の略史 | 6 |
| § 2 高等教育の構造 | 10 |
| 2.1 高等教育機関の構成 | 10 |
| 2.2 高等教育機関の管理・運営 | 12 |
| 2.3 高等教育機関の財源 | 13 |
| § 3 連邦政府と高等教育の関係 | 15 |
| 3.1 歴史的発展と最近の発展 | 15 |
| 3.2 連邦援助の規模 | 16 |
| 3.3 連邦援助の問題点 | 17 |
| 参考文献 | 19 |
| 第2章 アメリカ合衆国における主要大学に関する大学別基本資料の説明 | 20 |
| § 1 基本資料の全般的説明 | 20 |
| § 2 大学の概要(1), (2) (別表 I, II) の説明 | 20 |
| § 3 学生・教員の構成 (別表 III, IV) の説明 | 22 |
| § 4 新入生の特徴, 学部学生の変動, 学位取得者数, 所蔵図書数 (別表 V, VI) の説明 | 22 |
| § 5 博士号取得者数の推移等 (別表 VII, VIII) の説明 | 24 |
| § 6 授業料, 奨学金等 (別表 IX, X) の説明 | 25 |
| § 7 大学財政 (別表 XI, XII) の説明 | 26 |
| 参考文献 | 27 |
| 第3章 大学別基本資料に関する分析・考察 | 29 |
| § 1 調査対象大学の分類・分布 | 29 |
| 1.1 州別分布 | 29 |
| 1.2 類型・設置者による分類 | 29 |
| 1.3 設置年代別分布 | 30 |
| 1.4 学年暦による分類 | 31 |
| § 2 学生集団の構成・構造ならびにそれと大学の関係 | 31 |
| 2.1 自州の大学に在籍する学生の割合 | 31 |
| 2.2 パート・タイム学生 | 32 |
| 2.3 共学制でない大学 | 32 |
| 2.4 学生数の多い大学 | 33 |
| 2.5 教員当学部学生相当数 | 34 |
| 2.6 大学院進学率の高い大学 | 36 |

| | | |
|---------------------|-------------------------|----|
| 2.7 | 新入生の成績 | 37 |
| 2.8 | 入学率・転入学生の割合 | 37 |
| 2.9 | 博士号取得者の多い大学 | 38 |
| 2.10 | 大学院学生, ポスト・ドクトラル | 40 |
| § 3 | 教員集団の構成・構造 | 42 |
| § 4 | 学生の経済的側面と大学財政 | 46 |
| 4.1 | 学生の家庭の経済的状況 | 46 |
| 4.2 | 学生の年間経費 — 授業料を中心として — | 47 |
| 4.3 | 学生に対する経済援助 | 51 |
| 4.4 | 学生援助の問題点 | 55 |
| 4.5 | 教育・一般費 | 59 |
| 4.6 | 大学財政の問題点 — 連邦援助を中心として — | 60 |
| | 参考文献および注 | 61 |
| 第4章 アメリカの大学院教育の質の評価 | | 65 |
| § 1 | 調査の目的, 方法 | 65 |
| § 2 | 集計結果 | 66 |
| § 3 | 大学の質の諸形式 | 67 |
| 3.1 | 総合評価 | 67 |
| 3.2 | 連邦のフェロシップをもらう学生の集中化 | 68 |
| 3.3 | 地理的分布 | 68 |
| 3.4 | 所要経費との関係 | 69 |
| 3.5 | 図書館の蔵書数との関係 | 69 |
| 3.6 | 各種名誉賞受賞者数との関係 | 71 |
| § 4 | 本章のむすび — 大学院の拡張 — | 71 |

表 および 図 の 目 次

第 1 章

| | | |
|-------|---|----|
| 第 1 表 | アメリカ合衆国高等教育年表 | 6 |
| 第 2 表 | 合衆国高等教育機関の教員数, 学生数, 学位授与者数, 財政の歴史的要約 (1869~1966年) | 9 |
| 第 3 表 | 大学類型別在籍学生数 (1967年秋) | 10 |
| 第 4 表 | 教育課程レベル別に見た設置者別高等教育機関数 (1966~67年) | 11 |
| 第 5 表 | 上位12大学によって授与された博士号の数 (1955~64年) | 11 |
| 第 6 表 | 専門分野別博士号取得者数 | 12 |
| 第 7 表 | 高等教育機関の財源別經常費収入 | 13 |
| 第 8 表 | 高等教育機関における民間からの寄付金・補助金収入 (1949~64年) | 14 |
| 第 9 表 | 2億ドル以上の資産を有する民間財団の資産額 (1966年) | 14 |
| 第10表 | 上位20大学の基本財産の市場価格 (1966年) | 15 |
| 第11表 | 連邦補助金交付額から見た上位10大学と交付実額 (1966年) | 16 |
| 第12表 | 高等教育機関の研究費に対する交付機関別連邦補助金の実額と比率 (1967年) | 17 |

第 3 章

| | | |
|------------------|---|----|
| 第13表 | 州別調査対象大学数 | 29 |
| 第14表 | 博士課程をもつ大学の類型による分類 (1967年) | 29 |
| 第15表 | 博士課程をもつ大学の設置者別分類 | 30 |
| 第16表 | 126大学の設置年代別分布 | 30 |
| 第17表 | 125大学の学年暦による分類 | 31 |
| 第18表 | 専門分野別, フル・タイム, パート・タイム別大学院学生数 (1969年) | 32 |
| 第19表 | 類型別, 設置者別, 在籍学生数別高等教育機関数 (1969年秋) | 33 |
| 第20表 | 在籍全学生数3万人以上の大学と在籍大学院学生数9千人以上の大学の学生数 (1966年秋) | 34 |
| 第21表 | 学部学生より大学院学生の多い大学とその比率 (1966年秋) | 34 |
| 第 1 図 | 学部学生相当数に対する教員当学部学生相当数 | 35 |
| 第22表 | 大学院進学率 (予想) が75%以上の大学 (1966年秋) | 36 |
| 第23表 | 「成績の良い」新入生の占める割合の高い大学と新入生の成績 (1966年~67年) | 37 |
| 第24表 | 3・4年生中, 転入学生の占める割合が30%以上の大学 (1966年秋) | 38 |
| 第25表 | 1967年における博士取得者数に対する大学数の分布 | 38 |
| 第26表 | 専門分野別博士号取得者数の上位20大学 (1957~66年, 10年間) | 39 |
| 第27表 | アメリカの大学院学生の特徴 (1965年春) | 41 |
| 第28表 | 専門分野別, 1968年大学院常勤教員数・ポスト・ドクトラル数, 1968~69年 ph. D. 授与者数 および相対比 | 42 |
| 第29表 | 専門分野別博士課程フル・タイム学生数, ポスト・ドクトラル数, 常勤教員数およびそれらの比 率 (1969年) | 42 |
| 第30表 | 高等教育機関の教員, その他専門職のポスト数 (1959~70年) | 43 |
| 第31-(1)~第31-(3)表 | 大学類型別, 性別大学教員の経歴と教育研究活動 (1969年春) | 43 |
| 第32表 | 大学院学生の家庭状況 (1965年春) | 46 |

| | | |
|------|---|----|
| 第33表 | 家庭収入段階別学生の分布状況 — 大学昼間部 — (1969・12～1970・12) …………… | 47 |
| 第34表 | 高等教育機関の授業料・寄宿舎費・食費(1966—67年, 1971—72年) …………… | 48 |
| 第35表 | 居住形態別収入平均額および学生生活費内訳—大学昼間部—(1970年度) …………… | 49 |
| 第36表 | 高等教育機関の公・私立別, 項目別経常費収入と支出(1967—68年) …………… | 49 |
| 第37表 | 経常費全収入に対する各項目収入の比率 (Aグループ大学, 1966—67年) …………… | 50 |
| 第38表 | 広島大学の教育課程別日本育英会奨学生数および受給率(1970・9・30) …………… | 52 |
| 第39表 | 専門分野別, 主援助種別博士課程フル・タイム学生数の比率(1969年) …………… | 52 |
| 第40表 | 高等教育機関における全学生援助(1966—67年度) …………… | 53 |
| 第41表 | 援助者別, 主援助種別博士課程フル・タイム学生数の比率(1969年) …………… | 54 |
| 第42表 | 援助者別, 専門分野別博士課程フル・タイム学生数の比率(1969年) …………… | 54 |
| 第43表 | 専門分野別, 連邦機関別, 援助を受けている博士課程フル・タイム学生数の比率(1969年) …………… | 58 |

第 4 章

| | | |
|------|--------------------------------------|----|
| 第44表 | 学科別質の評価, 質問A …………… | 66 |
| 第45表 | 学科別魅力度, 質問B …………… | 67 |
| 第46表 | 分野別質の評価の総合順位 …………… | 68 |
| 第47表 | 「優秀」または「強力」と評価された学科の分野別, 地方別分類 …………… | 68 |
| 第48表 | 大学院の質と教授の給与との関係 …………… | 69 |
| 第49表 | 106大学の図書館の充実度(1963—64年) …………… | 69 |
| 第50表 | グループ別, 年度別博士取得者数比率分布 …………… | 71 |

付 録

| | | |
|---------|---|-----|
| 別表 I | 大学の概要(1): 大学所在州, 類型, 創立年次, 博士号取得者数, 学生数(1966年秋) …… | 72 |
| 別表 II | 大学の概要(2): 教員数, 教育・一般費収入, 経常費全収入, 資産(1966—67年) …… | 76 |
| 別表 III | フル・タイム, パート・タイム, 性別, 学部学生数および大学院学生数(1966年秋) …… | 78 |
| 別表 IV | 勤務条件別, 性別, 取得学位別教員数, 教員当学部学生相当数, 学部学生相当数当教育・一般費ならびに学生援助費(1966—67年) …… | 82 |
| 別表 V | 新入生の入学前の成績, 新入生中全米特別奨学生数(1966—67年) …… | 86 |
| 別表 VI | 入学率, 大学所在州出身者の占める割合, 転入率, 大学院進学率, 学位取得者数, 所蔵図書数(1966—67年) …… | 90 |
| 別表 VII | 年度別博士号取得者数(創立—1967年) …… | 94 |
| 別表 VIII | 専門分野別博士号取得者数(1957—66年, 10年間) …… | 98 |
| 別表 IX | 学部学生に関する年間授業料, 奨学金等援助受給者数と平均受給額(1966—67年) …… | 100 |
| 別表 X | 大学院学生に関するフェロシップ, 教育・研究助手等援助受給者数とその平均受給額(1966—67年) …… | 104 |
| 別表 XI | 項目別教育・一般費(1966—67年) …… | 108 |
| 別表 XII | 項目別経常費収入, 施設拡充費, 各項目収入の経常費全収入に対する比率(1966—67年) …… | 112 |
| 別表 XIII | 大学院の質の評価に関するアンケートの分析結果 …… | 116 |
| 別表 XIV | 本調査の対象大学名 …… | 120 |

第1章 アメリカ合衆国における高等教育の概説

アメリカにおける主要大学の基本資料を整理し、一応の分析・考察を加えようとするとき、少くともアメリカにおける高等教育の概観を把握しておくことが必要である。

したがって、本章は、高等教育の略史 (§ 1)、高等教育の構造 (§ 2)、連邦政府と高等教育の関係 (§ 3) という3つの観点から合衆国の高等教育を概説することを試みた。

高等教育の現在の構造—大学の類型と学生数、各専門分野別学位取得数、管理・運営、財政に関する知見は、高等教育史的観点を抜きにしては理解することは不可能であろう。

また高等教育史の中で明確にされるであろう高等教育に対する連邦政府の役割は、「大学と国家」の関係として、そのみをさらにやや詳しく論じることは、それなりの意味があると思われる。以上の理由から本章では、前記の3つの柱を立てて論じることにした。

なお、本章を書くに当って、参照した基本文献はアメリカ教育協議会 (American Council on Education) 発行の「アメリカ大学一覧 (American Universities and Colleges) 10版, 1968年」の第I部 (合衆国の高等教育)¹⁾である。

§ 1は、その他若干の文献²⁻⁶⁾を参照して、高等教育の略史をまとめた。

§ 2と§ 3には、上記文献¹⁾の概要を紹介することにした。したがって§ 2、§ 3の中での表はすべて、上記文献から引用したものである。

§ 1 高等教育の略史

合衆国における高等教育の発展の過程を時期的に四つに分けることができる。すなわち1636—1776年はカレッジの創立期で植民地カレッジが創設された。1776—1862年は試行と多様化の時代で、別々に組織化されたプロフェッショナル・スクールが開校された。1862—1900年はユニバーシティの発生期であり、今日の主要なユニバーシティの多くはこの時期に出現している。1900年より現在までは、高等教育の拡大の時代である。大学教育に対する要請は増加し、多くの短期大学が設置され、すでに設置されている高等教育機関は重大な修正と拡張を行ってきた。

以下に、高等教育の発展の過程を年表として示すことにする。

第1表 アメリカ合衆国高等教育史年表

| | |
|-------|--|
| 1636年 | アメリカ最初の高等教育機関、ハーバード・カレッジがマサチューセッツ州に創設された。 <ul style="list-style-type: none"> •ハーバード・カレッジを含めて英国のカレッジをモデルにした9つの植民地カレッジが各派のキリスト教会によって設置された。現在のエール、プリンストン、コロンビア、ペンシルバニア、ブラウン、ラトガース大学などがその例である。 |
| 1776年 | アメリカの独立宣言 |
| 1785年 | アメリカ最初の州立大学がジョージア州に設置された。 <ul style="list-style-type: none"> •ジョージア大学 (1785)、ノース・カロライナ大学 (1789)、バーモント大学 (1791) など南北戦争前までに21大学が設立された。 |
| 1787年 | 「北西条令 (Northwest Ordinance)」が制定された。 <ul style="list-style-type: none"> •教育機関設立のための土地賦与が認可された。 |
| 1836年 | アメリカ最初の女子大学ジョージア・フィメール・カレッジがジョージア州に設置された。 <ul style="list-style-type: none"> •1825—1875年は女子教育振興の声の最も高い時期であり、1885年までに、さらに9女子大学 |

がマサチューセッツ州（3校），ニューヨーク州（3校），イリノイ，ペンシルバニア，カリフォルニア各州に設置された。

1837年 アメリカの大学で初めて，男女共学をオハイオ州私立オーバーリン・カレッジ（1833年創立）が採用した。

- その後，男女共学に積極的役割を果たしたのは州立大学である。当時，共学を実施した大学とその時期をあげておく。州立大学では，ユタ（1850），アイオワ（1856），カンサス（1866），ミズーリ（1869），私立大学では，コーネル（1872），M. I. T.（マサチューセッツ工科，1883），タフツ・カレッジ（1892）などである。
- 東部の私立大学では共学制の代わりに，連携校としての女子大学を設置した。ハーバードがランドクリフ，コロンビアがバーナード，チューランがニューコンと連携しているのはその例である。

1839年 アメリカ最初の州立師範学校がマサチューセッツ州に設置された。

1854年 黒人のための最初の高等教育機関がペンシルバニア州リンカーンに設置された。

- その後，黒人のための大学として，シャウ大学（1865年，ノース・カロライナ州），ハンプトン大学（1868年，バージニア州）が設置された。

<1861～1865年 南北戦争>

1862年 連邦議会は国有地賦与大学法（第1次モリル法）を制定した。

- 国有地・土地証券の各州議員への賦与，その売却金を永久基金として公債に投資し，その利息によって州立のカレッジや大学における農業教育，機械工学教育の振興をはかった。この法律の適用をうける大学は国有地賦与大学（Land-grant College）と呼ばれている。

1876年 アメリカ最初の大学院課程が，メリーランド州のジョーンズ・ホプキンス大学で開設された。

- これまで，エール，ハーバードなどの大学での Ph. D. 授与は確立した大学院制度の下でのものではなかった。
- バンダービルト（100万ドル），ジョーンズ・ホプキンス（350万ドル），スタンフォード（2000万ドル），ロックフェラー（3000万ドル）などの寄付によるユニバーシティの設立と援助が行なわれた。
- 歴史の古い，有名なエール，コロンビア，ハーバードなどのリベラル・アーツ・カレッジはこの時期にユニバーシティになった。公立のミシガン，ウィスコンシン，ミネソタ，カリフォルニアなどの有力大学もユニバーシティの状態になった。
- ドイツ流大学教育隆盛期を迎える。

1887年 連邦議会はハッチ法を制定した。

- 連邦政府はこの法律に基づき，各州に毎年1万5千ドルの補助金を支出し，国有地賦与大学の農事試験場の設立と維持を援助した。

1890年 連邦議会は第2次モリル法を制定した。

- 連邦政府はこの法律に基づき，各州に初年度は1万5千ドル，その後は毎年千ドルずつ増加し，10年目より毎年2万5千ドルの補助金を支出し，農学，機械工学，英語，数学，物理学，自然科学，経済学の分野の教育振興をはかった。

1902年 アメリカ最初の公立ジョリオット短期大学がイリノイ州に設置された。

- 19世紀中頃，タッパン，フォルウェルなどの教育者による短期大学相当の高等教育機関の設置が提唱されていた。
- 短期大学は，ジョリオット短大設置に影響を与えたシカゴ大学のハーパー学長の構想した「短

大は上級課程への進学準備機関」としてよりも、むしろ中等教育修了者の職業上、教養上のニーズに応じる短期の教育機関として、特に1940年代以降急速な発展をみせた。

1937年 「国立ガン研究所法 (National Cancer Institute Act)」を制定した。

- 公衆衛生事業フェローシップ計画を実施した。

<1939~1945年 第2次世界大戦>

1944年 連邦議会は「復員軍人復学法 (Serviceman's Readjustment Act)」を制定した。

- この法律は、第2次大戦の復員軍人に対して無償で大学教育を受ける恩典（授業料免除、生活費支給）を与えることを規定している。
- 1000万人以上の復員軍人がこの法の適用を受けた。大学生人口急増となる。

1946年 トルーマン大統領は高等教育審議会の委員を任命した。

- 審議会の目的は「アメリカ・デモクラシーにおける高等教育の役割と、この役割を達成するための最上の手段とを検討すること」であった。
- 翌年、審議会は報告書「アメリカ・デモクラシーのための高等教育」を発表し、アメリカの大学人口を教育機関均等の見地より、1960年までに460万（当時の2倍の学生数）にすべきことを勧告した。

1950年 「全米科学財団 (National Scientific Foundation)」が設立された。

- NSFは科学分野の教育の改善と、連邦政府からの大学に対する研究費配分に極めて重要な役割を果たしている。

「大学建築費貸与法 (Housing Act)」を制定した。

- カレッジの建築物建設のための連邦政府からの貸付が認可された。

1952年 連邦議会は「復員軍人復学援助法 (Veteran's Readjustment Assistance Act)」を制定した。

- この法律によって、朝鮮戦争の復員軍人も第2次大戦復員軍人と類似の恩典の適用を受けることになった。

1958年 「国家防衛教育法 (National Defence Education Act)」が連邦議会を通過した。

- 連邦政府は理学、数学、外国語の教育・研究振興と大学教員養成のための奨学金・補助金を各大学に支出することになった。
- この法律に基づいて、学部学生に対する貸与奨学金制度や大学院学生に対する給与奨学金制度を創設した。

1960年 「カリフォルニア州高等教育計画」が州議会を通過し、実施された。

- この「計画」の報告書には、1960~1975年の15年間のカリフォルニア州の高等教育機関の就学者の予測、入学者選抜方法の検討、教育費の予測等が行なわれている。勧告された報告書に盛り込まれた計画のほとんどは直ちに実施に移された。

1963年 連邦議会で「高等教育施設法 (Higher Education Facility Act)」が制定された。

- 大学生の急増現象に関連して連邦政府は公私立大学の教育・研究施設の新築・増築費に対して補助金・貸付金を支出することになった。

「保健専門教育助成法 (Health Professions Educational Assistance Act)」を制定した。

- 教育施設の拡張と保健専攻学生に対する貸与奨学金のための資金を提供することになった。

1964年 「経済機会法 (Economic Opportunity Act)」が連邦議会を通過した。

- 貧困追放を主な目的とする法律で、恵まれぬ児童、高校生への援助が実施された。
- 経済的に恵まれぬ大学生に対する奨学金支給とアルバイト援助など新しい型の経済援助が実

施された。

最初の組織的学園紛争がカリフォルニア大学バークレイ校に起った。

- その後、学園紛争はコロンビア大学(1968)、バークレイ校(2次紛争1968)、1969年にウィスコンシン、コーネル、ハーバード、ニューヨーク市立等々の大学に拡大していった。

1965年 「高等教育法(Higher Education Act)」が連邦議会を通過した。

- この法律に基づき、大学生に対する学資援助と大学に対する財政援助計画を実施した。「保健専門教育助成法改正(Health, Professions Educational Assistance Amendment)」が承認された。

- 保健専攻の貧困学生援助のため給与奨学金制度を設けた。
- 医学 歯学・検眼学等の教育の質の改善のための補助金を出すことになった。

「全米芸術・人文財団法(National Foundation on the Arts and the Humanities Act)」が制定された。

- 創造的・実行性のある芸術分野のプロジェクトおよび人文分野の研究・訓練・学術的出版に対する補助金、貸付金が制度に認められることになった。

1966年 「国際教育法(International Education Act)」が制定された。

- 国際的研究、国際的視野に立つ専門およびその他の分野の研究を確立し、強化し、研究・訓練センター運営のため、高等教育機関に対して、補助金を支出することになった。

1968年 「高等教育改正法(Higher Education Amendment Act)」が連邦議会を通過した。

- この法律は国家防衛教育法成立以後に制定された高等教育関係の主な法律を一本化した上で、大巾な改正を加えて、高等教育の一層の拡充に資するだけの新規計画をも加えて制定されたものである。
- 連邦政府は施設・設備、教員、教育、研究、学生援助等のあらゆる面を網羅して財政援助を行なうことになった。

次にアメリカの高等教育史を統計的にみたと一資料として、高等教育機関の教員数、学生数、学位授与者数、財政の推移を第2表に示すことにする。

第2表 合衆国高等教育機関の教員数、学生数、学位授与者数、
財政の歴史的要約 — 1869 ~ 1966 —

| 項目 | 1869-70 | 1879-80 | 1889-90 | 1899-1900 | 1909-10 | 1919-20 | 1929-30 | 1939-40 | 1949-50 | 1959-60 | 1963-64 | 1965-66 |
|------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-----------|----------------------|---------|-----------|-----------|-----------|------------------------|------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 大 学 数 | | | | | | | | | | | | |
| 合 計…………… | 563 | 811 | 998 | 977 | 951 | 1,041 | 1,409 | 1,708 | 1,851 | 2,008 | 2,132 | 2,230 |
| 教 員 数 ¹ | | | | | | | | | | | | |
| 合 計…………… | ² 5,553 | ² 11,522 | ² 15,809 | 23,868 | 36,480 | 48,615 | 82,386 | 146,929 | 246,722 | ³ 380,554 | ³ 494,514 | ² ³ 596,400 |
| 男子学生…………… | ² 4,887 | ² 7,328 | ² 12,704 | 19,151 | 29,132 | 35,807 | 60,017 | 106,328 | 186,189 | ³ 296,773 | ³ 385,405 | ² ³ 464,000 |
| 女子学生…………… | ² 666 | ² 4,194 | ² 3,105 | 4,717 | 7,348 | 12,808 | 22,369 | 40,601 | 60,533 | ³ 83,781 | ³ 109,109 | ² ³ 132,400 |
| 在 籍 学 生 数 ⁴ | | | | | | | | | | | | |
| 合 計…………… | ² 52,286 | ² 115,817 | 156,756 | 237,592 | 355,213 | 597,880 | 1,100,737 | 1,494,203 | 2,659,021 | ³ 3,215,544 | ⁵ 4,234,092 | ⁶ 5,526,325 |
| 男子学生…………… | ² 41,160 | ² 77,972 | ² 100,453 | 152,254 | ² 214,648 | 314,938 | 619,935 | 893,250 | 1,853,068 | ³ 2,079,788 | ⁵ 2,622,787 | ⁶ 3,374,603 |
| 女子学生…………… | ² 11,126 | ² 37,845 | ² 56,303 | 85,338 | ² 140,565 | 282,942 | 480,802 | 600,953 | 805,953 | ³ 1,135,756 | ⁵ 1,611,305 | ⁶ 2,151,722 |

| 学位授与者数 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-------|--------|----------|----------|----------|-----------|-----------|------------------------|-------------|-------------|-------------|------------------------|
| 学士・第一専門学位 | | | | | | | | | | | | |
| 合計…………… | 9,371 | 12,896 | 15,539 | 27,410 | 37,199 | 48,622 | 122,484 | 186,500 | 432,058 | 392,440 | 498,654 | 551,040 |
| 男性…………… | 7,993 | 10,411 | 12,857 | 22,173 | 28,762 | 31,980 | 73,615 | 109,546 | 328,841 | 254,063 | 298,046 | 328,853 |
| 女性…………… | 1,378 | 2,485 | 2,682 | 5,237 | 8,437 | 16,642 | 48,869 | 76,954 | 103,217 | 138,377 | 200,608 | 222,187 |
| 修士(第1専門学位を除く) | | | | | | | | | | | | |
| 合計…………… | 0 | 879 | 1,015 | 1,583 | 2,113 | 4,279 | 14,969 | 26,731 | 58,183 | 74,435 | 101,050 | 140,555 |
| 男性…………… | 0 | 868 | 821 | 1,280 | 1,555 | 2,985 | 8,925 | 16,508 | 41,220 | 50,898 | 68,969 | 93,063 |
| 女性…………… | 0 | 11 | 194 | 303 | 558 | 1,294 | 6,044 | 10,223 | 16,963 | 23,537 | 32,081 | 47,492 |
| 博士 | | | | | | | | | | | | |
| 合計…………… | 1 | 64 | 149 | 382 | 443 | 615 | 2,299 | 3,290 | 6,420 | 9,829 | 14,490 | 18,237 |
| 男性…………… | 1 | 51 | 147 | 359 | 399 | 522 | 1,946 | 2,861 | 5,804 | 8,801 | 12,955 | 16,121 |
| 女性…………… | 0 | 3 | 2 | 23 | 44 | 93 | 353 | 429 | 616 | 1,028 | 1,535 | 2,116 |
| 財政(単位 1000ドル) | | | | | | | | | | | | |
| 経常費全収入… | (7) | (7) | (7) | (7) | \$76,883 | \$199,922 | \$554,511 | \$715,211 | \$2,374,645 | \$5,785,537 | \$9,543,514 | \$12,734,225 |
| 教育・一般費収入… | (7) | (7) | \$21,464 | \$36,084 | ,67,917 | 172,929 | 483,065 | 571,288 | 1,833,845 | 4,688,352 | 7,788,446 | 10,285,252 |
| 経常費全支出… | (7) | (7) | (7) | (7) | (7) | (7) | 507,142 | 674,688 | 2,245,661 | 5,601,376 | 9,177,677 | 12,509,489 |
| 教育・一般費支出… | (7) | (7) | (7) | (7) | (7) | (7) | 377,903 | 521,990 | 1,706,444 | 4,513,208 | 7,425,063 | 9,951,106 |
| 施設・設備価格… | (7) | (7) | 95,426 | 253,599 | 460,532 | 741,333 | 2,065,050 | ⁸ 2,753,780 | 4,799,964 | 13,448,548 | 21,279,346 | 26,851,273 |
| 基本財産・その他非消耗的基金… | (7) | (7) | 78,788 | 194,998 | 32,361 | 569,071 | 1,512,023 | 1,764,604 | 2,644,323 | 5,571,121 | 7,295,392 | ⁹ 8,766,134 |

注 1. 合計数、ただし同一人を一度しか数えない、フルタイム相当数には換算していない。
 2. 予想値
 3. 学年の1学期のデータ
 4. 特にことわらない限り、学年中常時在籍していた学生を扱う。

5. 1963年秋のデータ。
 6. データがない。
 7. 非消費設備基金を含める。
 8. 学生貸付金、年賦金、委託資金は除く。

出典：Office of Education, 「Digest of Educational Statistics 1970ed.」 P78

§ 2 高等教育の構造

2.1 高等教育機関の構成

アメリカの高等教育機関を一般的類型で分類し、1967年における各類型別の機関数および在籍学生数を第3表に示す。

第3表 大学類型別在籍学生数 — 1967年秋 —

| 大学の類型 | 大 学 数 | 学生数 (千人単位) |
|-----------|-------|------------|
| 4 年 制 大 学 | 1,593 | 5,446 |
| 総合大学 | 157 | 2,619 |
| そ の 他 | 1,436 | 2,827 |
| 2 年 制 大 学 | 789 | 1,518 |
| 合 計 | 2,382 | 6,964 |

高等教育機関の公式名称は、しばしばその機関の実際の構造や機能と合致していないことがある。デニス・ユニバーシティとかティラー・ユニバーシティなど20数校は“ユニバーシティ”と呼ばれるけれども、学士号までしか授与していない。デュパウ・ユニバーシティやコルゲート・ユニバーシティなど約50校は修士号や第1専門職業士の学位までしか出さず、博士課程はない。

一方において、コロラド州立カレッジやプリン・マー・カレッジなど12校はカレッジと呼ばれているが、正規の博士課程をもっているのである。さらに、M. I. T. など、いくつかのテクニカル・インスティテュートは物理科学以外の他分野にまでもわたる大きな博士課程を有する一般的なユニバーシティに発展している。したがって、ここでは参考までに、高等教育機関の代表的な2, 3の類型についての合衆国教育局 (Office of Education) の示している定義を示しておくことにする。

ユニバーシティ: 大学院にかなり重点がおかれ、リベラル・アーツの広い分野で上級学位が授与され、さらには、工学系に限らず、プロフェッショナル・スクールを2部門以上有している機関。

リベラル・アーツ・カレッジ: 学部段階の一般教育に主として力点が置かれた機関。(ハーバード、コロンビア、エールなど、現在のユニバーシティの多くは、元々リベラル・アーツ・カレッジとして発足し、現在ユニバーシティの構造の中で学部段階のカレッジにかなりの力点を置いた制度をとっている。ユニバーシティとリベラル・アーツ・カレッジの間の差異は必ずしも明確ではないことを付記しておく。)

ジュニア・カレッジ: 高等学校卒業後の2年間の教育課程を行なう。この機関には、将来学士号をとるコースに進む「移行課程」と、2年間で学業を終える「終了 (terminal) 課程」の2つの基本的な教育課程がある。

次に、1966-67年の教育課程レベル別に見た設置者別の高等教育機関数を第4表に示す。

第4表 教育課程レベル別に見た設置者別高等教育機関数 1966-67年

| 最高の教育課程レベル | 公 立 | | 非宗派** | 私 立 | | | 合 計 |
|----------------|-------------|------------|-------|-----|-------------|----------------|-------|
| | 州立・ 連邦立* | 地方・ 市 立 | | 宗 派 | プロテス タント | ローマン・ カソリック | |
| 2年制または4年未満 | 62 | 346 | 117 | 82 | 75 | 3 | 685 |
| 学士および第1専門職業士 | 92 | 3 | 215 | 290 | 214 | 14 | 828 |
| 修士および第2専門職業士 | 181 | 7 | 116 | 93 | 82 | 4 | 483 |
| Ph. Dおよび同程度の学位 | 107 | 5 | 74 | 22 | 19 | 8 | 235 |
| そ の 他 | 3 | — | 14 | 2 | 1 | 1 | 21 |
| 合 計 | 445 | 361 | 536 | 489 | 391 | 30 | 2,252 |

* 連邦管理は11大学のみ

** 校主が所有権 (proprietary) をもっている32校を含む。

第5表には、1955-1964年の10年間に博士号授与を最も多く行なった上位12大学名と博士号授与者数を示した。

第5表 上位12大学によって授与された博士号の数 (1955-64年)

| | 大 学 名 | 博士号授与者数 |
|----|---------------|---------|
| 1 | コロンビア | 6,153 |
| 2 | ウィスコンシン | 4,283 |
| 3 | イリノイ | 4,135 |
| 4 | ハーバード | 3,805 |
| 5 | カリフォルニア・バークレイ | 3,756 |
| 6 | ニュー・ヨーク | 3,318 |
| 7 | オハイオ州立 | 2,953 |
| 8 | ミネソタ | 2,778 |
| 9 | ミシガン | 2,761 |
| 10 | シカゴ | 2,671 |
| 11 | ミシガン州立 | 2,642 |
| 12 | パーデュー | 2,467 |
| | 合 計 | 41,722 |

第6表には、専門分野別の博士号取得者数の統計を示した。

第6表・専門分野別博士号取得者数

| 学問分野 | 博士号取得者数 | | 比 率 | |
|-------|---------|--------|--------|--------|
| | 1934-5 | 1964-5 | 1934-5 | 1964-5 |
| 工 学 | 63 | 2,124 | 2% | 13% |
| 物理科学 | 775 | 3,587 | 30 | 22 |
| 生物科学 | 615 | 3,535 | 24 | 21 |
| 社会科学 | 405 | 2,362 | 16 | 14 |
| 教 育 学 | 286 | 2,708 | 11 | 16 |
| 人文科学 | 444 | 2,055 | 17 | 12 |
| 合 計 | 2,588 | 16,467 | 100% | 98% |

2.2 高等教育機関の管理・運営

アメリカの高等教育機関は、大体において高度の自律性をもって運営されている。高等教育機関についての一般的管理は州政府や地方自治体にその権限が付与されている。連邦政府は特定の大学（連邦直轄地区の大学や、職業軍人養成機関など）を除き、大学の設置や大学基準について何らの統制も行っていない。

公立のカレッジやユニバーシティは設置時に、州の一組織として規定されるか、多くの大学に見られるように州の法律によって管理されるかが決まる。

他方、私立のカレッジやユニバーシティの設置認可基準は州によって異なっている。多くの州では、設置基準があったとしても、大した基準はなく、法人を設立する資力と、州議会に大学設置の認可をとりつけるだけの力があるグループは、教授陣や設備の良否にかかわらず、どのような学位も授与できる権限を獲得することができる。このように、設置認可基準が不明確なために、学位や免状を売物にする以外にほとんど何もしない大学を作り出してしまった。

一方、合衆国には大学自身が自発的に結成してできた、大学資格認定協会がある。全国の各地域（6地域に分割）にある認定協会（例えばアメリカ・カレッジ協会など）は主として教養学部の教育内容の評価を行なっている。また、これに対し全国的認定協会（例えばアメリカ大学教授協会、アメリカ教育協議会など）は、24あり、「大学の自由」の擁護と専門・職業教育の質を全国的に高い水準に保つことを目的としている。

アメリカの大学は慣例上、理事会（board）の管理下にある。理事会のメンバーは有識の“しろうと”であり、主として法律、財政、企業（教会関係のカレッジでは牧師）等の分野から選ばれている。合衆国では理事会メンバーの選出方法によって、大学は公立と私立の2つに大きく分かれる。公立大学とは理事会の大部分のメンバーが公選されるか、政府の事務局で選出されている大学をいう。私立大学では、現在の理事会が次期理事会のメンバーを選出している。

理事会は、設立許可書や適用される州の法律の範囲内で、大学を完全に運営している。しかし實際上、多くの場合、理事会が選んだ学長や数人の主任職員に執行的権限の大部分を委任している。理事会は通常、多くの方針の原案作成を学長執行部（Executive officers）か大学の教授団かのいずれかに委任している。しかし究局的には理事会がすべての大学の方針に対して責任を負っている。

上述のごとく、アメリカの典型的な大学の理事会は最終の権限をもっているが、大学の実際の運営は学長（President）を長とする管理部主任職員（Administrative officers）に委任されている。アメリカの高等教育機関が発展したのは主として学長が展望をもち、行動力、知性があったことの結果である。

学長は、普通1人または数人の副学長（Vice-president）と一般管理事務のスタッフによって補佐されている。ある大きな大学では教育活動はすべて教務事務長（Provost）または副学長に完全に委任されている。

小さな大学では教務の責任をもつ主任職員は通常、学部長 (Dean) である。教員の選考、教育課程の組織化、教育指導上の中心課題 (quality)、や研究予算のように重要な問題に対しては、学長が直接に責任を負っている。他の一般主任職員として、事務記録の保管に責任をもつ記録担当主任職員、入学志願者の適格性を決定する入学事務長 (Director of admission)、大学の全体的な財政状態に関心をはらっている経営事務担当主任職員 (Business officers)、学園におけるすべての課外活動の責任者である学生部長 (Executive dean for student affairs)、または学生問題担当の副学長、さらには、資金獲得や地域社会との関係の責任をもっている開発担当部長 (Director of development) などがある。

2・3 高等教育機関の財源

高等教育機関 (公立、私立を含む) の経常費の財源別の金額と比率を第7表に示した。

第7表 高等教育機関の財源別経常費収入 1963—64年

| 財源 | 経常費資金収入 実額 (千ドル) | 比 率 | 1959—60年 以来の増加率 | 1961—62年 以来の増加率 |
|---------------|---------------------|--------|--------------------|--------------------|
| 全経常費収入 | 9,569,900 | 100.0% | 65.6% | 28.2% |
| 1. 教育費・一般費収入 | 7,788,500 | 81.4 | 65.3 | 28.3 |
| イ 授業料・学生納付金 | 1,880,700 | 19.7 | 61.9 | 24.9 |
| ロ 連邦政府支出金 | 2,142,200 | 22.4 | 105.8 | 38.9 |
| i 研究費収入 | 1,776,400 | 18.6 | 114.4 | 39.4 |
| ii その他 | 365,700 | 3.8 | 72.4 | 36.6 |
| ハ 州政府支出金 | 2,138,600 | 22.3 | 53.9 | 26.6 |
| ニ 地方自治体支出金 | 229,000 | 2.4 | 50.9 | 19.8 |
| ホ 基本財産収益 | 264,900 | 2.8 | 28.2 | 14.0 |
| ヘ 民間からの寄付・補助金 | 561,600 | 5.9 | 46.6 | 24.6 |
| ト その他 | 571,500 | 6.0 | 50.8 | 23.8 |
| 2. 補助活動会計収入* | 1,629,400 | 17.0 | 62.0 | 27.9 |
| 3. 学生援助費収入 | 152,100 | 1.6 | 61.4 | 26.5 |

* 補助活動会計収入 (Auxiliary enterprise income) は
寄宿舍、食堂、大学対抗競技会 (フットボール、野球、ホッケー等)、書籍部、
等収入を指す。

第7表からも明らかなように、高等教育機関の教育・一般費収入の主な財源は、

- (1) 授業料など学生納付金
- (2) 州・連邦政府支出金
- (3) 民間からの寄付
- (4) 基本財産の収益

である。

ほとんどすべての高等教育機関は州の財政的援助をうけている。また、カリフォルニア大学のように州民の子弟の授業料は無償のところもみられるが、多くの州では授業料を徴収している。

全国の高等教育機関としてみると、学生納付金は教育・一般費収入の約20%である。

第7表に見られるように、地方・州・連邦政府からの高等教育機関への援助のうち、地方自治体からの寄与は小さい。この例外として、ニューヨーク市立大学などがある。一方、州政府は、アメリカの高等教育の重要な節となるべき、主要な州立大学の建設に絶えず資金援助を行なってきた。

連邦政府は世界第2次大戦までは比較的少額の寄与しかしていなかったが、現在では、有力な財政援助者の一つになっている。これまでの連邦援助は主として研究補助金、研究委託金の形で行なわれてきた。連邦政府からの財政援助に関しては、国家と大学という観点からみて重要な意味をもつので§3において、さらに論じることになっている。

民間からの寄付については、過去における高等教育の運営費全収入の中で、この種の財源はその中の大きな割合を占めてはいなかった。寄付の多くは経常費支出を目的とするよりも、むしろ基本財産 (endowment) や建物を目的としたものであった。しかし多くの大学では経常費の財源としてこの寄付に期待をかけ、同窓会等を通じてキャンペーンを行なった。このキャンペーンにより、比較的少額の寄付が多数集まり、その結果、支出項目に制限のつかない多額の寄付を獲得するにいたったのである。この試みが成功したことは、第8表に見られるように、1963—1964年における民間からの寄付や補助金の総額が5億6000万ドルを突破している事実によって示されている。

民間からの寄付金・補助金など慈善的寄付を行なっている慈善事業財団 (Philanthropic Foundation) は、1966年には、全米で約1万8千を数える。その2/5は少くとも20万ドルの資産を所有しているか、年間当たり少くとも1万ドルの補助金を配分している。10万ドル以上の資産を所有する財団は、全財団の約3/4の資産を占有し、全財団支出金の61%を分担している。1966年に2億ドル以上の資産を所有する13財団の名称、資産の市価額を第9表に示す。

第8表 高等教育機関における民間からの寄付金・補助金収入 1949～1964年

| 年 度 | 総額 (千ドル単位) |
|----------|------------|
| 1949—50 | 118,705 |
| 1951—52 | 149,925 |
| 1953—54 | 191,258 |
| 1955—56 | 245,539 |
| 1957—58 | 324,970 |
| 1959—60 | 383,186 |
| 1961—62 | 450,764 |
| 1963—64* | 561,600 |

* 予備調査資料に基づいた予想値

第9表 2億ドル以上の資産を有する民間財団の資産額 1966年

| 財 団 名 | 資産額 (市価, 100万ドル単位) |
|--------------------------|--------------------|
| 1. フォード財団 | 3,050 |
| 2. ロックフェラー財団 | 854 |
| 3. デューク財団 | 692 |
| 4. ケロッグ (W. K.) 財団 | 492 |
| 5. モット (チャールス・スチュアート) 財団 | 424 |
| 6. ハートフォード (ジョン, A.) 財団 | 342 |
| 7. リリー財団 | 320 |
| 8. スローン (アルフレッド, P.) 財団 | 309 |
| 9. カーネギー財団 | 289 |
| 10. ピュー記念財団 | 273 |
| 11. ロングウッド財団 | 251 |
| 12. ムーディ財団 | 244 |
| 13. ロックフェラー兄弟基金 | 210 |

注 1965年12月31日の資産価格を記載した。

但し フォード財団 (1966. 9. 30), ケロッグ財団 (1965. 8. 31)
カーネギー財団 (1966. 9. 30), ロングウッド財団 (1965. 9. 30)

この13財団の資産合計額は77.5億ドルに達し、これは全米財団の資産合計額の1/3より大きい。財団が常に助成を行ってきた教育分野は、現在では全財団からの寄付の34%を受けとっている。1965年には、大きな財団の場合は、全額の37%の2億8200万ドルを教育の分野へ寄付している。

大きな財団は、高等教育の既存の計画の改善や新しい実験計画に重要な援助を行なっている。これらの財団は、高等教育の発展の上で効果的役割を果し続けているように思われる。

基本財産 (endowment) は主に私立大学が所有し、この投資などによる収益を大学経常費に当てているものであるが、テキサス大学やカリフォルニア大学など、州立大学の中にも大きな基本財産を所有するものは多い。基本財産基金 (endowment fund) の 3/4 は、2000校を越えるアメリカの高等教育機関のうちの 100 校が所有していることにも見られるように、基本財産基金は少数のカレッジや大学に集中している傾向がある。第10表に基本財産所有額の多い上位20大学の基本財産の市価 (1966年) を示しておく。

第10表 上位20大学の基本財産の市場価格 1966年(千ドル単位)

| 大学名 | 市価 ¹⁾ | 大学名 | 市価 ¹⁾ |
|-------------|-----------------------|----------------|-----------------------|
| 1 ハーバード | 974,882 | 11 コーネル | 194,711 |
| 2 エール | 475,800 | 12 スタンフォード | 167,161 ⁴⁾ |
| 3 テキサス | 466,321 ²⁾ | 13 ペンシルバニア | 166,190 |
| 4 M. I. T. | 375,975 | 14 ウエズレリアン | 156,383 |
| 5 ロチェスター | 346,285 | 15 ジョンズ・ホプキンス | 151,121 |
| 6 プリンストン | 312,679 | 16 ライス | 121,360 |
| 7 コロンビア | 276,202 ³⁾ | 17 ワシントン(シアトル) | 114,528 |
| 8 カリフォルニア | 259,794 | 18 カリフォルニア工大 | 100,165 |
| 9 シカゴ | 249,346 | 19 アマースト・カレッジ | 99,253 |
| 10 ノースウェスタン | 217,297 | 20 ダートマス・カレッジ | 96,924 |

注 1) 1966年7月30日現在の有価証券の価格を使用した。

2) 市価は報告がないので、帳簿上の価格を用いた。

3) American Universities and Colleges 10th edition の資料 (1966-67年) を用いた。

4) the Boston Fund's 1966 study of College and University Endowment Funds から。

資料: Annual Survey by Stillman, Maynard & Co., New York.

§3 連邦政府と高等教育の関係

3.1 歴史的発展と最近の発展

前述のように、合衆国の連邦政府は教育に関する直接的な管理および法的に管理を行なう権限を州に付与している。しかしながら、連邦政府は、ここ最近の数十年間に公立・私立高等教育の発展の上で顕著な影響を与えてきた。今日では高等教育に対し、種々の目的に応じて各種政府機関を通して数十億ドルが支出されている。

教育に対して連邦が援助をするという考え方は、別に新しいものでなく長年月にわたって発展してきたものである。合衆国憲法設定以前においてさえも、アメリカ植民地同盟の議会は1785年の条令で、それぞれの地区の土地のある部分は地域の学校用に留保すべきことを規定した。1787年の北西条例では、「宗教、道徳、知識は良き政治と人類の幸福にとって不可欠であり、学校および教育の意義は絶えず高められねばならない。」と宣言している。19世紀の前半には、連邦政府の教育への関心は高まり、多くの面にそれが反映した。少くとも20州において、「内部改善」のための議会の補助金が教育に対して費された。また、1837年には2800万ドルの余剰金が連邦政府から州に分配された。州の多くはこの補助金の全額ないしは一部を教育のために用いたのである。

南北戦争以降の第1次モリル法にはじまる連邦政府の高等教育に関する政策に関しては §1 に述べられているのでここでは省略する。

連邦政府の教育への援助は上述のごとく長い歴史をもっているが、連邦の活動が教育の分野に強度に集中してきたのは、ここ25年間のことである。このように活動が強化された理由は、戦後時代に現われた国内・国外

双方に関する複雑なかつ新しい問題に、国家として取り組まなければならなくなったことがあげられる。国内的には、膨大な戦争機械の解体や数百万の退役軍人の処理の問題があった。国外においては、反ナチスの同盟の結束は破たんし、世界における指導的地位の争いは激化し、世にいわゆる“冷い戦争”、“スプートニク”の衝撃を経験したのである。こうした原因が重なり、連邦政府と高等教育の間に極めて複雑なかつ、全く新しい関係をもたらすことになった。それによって多額の補助金支出も可能になり、連邦の直接の研究委託はそれ以前に比べて頻度も件数も増加している。このような新しいかつ変更された関係は、国家の最も緊急の問題を解決するために大学を役立てるべき決定を行なえるほどに強まっている。

第2次大戦後に、制定された教育関係の法律には、復員軍人復学法（1944）、全米科学財団（National Science Foundation 1950）の設立、大学建築費貸与計画（1950）、国家防衛教育法（1958）、高等教育施設法（1963）、経済機会法（1964）、高等教育法（1965）、国際教育法（1966）、高等教育改正法（1968）などがあるが、これらの代表的なものについての説明は§1においてすでになされているのでここでは省略する。

3.2 連邦援助の規模

1966会計年度における高等教育援助のための連邦支出金は23億ドルに達している。1967年度には38億ドルにのぼると推定されている。2000以上のカレッジやユニバーシティは種々の形式で連邦補助金を受けている。この連邦補助金は教育局、全米科学財団など政府各省・各局を通して各大学に配分されている。第11表には、1966年度における連邦補助金交付額の上位10大学とその交付額を示した。

第11表 連邦補助金交付額から見た上位10大学と交付実額 — 1966年 —

| 大 学 名 | 実額 (千ドル単位) | 全大学への交付額に対する割合 |
|----------------------|------------|----------------|
| 1 ミシガン | 66,265 | 2.20% |
| 2 M. I. T. * | 63,232 | 2.10 |
| 3 スタンフォード* | 60,621 | 2.01 |
| 4 コロンビア* | 60,041 | 2.00 |
| 5 イリノイ | 58,491 | 1.94 |
| 6 ハーバード* | 54,008 | 1.79 |
| 7 カリフォルニア・ロス・アンジェルス校 | 51,298 | 1.70 |
| 8 カリフォルニア・パークレイ校 | 50,315 | 1.67 |
| 9 シカゴ* | 45,286 | 1.50 |
| 10 オハイオ州立 | 39,025 | 1.29 |
| 上位10大学への交付額 合計 | 548,582 | 18.20 |

*印のついた5校は私立大学

第12表には、高等教育機関の研究費に対する政府の交付機関別の補助金支出額および比率を示す。

連邦からの資金は学生援助、研究・開発、寄宿舍・大学施設の建設、設備・装置の購入、図書館改善、発展途上の大学への援助や公共奉仕などの多くの目的に対して支出されている。連邦の計画は、従来からある教育研究の分野の外に、国際教育、保健教育、教員養成および職業教育を重点的にとりあげてきた。

第12表 高等教育機関の研究費に対する交付機関別
連邦補助金の実額* と比率 — 1967年—

| 機 関 名 | 実 額 (単位千ドル) | 比 率 |
|-----------------|----------------|--------|
| 合 計 | 1,385,896 | 100.0% |
| 1. 保健・教育・福祉省 | 624,837 | 45.1 |
| 国立保健局 (NIH) | (520,169) ** | (37.5) |
| 教 育 局 (OE) | (79,302) | (5.7) |
| 職業リハビリテーション局 | (10,694) | (0.8) |
| その他の部局 | (14,672) | (1.1) |
| 2. 国 防 省 | 276,330 | 19.9 |
| 3. 全米科学財団 (NSF) | 191,334 | 13.8 |
| 4. 航空宇宙局 (NASA) | 93,614 | 6.8 |
| 5. 原子力委員会 (AEC) | 88,661 | 6.4 |
| 6. 農 務 省 | 55,977 | 4.0 |
| 7. 経済機会局 | 18,438 | 1.3 |
| 8. 国 務 省 | 15,372 | 1.1 |
| 9. その他の省庁 | 21,333 | 1.6 |

* 1967会計年度の予想値，大学に対する補助金のみ

** 研究センターへの補助金は含まれていない

3. 3 連邦援助の問題点

連邦の教育への援助は多くの問題点をもっており、その中には現在もなお未解決のものがある。これらの問題点は国家全体と密接な関連をもつ社会的問題 (Social problems) と大学社会に根本的な影響を及ぼす制度上の問題 (Institutional problems) に分類できる。

教育に対する連邦の統制は社会的大問題であり、絶えず論議されていることである。この問題を論ずる人々の立場は、連邦援助を受けても、どのような圧迫もないと見る立場から、連邦資金を受けとれば必然的に連邦の統制下に落ち込むと論じる立場にまで広がっている。しかしながら、問題の核心はこれら両極の考え方の中間にあるであろう。

連邦の補助金は行政上の規則・手続きに従って配分される。これは連邦の側からすれば、政府機関は補助金濫用に対して防止するために必要なことで、また資金が補助される目的に実際に使用されていることを確認するためにも必要なことである。一方、大学の側からすれば、これら行政上の規則・手続が制度上のタテマエ通りになっていないのではないか、あるいは大学の基本的かつ規定された目的から偏向してはいないかが問題となる。連邦機関の行政上の手続は、事実、大学の自律性を侵害することがあるが、それは必然的なことでも不可避的なことでもない。何はともあれ、モリル法成立以降一世紀の間に国有地賦与大学に対する連邦の管理について重大な告発を受けることは一度もなかった。また連邦機関は大学紛争に干渉することも研究の自由 (freedom of inquiry) を制限しようとすることも一般的に言えば避けてきたのである。すべてを考慮して言えば、大学と連邦政府の間に生じる関係は明らかに“利益ある協力”の関係として見ることができよう。

教育に対する連邦援助の問題に直結した、第2の社会的問題は教会と州の論争である。一般の関心は、米
国憲法修正の意味の解釈、教会と州の分離の問題、教会関係の大学に対して連邦資金が正当に査定されているかどうかなどに寄せられている。大学間では宗教上の立場による差別はなされてはならないが、大学内部における活動の間ではかかる差別はありうるといった立法上のかけひきによって、高等教育においては法廷上の対決は避けられてきた。したがって、教会関係の大学は連邦資金を受ける資格を自動的に失うことはな

くなった。けれども、連邦資金を宗教上の目的に使用することはできない。この問題は、上述のような妥協案が示すように、単に法律的なものではない。すなわちそれは社会的なものでもあり、同時に政治的なかわりをもっているものである。

民族の分離は連邦の教育援助に関連する第3の社会的問題である。つまり、人種の差異を理由に適格の応募者の入学を拒否する大学に対して連邦資金を補助するかどうかが最初に論議さるべき問題であった。しかし市民権の運動の高揚もあって、この問題は入学の方針の問題だけでなく、雇用、住居の問題と同時に種々の学生生活区域の問題をも包括するまでに拡大された。連邦資金を受ける大学は連邦の市民権に関する法律を遵守していることを文書で証明することが必要とされている。

高等教育に対する連邦援助から起った制度上の問題は政府側の目的と大学側のそれとの間に基本的な違いがあることに起因している。大学は平衡をとり、調和をとるべき努力を余儀なくしているが、連邦政府は歴史的にみて、特定の分野の特別な使命によって方向づけられたプロジェクト (mission-oriented projects) を援助する傾向がある。この特別な任務 (services) は緊急の国家的要請に応ずるものであり、それはもともと大学を強化する目的で計画されたものではないがために、両者の緊張関係は必然的に高まることになる。

また同時に、これらの国家の要求は学園 (campuses) に対してもなされるので、学園は学生数の急増に直面し、教授団は教授の補充が困難になり、また財政上の重大な引締めが行なわれる。その一つの結果として、大学社会 (Academic community) の不均衡、つまり高等教育機関相互間やその内部に不均衡が作り出されたのである。

連邦の研究資金は比較的少数の大学に集中的に交付されてきたために、大学間の不均衡を強める役割を果たしてきた。最近 (1963年度) においても、それぞれが約 100 校の大学を有するカリフォルニア州とニューヨーク州では、その州の中の僅か 3 大学がその州の高等教育への連邦資金総額の約 1/2 の配分を受けている。マサチューセッツ州 (大学数約 50) では、その中の 2 大学が、州へ配分される高等教育への連邦資金総額の約 2/3 を受けとっている。個々の大学間の不均衡は連邦援助計画が研究、科学および大学院教育をとくに重視していたことに原因しているともいえる。例えば、大学人の多くは大学では研究により重点がおかれてきているため、教授機能 (teaching function) は軽視されてきた。また教員は尊重されもしないし、研究者としてよりも報いられることはないと論じている。特に人文学者は、連邦の科学に対する偏重* が学部分野相互間に不均衡を生じさせていることを告発してきた。大学院教育と学部教育の間の不均衡が高まりつつあることを憂慮する人々もいる。連邦奨学金は最初は大学院学生を対象として導入されたが、このようなやり方が学部学生は無視されているという不満の種となっている。

したがって、連邦計画は良い大学と良くない (less-good) 大学間の格差を拡大する傾向がある。また学部教育と大学院教育をさらに分離したり、教授することを犠牲にして研究を高め、研究に報いようとする傾向がある。援助の多い大学では見られないことだが、連邦計画は教授達 (faculty members) の志気を低下させる傾向をもつものであるという批判がでている。他方において、大学間の関係が不公平であるにもかかわらず、この関係が大学全体としては適切なものであるという証拠がある。すなわち、学部 (faculty) は強化されてきたし、改良されてきた。教育を受ける学生は急増し、大学関係者の給与は高くなってきた。教授することの負担は減り、施設は拡張し、教育を受ける機会は拡大し、また大学の教育計画 (Academic program) は向上してきたことなどがそれである。それに加えて、大学は顕著な国家の任務 (Distinguished national service) に報いることを義務の履行として心よく遂行しているのである。

* 1965年には、高等教育に対して配分される連邦資金総額の 3/4 以上が、研究・開発と科学関係諸活動に支出された。

参 考 文 献

§1 において引用した文献

1. American Council on Education, 「American Universities and Colleges 10th Ed.」1968.
Part I Higher Education in United State.
2. Office of Education, 「Digest of Educational Statistics 1970」p. 78 and Chapter IV
Federal Programs for Education and Related Activities, pp. 103 - 106
3. 文部省調査局調査課, 「各国の高等教育 I - アメリカ合衆国」(教育調査・第47集, 1957)
4. 沢田徹編著, 「主要国の高等教育 — 現状と改革の方向」(1970, 第一法規)
第1章 アメリカ合衆国 pp. 16-27
5. 仙波克也, 「アメリカ合衆国における高等教育に対する州政策の展開 (1)」
(「広島大学教育学部紀要」, 第1部, 第17号, 1968)
6. 仙波克也, 「アメリカ合衆国における高等教育に対する州政策の展開 (2)」
(「福岡教育大学紀要」, 第20号 第4分冊, 1971)

§2, §3は前記文献1の第I部「合衆国の高等教育」の要約である。

第2章 アメリカ合衆国における 主要大学に関する大学別基本資料

§1 基本資料の全般的説明

今回アメリカにおける主要大学の概要をしらべるにあたって対象校にした大学は127校である。このうちの105校は、1964年アメリカ教育協議会(American Council on Education)が、A. M. カーターに依頼して行なった「大学院の質の評価」の調査¹⁾の対象校である。対象校は、1964年の時点では106校だったが、このうちケース大学とウェスタン・リザーブ大学は、1967年に連合してケース・ウェスタン・リザーブ大学となったため、105校に減っている。残りの22校は、1966-67年に博士号取得者を25人以上出し、かつA. M.カーターの調査から除外されていた大学である。この22校は、表中では*印を付して、A. M.カーターの調査対象校と区別してある。

この大学別基本資料は、アメリカ教育協議会発行の「アメリカ大学一覽²⁾(American Universities and Colleges) 10版 1968年」の第Ⅲ部に記載されている各大学別の資料のうち、記述の点で共通性があり、大学の教育・研究の概要を知るうえに比較的有用と思われるデータを抽出して、本稿の付録の別表Ⅰ-Ⅶとしてまとめたものである。またこのデータは主として、1966-67年に関するものである。アメリカ大学一覽には記載があるが、われわれが割愛した項目も参考までに次に上げておく。大学の略史、理事会の構成、保健費・寮費などの納付金、学位取得条件、特別教育プログラム、授与する学位の種類、外国人学生の構成、予備将校訓練団(ROTC)、学生生活に関するデータ、大学の出版物、学長名等。

大学別基本資料中、学位取得者数に関する表を作成する上で、アメリカ大学一覽の付録Ⅳの表中から、1861-1966年間の博士号取得者数、1957-1966年間の専門分野別の博士号取得者数のデータを、また付録Ⅳの表から、1966-67年における各種学位の取得者数に関するデータを引用した。

表中の数値の大部分は、アメリカ大学一覽に記載されていたものであるが、別表Ⅳの教員当学部学生相当数、別表Ⅶの年平均博士号取得者数ならびに別表Ⅻの各項目収入の経常費全収入に対する比率(1966-67年)の項目の数値は、原典の数値を用いてわれわれが計算したものである。

アメリカ大学一覽では、イリノイ、ルイジアナ州立、メリーランド、ミネソタ、ミズーリ、テネシー、バージニアやウィスコンシンなどの複数キャンパスを有する大学については、各キャンパス毎のデータが記載されている。一方、カーターの「大学院の質の評価」の調査では、これらの大学はメイン・キャンパスのデータが採用されている。したがって、われわれも上記の大学に関してはメイン・キャンパスのデータのみを集計した。カリフォルニア大学の場合には、カーターと同様各キャンパス毎にデータをまとめたが、別表Ⅻ、Ⅻにもみられるように、大学財政については全キャンパスに関するデータしか与えられていない。

ロックフェラー大学に関するデータは、アメリカ大学一覽では付録の各大学別博士号取得者数に関するものだけであり、その他の事項については全然ない。

§2 大学の概要(1), (2)(別表Ⅰ, Ⅱ)の説明

別表Ⅰ, Ⅱで取り扱う項目： 大学所在州名、大学の類型、設置者、創立年次、現在の大学名になった年、学士号を授与した最初の年、博士号を授与した最初の年、1861年-1966年106年間の博士号取得者数、学年暦、学生数、教員数、教育・一般費収入、経常費全収入、基本財産の帳簿価格、大学の敷地の面積および土地・建物等の評価額など概要的データ。

別表Ⅰについて

州名：大学の所在する州名である。大学名と州名が等しいものについては、州名を記していない。

類型：合衆国教育局³⁾ (U. S. Office of Education) では、大学を「段階」 (level) と「類型」 (type) で分類しているが、アメリカ大学一覧でも、それをそのまま使っている。段階はⅡからⅤの4段階で、次のように考えられる。

- Ⅱ. 学士と第一専門職業士 (first professional) の両方かあるいは一方の学位を出す大学。
- Ⅲ. 修士と第二専門職業士 (second professional) の両方かあるいは一方の学位を出す大学。
- Ⅳ. Ph. D. やそれと同等の学位を出す大学。
- Ⅴ. その他の大学。

本調査の対象となった127大学は、すべて段階Ⅳに属する。

類型はBからKの10に分けられる。

- B. リベラル・アーツと一般教育 (general) を行なう大学。
- C. リベラル・アーツと一般教育、並びに最終職業教育 (terminal-occupational) を行なう大学。
- D. 主として教員養成 (teacher preparatory) 大学。
- E. リベラル・アーツと一般教育、並びに教員養成を行なう大学。
- F. リベラル・アーツと一般教育、最終職業教育、並びに教員養成を行なう大学。
- G. 専門職業教育 (professional) のみを行なう大学 (教員養成は含まれない)。
- H. 専門職業教育と教員養成を行なう大学。
- I. 専門職業教育と最終職業教育を行なう大学。
- J. 1~2の専門職業学部をもち、リベラル・アーツと一般教育を行なう大学。
- K. 3つ以上の専門職業学部をもち、リベラル・アーツと一般教育を行なう大学。

設置者：設置者別に大学は公立大学と私立大学の2つに大別される。公立大学は、国立 (commonwealth)、連邦立 (federal)、州立 (state)、市立 (city)、地方立 (territorial) に細別される。私立大学は、どの宗派にも独立、プロテスタント、ローマ・カソリック、その他の4つに細別される。表の略語で、St は州立、Cty は市立、Pro はプロテスタント、RC はローマ・カソリック、I はどの宗派にも独立、Oth はその他を示している。

創立年次：アメリカ大学一覧では、設置が認可された年、あるいはその学校が創設された年などが不統一に記述されている。ここでは、大学の前身校の記録がある場合には、その前身校の設立認可の年または創設の年をとることとした。

106年間の博士取得者数：これは、博士号を授与した最初の年から、1966年までの博士号取得者の総計である。105年前の1861年はエール大学がアメリカ合衆国で最初に博士号を授与した年である。

学年暦：Sは2学期 (セメスター) 制を、Qは4学期 (クォーター) 制、Tは3学期 (トライメスター) 制を示す。トライメスター制、クォーター制の大学は夏学期も講義を行なっている。学生は全学期出席する必要はなく (クォーター制では普通年間3学期出席)、適当な学期の講義を聴くことができる。一部の大学では、全学期のカリキュラムを履修すれば、3年間で学士号を授与することを認めているところもある。

別表Ⅱについて

教育・一般費収入：大学の財政については、別表Ⅺと別表Ⅻにその詳細は示されているが、これは経常費収のうち、教育・一般費収入の総額である。

帳簿価格：大学の基本財産 (主として銀行預金、有価証券の形で所有) の帳簿上の価格である。大学はこの基本財産の投資による利益を教育、研究上の基金にあてている。

市場価格：大学の基本財産の市場価格である。

大学の敷地：この項目中の面積は、農園、植物園、樹木園、その他を含んだ全面積なのか、あるいは建物の

ある中心的な地域だけの面積を示すのか明らかでない。

評価額：土地，建物，設備の全評価額である。

§ 3 学生・教員の構成（別表Ⅲ，Ⅳ）の説明

別表Ⅲ，Ⅳで取り扱う項目：1966年秋現在大学に在籍する学部学生，大学院学生の性別，フル・タイム，パートタイム別の構成，総学生数，教員の勤務条件（フル・タイムかパート・タイムか）別，性別，取得学位別の構成，教員当学部学生相当数，学部学生相当数当教育・一般費，学部学生相当数当学生援助費。

別表Ⅲについて

1966年秋現在，大学に在籍する学部学生数と大学院学生数を示す。多くの大学は，フル・タイム学生の外に多くのパート・タイム学生の教育を行なっている。

別表Ⅳについて

教員数：教員数の中には，臨時講師（occasional lectures），研究助手，教育助手，補助員学生（student assistants），ならびに図書館員（文献指導をしない）（nonteaching librarians）などは含まれていない。多くの大学では，教員とはフル・タイムに相当するものという考えである。したがって，パート・タイムの教員とは他大学からの非常勤教員ではなくて，その大学の研究センターの教授などのように組織的研究を専門職とする人々が，学部・大学院の教育・指導を行なう場合を指しているものと考えられる。

教員当学部学生相当数：教員一人あたりの学生数を比較するために，われわれが計算した値である。学部学生相当数とは，学部学生数と大学院学生数を3倍した数の和をいう。カーターは大学院の学生は学部学生3名に換算するという操作を行なっているので，われわれもそれを採用した。またわれわれは，フル・タイム学生とパート・タイム学生は同じ重み（ウエイト）で取り扱った。

§ 4 新入生の特徴，学部学生の変動，学位取得者数，所蔵図書数（別表Ⅴ，Ⅵ）の

説明

別表Ⅴ，Ⅵで取り扱う項目：新入生（1966-67年）の高校時の成績（クラス順位），ACTの平均点，適性検査の平均点，新入生中全米特別奨学生（National Merit Scholars）数，入学率，所在州出身者の割合，3，4年生中の転入学生の割合，4年終了後進学が予想される学生の割合，各種学位取得状況，所蔵図書数。

別表Ⅴについて

アメリカ合衆国の高等教育機関への入学者の選択方式は次のようである。^{4,5)}

① 入学試験による場合

- (1) 各大学が独自の入学試験を行なう。
- (2) 全国的な試験機関の行なう試験を自校の入学試験に替える。

② 入学試験によらない場合

- (1) 中等学校での履修科目，取得単位数，学業成績，最終学年での席次，内申書などに基づいて入学者を選択する。
- (2) 州の認定した中等学校の卒業生であれば，特別の審査を行わずすべて入学させる。

一般には，①-(2)と②-(1)を組み合わせた方式を採用している大学が多い。全国的な試験機関としては，大学入試協会（CEE B）と米国大学検査協会（ACT）が有名である。

高校での成績（クラス順位）：この数値は高校における成績順位が学年（クラス）の上位1/2以内だった者，上位1/10以内だった者が，それぞれ当該学年中の何パーセントにあたるかを示す。

ACTの平均点：米国大学検査協会の実施する試験の平均点である。バーンズ等⁶⁾ならびに大学入試協会発行の報告⁷⁾によれば、米国大学検査協会の試験は、1959年アイオワ州立大学で作成され、実施されたのが最初である。これは、英語、数学、社会、自然科学の4つの試験をそれぞれ約45分かけて実施する。試験は適性検査的なものと学力検査的なものの両方を含み、すべてマルチ・チョイス形式である。別表Vには、英語、数学の平均点と、4科目総合の平均点を示す。

適性検査の平均点と内容：上述の大学入試協会の実施する適性検査 (Scholastic Aptitude Test) の平均点と、点数が500点以上の者、600点以上の者、700点以上の者が当該学年中でそれぞれ何パーセントにあたるかを示す。バーンズ等⁶⁾ならびに大学入試協会発行の報告⁷⁾によれば、適性検査は3時間の客観テストで、同じく大学入試協会によって実施される学力検査 (Achievement Tests, 約1時間) と同日に行なわれる。適性検査は年6回、学力検査は年4回実施され、志願者は同日に両方受験しなくともよい。適性検査は、大学入学希望者の言語的能力 (言葉と概念との関係の理解力、読解力)、数的能力 (数的記号を理解し、問題解決にそれらを用いる能力) の標準尺度となるものである。これは「考える」能力をテストするもので、「記憶力」をテストすることを狙っていない。また高校で学習することと直接の関連はなく、練習してもあまり効果のないような問題が選ばれる。得点の標示法は、問題の困難度や受験者の能力の年次的変動のため、粗点平均は年度によって異なるので、適当な統計的操作を加えて、それを200—800の標準点に換算したのもをもって表示している。点数により次のような段階に分類されている。

| | | |
|----------|-------|-------|
| 625点以上 | 優 秀 | 1グループ |
| 575—624点 | 非常によい | 2グループ |
| 510—574点 | 平均以上 | 3グループ |
| 490—509点 | 平 均 | 4グループ |
| 489点以下 | 平均以下 | 5グループ |

全米特別奨学生：海外大学教育総合調査団報告書⁸⁾によれば、全国の高等学校のジュニア・クラスの半数が受験し、米国科学研究協会 (ASRA) の検査の結果によって、各州の上位2パーセント (約1,500名) が、この奨学生の第1次候補として選ばれる。これらの者は、さらに教育検査サービス (ETS) の検査を受けて約3パーセントがはねられる。この奨学金は社会的に大きな名誉とみとめられている。

別表VIについて

入学率：この数値は、志願者中で入学を許可された者の比を示す。州立大学の場合には入学定員はなく、それぞれの大学で成績の最低基準を定めて入学を許可している。

所在州出身者：新入生ならびに全学部生の中に、その大学が所在する州出身の学生が何パーセントいるかを示す。私立大学の場合と異なり、州立大学はその所在州の出身者のための高等教育を提供するという側面が強い。このことがこの比率の中にも現われていることが予想される。

転入率：3、4年生中に含まれる転学してきた学生の当該全学生に対する比率をいう。短期大学 (コミュニティー・カレッジ) などの移行課程 (トランスファー・プログラム) を終え、総合大学などの上級課程に転学してくるものなどが含まれていると考えられる。アメリカの州立大学などでは、1つの大学から他の大学への転入が容易なため、2年目、3年目に自分の好みに合った大学を選んで転入してくる学生も少くない。例えばパークレーの大学改革⁹⁾によれば、「移行課程」があるので、カリフォルニア大学パークレー校では、1、2年次の学生に比べて3、4年生が多くなっている。

大学院進学率：4年の学士課程を終えて、さらに大学院などの上級課程へ進学が予想される学生の当該全学生に対する比率を示す。

学位取得者数：1966—1967年間の学位取得者数を学位の種類別に示す。学士、第一専門職業士、修士、博士

とは次のものをいう。

- (1) 学士……高等学校卒業後4年—5年で得るすべての学位，ならびに建築学士，工学士，看護学士等の専門職業士を含む。
- (2) 第一専門職業士 (First professional) …… 高校卒業後6年あるいはそれ以上を必要とする学位で，医学士 (Doctor of Medicine)，法学士 (Bachelor of Law or Doctor of Jurisprudence)，神学士 (Bachelor of Divinity)，歯科学士 (Doctor of Dental Science or Doctor of Dental Medicine)，足病学士 (Doctor of Surgical Chiropody or Doctor of Podiatry)，検眼士 (Doctor of Optometry)，整骨士 (Doctor of Osteopathy)，ならびに獣医学士 (Doctor of Veterinary Medicine) である。ただし，神学士のかわりに神学修士が授与される時は神学修士もこれに含まれる。
- (3) 修士……修士と第二専門職業士 (社会事業修士，教育の専門家，技術者というような職業的なあるいは最終的な学位) が含まれている。
- (4) 博士……Ph. D. や教育学博士 (Ed. D.) などの外にアソシエート，認定状 (formal certificates)，学位免状 (diploma)，名誉学位等も含まれている。

所蔵図書数：各インスティテュートの個々の図書館に所蔵するものもすべて含んでいる。かつ，分類され，使用できる状態になったものの総数である。

§ 5 博士号取得者数の推移等 (別表Ⅶ，Ⅷ) の説明

別表Ⅶ，Ⅷで取り扱う項目：1967年，1966年，1965年，1964年および1963年の各大学の博士号取得者数。1958—62年の5年間，1948—57年の10年間，1926—47年の22年間および1861—1925年の65年間の博士号取得者数の年平均。最初に学位を出した年から，1967年までの博士取得者数の年平均。1957—1966年までの10年間の各大学の，人文科学，生物系科学，物理系科学，社会科学およびその他の分野での博士号取得者数。

別表Ⅶについて

各大学における年平均の博士号取得者数を示している。1963—67年までの5年間は，アメリカ大学一覧の一年毎のデータをそのまま用い，1962年以前については，1958—62年5年間の年平均，1948—57年10年間の年平均，1926—47年の22年間の年平均ならびに，1861—1925年65年間の年平均博士号取得者数を計算した。最終の項目 (1967年までの年平均) は，それぞれの大学が最初に学位を出した年から，1967年までの博士号取得者の年平均が示されている。

別表Ⅷについて

1957—66年10年間の人文科学，生物系科学，物理系科学，社会科学およびその他の各分野における博士号取得者数である。各分野中の細分野は次のごとくである。

| 人 文 科 学 | 生 物 系 科 学 | 物 理 系 科 学 | 社 会 科 学 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 建 築 術 | 農 学 | 天 文 学 | 人 類 学 |
| 古 典 語 | 解 剖 学 | 化 学 | 商 業・貿 易 学 |
| 英 語 | 微 生 物 学 | 航 空 工 学 | 経 済 学 |
| 芸 術 | 生 化 学 | 化 学 工 学 | 教 育 学 |
| フ ラ ン ス 語 | 生 物 学 | 土 木 工 学 | 歴 史 学 |
| ド イ ツ 語 | 植 物 学 | 電 気 工 学 | 国 際 関 係 論 |
| 新 聞 学 | 昆 虫 学 | 機 械 工 学 | 法 学 |
| 音 楽 | 林 学 | そ の 他 工 学 | 図 書 館 学 |
| 哲 学 | 家 政 学 | 地 理 学 | |
| | 看 護 学 | | |

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 宗教教育 | 薬学 | 地質学 | 政治学 |
| ロシア語 | 生理学 | 数学 | 行政学 |
| スペイン語 | 心理学 | 冶金学 | 社会事業学 |
| 演説—演劇 | 公衆衛生学 | 気象学 | 社会学 |
| 神学 | 獣医学 | 物理学 | |
| その他外国語 | その他生物科学 | その他物理科学 | その他社会科学 |

§ 6 授業料、奨学金等（別表X, X）の説明

別表IX, Xで取り扱う項目：授業料、学部学生の給与奨学金、貸与奨学金、学内アルバイト、大学院学生のフェローシップ、教育助手手当、研究助手手当、ローン、学部と大学院学生の奨学金等の給付総額。

別表IXについて

授業料：州立大学の授業料は、州内出身の学生と他州出身の学生とでは額がことなる。斜線の左側の数値が大学所在州の、右側が他州出身の学生の授業料である。学期単位の授業料を提示している大学も多かったが、この場合クォーター制の大学は前述のように普通4学期中3学期間出席すればよいので3倍、セメスター制の大学は2倍して年間授業料に換算した数値を示すことにした。アメリカ大学一覽では大学院の授業料を明示してある大学は極めて少なく、表に注として付記するにとどめた。

奨学金：アメリカ大学一覽¹⁰⁾によれば学生に対する援助の形態は、およそ次の3種類に分けることができる。

- ① 給与奨学金 (Scholarship および Grants) スカラシップとグラントは、同一の意味に用いられる場合が多い。スカラシップにはたくさんの種類があり、金額もまちまちである。
- ② 貸与奨学金 (Loans) これは大体において、日本育英会の奨学金と同様なものである。ただし、奨学金には利子がつく。それも年収の少ない家庭の子弟は、連邦が利子を援助してくれる。また、卒業後教職についた者には、勤務年数や勤務の種類による返還免除の恩典が適用される。
- ③ アルバイト賃金、大学の業務のうち学生が行ないうるものについては、パート・タイム制で学生を採用している。たとえば教授の手伝い、図書館の補助職員、管理部の事務員および用務員などである。その他、大学外でのアルバイトも含まれる。

別表Xについて

フェローシップ：H. E. ベントは、フェローやフェローシップを次のように定義している。¹¹⁾

- ① フェローは上級学位の取得をめざすフルタイムの大学院学生であること。
- ② フェローは任命されたものでなく、公開競争により学生に援助された称号であること。
- ③ フェローは学生に対して与えられた贈り物であり、その学生の研究プロジェクトの選択の自由に影響を及ぼさない。
- ④ その学生の義務は学位を取得するために学業を行なうこと。将来大学の職員になることを義務づけたり、職員になることの約束ではない。
- ⑤ 単に授業料をカバーするだけでなく、該当期間中の生計費についても相当の保障となりうるものであること。

フェローシップは多くの学生にとっては、とくに著名な大学から授与される場合、生活の資金となるよりも名誉になることの方が重要であると考えられている。連邦政府が、フェローシップ事業に強い関心を示すようになったのは、国家防衛教育法 (NDEA) 制定 (1958年) 以降のことである。現在では、全米科学財団 (NSF)、国立保健局 (NIH)、国家防衛教育法 (NDEA) などは奨学金のみでなく、フェローの指導に要する研究助成金などが併せて大学に支給されている。この金は使途制限がないため、大学にとって授業料その他の教育・一般費収入とならぶ重要な収入源となり、高価な恒久設備の

購入や教育陣の拡充がこのような助成金によって行なわれることが多くなっている。ウッドロー・ウィルソン事業を例にとると、2000ドルの助成金はフェローシップに向けられるが、500ドルは、その大学が大学院教育の充実にあてることができる。

フェローシップの他にトレイニーシップがある。フェローシップは全国的な競争によって選抜を行なうのに対して、トレイニーシップはその大学で選抜する点が異なるだけで、この両者は一般的に同じようなものである。¹²⁾したがって、別表Xのフェローシップの中にはこのトレイニーシップが含まれていると考えた方がよい。

教育助手、研究助手手当：研究助手手当は、大学教授の研究委託費などから支給をうけ、その教授の研究協力を行なう。かつその研究に対しては大学院の単位が与えられている。この場合、自分の研究課題を選択する完全な自由はない。しかしフェローシップにしても、自分で研究テーマを自由に選べる学生はいないので、実質的な差はないとみられている。教育助手の場合は、教育サービスの義務が課せられている。いずれにしても、これらの制度は「奨学金に等しい雇用」と考えられている。¹¹⁾バークレー校などでは、演習助手 (reader assistant) には一般に手当が出されていないので、教育助手に含まれない。

§ 7 大学財政 (別表 XI, XII) の説明

別表 XI, XII で取り扱う項目：教育・一般費収入の内訳の授業料等収入、一般費政府支出金、基本財産収入、寄付金、助成研究費、特別研究費、助成事業費、事業収入(1)、事業収入(2)、その他、教育・一般費収入の合計額、学生援助収入、補助活動収入、経常費全収入、設備・施設拡充費、経常費全収入に対する授業料等収入の割合、基本財産収入の割合、寄付金の割合、助成研究費、特別研究費および助成事業費の合計の割合、教育・一般費収入の合計の割合、学生援助収入の割合、補助活動収入の割合。

アメリカ大学一覧では、大学財政に関しては各大学における予算収入の各項目 (大学によって項目の立て方が異っている) についてのデータが記載されている。A. S. ノールズ¹³⁾によれば、大学の財源構成は、経常費 (Current Funds)、設備・施設費 (Plant Fund)、基本財産資金 (Endowment Fund)、貸付資金 (Loan Fund) に大別される。この中で経常費収入 (Current Fund Income) は次のように分類されている。

| 教育・一般費収入 | 補助的活動収入 | 学生援助収入 |
|-----------|-------------|------------------------|
| 学生納付金・授業料 | 寄 宿 舎 ・ 食 堂 | 寄 付 金 |
| 投資による収入 | 学 内 書 店 | 基 本 財 産 収 入 |
| 政府支出金・税収入 | 大学対抗運動競技会 | 奨学金、フェローシッ プ等の補助金収入 |
| 寄付金・補助金 | そ の 他 | |

A. S. ノールズの文献において、全歳入 (Total revenue) とあるのは、上述の経常費に関する収入であると考えられる。

別表 XI について

教育・一般費収入 (Educational and general) は、アメリカ大学一覧に掲げている項目をできるだけ手を加えないで取り上げることにした。

授業料等収入：学生納付金と授業料 (Student fees and tuitions) の収入をいう。納付金の中には保健費、実験費、夏季講座申込金等が含まれている。

一般費政府支出金 (Government appropriation for general purposes)：これは一般目的のための連邦政府、州政府、地方自治体からの支出金を意味する。

基本財産収入 (Endowment income)：土地、有価証券、現金等の、大学の資産の投資によって得られた収

入である。このとき投資されるべき大学の資産を基本財産 (Endowment) と呼んでいる。基本財産収入は教育目的に使用されるので、大学固有の教育基金と考えられる。

寄付金 (Gift) : 民間財団, 個人および教会などからの寄付 (gift), 補助金 (grant) を意味している。

助成研究費 (Sponsored research) : これは大学の研究者が一般に知的価値追求のために提案した研究に対する政府助成金を助成研究費という。これは政府機関の特定の必要にもとづく研究計画を大学に委託契約 (contract) し, 支出する研究委託費 (contract research) とは区別されている。委託契約研究の場合は研究上の直接費の他に一般事務会計費, 図書館費, 土地建物の管理費などのいわゆる間接費 (経常費ともいう) を政府が分担するのが慣例であった。本大学別基本資料では, 研究委託費を一般費政府支出金や寄付金の中に報告している例があるのはこのあたりの事情を反映しているのかも知れない。委託契約研究に比べ法的拘束性の乏しい助成研究は, 議会の支持もあってその比重は大きくなった。そのことが大学の経常費を圧迫し, 1950年代後半以降政府は助成研究に対しても間接費の分担を行なうことになった。¹⁴⁾

特別研究費 (Separately budgeted research) : これの内容については明らかにすることはできなかったが, プロジェクト研究など特別に予算を計上して行なう研究のことであろう。第3章 § 2.10 で特別研究費の専門分野による配分額の差などが述べられている。

助成事業費 (Sponsored program) : これは大学が企画した教育, 研究, 奉仕などに関する計画に対する連邦・州等からの各種助成金を意味しているものであろう。

機関研究費 (Organized research) : これは別表 XI の注に現われているので一応説明しておく。この計画は1960年以降全米科学財団, 国立保健局が実施はじめたものである。これは, 研究委託費, 助成研究費などが個々の研究計画に限定されていたのに対し, 研究機関の活動を強化・安定を保つために弾力的支出が可能なるものである。¹⁴⁾

事業収入(1) : 教育的事業 (Sales and services of educational departments) による収入である。

事業収入(2) : 組織的事業 (Organized activities relating to educational department) による収入である。

施設拡充費 (Net addition to plant) : これは大学の教育・研究施設などの1966—67年度増設分に対する資金を意味している。

参 考 文 献

- 1) A. M. Carter, 「An assessment of quality in graduate education, 1966」
- 2) American Council on Education, 「American Universities and Colleges, 10th ed, 1968」
- 3) U. S. Office of Education, 「Education Directory. Part 3, Higher Education」
- 4) 2) の pp. xxii — xxiv
- 5) 沢田徹編著「主要国の高等教育—現状と改革の方向」(1970, 第一法規) pp. 34—38
- 6) Barnes, Noble, 「College Entrance Examinations, New York 1965」
- 7) College Entrance Examination Board, 「Bulletin of Information 1971・1972, West-Southwest-
Foreign Edition」
- 8) 大泉孝, 松坂佐一等編「IDE 調査研究報告第5集 海外大学教育総合調査団報告書 1964」 pp. 113—114
- 9) カリフォルニア大学教育特別委員会 (新堀通也監訳), 「パークレーの大学改革」—マスカティン・レポート— (1970, 東京大学出版会)
- 10) 2) の pp. 16—17

- 11) E. ウォルターズ編 (木田宏監訳)、「これからの大学院」(1969, 東京大学出版会) pp. 173-201
- 12) National Scientific Foundation, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education. Fall 1969」 Technical Note p. 28
- 13) A. S. Knowles, 「Handbook of college and university administration, General, 1970」 section 8.
- 14) S. T. デュプレ, S. A. レイコフ (中山茂訳) 「科学と国家」(1965, 東海大学出版会) pp. 62-70

第3章 アメリカ主要大学の基本資料に関する分析・考察

§1 調査対象大学の分類・分布

1.1 州別分布

1966-67年度における ph. D. およびそれと同程度の学位取得のための教育課程をもつ 235 校のうち、われわれが調査対象に選んだ 127 校の州別大学数を第13表に示す。

第13表 州別 調査対象大学数 * (別表 I 参照)

| 州名 | 公立 | 私立 | 計 | 州名 | 公立 | 私立 | 計 | 州名 | 公立 | 私立 | 計 |
|---------|----|----|----|-----------|----|----|----|-----------|----|----|-----|
| アラバマ | 2 | 0 | 2 | ケンタッキー | 1 | 0 | 1 | ノースダコタ | 1 | 0 | 1 |
| アラスカ | 0 | 0 | 0 | ルイジアナ | 1 | 1 | 2 | オハイオ | 3 | 1 | 4 |
| アリゾナ | 2 | 0 | 2 | メイン | 0 | 0 | 0 | オクラホマ | 2 | 0 | 2 |
| アーカンサス | 1 | 0 | 1 | メリーランド | 1 | 1 | 2 | オレゴン | 2 | 0 | 2 |
| カリフォルニア | 6 | 4 | 10 | マサチューセッツ | 1 | 6 | 7 | ペンシルバニア | 3 | 4 | 7 |
| コロラド | 3 | 1 | 4 | ミシガン | 3 | 0 | 3 | ロードアイランド | 0 | 1 | 1 |
| コネチカット | 1 | 1 | 2 | ミネソタ | 1 | 0 | 1 | サウスカロライナ | 1 | 0 | 1 |
| デラウェア | 1 | 0 | 1 | ミシシッピ | 2 | 0 | 2 | サウスダコタ | 1 | 0 | 1 |
| コロンビア | 0 | 4 | 4 | ミズリー | 1 | 2 | 3 | テネシー | 1 | 2 | 3 |
| フロリダ | 2 | 1 | 3 | モンタナ | 1 | 0 | 1 | テキサス | 4 | 2 | 6 |
| ジョージア | 2 | 1 | 3 | ネブラスカ | 1 | 0 | 1 | ユタ | 2 | 0 | 2 |
| ハワイ | 1 | 0 | 1 | ネバダ | 0 | 0 | 0 | バーモント | 0 | 0 | 0 |
| アイダホ | 0 | 0 | 0 | ニューハンプシャー | 1 | 0 | 1 | バージニア | 2 | 0 | 2 |
| イリノイ | 2 | 4 | 6 | ニュージャージー | 1 | 1 | 2 | ワシントン | 2 | 0 | 2 |
| インディアナ | 2 | 1 | 3 | ニューメキシコ | 1 | 0 | 1 | ウエストバージニア | 1 | 0 | 1 |
| アイオワ | 2 | 0 | 2 | ニューヨーク | 1 | 12 | 13 | ウィスコンシン | 1 | 0 | 1 |
| カンサス | 2 | 0 | 2 | ノースカロライナ | 2 | 1 | 3 | ウィオミング | 1 | 0 | 1 |
| | | | | | | | | 合計 | 74 | 51 | 126 |

* ロックフェラー大学はこの中には含まれていない。

アメリカ独立当時の13州には歴史的に古い有名な大学が多い。この13州には調査対象校が39校あり、この1/3の13校が公立(州立)大学、残りの2/3が私立大学である。調査対象校全体から見た時、この13州は公立大学に比べて私立大学の勢力が強いことがわかる。

1.2 類型・設置者による分類

第2章 §1.2 で説明された類型にしたがって、調査対象校 126 校(以後特にことわらない限り、126 校というのは 127 校よりロックフェラー大学を除いたものをいう)、と大学院(博士)課程をもつ大学で今回の調査から除外された大学を分類し、第14表にまとめた。

今回の調査対象校の約8割はK型であることがわかる。調査から除外された大学の中には、調査対象校に比べて、GおよびJ型が多い。またK型大学は第1章のユニバーシティの定義に相当する。したがって全米ユニバーシティの約6割の大学が今回の対象校に選ばれたことになる。

第14表 博士課程をもつ大学の類型による分類(1967年)(別表 I 参照)

| 類型 | 大学数 I | 大学数 II |
|----|-------|--------|
| B | 0 | 1 |
| E | 4 | 5 |
| F | 1 | 1 |
| G | 4 | 17 |
| H | 2 | 6 |
| I | 1 | 2 |
| J | 5 | 13 |
| K | 109 | 48 |
| 合計 | 126 | 103 |

注 大学数 I は調査対象となった大学で、ロックフェラー大学を除いた 126 校に関する数。大学数 II は大学院課程をもつ大学で今回の調査の対象から除外された大学に関する数。

次に、調査対象校と非対象校の設置者による分類を第15表に示した。

第15表 博士課程をもつ大学の設置者別分類 (別表 I 参照)

| 設置者 | | 大学数 I | 大学数 III |
|-----|-----------|-------|---------|
| 公立 | 州立 | 74 | 33 * |
| | 市立 | 1 | 4 ** |
| 私立 | 非宗派 | 38 | 36 |
| | プロテスタント | 5 | 17 |
| | ローマ・カソリック | 7 | 12 |
| | その他 | 1 | 7 |
| 合計 | | 126 | 109 |

* 連邦立を含む ** 地方自治体立を含む

注 大学数 III は第 1 章第 4 表の Ph. D. および同程度の課程をもつ 235 大学から調査対象校 126 校を除外した大学に関する数。

調査対象大学の中では公立校が私立校に比べて約 5 割多いが、非調査対象校では公立校は私立校の約半数であることがわかる。このことは、今回の調査対象の基準が大学院課程に重点をおいた大学にあることを考慮すれば、次のことが言えるであろう。つまり私立校の半数以上は、公立校に比べて大学院課程に重点をおいていないということである。この原因を追究することは重要な意味をもつものと思われる。前述の「重点をおいていない」という文言は「重点をおくことができない」とすべきかもしれない。

1.3 設置年代別分布

126 大学の設置年代と大学数との関係をまとめて、第16表に示した。

第16表 126 大学*の設置年代別分布 (別表 I 参照)

| 時代区分 | 現在の設置者 | 大学数 | 代表例 |
|-----------------------------|--------|-----|---|
| 1636—1776 植民地時代 | 私立 | 6 | ハーバード、エール、プリンストン、コロンビアなど |
| | 州立 | 2 | デラウェア、ラドガース |
| 1777—1862 アメリカの独立以降 | 私立 | 20 | ボストン、ケース、デューク、M. I. T.、ニューヨーク、ノートルダム、ロチェスターなど |
| | 州立 | 31 | パークレイ、インディアナ、ミシガン、ミネソタ、ピッツバーグ、バージニア、ウィスコンシンなど |
| | 市立 | 1 | シンシナティー |
| 1863—1900 南北戦争以降(第1次モリル法以後) | 私立 | 21 | カリフォルニア工科大学、カーネギー、シカゴ、コーネル、ジョンズ・ホプキンス、スタンフォード、パーダービルトなど |
| | 州立 | 34 | ロスアンゼルス、イリノイ、パーデュー、テキサスなど |
| 1901—現在 20世紀 | 私立 | 4 | ブランデーズ、クレアモント、マイアミ、ニュースクール |
| | 州立 | 7 | デービス、ハワイ、ヒューストン、州立ウェインなど |

* ロックフェラー大学はデータがないので除外してある。

植民地時代に創設された、ウィリアム・メリーとダートマスの2校は大学院課程の規模が小さく、1966—67年の博士号取得者数は数名程度なので今回の調査からは除外されている。植民地時代に創設されたデラウェア、ラトガースは現在は州立大学であるが、デラウェアは当時、長老教会会議として設置され、1921年、現在の名称に変更された。ラトガースは当時、勅許状によってクインズ・カレッジとして設立され、1864年、国有地賦与大学に指定され、1956年、現在の名称に改められた。

現在、大学院（博士）課程をもつ主要大学の9割以上は、19世紀末までに現在の名称の大学またはその前身校が設置されていたといえる。またアメリカ独立以後南北戦争の時期までと、第1次モリル法以降19世紀末までの時期には、これら主要大学は私立校も州立校もほぼ同数ずつ誕生していることは興味深い現象である。

19世紀後半、ドイツ大学の影響のもと、ジョンズ・ホプキンス大学をはじめ多くの大学が大学院課程を設置し、それを充実していったことは第1章§1に述べられている通りである。

大学院を最初に開設したジョンズ・ホプキンス大学が博士号を授与した最初の年は1878年であった。これより早い時期に博士号授与を行っていた大学とその年次を上げておく。1861年にエール、1866年にニューヨーク、1871年ペンシルバニア、1872年コーネル、1873年にハーバートとシラキュース、1875年コロンビアとジョージタウン、1876年ミシガン、1877年ボストンの10大学である。

州立大学ミシガンを除く他の9校は、すべて私立校であり、かつての13州に設置されたものである。

1.4 学年暦による分類

調査対象校を学年暦で分類した結果を第17表に示す。

第17表 125大学*の学年暦による分類（別表I参照）

| 設置者 | セメスター制 | クォーター制 | トライメスター制 | 合計 |
|-----|--------|--------|----------|------|
| 公立 | 43校 | 29校 | 2校 | 74校 |
| 私立 | 46 | 5 | 0 | 51 |
| 計 | 89校 | 34校 | 2校 | 125校 |

* 調査対象127校のうち、ロックフェラー、ペンシルバニア州立の2校はデータがないために除外されている。

調査対象となった大学について言えば、公立校の約4割、私立校の約1割がクォーター制を採用していることになる。クォーター制は、「大学生の急増に対して、大学の施設・設備の拡充および教員の増員対策が需要に追いつかない現状に対処するため、既存の施設や教員を最大限に活用するという経済的な観点からの措置である¹⁾」と見れば、私立校に比べて、公立校は学生数の急増現象の影響をより強く受けていることを意味しているようである。日本について言えば、学生数の急増に対して、国立・公立大学よりむしろ私立大学の方が即応しているという逆な傾向がみられる²⁾。このことは、後に考察を加えるようにアメリカの主要私立大学と比較して、日本の私立大学は財政的基盤が弱体であることに関連しているのではあるまいか。本質的には、財政的基盤の弱い所でより多くの学生の教育をしよう・させようとするその「教育観」や「大学観」そのものが問題なのかもしれない。

§2 学生の構成・構造ならびにそれと大学との関係

2.1 自州の大学に在籍する学生の割合

別表VIから明らかなように、公立大学では私立大学に比して、大学所在州の州民の子弟学生が多い。1968年の全国大学について、自州（home state）の大学に通う学生数の調査結果³⁾によれば、公立校では全学生の90%、私立校ではその65%は自州の大学に行っている。男子学生の82%、女子学生の85%、学部課程の学生の

84%、大学院課程の学生の77%は自州の大学に通っている。

1966年秋の新入生または学部学生の中で大学所在州の出身学生の占める比率が20%未満の大学とその比率を以下に示しておこう。アメリカン(4%)、コロンビア・ティチャーズ・カレッジ(6%、学部生)、M. I. T(9%)、エール(9%、学部生)、ノートルダム(10%)、ブラウン(12%、学部生)、プリンストン(14%)、デンバア(16%)、プリン・マー(17%)、デューク(18%)の10大学である。これらはすべて私立大学である。

文献B³⁾によれば、学部課程・大学院課程の学生中、自州の大学に通う比率が85%を越える州は12州ある。カリフォルニア(93%)、テキサス(90%)を筆頭に、ルイジアナ、ニュージャージー、ニューヨークの3州が88%、ミシガン、ミシシッピ2州が87%、イリノイが86%、アラバマ、アーカンサス、モンタナ、ワシントンの4州が85%である。次にこの比率の低い、例えば60%未満の州は、コロンビア地区(23%)、バーモント(40%)、ニューハンプシャー(47%)、デラウェア(59%)の4州がある。自州の大学に通う比率には、州の財源の豊かさ、州の教育政策が反映していると予想されるが、その州立大学が全国的にも優秀であると折紙づけられている場合には、他州出身学生の増加が予想され、この比率は低下する傾向がそれに重なって現われるようである。90%以上の比率を示しているカリフォルニア大学各キャンパス中、バークレイ校の値が最低であることはこの事情を物語っているものと思われる。

2.2 パート・タイム学生

1963年の統計によれば、学部課程のフル・タイム学生とパート・タイム学生の比は3:1である。³⁾ 1969年の統計によれば、大学院課程のフル・タイム、パート・タイム学生の比率も大体3:1である。⁴⁾

大学院学生の場合には、専門分野によってフル・タイム、パート・タイム学生の比率は大きな違いがある。第18表⁴⁾に各専門分野別のフル・タイム、パート・タイム大学院学生数を示した。

第18表 専門分野別 フル・タイム、パート・タイム 大学院学生数 — 1969年—

| 専門分野 | 全学生数 | フル・タイム | | パート・タイム | |
|----------|---------|---------|-------|---------|-------|
| | | 学生数 | 比率 | 学生数 | 比率 |
| 工 学 | 52,567 | 30,820 | 58.6% | 21,747 | 41.4% |
| 物 理 学 | 34,696 | 30,175 | 87.0 | 4,521 | 13.0 |
| 数 学 | 15,417 | 11,727 | 76.1 | 3,690 | 23.9 |
| ライフサイエンス | 30,810 | 25,588 | 89.5 | 3,222 | 10.5 |
| 心 理 学 | 13,763 | 11,918 | 86.6 | 1,845 | 13.4 |
| 社 会 学 | 37,592 | 28,971 | 77.1 | 8,621 | 22.9 |
| 全 分 野 | 184,845 | 141,199 | 76.4% | 43,646 | 23.6% |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」 p.39

今回の調査対象校の中で、プリン・マー、カリフォルニア工科、エモリー、ハーバード、ニュー・スクール、ノートルダム、プリンストン、エールの私立大学の学部課程ではパート・タイム学生の教育は行っていない。しかしこれらの大学も、大学院課程においてはパート・タイム学生を受け入れている。

2.3 共学制でない大学

第1章§1で述べられているように、19世紀半ば以後、州立大学は共学制を積極的に推し進め、今日ではほとんどすべてが共学制をとっている。しかし、今回の調査対象の私立大学の中には、学部課程においてカリフ

ォルニア工科, ハーバード, ジョーンズ・ホプキンス(夜間大学は除く), リーハイ, ノートルダム, プリンストン, エールは男子学生のみを, ブリンマーは女子学生のための教育を行なっていることは別表Ⅲより明らかである。また基本文献⁵⁾によれば, 1966年秋現在では, ブラウン, ケース・ウエスタンリザーブ, コロンビア, デューク, ジョージタウン, ペンシルバニア, ラトガース, セント・ジョンズ, テューラン, タフツ, バージニア, ヤシェバなどの大学はその中に男子学生のためのカレッジと, 女子学生のためのカレッジを有している。しかしながら, 興味あることに, これらの大学の専門職業学部と大学院課程ではほとんど例外なく共学制をとっている。その他, 原則として共学制をとっていても, ブルックリン工科(1.8%が女子学生), ジョージア工科(1.1%), レンセラー工科(2%)など工科大学の中には女子学生の極めて少い大学もある。

2.4 学生数の多い大学

1966年度のアメリカ合衆国人口中, 18-21才の者の45.7%が学位取得のため高等教育機関に在学している。⁶⁾ 学生数と大学の類型・設置者(公立・私立)との関係を示す1969年の調査結果⁷⁾を第19表に示すことにする。ユニバシティ(総合大学と訳した)についていえば, 公立校の平均学生数2.3万人に対して, 私立校のそれは1.7万人である。公立校の約1/4が3万以上の学生数を擁しているのに対し, 私立の場合は僅か2校がこの巨大な学生数の教育を行なっているに過ぎない。

その他の4年制大学についても公立校は平均5.5千人の学生を有しているのに対し, 私立校は平均約千人の学生を有しているに過ぎない。

第19表 類型別, 設置者別, 在籍学生数別高等機関数 — 1969年秋— (学生数 単位千人)

| 在籍学生数 | 総合大学 | | | | その他4年制大学 | | | |
|-----------------|------|---------|-----|-------|----------|---------|-------|---------|
| | 公立 | | 私立 | | 公立 | | 私立 | |
| | 大学数 | 学生数 | 大学数 | 学生数 | 大学数 | 学生数 | 大学数 | 学生数 |
| 200 未 満 | — | — | — | — | 3 | 0.2 | 180 | 19.8 |
| 200 — 499 | — | — | — | — | 6 | 1.9 | 198 | 69.3 |
| 500 — 999 | — | — | — | — | 24 | 17.8 | 355 | 262.5 |
| 1,000 — 2,499 | — | — | 2 | 4.1 | 76 | 134.3 | 316 | 477.3 |
| 2,500 — 4,999 | 1 | 4.9 | 9 | 37.2 | 84 | 310.8 | 79 | 264.7 |
| 5,000 — 9,999 | 19 | 148.4 | 31 | 238.7 | 94 | 679.1 | 18 | 129.4 |
| 10,000 — 19,999 | 32 | 496.9 | 15 | 213.1 | 34 | 428.9 | 2 | 32.3 |
| 20,000 — 29,999 | 19 | 453.6 | 6 | 134.3 | 10 | 234.3 | — | — |
| 30,000 以上 | 23 | 1,078.1 | 2 | 70.6 | 1 | 32.4 | — | — |
| 合 計 | 94 | 2,181.9 | 65 | 698.0 | 332 | 1,839.5 | 1,148 | 1,255.3 |

出典: Office of Education, 「Digest of Educational Statistics 1970 ed.」 p. 85

調査対象校から, 在籍全学生数3万人以上, また大学院学生数9千人以上の大学のデータをまとめて第20表に示す。

今回の調査では原則として, 複数キャンパスをもつ大学では, それぞれのキャンパスまたはメイン・キャンパスの学生数が記録され, それに基づいて別表I, IIIは作成されている。参考までに, 1969年秋の全キャンパスの学生数に基づいた学生数の最多10大学と在籍学生数を上げておく: カリフォルニア(14.2万人), ミネソタ(7.0万人), ウィスコンシン(6.8万人), インディアナ(5.4万人), イリノイ(5.4万人), ペンシルバニア州立(5.2万人), オハイオ州立(4.9万人), メリーランド(4.8万人), ミズーリ(4.7万人), ミシガン州立(4.4万人)である。

第20表 在籍全学生数3万人以上の大学と在籍大学院学生数9千人以上の大学の学生数 — 1966年秋 — (別表I, III 参照)

| 大 学 名 | | | 大 学 名 | | |
|-------|-----------|--------|-------|--------------|--------|
| | 全学生数* | | | 大学院学生数* | |
| 1 | インディアナ | 44,651 | 1 | ニューヨーク | 20,482 |
| 2 | ミシガン州立 | 41,474 | 2 | ミシガン | 13,149 |
| 3 | オハイオ州立 | 41,207 | 3 | インディアナ | 12,705 |
| 4 | ミネソタ | 38,245 | 4 | バークレイ | 10,101 |
| 5 | メリーランド | 35,687 | 5 | ミシガン州立 | 10,025 |
| 6 | ミシガン | 33,062 | 6 | オハイオ州立 | 9,382 |
| 7 | ペンシルバニア州立 | 32,234 | 7 | コロンビア | 9,272 |
| 8 | ニューヨーク | 32,077 | 8 | ウィスコンシン | 9,235 |
| 9 | テンプル | 31,253 | 9 | サウザン・カリフォルニア | 9,071 |
| 10 | ウィスコンシン | 31,120 | 10 | ハーバード | 9,059 |
| 11 | 州立ウェイン | 30,832 | | | |
| 12 | パァデュー | 30,269 | | | |

* パート・タイム学生も含む。

第1章第2表からも明らかなように、アメリカの大学院学生人口は多い。また学部学生の8人に1人は大学院に進む計算になる。日本では学部学生と大学院学生の比は100:3である。⁸⁾ アメリカでは学生数から見て、大学院課程の方が学部課程より規模の大きい大学も少くない。第21表は大学院学生数が学部学生数より大きい大学をまとめたものである。

大学院課程のみを有するクレアモント、コロンビア・ティチャーズ・カレッジの2校は第21表には含めていない。

第21表 学部学生より大学院学生の多い大学とその比率 — 1966年秋 — (別表I, III 参照)

| 大 学 名 | 大学院学生数/学部学生数 | 大学院学生数 |
|----------------|--------------|--------|
| 1 ニュー・スクール* | 15.66 | 1,535 |
| 2 シカゴ | 2.25 | 5,614 |
| 3 ハーバード | 1.87 | 9,059 |
| 4 ニューヨーク | 1.77 | 20,482 |
| 5 アメリカ・カソリック | 1.55 | 4,119 |
| 6 サウザン・カリフォルニア | 1.22 | 9,071 |
| 7 コロンビア | 1.14 | 9,272 |
| 8 スタンフォード | 1.11 | 6,520 |
| 9 カリフォルニア工科 | 1.09 | 778 |
| 10 ブルックリン工科 | 1.074 | 2,646 |
| 11 エール | 1.069 | 8,454 |

* 学部課程は上級段階 (upper division) の2年間の教育のみを実施している。

2.5 教員当学部学生相当数

別表IVには、学部学生相当数 (学部全学生数に大学院全学生数を3倍して加えた数) を全教員数で割った値が記録されている。

第1図は、学部学生相当数に対して教員当学部学生相当数をプロットしたものである。

教員当学部学生相当数が14未満の大学の中に私立が26校、公立が4校ある。今回調査対象となった私立大学51校中約半数がこの中に含まれている。これら多くの私立校は公立校に比べ、教員1人当りの相当学生数が少ないことを意味する。衆知のごとく、日本においては、公・私立大学のこの関係は逆転している。例えば、法政大学尾形ゼミの調査では私立大学の場合：早稲田50.3人、慶応30.3人、明治76.3人、法政95.0人、中央76.1人、日大61.6人、東京経済114.6人等の数値が報告されている。⁹⁾また、昭和44年度文部省の基本調査によれば、本務教員当り学生数は国立大学8.3人、私立大学30.3人である。¹⁰⁾

ここで第4章第46表に示されている大学、すなわちいずれかの専門分野で平均点3.5以上の評価を受けている大学を「Aグループ」の大学と定義することにする。Aグループの私立大学は学部学生相当数は3,000から37,000の広範囲にひろがっているが、教員当学部学生数は17未満と比較的低く、狭い範囲に入っている。一方、Aグループの公立(すべて州立)大学は、すべて学部学生相当数は4万人以上であり、教員当学部学生相当数は18~38という高い値を示している。しかし、パークレイなどは教員数は準教授以上を意味するので他大学に比べて教員数は少な目に計算されている。したがって、パークレイの値は実際はもう少し低くなる。このような多少の修正は必要だとしても、「優秀」とされる大学においては、明らかに、私立大学は学生数に対する教員数という点では公立大学よりも恵まれているといえる。学部学生相当数が4万人以上の13大学のうち、8校がAグループの州立大学である。「優秀」とされる州立大学は一般に学生数規模が大きくなっているといえよう。

前述のように、日本では(1969年度)、国立大学8.3人に対し、私立大学30.3人である。この数値をアメリカの場合のそれと比較するときには、少くとも次の点を考慮しなければならない。アメリカの場合の教員数は専任講師以上である。非常勤講師、研究・教育助手、ポストドクトラル・フェロー、研究員(リサーチ・アソシエート)等、大学の研究・教育にとって不可欠の若手スタッフは含まれていない。日本の場合は助手以上の本務者を教員数に計上している。またアメリカでは、教員、学生ともにパート・タイムの者が考慮されている。後掲第29・39表に見られるように、アメリカでは教員数の約3倍の大学院学生(フルタイム)の約75%はフェロー、研究・教育助手として活躍しており、実質的には日本の助手に近い役割をも果していることを考慮すれば、アメリカの教員当学部学生相当数は1/3程度低目に見て比較すればよいように思われる。厳密にはアメリカと日本とは大学院学生の全学生数中の比率が異なっている点、教育・研究補助者数(技官、教務員、補助員など)の配慮をどうするかも検討した上で比較することが必要であろう。

2.6 大学院進学率の高い大学

学士号取得後、大学院への進学が予想される学生の比率は大学院進学率として、別表Ⅵに示されている。この数値が75%以上の大学とその進学率を第22表に示す。

第22表 大学院進学率(予想)が75%以上の大学 — 1966年秋 —

| | 大 学 名 | 大学院進学率 |
|----|--|--------|
| 1 | シカゴ, コロンビア | 85 % |
| 3 | カリフォルニア工科 | 82 |
| 4 | テネシー* | 81 |
| 5 | コーネル, M. I. T | 80 |
| 9 | スタンフォード, エール デューク | 79 |
| 10 | ジョンズ・ホプキンス | 75—80 |
| 11 | アリゾナ州立,* ブランデー ジョージ・ピボディ ハーバード, プリンストン | 75 |

*は州立大学

大学院進学率については、バークレイ、ミシガン、ミネソタ、ウイソコンシン等、有力州立大学のデータが欠けているので、州立校と私立校との比較はしにくい。テネシー（81%）やアリゾナ（75%）といった州立大学の中でも高い進学率を示すものがあることからすれば、前記の有力州立大学の大学院進学率もかなり高率であると予想される。

第22表に示された私立13校のうちブランデーズ、ジョージ・ピボディの2校を除く11校は「Aグループ」大学である。この11校中、カリフォルニア工科、シカゴ、コロンビア、ハーバード、スタンフォード、エールの6校は、第21表にもリストされているように、学部比べて大学院の学生数の多い大学である。

2.7 新入生の成績

学部課程の新入生の高校での成績がクラス順位で上位10%以内の者がその大学の新生の80%以上を占める大学名とその比率を第23表に示した。また、適性検査の言語検査、数的検査の成績が700点（最高点は800）以上の新生が全体の30%または40%以上を占めている大学名とその比率も併せて第23表に示した。

第23表 「成績の良い」新入生の占める割合の高い大学と新入生の成績 — 1966—67年— (別表V参照)

| 大学名 | 高校のクラス順位で上位10%以内の者の占める割合 | 大学名 | 言語検査で700点以上の者の占める割合 | 大学名 | 数的検査で700点以上の者の占める割合 |
|--------------|--------------------------|--------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 1. M. I. T. | 94% | 1. ブリンマー | 49% | 1. M. I. T. | 94% |
| 2. ブラウン | 92 | 2. M. I. T. | 47 | 1. カリフォルニア工科 | 94 |
| 3. エール | 90 | 3. エール | 43 | 3. ライス | 59 |
| 4. カリフォルニア工科 | 89 | 4. カリフォルニア工科 | 42 | 4. エール | 54 |
| 5. ライス | 86 | 5. ハーバード | 40 | 5. ケース・ウエスタン・リザーブ | 52 |
| 6. ブリン・マー | 83 | 6. ライス | 37 | 6. プリンストン | 48 |
| 7. シカゴ | 82 | 7. コロンビア | 34 | 7. ハーバード | 45 |
| 8. スタンフォード | 81 | | | 8. レンセラー工科 | 44 |
| | | | | 9. リーハイ | 40 |

第23表にリストされた大学はすべて、私立校である。州立大学の場合は高校における成績が一定の水準にあれば、入学資格を与えているところが少ない。例えば、アリゾナ大学では州民の子弟は高校での成績が上位75%以内にあれば入学可能である。バークレイ校では、カリフォルニア州民の子弟は高校の成績が3.0（4.0満点）以上あれば入学資格ありとしている。¹¹⁾ またこの入学資格は州民の子弟の場合に比べて他州出身者に対しては、いくらか厳しくしてある。

ここでリストに上った私立大学などは多くは大学院進学率の高い大学であり、州立校に比べて学生数も少ないことを見れば、州立大学のように多くの州民の子弟に高等教育を提供するという方針はとらず、「成績のよい」高校生の入学を期待し、いわゆる「エリート教育」を実施しているように思われる。

2.8 入学率・転入学生の割合

§2.7 に論じたことから予想されるように、州立大学では志願者の多くに入学許可を与えている。別表VIから明らかのように、カリフォルニア大学の各キャンパス、インディアナ、ミネソタ、オハイオ州立など有名校でも志願者の90%以上が入学できていることは注目すべきである。これに対して名門私立校の門は狭い。入学率が低い大学としては、ブラウン（13%）、エール（17%）があり、20%台の大学としてはブランデーズ、カリフォルニア工科、ハーバード、プリンストン、スタンフォード、タフツがある。

入学率の低いこれらの私立校の中には、「成績の良い」新入生の占める比率の高い大学としてリストされているものも少ない。

日本の大学の入学競争率（入学率の逆数）が国立大学 6.7 倍、私立大学 5.7 倍（昭和44年¹²⁾ という感覚からすれば、シカゴ（54%）、コロンビア（40%）、コーネル（37%）、M.I.T.（39%）など名門私立校の門は必ずしも狭いようには思えない。しかし入学率とか入学競争率といった「志願者の質」を含まぬ量からだけではその大学の門が狭いのかどうか、ましてやその大学が優秀校であるかの決め手にならないことはいうまでもない。

次に、3・4年生中の転入学生の占める割合について述べる。第2章 §4 の転入率についての説明から明らかのように、州立大学には短期大学の移行課程（transfer program）を終えた学生の転入学を認めているものが少なくない。転入学生の占める割合が30%以上の大学のデータを第24表に示す。

カリフォルニア、フロリダ、テキサスのように、短期大学の拡大・充実に積極的な州の大学が、転入学生の比率

が高いという結果が現われている。私立大学の中にも、転入率の高い大学があるが、これらの大学は財政的には、他の私立校に比べて州または地方自治体からの資金への依存度が大きいことが予想される。

一般に有名な私立校はブラウン（1%以下）、カーネギー・メロン（1%）、コロンビア（4%）、ハーバード（1%以下）、M.I.T.（1%）、ペンシルバニア（2%）、プリンストン（1%）、エール（2%）であり、公立校に比べると転入学生の比率は低い。

2.9 博士号取得者の多い大学

第4章に紹介した A.M.カーター報告では、第2次大戦までは博士号取得者は少数の大きな大学に集中していたが、大学院の発展とともに、少数大学によるこの独占的傾向は弱まってきていることが指摘されている。このことは、次に示す1967年の博士号取得者数に対する大学数の分布（第25表）からも明らかである。

第25表 1967年における博士号取得者数に対する大学数の分布（別表Ⅶ参照）

| 博士号授与者数 | 大学数* | 大学名（代表例） |
|---------|------|---|
| 799～700 | 1 | バークレイ |
| 699～600 | 1 | ウイスコンシン |
| 599～500 | 4 | イリノイ、コロンビア、ハーバード、ミネソタ |
| 499～400 | 5 | ミシガン、ミシガン州立、ニューヨーク オハイオ州立、スタンフォード |
| 399～300 | 6 | ロスアンゼルス、コーネル、インディアナ M.I.T.、パァデュー、テキサス |
| 299～200 | 11 | アイオワ、メリーランド、ペンシルバニア、 プリンストン、エール |
| 199～100 | 35 | ボストン、バツファロー、デービス カリフォルニア工科大学、デューク、ジョンズ・ホプキンス |
| 99～25 | 60 | アラバマ、ブラウン、エモリー、ライス、タフツ |

* 調査対象校のうちロックフェラー、および博士号授与者が25人未満のプリン・マー、クラーク、ノース・ダコタの4大学は除かれている。

第24表 3・4年生中、転入学生の占める割合が30%以上の大学 — 1966—67年—（別表Ⅵ参照）

| | 大学名 | 転入学生の占める割合 |
|----|------------------------------------|------------|
| 1 | リバーサイド | 90% |
| 2 | バークレイ、ミシシッピー州立 ニューヨーク*、テキサス A&M | 50 |
| 6 | マイアミ* | 48 |
| 7 | ユタ州立 | 46 |
| 8 | サンディエゴ | 32 |
| 9 | オーバン | 31 |
| 10 | ボストン*、ワシントン州立 | 30 |

*は私立大学

次に専門分野別の博士号取得者数の上位20大学のデータを第26表にまとめた。

第26表 専門分野別博士号取得者数の上位20大学 — 1957—66年 10年間— (別表Ⅷ 参照)

| | 人 文 | | 生 物 科 学 | | 物 理 科 学 | | 社 会 科 学 | |
|----|----------------------|-----|-----------------------|-------|-------------------------|-------|---------------------------|-------|
| | 大学名 | 博士数 | 大学名 | 博士数 | 大学名 | 博士数 | 大学名 | 博士数 |
| 1 | コロンビア ⁺ | 998 | ウイスコンシン* ⁺ | 1,421 | M. I. T. * ⁺ | 2,128 | コロンビア* ⁺ | 3,041 |
| 2 | エール* ⁺ | 830 | パァデュー ⁺ | 1,102 | イリノイ * ⁺ | 1,872 | ハーバード* ⁺ | 1,591 |
| 3 | ハーバード ⁺ | 813 | ミネソタ* ⁺ | 1,093 | パークレイ * ⁺ | 1,425 | ニューヨーク * | 1,567 |
| 4 | ミシガン ⁺ | 563 | イリノイ ⁺ | 960 | スタンフォード* ⁺ | 1,248 | インディアナ* ⁺ | 1,504 |
| 5 | ウイスコンシン ⁺ | 525 | コーネル * ⁺ | 891 | ミシガン* ⁺ | 1,175 | ウイスコンシン ⁺ | 1,091 |
| 6 | ノース・ウエスタン | 456 | オハイオ州立 | 859 | パァデュー* ⁺ | 1,145 | シカゴ* ⁺ | 1,077 |
| 7 | ニューヨーク | 420 | ミシガン州立 | 778 | ウイスコンシン ⁺ | 1,112 | オハイオ州立* | 940 |
| 8 | インディアナ ⁺ | 419 | ミシガン ⁺ | 744 | コロンビア ⁺ | 1,074 | イリノイ ⁺ | 938 |
| 9 | アイオワ州立 | 396 | パークレイ ⁺ | 707 | ハーバード ⁺ | 981 | サウザン・カリフォルニア [*] | 875 |
| 10 | イリノイ ⁺ | 384 | ニューヨーク | 556 | オハイオ州立 | 869 | ミシガン ⁺ | 872 |
| 11 | シカゴ ⁺ | 370 | ラトガース* | 551 | アイオワ州立* | 822 | パークレイ ⁺ | 842 |
| 12 | アメリカン・カソリック* | 367 | コロンビア ⁺ | 550 | プリンストン* ⁺ | 783 | ミシガン州立* | 837 |
| 13 | サウザン・カリフォルニア | 333 | アイオワ州立 | 516 | テキサス* | 732 | スタンフォード ⁺ | 791 |
| 14 | ペンシルバニア ⁺ | 311 | ハーバード ⁺ | 452 | カリフォルニア工科* ⁺ | 719 | ミネソタ ⁺ | 788 |
| 15 | オハイオ州立 | 292 | ペンシルバニア州立 | 411 | ミネソタ ⁺ | 717 | ペンシルバニア* | 657 |
| 16 | スタンフォード ⁺ | 261 | シカゴ ⁺ | 409 | ニューヨーク | 676 | テキサス | 634 |
| 17 | プリンストン ⁺ | 260 | ロス・アンゼルス ⁺ | 406 | ペンシルバニア州立* | 676 | アイオワ* | 587 |
| 18 | ロチェスター | 248 | アイオワ | 396 | エール ⁺ | 659 | ペンシルバニア州立 | 577 |
| 19 | ミネソタ ⁺ | 246 | エール ⁺ | 391 | ノース・ウエスタン* | 606 | コーネル ⁺ | 571 |
| 20 | パークレイ ⁺ | 243 | ワシントン(シアトル) | 378 | ワシントン(シアトル)* | 596 | コロラド・カレッジ* | 520 |

*はその分野を得意とする大学を示す。

+はAグループ大学。

この専門分野の分類では、工学は物理科学に含められている。また、教育学は社会科学に包括されているので、第1章第6表と比較するときには注意する必要がある。

全分野にわたって、上位20大学にランクされている大学は、コロンビア、ハーバード、ニューヨークの私立3校とパークレイ、イリノイ、ミシガン、ミネソタ、オハイオ州立、ウイスコンシンの州立6校である。また3分野にわたって上位20校にランクされている大学としては、エール、シカゴ、スタンフォード、アイオワ州立、ペンシルバニア州立がある。これらの大学は広い範囲に亘ってバランスよく発展した規模の大きい総合大学といえるであろう。これらの大学のほとんどの大学院の質は第4章に論じられるように高く評価されている。

今、「博士号取得者の多い分野がその大学の得意とする分野である」とする考えに立って各大学を分類してみた。人文、生物科学、物理科学、社会科学の分野を「得意」とする大学はそれぞれ、4、24、47、51校である。2つの分野にわたって、同数の学位取得者を出している大学は、その2分野をそれぞれ「得意」とする大学として二重に数えた。調査対象校の約1/5は生物科学を「得意」とし、残りの4/5は物理科学または社会科学を「得意」とする大学が折半している。

「〇〇分野を得意とする大学」という定義は極めて形式的なものであるが、「人文を得意とする大学」すなわち他分野に比べて人文系の博士号取得者の多い大学は僅小であることは注目に値する。第1章第6表から人文、生物科学、物理科学、社会科学の1964-65年度の博士号取得者数の比率を求めると、12:21:35:30であり、「〇〇分野を得意とする大学」の分類に見られた傾向を緩慢にしたものである。

参考までに1968年の日本における4分野の修士号・博士号取得者数をあげておく。但し、人文には芸術を合

め、生物科学は理学（生物）、農学、保健・家政とし、物理科学は理学（非生物）、工学、社会科学には教育を含めることにした。修士号取得者の場合、人文、生物科学、物理科学、社会科学はそれぞれ1353名、1252名、5248名、1522名、博士号取得者はそれぞれ45名、3407名、1011名、103名である。¹³⁾

物理科学中工学の修士・博士号取得者はそれぞれ、3981名と609名である。生物科学の中で医・歯学の博士号取得者は2895名である。¹³⁾ 日本の修士課程は工学系を除けば、4分野はほぼ同数になるが、工学系だけで人文・生物・社会科学の3分野と同数の学位を出している。博士号取得者は医・歯学が全体の6割を占めている。人文・社会科学は、それぞれ全体の1%と2%に過ぎない。修士号取得者に対する博士号取得者の比を見たとき、人文・社会科学の数値の極めて低いことは、いわゆる理科系と文科系の博士号に対する考え方の差異、さらに言えば教育・研究のあり方の違いにも関連していると思われる。一方、科学研究費の文科系に対する配分額（理科系は全体の91.2%で76.1億円の配分を受けたのに対して、文科系の配分額は残りの8.8%つまり7.3億円である。¹⁴⁾）などに象徴されている財政的貧困が大きな影響を与えていることは否めないように思われる。

アメリカにおいては、1950年以降、連邦政府からの高等教育に対する援助は急激に増加した。しかしながら、「奇怪にも1960年に、議会が、古典語や古代史とともに民族学を連邦援助を受ける資格のない学問分野として指定した¹⁵⁾」という言葉に代表されるように多くの人文関係者は不運の経験を強いられたのである。それにもかかわらず、1964年の人文委員会の勧告により、1965年全米人文財団（NF AH）の設立が議会で承認された意義は決して小さいものではないであろう。

2. 10 大学院学生、ポスト・ドクトラル

アメリカの大学院学生の専門分野別、フル・タイム、パート・タイム別構成については、前掲第18表にすでに紹介した。ここでは、1965年春における大学院学生の年齢別、人種別、結婚状態別、大学類型別等からみた構成を第27表¹⁶⁾に示す。

第27表をみて、特に印象的なことは年齢別構成である。学部課程を終えて、最短期間3年間で博士号取得可能な大学院課程の在籍者のうち最も多数を占めるのは29才以上の学生層であるということである。特にこの傾向は女子学生の場合にはやや強い。

最近、Ph. D.取得者の失業が問題になっているが、これまでアメリカにおいては大学院を修了するまでは一人前の研究者と見做さない風潮があり、その代り、一旦博士号をとれば年間収入の増加がかなり保障されているという点があった。この点は向学心、研究意欲を長期間にわたって維持するうえに重要な因子であろうと思われる。また、後に論じるように、大学院学生が多くはパート・タイム制度や扶養者手当までも付いた奨学金制度または各種の助手制度を利用し経済的保障を得て勉学を続けることが可能であることも、大学院学生の高齢化に関連していると思われる。29才以上の大学院学生の約8割は結婚し、6割強の者が扶養家族をかかえながら勉学が可能であることは、上の考察の妥当性を裏付けているように思われる。

外見上、研究・教育の面で最も好条件が備ったと考えられている物理学の分野での博士学位取得時の平均年齢は30.5才という。¹⁷⁾

大学院での研究期間は、大学院の質、教育効果の面でトップクラスに評価されているバークレイ校においても、物理学で平均5.2年、政治学・英語学などは8年も要することが、問題にされている。¹⁸⁾ 次項「教員集団の構成と構造」の第31表によれば、1969年春現在のユニバーシティの教員（主として専任講師以上）で学士から上級学位（多くはPh. D.）を取得するまでに8年以上の期間を要した者が全体の1/3に達していることも知っておく必要がある。

大学院学生の問題を論じる時、特に検討を要する問題の一つとして、博士取得後、さらに研修を続けているポストドクトラルの問題がある。

第27表 アメリカの大学院学生の特徴 — 1965年春—

| 項目 | 学生数 比率 | 性 | | 年 齢 | | | 人 種* | | |
|-----------------|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|
| | | 男性 | 女性 | 23才以下 | 24~28才 | 29才以上 | 白人 | 黒人 | その他** |
| 学生数 (単位千人) | 477.5 | 335.3 | 142.3 | 68.7 | 191.7 | 217.2 | 425.3 | 12.1 | 4.0 |
| 全比率 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 性 : 男性 | 70 | - | - | 64 | 75 | 68 | 70 | 52 | 73 |
| 女性 | 30 | - | - | 36 | 25 | 32 | 30 | 48 | 27 |
| 年 齢 : 23才以下 | 14 | 13 | 18 | - | - | - | 15 | 9 | 11 |
| 24~28才 | 40 | 43 | 34 | - | - | - | 40 | 33 | 47 |
| 29才以上 | 45 | 44 | 49 | - | - | - | 45 | 58 | 42 |
| 人 種 白人 | 96 | 97 | 95 | 97 | 97 | 96 | - | - | - |
| 黒人 | 3 | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 | - | - | - |
| その他** | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 市民権 : 合衆国 | 92 | 91 | 96 | 96 | 91 | 92 | 100 | 100 | 100 |
| その他 | 8 | 9 | 4 | 4 | 9 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| 結婚: 独身・扶養者無 | 35 | 32 | 42 | 68 | 43 | 18 | 34 | 37 | 43 |
| 独身・扶養者有 | 4 | 2 | 7 | 2 | 3 | 5 | 4 | 8 | 5 |
| 結婚・扶養者無 | 20 | 18 | 26 | 22 | 26 | 14 | 21 | 16 | 27 |
| 結婚・扶養者有 | 41 | 47 | 25 | 7 | 28 | 63 | 42 | 40 | 25 |
| 在籍状態: フル・タイム | 44 | 49 | 33 | 68 | 49 | 32 | 41 | 43 | 49 |
| パート・タイム | 56 | 51 | 67 | 32 | 51 | 68 | 59 | 57 | 51 |
| 設置者 : 公立大学 | 62 | 61 | 65 | 59 | 64 | 61 | 62 | 41 | 70 |
| 私立大学 | 38 | 39 | 35 | 41 | 36 | 39 | 38 | 59 | 30 |
| 大学類型: 総合大学 | 74 | 78 | 64 | 78 | 76 | 71 | 72 | 73 | 80 |
| その他 | 26 | 22 | 36 | 22 | 24 | 29 | 28 | 27 | 20 |
| 大学院学生数: 2000人以上 | 47 | 49 | 44 | 52 | 50 | 43 | 47 | 35 | 61 |
| 2000人未満 | 53 | 51 | 56 | 48 | 50 | 57 | 53 | 65 | 39 |

* 合衆国市民のみ

** 主に東洋人

出典: Office of Education, 「Digest of Educational Statistics 1970 ed.」 p.74

ポストドクトラルは別称「研究員(リサーチ・アソシエイト)」と呼ばれている。大学の職階をもたない、フル・タイムの研究者であり、通常特定の期間、ポスト・ドクトラルでいるわけである。彼等はセミナー、講義、あるいは大学院学生との共同研究を通して大学教育に寄与することもありうる。しかし、ポスト・ドクトラルの活動は彼等自身にとって、特別(additional)な訓練の要素を有しているべきものと考えられている。¹⁹⁾

第28表に専門分野別のポスト・ドクトラル数を Ph. D. 授与者数や常勤教員数と併記して示す。²⁰⁾

また、科学研究室においては、質の高い研究を行なう上にも、新しい技術を導入する上でも、ポスト・ドクトラルに負うことが多い¹⁹⁾という。今日の大学院において、研究活動の中心をなすものは、ポスト・ドクトラルと博士課程の学生である²¹⁾ことを考慮して、1969年の専門分野別博士課程フル・タイム学生数、ポスト・ドクトラル数、常勤教員数とそれらの比率を第29表に示した。²²⁾

第28表 専門分野別1968年大学院常勤教員数，ポスト・ドクトラル数，
1968—69年 Ph. D. 授与者数および相対比

| 専門分野 | 大学院常勤 教員数 A 1968年 | Ph. D. 授与者数 B 1968—69年 | ポスト・ドク トラル数 C 1968年 | A / B | B / C |
|-----------|-------------------------|------------------------------|---------------------------|-------|-------|
| 工 学 | 9,034 | 3,514 | 690 | 2.6 | 5.1 |
| 物 理 科 学 | 8,874 | 3,704 | 3,615 | 2.4 | 1.0 |
| 数 学 | 4,268 | 1,071 | 236 | 4.0 | 4.5 |
| ライフ・サイエンス | 10,681 | 3,154 | 2,743 | 3.4 | 1.1 |
| 心 理 学 | 2,707 | 1,398 | 214 | 1.9 | 6.5 |
| 社 会 科 学 | 7,110 | 2,157 | 222 | 3.3 | 9.7 |
| 全 分 野 | 42,674 | 14,998 | 7,720 | 2.8 | 1.9 |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources
in Graduate Science Education, Fall 1969」 p. p. 64—65

第29表 専門分野別博士課程フル・タイム学生数，ポスト・ドクトラル数，
常勤教員数およびそれらの比率 — 1969年—

| 専門分野 | 大学院フル・タイム学生 | | ポスト・ドクトラル | | 大学院常勤教員 | | A/B | C/B | A/C |
|-----------|-------------|--------|-----------|--------|---------|--------|-------|------|-----|
| | 学生数 A | 比率 | 人数 B | 比率 | 教員数 C | 比率 | | | |
| 工 学 | 30,820 | 21.8% | 781 | 9.2% | 9,665 | 21.2% | 39.5 | 12.4 | 3.2 |
| 物 理 科 学 | 30,175 | 21.4 | 3,786 | 44.5 | 9,414 | 20.6 | 8.0 | 2.5 | 3.2 |
| 数 学 | 11,727 | 8.3 | 247 | 2.9 | 4,471 | 9.8 | 47.5 | 18.1 | 2.6 |
| ライフ・サイエンス | 27,588 | 19.5 | 3,214 | 37.7 | 11,497 | 25.2 | 8.6 | 3.6 | 2.4 |
| 心 理 学 | 11,918 | 8.4 | 231 | 2.7 | 2,902 | 6.4 | 51.6 | 12.6 | 4.1 |
| 社 会 科 学 | 28,971 | 20.5 | 258 | 3.0 | 7,738 | 16.9 | 112.3 | 30.0 | 3.7 |
| 全 分 野 | 141,199 | 100.0% | 8,517 | 100.0% | 45,687 | 100.0% | 16.6 | 5.4 | 3.1 |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate
Science Education, Fall 1969」 p. p. 63—65

第28・29表から明らかなように，全分野中のポスト・ドクトラルは物理科学とライフ・サイエンスの分野で独占している傾向がある。全米科学財団 (NSF) の報告では，¹⁹⁾この傾向は，物理科学とライフ・サイエンスの分野での研究費に密接に関連しているとし，1967—68年に大学への特別研究費 (separately budgeted research) 支出額21億ドルの69%が物理科学とライフ・サイエンスに，工学へ13%，残り18%がその他の分野に配分された事実を上げている。

ポスト・ドクトラル数と1960年代後半のアメリカの経済不況による失職問題との関連の有無については，このNSFの報告は述べていない。

大学の教育・研究にとって，ポスト・ドクトラルの役割は重要であるにもかかわらず，ポスト・ドクトラル自身は身分的にも経済的にも不安定な状態を強いられている。アメリカの大学教員は終身的地位 (tenure) にあるのは准教授以上であり，助教授や専任講師以下は通常1年ごとの契約が多く，身分的・経済的に不安定である。²³⁾ことからすれば，ポスト・ドクトラルの身分的・経済的問題は検討に値するものとして大学人の中で認識されているかどうかは疑問である。

§ 3 教員集団の構成と構造

別表Ⅳにおいて，調査対象126大学についての教員集団の性別，勤務条件別，取得学位別の構成を示した。

また、専門分野別の大学院常勤教員の構成については、すでに第28、29表に示されている。

第30表には1959—60年、1963—64年、1969—70年における高等教育機関の教員数を、その他の専門職員数と併せて示した。²⁴⁾

第30表 高等教育機関の教員、その他専門職のポスト数（1959—70年）

| 職 種 | 1959—60 | 1963—64 | 1969—70* |
|--------------------------------|---------|---------|----------|
| 専門職Ⅰ（管理部、学生部、図書館担当） | 43,965 | 58,367 | 85,000 |
| 専門職Ⅱ（教員 — 教育指導担当） | 281,506 | 355,542 | 533,000 |
| 専任講師以上 | 242,914 | 302,896 | 453,000 |
| フル・タイム | 162,292 | 202,396 | 303,000 |
| パート・タイム | 80,622 | 100,500 | 150,000 |
| 準専任講師 | 35,592 | 52,646 | 80,000 |
| 専門職Ⅲ（組織的研究担当） | 36,836 | 64,503 | 74,000 |
| 専門職Ⅳ（大学拡張、ラジオ・TV教育、 個人指導担当） | 56,481 | 66,307 | 114,000 |
| 専 門 職 総 数 | 418,788 | 544,719 | 806,000 |

* 予想値

出典：Office of Education, 「Digest of Educational Statistics
1970ed」p. 80

次に、1969年春の大学教員の取得学位別、基本給額別、年齢別等の経歴から見た構成と、教授負担、教授・研究への興味等から見た教員集団の構造について第31—1、31—2、31—3表に示した。²⁵⁾

第31—1表 大学類型別、性別大学教員の経歴と教育研究活動 — 1969年春—

| 項 目 | 総 合 大 学 | | | その他4年制大学 | | |
|---------------------|---------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 取得学位： 総数 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 学士以下 | 4.5 | 4.2 | 6.2 | 6.2 | 5.8 | 7.3 |
| 修士 | 22.9 | 18.3 | 48.9 | 40.2 | 36.9 | 51.5 |
| 専門職業士 | 7.4 | 6.5 | 12.8 | 9.9 | 9.6 | 11.0 |
| 学士 | 8.8 | 9.7 | 3.6 | 0.9 | 1.0 | 0.4 |
| Ph. D. 又はEd. D | 52.7 | 57.5 | 25.5 | 38.6 | 42.2 | 26.0 |
| その他博士号 | 3.6 | 3.8 | 2.8 | 4.2 | 4.3 | 3.7 |
| 学士以後上級学位までの期間 | | | | | | |
| 上位学位なし（含無回答） | 10.0 | 9.5 | 12.9 | 13.8 | 13.3 | 15.2 |
| 1—2年 | 9.4 | 7.6 | 19.7 | 14.9 | 14.1 | 17.7 |
| 3—4年 | 22.4 | 23.4 | 16.8 | 15.5 | 16.1 | 13.4 |
| 5—7年 | 25.1 | 26.8 | 15.6 | 19.1 | 20.0 | 15.9 |
| 8—10年 | 15.0 | 15.7 | 10.8 | 15.0 | 15.7 | 12.8 |
| 11年以上 | 18.0 | 17.0 | 24.1 | 21.7 | 20.7 | 25.0 |
| 大学院時代の援助 | | | | | | |
| 教育助手 | 61.2 | 63.3 | 49.1 | 6.6 | 7.0 | 5.4 |
| 研究助手 | 45.0 | 48.5 | 24.6 | 8.4 | 7.6 | 11.2 |
| フェローシップ(1,000ドル以上の) | 55.2 | 56.2 | 50.0 | 23.2 | 23.5 | 22.2 |
| 学内アルバイト* | 44.1 | 46.2 | 32.2 | 61.8 | 62.0 | 61.2 |
| 現在の職階 | | | | | | |
| 教授 | 27.2 | 30.1 | 9.9 | 19.6 | 22.0 | 11.2 |
| 準教授 | 22.5 | 23.8 | 15.1 | 21.9 | 23.3 | 17.1 |
| 助教授 | 29.6 | 29.4 | 30.7 | 31.0 | 30.8 | 31.6 |
| 専任講師 | 15.1 | 11.5 | 35.7 | 19.0 | 15.8 | 29.6 |
| 非専任講師 | 2.9 | 2.7 | 4.0 | 5.5 | 5.2 | 6.5 |
| 職階無し | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 1.4 | 1.4 | 1.4 |
| その他 | 2.5 | 2.2 | 4.2 | 1.7 | 1.4 | 2.5 |

* faculty "sponsor" for job

第31-2表 大学類型別、性別大学教員の経歴と教育研究活動 — 1969年春 —

| 項 目 | 総合大学 | | | その他4年制大学 | | |
|-----------------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 任命型式 | | | | | | |
| 正規教員 (終身的地位)** | 49.6% | 52.3% | 34.7% | 43.0% | 44.3% | 38.4% |
| 正規教員 (終身的地位でない) | 45.9 | 43.3 | 60.5 | 51.9 | 50.8 | 55.4 |
| 臨時教員 | 1.9 | 1.8 | 2.5 | 2.4 | 2.0 | 3.7 |
| 客員教員 | 2.6 | 2.6 | 2.3 | 2.7 | 2.8 | 2.4 |
| 基本給 (大学暦年) | | | | | | |
| 7,000ドル未満 | 7.0 | 5.3 | 16.2 | 8.7 | 6.0 | 17.8 |
| 7,000—9,999ドル | 17.0 | 13.1 | 38.8 | 34.3 | 30.0 | 48.8 |
| 10,000—11,999ドル | 18.3 | 17.9 | 20.7 | 22.2 | 24.1 | 15.7 |
| 12,000—13,999ドル | 17.1 | 18.1 | 11.3 | 14.3 | 15.9 | 8.8 |
| 14,000—16,999ドル | 16.9 | 18.6 | 7.4 | 10.9 | 12.5 | 5.5 |
| 17,000—19,999ドル | 11.3 | 12.7 | 3.2 | 5.3 | 6.3 | 1.8 |
| 20,000—24,999ドル | 8.2 | 9.3 | 2.0 | 3.0 | 3.7 | 1.0 |
| 25,000ドル以上 | 4.2 | 4.9 | 0.3 | 1.2 | 1.5 | 0.6 |
| 給与基礎*** | | | | | | |
| 9/10か月 | 58.7 | 58.0 | 62.5 | 70.8 | 70.9 | 70.4 |
| 11/12か月 | 41.3 | 42.0 | 37.5 | 29.2 | 29.1 | 29.6 |
| 年 齢 | | | | | | |
| 60才以上 | 7.4 | 7.2 | 8.6 | 8.5 | 7.9 | 10.4 |
| 51—60 | 15.7 | 15.1 | 19.4 | 15.6 | 15.0 | 17.7 |
| 41—50 | 27.1 | 27.3 | 25.8 | 25.7 | 25.6 | 26.4 |
| 36—40 | 17.3 | 18.3 | 11.7 | 15.9 | 16.4 | 14.5 |
| 31—45 | 17.8 | 18.6 | 13.3 | 17.1 | 18.4 | 12.8 |
| 30以下 | 14.6 | 13.4 | 21.1 | 17.0 | 16.7 | 18.1 |
| 人 種 | | | | | | |
| 白人 | 97.7 | 97.7 | 97.7 | 93.5 | 94.2 | 91.3 |
| 黒人 | 0.5 | 0.4 | 1.0 | 5.0 | 4.2 | 7.4 |
| 東洋人 | 1.6 | 1.6 | 1.0 | 1.2 | 1.2 | 0.9 |
| その他 | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.3 |

** tenure

*** Salary basis

第31-3表 大学類型別、性別大学教員の経歴と教育研究活動 — 1969年春 —

| 項 目 | 総合大学 | | | その他4年制大学 | | |
|-----------------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 教授負担 | | | | | | |
| 学部課程だけ | 27.8% | 24.3% | 48.1% | 69.3% | 67.5% | 75.5% |
| 学部課程と大学院課程 | 47.0 | 49.6 | 31.8 | 23.2 | 25.1 | 16.6 |
| 大学院課程だけ | 19.2 | 20.2 | 13.2 | 4.6 | 4.8 | 4.0 |
| 1969年は教授負担なし | 6.0 | 5.9 | 6.9 | 3.0 | 2.7 | 3.9 |
| 教授方法に関して | | | | | | |
| 学期試験 | 45.2 | 43.4 | 56.0 | 63.9 | 62.6 | 68.4 |
| 頻発的試験 (非公式) | 48.6 | 47.0 | 58.4 | 68.4 | 67.3 | 72.5 |
| 教育助手 | 30.5 | 31.8 | 22.4 | 12.2 | 13.1 | 8.8 |
| 教育TV (C. C. TV) | 6.0 | 5.7 | 8.1 | 8.4 | 8.5 | 7.9 |
| 教育機器による指導 | 11.3 | 10.7 | 15.1 | 15.3 | 15.2 | 15.8 |
| 週当講義時間 | | | | | | |
| 無し | 11.5 | 11.5 | 11.4 | 4.4 | 4.0 | 5.6 |
| 1—4 | 21.0 | 22.0 | 15.4 | 10.8 | 10.8 | 10.8 |
| 5—8 | 32.6 | 34.3 | 22.8 | 20.6 | 21.8 | 16.6 |
| 9—12 | 22.8 | 21.7 | 29.4 | 42.1 | 42.5 | 40.4 |
| 13以上 | 12.1 | 10.5 | 21.0 | 22.2 | 21.0 | 26.4 |
| 講義時の学生数 | | | | | | |
| 無し (含無回答) | 8.8 | 8.8 | 8.7 | 3.8 | 3.4 | 4.8 |
| 25未満 | 24.0 | 24.6 | 20.1 | 15.8 | 15.0 | 18.6 |
| 25—49 | 22.5 | 22.4 | 23.5 | 23.1 | 23.1 | 23.2 |
| 50—99 | 24.6 | 24.4 | 26.3 | 33.7 | 34.2 | 32.2 |
| 100—249 | 16.5 | 16.2 | 18.6 | 21.6 | 22.1 | 19.8 |
| 250以上 | 3.5 | 3.6 | 2.8 | 2.0 | 2.2 | 1.4 |
| 教授と研究への興味 | | | | | | |
| 研究への興味が強い | 6.3 | 6.9 | 3.0 | 2.2 | 2.5 | 1.2 |
| 教授より研究に興味がある | 28.9 | 31.9 | 12.1 | 12.9 | 14.3 | 8.2 |
| 研究より教授に興味がある | 37.2 | 38.2 | 31.3 | 36.0 | 37.6 | 30.5 |
| 教授への興味が強い | 27.5 | 23.0 | 53.5 | 48.8 | 45.5 | 60.1 |

出典: Office of Education, [Digest of Educational Statistics 1970 ed] pp.81-83

大学院の教育にかなりの重点をおいているといわれているユニバーシティ（総合大学）では、その他の4年制カレッジに比べて、Ph. D. やその他博士号を有する教員が多い。大学院時代にフェロシップ授与、助手経験をもつ者が多いことがわかる。また教員中教授の占める割合もかなり大きいし、基本給の平均額も高い。しかし年齢別分布には大きな差異はない。教授負担、教授方法についても明らかに差異がみられる。ユニバーシティの教員で、学期試験や非公式試験を採用する者が半数以下しかいないというのは興味をひく。週当講義時間も日本における、講座制学部と学科目制学部の教員の場合に見られる傾向と類似している。

教授 (teaching) と研究 (research) に対する興味については、教授することに興味をもつ者がユニバーシティで65%、カレッジで85%と、いずれも研究に興味をもつ教員よりも多いことは注目に値する。

教員の任期について述べておこう。ここでも、大学教員というのは主として専任講師以上であることは、第31-1表からも明らかである。終身的地位は主として準教授以上の教員に与えられていることも、教授・準教授の占める割合と終身的地位の教員の占める割合がよく合致することから裏づけられる。

ここで注目しなければならないことは、大学教員の半数以上が終身的地位がないことである。「准教授以上の契約期間は定年まで続くため、この地位に到達すれば身分が安定するが、それ以下は通常1年ごとの契約が多く、したがって身分は不安定である。…ほぼ30才で博士号を取得した者が大学教授として出発したさい、準教授になる平均年齢 36.5才までの7、8年間は身分的にも経済的にもいっそうきびしい状況下におかれる。だが、彼等にとってこの時期は、大学教授としての地位形成期として最も重要である。こうしたきびしさが業績に基づく昇進というアメリカ的経歴に反映されている。…カリフォルニア大学の J. ロンドン教授は「書かざれば滅びる (Publish or Perish)」と指摘しているが、これはアメリカの大学教授がいかに研究業績をあげることに没入しなければならないかを如実に物語るものである。」²³⁾と論じられている。アメリカ教育協議会の研究報告²⁵⁾によれば、公表研究論文数が無し（無回答を含む）、1-4編、5-10編、11-20編、21編以上の教員の比率 (%) はユニバーシティの場合、29.5、29.7、14.1、10.3、16.3 に対し、カレッジでは54.3、29.9、7.8、4.2、3.8である。確かに、カレッジに比較し、ユニバーシティの教員の論文生産量は大きい。

リースマンとジェンクスは刊行物だけで人間を判断する時の危険について、「……若いうちになにか業績をあげて、人事委員会に判断の資料を提供しなければとり残されてしまうという焦りの風潮が生まれている。このようにして生み出される業績は、少なくとも社会科学や人文科学においては、ピアノの運指練習のようなものに終わってしまう。……しかしここで問題になるのは、このような形でポストを手に入れてしまうと、その段階を一步も出ないことが多いという点である。……その結果われわれがたまたま熟知している分野の研究結果は、真の問題点に回答を与えたり、重要な問題の解決を目指して、真剣に努力したというたぐいのものでないことが多い。」²⁶⁾と論じている。この業績志向の制度の大学教員の質への影響に対する問題がアメリカの大学においてどの程度論ぜられているかは興味もたれる。

「アメリカとは機会均等の国であり、トップには無制限の空きがあるという神話」がある。しかしこの神話は、失敗をいわゆる「制度のせいにするのを許さない。失敗を転嫁できるのは個人の技量、性格、それに運の良し悪しに限られている。」²⁷⁾とすれば、大学の教員や理事会のメンバーや、ましてや社会の人々の中で、大学教員の昇進制度・任期制度のもつメリットは論じられても、デメリットが充分に論じられる可能性は乏しいと思われる。アメリカ科学の改革との関連において、教員に関する上記の制度が根本的に検討される可能性は終身的地位を持たない若手大学教員や、ポスト・ドクトラル、博士課程の若手研究者からの組織化された不満の爆発²⁸⁾と問題提起を通してしか期待できないように思われる。

上で問題になった制度は、アメリカの社会をつらぬく「能力主義」、「実用主義」の思想に裏打ちされたものであることを思えば、その改革の必要が仮に認識されることがあっても、そのことの実現は極めて困難なことであろう。

§ 4 学生の経済的側面と大学財政

4.1 学生の家庭の経済的状況

今回の調査対象校の学生の家庭の年収分布に関するデータはないので、1965年春の教育局による大学院学生の家庭状況調査の結果の一部を第32表に示す。¹⁶⁾

第32表 大学院学生の家庭状況 — 1965年春 —

| 項 目 | 全学生 | 性 別 | |
|-------------------------------|---------|---------|---------|
| | | 男子学生 | 女子学生 |
| 大学院学生数 | 477,535 | 335,227 | 142,308 |
| | 100% | 100% | 100% |
| 父親の年収入 | | | |
| 5,000 ドル以下 | 29 | 30 | 28 |
| 5,000 — 7,499 ドル | 27 | 28 | 24 |
| 7,500 — 9,999 ドル | 16 | 16 | 14 |
| 10,000 — 14,999 ドル | 12 | 12 | 12 |
| 15,000 — 19,999 ドル | 4 | 3 | 5 |
| 20,000 ドル以上 | 4 | 4 | 6 |
| 知らない | 8 | 6 | 12 |
| 父親の職業 | | | |
| 労務者 (Laborer) | 5 | 6 | 5 |
| サービス業務者 (Service worker) | 4 | 4 | 3 |
| 準熟練職工 (Semiskilled operative) | 7 | 8 | 6 |
| 熟練職人 (Skilled craftman) | 18 | 19 | 16 |
| 農場経営者 (Farm operator) | 8 | 7 | 8 |
| 事業主 (Proprietor & manager) | 18 | 17 | 19 |
| 準専門職 (Semiprofessional) | 15 | 15 | 16 |
| 専門職 (教育を除く) | 19 | 19 | 21 |
| 教師・教育関係者 (other educator) | 5 | 5 | 5 |

出典：Office of Education, 「Digest of Educational Statistics
1970 ed.」 p. 74

この調査からすれば、大学院にも、年間の収入の低い家庭から極めて多数の子弟が進学している。したがって、アメリカにおける機会均等の原則はかなり現実化しているように思われる。しかし、1949年のニューヨーク州の調査では、²⁹⁾ 高校での成績は1/2以下であるが家庭の年収が9,000ドル以上の生徒の場合の進学率は、成績では上位1/4以内で家庭の年収が5,000ドル以下の場合の進学率よりも高かったと報告されている。また、1960年度のR. G. ムーンの調査³⁰⁾では、家庭の所得が10,000ドル以上、8,000—9,999ドル、6,000—7,999ドル、4,000—5,999ドル、2,000—3,999ドル、2,000ドル未満の家庭の占める比率(%)がそれぞれ22.1、17.5、19.0、21.8、13.2、6.4であるのに対し、大学進学者の家庭の場合の比率は41.0、17.7、19.1、14.1、6.1、2.0であると報告している。つまり、10,000ドル以上の所得の家庭は全体の22.1%であるが、この階層は大学進学者の41.0%を占めているわけである。さらに、次のようなデータもある。1964年の家庭の年間所得が20,000ドル以上のものについて注目すると、カリフォルニア大学では全体の18%以上の学生、短期大学においては全体の7%の学生がこの階層に属している。また、高等教育に進学しない子弟ではこの階層に属するものは4%以下である。一方、家庭の所得が6,000ドル以下の者について言えば、カリフォルニア大学の学生の場合が12.5%に対し、短期大学学生の場合は24%、高等教育に進学しない子弟では32%がこの低所得者層の出身であった。³¹⁾ これらのデータからすれば、大学進学率には家庭の経済的地位が反映して

いと言わざるを得ない。また、大学の教育課程が高いほど、経済的地位の高い階層の子弟の占有率が高いということである。アメリカでは高等教育は機会均等の原則に沿って発展してきたと言われている。また高等教育を受けた者は他の人々にとって経済的地位は高まっているといわれている。そうとすれば、全世帯の所得分布にも長年月の間には変化が見られることが予想される。しかし、H.P. ミラーの1929～62年の調査³²⁾によれば、1930年代の大恐慌と第2次大戦中に全世帯の上位5%の所得占有率が30%から20%にまで減ったことを示しているが、第2次大戦以降の所得分布にはこれという変化がみられない。技術革新や人間の技能の改善により労働力の生産性が向上し、それがアメリカ人の生活水準の上昇に結びついていることは明白である。しかし個々の階層の相対的な大きさは過去20年間に実質的にはなんの変化もとげていないのである。この問題を高等教育の社会的機能論として見れば、S. ボールズのいう「高等教育が現存の社会制度に奉仕しているのは単に生産力に対する貢献を通じてのみではない。それと同時に、世代から世代にわたる階層システムの再生産においても、一つの直接的役割を果している。」³³⁾ということになるのであろう。

わが国における1970年度学生生活調査では家庭の年収別学生分布と年収平均額は第33表に示す通りである。³⁴⁾

第33表 家庭収入段階別学生の分布状況(大学昼間部) — 1969.12 — 1970.12 —

| 区分 | 50万円 未満 | 50～100 | 100～150 | 150～200 | 200～300 | 300万円 以上 | 無回答 | 平均額 (千) |
|----|------------|--------|---------|---------|---------|-------------|------|------------|
| 国立 | 5.4% | 26.6% | 33.8% | 15.9% | 11.8% | 6.1% | 0.4% | 1,459 |
| 公立 | 3.4 | 19.5 | 31.7 | 20.0 | 16.4 | 8.6 | 0.4 | 1,638 |
| 私立 | 1.7 | 10.6 | 29.6 | 20.8 | 20.4 | 16.3 | 0.6 | 2,104 |
| 平均 | 2.6 | 14.4 | 30.7 | 19.7 | 18.4 | 13.7 | 0.5 | 1,945 |

出典：文部省大学学術局学生課「昭和45年度学生生活調査結果の概要」(「厚生補導」68号1972年) p. 41

また、1970年度の東大の学生生活実態調査³⁵⁾では、東大生の駒場、本郷地区(いずれの地区も自宅通学生は全体の約半数を占めている)別の家庭の年収平均額は次の通りである。

駒場：自宅通学生 273万円, 自宅外通学生 206万円

本郷：自宅通学生 244万円, 自宅外通学生 155万円

また、駒場自宅通学生の主たる家計支持者の約7割が公務員・非公務員の管理職であると報告されている。

上記の文部省と東大の調査結果を比較すれば、私立に比べ年収平均額が50万円強も低い国立の中にあって、東大生の家庭の年収は私立の場合の平均額を越えている。このことは東大駒場の自宅通学生の父親の職業分布に象徴されるごとく、東大生の家庭の経済的地位は極めて高いと考えられる。

東大・京大出身者の学界、政界、財界、官界の占有率が38.1%, 30.1%, 37%, 66.1%という独占的傾向³⁶⁾を示していることを考慮すれば、日本においては、特定の少数大学による各界トップの再生産が今後も続くことが予想される。それにしても、ここで用いた教育局の統計資料(第32表を含む)中のデータの処理・配置は、これまで論じてきた問題を調べるには便利なものとは言えないようである。

4.2 学生の年間経費 — 授業料を中心として —

第34表に1966—67年, 1971—72年における、公立、私立大学別の授業料等学生納付金、寄宿舎費、食費の年間支出額を示した。³⁷⁾

まず、授業料について考察してみよう。調査対象大学の中で、カリフォルニア(全分校を含めて)、フロリダ州立、ジョージア工科、ルイジアナ州立、ミズーリ、テネシーの州立大学は州民の子弟の授業料は無償である。1964年「全米教育会議」でカリフォルニア州のE.G. ブラウン知事は、「カリフォルニア州では長い年月をついやして、能力をもつすべての者が幼稚園から大学院まで進学することができる、授業料無償の独自の教

第34表 高等教育機関の授業料・寄宿舎費・食費 — 1966—67年, 1971—72年

| 項目 | 大学類型 | 全日制学部学生負担金 | | |
|---------------------------|----------|------------|-------|---------|
| | | 公立大学 | | 私立大学 |
| | | 州民学生 | 他州の学生 | |
| 1966—67年 | | | | |
| 授業料・その他納付金 | | | | |
| | 総合大学 | 360ドル | 808ドル | 1,456ドル |
| | その他4年制大学 | 259 | 570 | 1,162 |
| 寄宿舎費 | | | | |
| | 総合大学 | 321 | 321 | 452 |
| | その他4年制大学 | 271 | 271 | 355 |
| 食費 | | | | |
| | 総合大学 | 490 | 490 | 548 |
| | その他4年制大学 | 417 | 417 | 490 |
| 合計 | | | | |
| | 総合大学 | 1,171 | 1,619 | 2,456 |
| | その他4年制大学 | 947 | 1,258 | 2,007 |
| 1971—72年* —総合大学の場合— * 予想値 | | | | |
| 授業料・その他納付金 | | 527ドル | — | 2,161ドル |
| 寄宿舎費 | | 456 | — | 664 |
| 食費 | | 616 | — | 672 |
| 合計 | | 1,599 | — | 3,497 |

出典：Office of Education 「Digest of Educational Statistics 1970 ed.」 pp. 95—96

育制度を発達させてきた。この制度は一夜のうちにつくり出されたものではなく、知事や州の行政当局者がつくり出したものでもない。それは、社会的地位・人種・個人所得といった伝統的な障壁を打破するため、教育に巨額の投資を行なわねばならないという、カリフォルニア州民の決断の所産にはかならない。われわれは選ばれた少数者だけが大学に進学すべきだという考え方、さらにはすべての資格ある学生に大学教育を提供したならその教育の質が低下するという考え方を、とうの昔に否定したのである。」³⁸⁾と述べていることは注目すべきことであろう。

第34表によれば、1966—67年の総合大学の授業料および学生納付金の平均額は、公立の場合、州民の子弟は360ドル、その他の学生は808ドル、私立の場合は1456ドルである。今回の調査では、Aグループの大学の授業料の平均額は、公（州）立の場合、州民の子弟は241ドル、他州の学生は993ドル、私立の場合は1880ドルである。大学院の質を高く評価されている大学では一般に授業料は高いと言える。Aグループの州立大学の州民の子弟の平均授業料が全国平均より低いのは、8大学中パークレイ、ロスアンゼルス2校の授業料が無償であることによるのであろう。

L. J. リンスの1960—61年の調査³⁹⁾によれば、ウィスコンシンの博士課程で親元を離れて生活している大学院学生の学校納付金を除く年間支出額は、独身男子学生で1714.5ドル、独身女子学生では1566.6ドル、既婚男子学生では2927.3ドルである。授業料（1960年州民約300ドル、他州出身者約1000ドル）を考慮すると、独身男子学生は州民の子弟で約2000ドル、他州出身者で約2700ドルの年間支出をしていることになる。

ウィスコンシン大学の大学院学生の年間支出額と第34表の寄宿舎費・食費の比較から予想されることは、学生の書籍費・日用品費・娯楽費・交際費・交通費等諸支出は寄宿舎費・食費の合計額より2～3割多い。

今、学部課程の学生の諸経費（書籍費等）は寄宿舎費・食費の合計額にほぼ等しいと近似すれば、1971—72年のユニバーシティの学生は公立（州民の子弟）で2700ドル、私立で4800ドルの年間支出が予想される。したがって1971—72年学生の年間諸経費を学校納付金、寄宿舎費、食費、その他諸経費の全経費に対する比率を示

すと、公立ではそれぞれ20%、17%、23%、40%、私立ではそれぞれ45%、14%、14%、28%と推定できる。

参考までに、日本における学生生活調査結果を第35表⁴⁰⁾に示した。

第35表 居住形態別収入平均額および学生生活費内訳 — 1970年度— (大学昼間部)

| 区 分 | 自 宅 | | 下 宿 | | 自 宅 | | 下 宿 | |
|---------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|-----|
| | 国 立 | | 私 立 | | 国 立 | | 私 立 | |
| | 実額 | 比率% | 実額 | 比率% | 実額 | 比率% | 実額 | 比率% |
| 学校納付金 | 13,000 | 7 | 112,700 | 37 | 13,200 | 4 | 113,400 | 25 |
| その他学費 | 62,300 | 35 | 61,300 | 20 | 45,700 | 15 | 47,900 | 10 |
| 食 費 | 31,100 | 18 | 37,600 | 12 | 117,000 | 38 | 126,900 | 28 |
| 住居費・光熱費 | 900 | 1 | 800 | — | 62,900 | 20 | 75,400 | 16 |
| その他生活費 | 69,300 | 39 | 91,800 | 30 | 69,600 | 23 | 97,500 | 21 |
| 支出合計 | 176,600 | 100% | 304,200 | 100% | 308,400 | 100% | 461,100 | 100 |
| 家庭からの給付 | 98,700 | 55 | 232,000 | 76 | 230,600 | 75 | 377,700 | 82 |
| 奨 学 金 | 20,300 | 11 | 8,000 | 3 | 34,400 | 11 | 20,800 | 5 |
| アルバイト | 59,700 | 33 | 61,400 | 20 | 42,100 | 14 | 53,200 | 12 |
| 定職その他 | 2,200 | 1 | 2,700 | 1 | 2,300 | 1 | 7,300 | 2 |
| 収入合計 | 180,900 | 100% | 304,100 | 100% | 309,400 | 100% | 459,000 | 100 |

注 比率の数値は小数点以下を4捨5入しているため、合計値は100%にならないことがある。

出典：文部省大学学術局学生課「昭和45年度学生生活調査結果の概要」(「厚生補導」68号1972年) pp. 44-45

次に大学の経常費総収入に対する授業料・学生納付金の比率について考察してみよう。

この考察を行なうに先立って、1967-68年における公・私立大学別、項目別の経常費収入および支出額と比率を第36表⁴¹⁾に示しておく。

第36表 高等教育機関の公・私立別、項目別、経常費収入と支出 — 1967-68年— 金額100万ドル単位

| 項 目 | 公・私立計 | | | 項 目 | 公・私立計 | | |
|------------|----------|----------|---------|---------------------|----------|----------|---------|
| | 公 合 | 公 立 | 私 立 | | 公 合 | 公 立 | 私 立 |
| 経常費全収入 | \$16,910 | \$10,412 | \$6,498 | 経常費全支出 | \$16,566 | \$10,103 | \$6,463 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 1.教育・一般費収入 | 82.3 | 83.6 | 80.2 | 1.教育・一般費支出 | 80.1 | 81.7 | 77.5 |
| イ 授業料等収入 | 20.0 | 11.6 | 33.6 | イ 一般管理・一般費 | 10.5 | 9.4 | 12.3 |
| ロ 連邦政府支出金 | 19.9 | 17.8 | 23.2 | ロ 研 究 費 | 31.2 | 34.2 | 26.5 |
| 研 究 費 | 14.1 | 10.8 | 19.4 | ハ エクステンション費 | 3.6 | 4.9 | 1.7 |
| そ の 他 | 5.8 | 7.0 | 3.8 | ニ 図 書 館 費 | 3.0 | 3.0 | 2.9 |
| ハ 州政府支出金 | 24.9 | 39.9 | 1.0 | ホ 施設運営・維持費 | 6.8 | 7.0 | 6.7 |
| ニ 地方自治体支出金 | 3.0 | 4.6 | 0.3 | ヘ 研究・教育委託費 | 3.2 | 3.4 | 2.8 |
| ホ 基本財産収入 | 2.2 | 0.3 | 5.1 | ト 研究機関費 | 16.4 | 14.0 | 20.0 |
| ヘ 民間寄付・補助金 | 3.3 | 0.6 | 7.6 | チ 組織的事業費 | 3.9 | 4.2 | 3.4 |
| ト そ の 他 | 9.0 | 8.8 | 9.4 | リ そ の 他 | 1.5 | 1.6 | 1.2 |
| 2.補助活動会計収入 | 14.7 | 13.9 | 16.1 | 2.補助的活動費支出 | 13.9 | 13.3 | 14.9 |
| 3.学生援助費収入 | 3.0 | 2.5 | 3.7 | 3.学生援助費支出 | 4.3 | 3.3 | 6.0 |
| | | | | 4.資本的支出 (経常費からの) | 1.7 | 1.7 | 1.6 |

出典：Office of Education 「Digest of Educational Statistics 1970ed.」 p.92, p.96

第1章第7表から明らかなように1963—64年においては、公私立の全大学についての経常費全収入に対する授業料等収入の比率は19.7%である。また、第36表によれば、1967—68年においては、この比率は公立の場合11.6%、私立の場合33.6%、公・私立を総合すると20.0%である。

われわれの調査対象校の約1/4の36校は、授業料等収入の比率が10%以下である。この中には、カリフォルニア工科(8.6%)、シカゴ(8.3%)、M.I.T.(7.5%)、ヤシェバ(8.4%)の私立4大学が含まれている。州民の子弟の授業料が無償の州立大学では、カリフォルニア(8.2%)、フロリダ州立(8.0%)、ジョージア工科(23.8%)、ルイジアナ州立(6.8%)、ミズーリ(10.2%)、テネシー(14.8%)、となっている。これに対して東部の名門、アイビーリーグの大学(ダートマスは調査対象から除かれている)の場合は、ブラウン(31.1%)、コロンビア(18.0%)、コーネル(16.9%)、ハーバード(16.9%)、ペンシルバニア(22.2%)、プリンストン(14.6%)、エール(22.6%)となっている。Aグループ大学の場合の経常費全収入に対する授業料等収入の比率を他の収入に対する比率と併せて第37表にまとめた。この表からも明らかなよ

第37表 経常費全収入に対する各項目収入の比率 —Aグループ大学^{a)}の場合— 1966年度

| 大 学 名 (ABC順) | 教 育 ・ 一 般 費 | | | | | 学生援助 費 収 入 | 補 助 的 活 動 収 入 | 学 生 当 教 育 一 般 費 ^{b)} | |
|------------------|-------------------------|--------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------------------|---------|
| | 授業料等 | 一般費政 府支出金 | 基本財産 収 入 | 寄 付 | 研究委託 費 等 | | | | |
| 州 立 大 学 | 1 カリフォルニア | 8.2% | 44.6% | 1.5% | 2.5 | 25.8% | 2.9% | 5.6% | 3.78千ドル |
| | 2 イリノイ | 3.2 | 56.5 | 0.1 | 20.3 ^{c)} | — | 2.4 | 13.7 | 3.22 |
| | 3 インディアナ | 9.1 | 36.9 ^{d)} | 0.2 | 5.1 | 10.9 | 2.9 | 28.2 | 1.19 |
| | 4 ミシガン | 9.1 | 28.8 | 2.2 ^{c)} | 6.2 ^{c)} | 29.7 ^{c)} | 0.7 | 21.6 | 2.64 |
| | 5 ミネソタ | 9.7 | 49.0 | — | 5.4 ^{e)} | — | — | 15.2 | 2.52 |
| | 6 パデュー | 7.6 | 38.5 | 0.1 | 0.4 | 18.1 | 5.4 | 19.6 | 1.77 |
| | 7 ウィスコンシン ^{f)} | 14.1 | 34.2 | 0.1 | 5.1 | 25.2 | 3.6 | 8.8 | 3.29 |
| 私 立 大 学 | 1 カリフォルニア工科 | 8.6% | —% | 12.2% | 13.7 | 43.9% | 7.2% | 5.2% | 8.72 |
| | 2 ケース・ウェスタンリザーブ | 23.2 | — | 9.2 | — | — | 25.5 ^{g)} | 8.3 | 2.34 |
| | 3 シカゴ | 8.3 | — | 4.9 | 6.4 | 63.8 | 6.2 ^{h)} | 5.9 | 10.26 |
| | 4 コロンビア* | 18.0 | 49.3 | 11.1 | 13.8 | 2.5 | — | 4.6 | 3.57 |
| | 5 コーネル* | 16.9 | 23.6 | 5.5 | 7.0 | 24.3 | 3.5 | — | 4.62 |
| | 6 デューク | 13.1 | — | 12.3 | 13.8 | 22.9 | 3.0 | 9.5 | 4.73 |
| | 7 ハーバード* | 16.9 | 36.6 ⁱ⁾ | 20.4 | 12.1 | — | 9.1 | — | 5.37 |
| | 8 ジョーンズ・ホプキンス | 14.7 | — | 8.0 | 1.8 | 49.5 | 7.7 | 5.8 | 2.72 |
| | 9 M. I. T. | 7.5 | — | 2.4 | 5.0 | 82.5 | — | 2.5 | 13.0 |
| | 10 ペンシルバニア* | 22.2 | 8.2 | 3.2 | 6.1 | 28.3 | 3.2 | 5.1 | 2.92 |
| | 11 プリンストン* | 14.6 | — | 11.3 | 9.4 | 43.1 | 8.8 | 9.7 | 6.57 |
| | 12 スタンフォード | 14.1 | — | 5.3 | 7.3 | 55.3 | 5.9 | 9.1 | 4.29 |
| | 13 エール* | 22.6 | — | 20.7 | 8.0 | 29.7 | 9.0 | 3.3 | 4.64 |

注 *アイビーリーグ加盟大学, (a)ロックフェラー大学はデータがないため除外, バークレイ, ロス・アンゼルス2校についてはカリフォルニア大学の総合データを示す, (b)学生当教育・一般費=教育・一般費/学部学生相当数, (c)補助金を含む, (d)州政府支出金のみ, (e)基本財産収入, 研究委託費等を含む, (f)マジソン・キャンパスのみのデータ, (g)寄付, 教育委託費, 事業収入を含む, (h)貸付奨学金等を除く, (i)補助金・研究委託費に関連した直接・間接費支出に対する政府からの返済金 (別表XI, XII 参照)

うに、「優秀」といわれる大学は公立・私立を問わず、授業料等学生納付金の経常費全収入の中での占める割合は全国的な平均と比較して、低いといえる。かつ、私立大学の中には公立大学の場合より低い比率の大学すら存在していることは注目し得る。Aグループの私立大学の授業料そのものは全国平均より高いけれども、それらの大学では授業料等学生納付金の5~10倍に相当する経費が広義の教育・研究費のために支出されてい

ることを考慮すれば、学生にとって授業料は実質的には全国平均より必ずしも高いとはいえないであろう。

日本の場合、1968年の私立大学全体の授業料等学生納付金収入はその全収入の約50%である。⁴²⁾ アメリカでもこの比率が50%を越える大学がないわけではない。今回の調査対象大学の中ではアメリカン(59.2%)、ボストン(53.1%)、フォルダム(69.6%)、ロヨラ(54.8%)、ニュースクール(80.1%)、セント・ジョンズ(88.0%)、シラキューズ(50.0%)の7校がある。これらはいずれも私立大学である。興味あることにこれらのどの大学の授業料もAグループの私立大学の平均授業料1880ドルより低価である。

4.3 学生に対する経済援助

別表K、Xには学部学生および大学院学生の給与奨学金、貸付奨学金、学内アルバイト(**college assigned job**)、フェローシップ、研究・教育助手手当などの平均額、受給者数がリストされている。この表から明らかなように、例えば給与奨学金の平均額は180ドル(サウザン・イリノイ)1452ドル(ハーバード)と大学間で大きな差を示している。試みに、Aグループの私立大学について経済援助の平均受給額を求めると、学部学生1790ドル、大学院学生3470ドルである。これら経済援助の受給率は学部学生の場合が24.5%、大学院の場合が50.4%である。Aグループの州立大学についてはこの種のデータを欠く大学が多いため計算できなかった。今、仮りにパークレイ校の学部学生が3種の経済援助をすべて平均額ずつ受給したとすると(このような可能性は極めて少ないが)、1469ドルであり、Aグループの私立大学より少ない。このことは、高等教育、学生援助に極めて積極的な州の公立大学ですら、Aグループの私立大学の学生援助費よりもかなり低額であることが予想される。

1967年のG・ナッシの報告書は、⁴³⁾アメリカのユニバーシティの学部学生の経済援助について、「私立校は学生の納付金に非常に大きく依存しているので、大規模な学生援助計画を行なって学生の納付金支払を援助している。補助金の大部分は全額支払のできぬ学生の納付金の割引に使用されている。」と述べている。実際に私立校の授業料・納付金(1210ドル)は、公立校(250ドル)の場合の約5倍である。また、給与奨学金(**grants**)は公立校では学部学生の10%、私立校では18%が受給しており、その平均額は公立校の学生の190ドルに対して私立校の学生は約3倍の550ドルである。

公立・私立校のいずれの学部学生もその約10%の学生が、学期中の雇用・貸付奨学金を受けている。この雇用の平均額は公立校・私立校いずれの場合も200ドル程度である。また貸付奨学金の平均額についていえば、私立校の場合(380ドル)は公立校(260ドル)に比べて約50%多いことが報告されている。

アメリカの大学にみられる、私立大学は州立大学に比べて授業料は高いが、学生援助費は大きいという傾向と、日本の公私立大学にみられる傾向とはまったく異なっている。このことは第35表の公私立大学生の支出・収入をみてもわかるが、以下に若干の考察を行なうことにする。

1971年度の文部省の調査では、⁴⁴⁾大学昼間部学生についていえば、国立校では全学生の44.2%、私立校では19.7%の学生が奨学金を受給している。この奨学金受給者には日本育英会に限らず地方公共団体、民間団体、学校等からの奨学金受給者も含まれている。1970年9月30日の広島大学の日本育英会奨学生3658名に対してその他奨学金受給者101名という数字⁴⁵⁾から予想されるように、奨学金受給者の大部分は日本育英会奨学生であると考えてよい。1969年135.5万人の大学生(大学院学生を除く)の74%は私立大学、22.3%が国立大学、3.7%が公立大学に在籍している。⁸⁾一方、1969年度の日本育英会⁴⁶⁾の大学一般奨学生(短大、養護教諭養成所の方は除く)は、国立の場合の9622名に対して私立の場合は13,175名である。また大学特別貸与奨学生(短大、養護教諭養成所の方は除く)は国立10,582名に対し、私立は4,835名となっている。貸与月額、一般奨学生3000円、特別奨学生は国立の場合；自宅通学5000円、自宅外通学8000円、私立の場合；自宅通学7500円、自宅外通学12,000円である。特別奨学生の場合は私立大学の学生の奨学金は国立大学の学生のそれより5割多いけれども、私立大学の授業料が高いことを考慮すれば、国立大学に通学する方が支出は少くなる。

しかし、私立大学では日本育英会奨学生の受給率が低く、特別奨学生の比率は極めて低く、高い授業料の負担の軽減の対象となる学生の少いことは明白である。

参考までに1970年9月30日現在の広島大学の日本育英会奨学金受給数と受給率を第38表⁴⁷⁾に示しておこう。

第38表 広島大学の教育課程別日本育英会奨学生数および受給率* — 1970.9.30 —

| 教育課程 | 種類 | 人数 | 受給率 | 月当支給額(円) |
|------|-------|-------|--------|-------------|
| 学部課程 | 全学生 | 8,276 | 100.0% | |
| | 一般奨学生 | 960 | 11.6 | 3,000 |
| | 特別奨学生 | 2,225 | 26.9 | 5,000/8,000 |
| | 全奨学生 | 3,185 | 38.5 | |
| 修士課程 | 全学生 | 520 | 100.0% | |
| | 奨学生 | 269 | 51.7 | 15,000 |
| 博士課程 | 全学生 | 234 | 100.0% | |
| | 奨学生 | 204 | 87.2 | 20,000 |
| 全課程 | 全学生 | 9,030 | 100.0% | |
| | 奨学生 | 3,658 | 40.5 | |

* 受給率=在籍学生数に対する奨学生数の比率
奨学生数は1970.9.30現在の値
学生数は1970.10.1現在の値

出典：広島大学一覧 昭和44年—45年 p. 254, p. 267

アメリカの大学院学生の学生援助の形式は学部学生の場合の形式と著しく異っていることは別表Ⅸと別表Ⅹの比較より明らかである。

ここで1969年におけるフェロシップ・トレイニーシップ、研究助手、教育助手等の援助の専門分野別の受給学生数の比率を第39表⁴⁸⁾に示す。

第39表 専門分野別、主援助種別博士課程フル・タイム学生数の比率 — 1969年 —

| 専門分野 | 全援助 | フェロシップ・ トレイニーシップ | 研究助手 | 教育助手 | その他* |
|----------|----------|---------------------|--------|--------|--------|
| 工学 | 100.0% | 26.2 | 29.4 | 13.7 | 30.8 |
| | 21.8 | 19.3 | 29.7 | 12.8 | 26.4 |
| 物理科学 | 100.0 | 23.5 | 31.2 | 33.4 | 11.9 |
| | 21.4 | 17.0 | 30.9 | 30.5 | 10.0 |
| 数学 | 100.0 | 23.8 | 9.8 | 40.9 | 25.4 |
| | 8.3 | 6.7 | 3.8 | 14.5 | 8.3 |
| ライフサイエンス | 100.0 | 35.1 | 23.2 | 22.1 | 19.6 |
| | 19.5 | 23.2 | 21.0 | 18.5 | 15.0 |
| 心理学 | 100.0 | 39.8 | 14.2 | 19.0 | 27.1 |
| | 8.4 | 11.4 | 5.6 | 6.9 | 9.0 |
| 社会科学 | 100.0 | 32.2 | 9.6 | 19.2 | 39.0 |
| | 20.5 | 22.4 | 9.1 | 16.9 | 31.4 |
| 比率 | 100.0 | 29.6 | 21.6 | 23.4 | 25.5 |
| 全分野 | 100.0% | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 総数 | 141,199人 | 41,734 | 30,471 | 32,991 | 36,003 |

* 複数の援助を受けている場合には、主な援助を記録した。主な援助とは、1年間の授業料、自給額以外の全給付額が1,200ドル以上のものを指す。(第41, 42表にも適用)

* 主として自給、貸付金、家族からの援助

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」 p. 47

第39表から、社会科学（人文も含む）専攻の博士課程の学生には自給・貸付金・家族からの援助等で生活しているものが最も多く約4割に達することは注目すべきことであろう。フェローシップ・トレイニーシップの形式の援助は心理学、ライフサイエンスの分野で多く、研究助手は物理科学、工学の分野で最も多く取入れられている。教育助手は数学の分野で最も多く、続いて物理科学の分野で多いことがわかる。社会科学に続いて工学の分野でその他の形式による学生が多いことも興味もたれる。

次に、学部学生と大学院学生に対する各種援助額と比率を第40表⁴⁹⁾に示す。

第40表 高等教育機関における全学生援助^{a)} — 1966 — 67年度 — (単位100万ドル)

| 援助の種類 | 学部学生 | | 大学院学生 | | 合計 | |
|-------------------------|------------|------|-------|------|---------|------|
| | 援助額 | 比率% | 援助額 | 比率% | 援助額 | 比率% |
| 給与奨学金 ^{b)} | | | | | | |
| 連邦補助金・フェローシップ | \$ 256.0 | | 673.6 | | 929.6 | |
| 州のスカラシップ | 83.0 | | 15.0 | | 98.0 | |
| 大学の補助金・フェローシップ | 241.0 | | 30.0 | | 271.0 | |
| 財団 | 27.0 | | 23.0 | | 50.0 | |
| 小計 | 607.0 | 44% | 741.6 | 87% | 1,348.6 | 60% |
| 雇用 | | | | | | |
| 産学協同プログラム ^{c)} | \$ 142.5 | | 7.5 | | 150.0 | |
| 大学の雇用 | 197.0 | | 10.0 | | 270.0 | |
| 小計 | 339.0 | 24% | 17.5 | 2% | 357.0 | 16% |
| 貸与奨学金 ^{d)} | | | | | | |
| 連邦貸与奨学金 | \$ 200.6 | | 51.8 | | 252.5 | |
| 保証貸与奨学金 ^{e)} | 221.1 | | 27.3 | | 248.4 | |
| 大学貸与奨学金 | 25.0 | | 10.0 | | 35.0 | |
| 小計 | 446.7 | 32% | 89.1 | 11% | 535.8 | 24% |
| 総計 | \$ 1,393.2 | 100% | 848.2 | 100% | 2,241.4 | 100% |

(a) Estimated total student financial aid (b) Grants

(c) College Work-Study Program, (d) Loans

(e) Guaranteed loans (private lenders with interest subsidy)

出典：American Educational Research Association, 「Encyclopedia of Educational Research, 4th Ed.」 1969, p. 1345

援助財源の規模の点から見ても大きな差がある。学部学生の場合、給与奨学金 (grants) は全体の44%であり、そのうち連邦補助金と並んで大学の補助金の占める割合が大きい。一方大学院学生への給与奨学金による援助は全体の87%という極めて高い比率を占め、その大部分は連邦補助金・フェローシップによっている。学部学生に対する貸与奨学金による援助は全体の約1/3である。その中で学生が私的機関から学費を借りた場合、その金利を補助するという保証貸与奨学金と国防教育法 (NDEA) に基づく連邦貸与奨学金の両方で、95%を占めている。

全国的に見た場合、連邦補助金・フェローシップは大学院学生に重点がおかれ、連邦貸付金は学部学生に重点がおかれているといえよう。また大学の補助金は主として学部学生に向けられていると結論できそうである。

第41表⁵⁰⁾はフェローシップ・研究助手等援助種類別に各援助者から、援助を受けている博士課程学生数の比率をまとめたものである。

フェローシップ・トレイニーシップや研究助手の資金の最大のスポンサーは連邦政府である。一方、教育助手の財源は、ほとんどすべて大学・州政府・地方自治体に依存していることがわかる。

見方を変えると連邦政府が最も重点をおいているのはフェローシップ・トレイニー事業である。また連邦が大学への研究委託費 (contract) や助成研究費 (sponsored research) として支払う資金から支出されている研究助手手当の割合もかなり大きい。大学・州・地方自治体は教育助手に重点をおいている。民間財団は連

第41表 援助者別、主援助種別博士課程フル・タイム
学生数の比率 — 1969年 —

| 援助者 | 全援助 | フェローシップ・ トレイニーシップ | 研究助手 | 教育助手 | その他 |
|------------|-----------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|
| 連邦政府 | 100.0% 36.6 | 55.6 68.8 | 38.1 64.5 | 0.6 1.0 | 5.7 8.2 |
| 大学・州・地方自治体 | 100.0 35.7 | 14.2 17.2 | 16.7 27.7 | 64.4 98.6 | 4.6 6.4 |
| 民間財団 | 100.0 2.7 | 65.6 6.0 | 22.7 2.9 | 2.0 0.2 | 9.7 1.0 |
| 企業 | 100.0 3.2 | 36.4 4.0 | 25.0 3.7 | 0.2 <0.05 | 38.4 4.9 |
| 自己資金 | 100.0 18.6 | — — | — — | — — | 100.0 73.1 |
| その他国内からの援助 | 100.0 1.5 | 18.1 0.9 | 14.1 1.0 | 2.5 0.2 | 65.4 3.9 |
| 国外からの援助 | 100.0 1.6 | 56.5 3.0 | 2.5 0.2 | — — | 40.9 2.6 |
| 全援助者 | 100.0 100.0% | 29.6 100.0 | 21.6 100.0 | 23.4 100.0 | 25.5 100.0 |
| 援助数 | 141,199人 | 41,734 | 30,471 | 32,991 | 36,003 |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」 pp.50—51

邦政府以上にフェローシップ・トレイニーシップに重点をおいている。企業はフェローシップ・トレイニーシップとその他に同程度の関心を払っているといえそうである。

第42表⁵¹⁾には、援助者別、専門分野別博士課程フル・タイム学生数の比率を示した。

第42表 援助者別、専門分野別博士課程フル・タイム学生数の比率 — 1969年 —

| 援助者 | 全分野 | 工学 | 物理科学 | 数学 | ライフサイエンス | 心理学 | 社会科学 |
|----------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 連邦政府 | 100.0% 36.6 | 23.9 40.0 | 25.5 43.7 | 6.2 27.5 | 22.3 41.7 | 9.9 43.0 | 12.1 21.5 |
| 大学・州・ 地方自治体 | 100.0 35.7 | 15.9 26.0 | 24.8 41.4 | 11.7 50.2 | 19.6 35.8 | 7.7 32.7 | 20.4 35.5 |
| 民間財団 | 100.0 2.7 | 16.7 2.1 | 16.8 2.1 | 3.3 1.1 | 19.3 2.7 | 6.6 2.1 | 37.4 5.0 |
| 企業 | 100.0 3.2 | 64.1 9.5 | 15.7 2.4 | 4.4 1.7 | 10.7 1.8 | 1.4 0.5 | 3.8 0.6 |
| 自己資金 | 100.0 18.6 | 20.8 17.8 | 9.5 8.3 | 7.8 17.4 | 15.6 14.9 | 8.3 18.3 | 38.0 34.5 |
| その他 国内からの援助 | 100.0 1.5 | 18.7 1.3 | 15.7 1.1 | 5.9 1.1 | 23.8 1.8 | 16.3 2.9 | 20.1 1.5 |
| 外国からの援助 | 100.0 1.6 | 44.8 3.3 | 13.1 1.0 | 5.6 1.1 | 15.9 1.3 | 1.9 0.4 | 18.8 1.5 |
| 全援助者 | 100.0 100.0% | 21.8 100.0 | 21.4 100.0 | 8.3 100.0 | 19.5 100.0 | 8.4 100.0 | 20.5 100.0 |
| 援助数 | 141,199人 | 30,820 | 30,175 | 11,727 | 27,588 | 11,918 | 28,971 |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」 pp. 48—49

第42表から、工学、物理科学、ライフサイエンス、心理学の分野での博士課程学生への経済援助40%以上は連邦政府の財源による。

社会科学（人文を含む）の学生援助に対する連邦援助は最小である。ところが民間財団からの経済援助は社会科学の分野に対して最も力点がおかれている。数学分野の学生援助は大学・州・地方自治体の財源に大きく依存している。社会科学の学生の約1/3は自己資金で生活をしていることは注目すべきことである。自己資金生活者が最も少いのは物理科学の分野である。

1964年のミシガン州立大学の研究⁵²⁾によれば、「多くの大学は、学業成績の最も高い大学院学生を追い求め、一般の大学院学生は給費額の最も高い大学を選ぶ」ということである。この論文は結論として「大学院の助手手当や研究奨学金からの純収入に差がなくなる時に初めて大学院で行なわれる教育の良否が学生の大学院選択の第一の要因になるであろう。」とのべている。

大学院間ほどではないにしても、専門分野間でも経済援助の大きいところへ学生が集まる可能性がある。連邦の各種計画は、この可能性を利用して特定分野の育成を行なっているといえよう。

次に、奨学金等学生援助費の経常費全収入に対する比率について考察してみよう。前掲第36表によれば、1967—68年における学生援助費収入の経常費全収入に対する比率は公立大学では2.5%、私立大学では3.7%、一方学生援助費支出の経常費全支出に対する比率は公立の場合が3.3%、私立の場合が6.0%となっている。

127大学中、学生援助費収入の比率が10%以上の大学を比率の大きい順にあげると、ケース・ウエスタンリザーブ（25.5%）、ウィオミング（24.9%）、ミシシッピー（22.0%）、プリン・マー（16.6%）、ペイラー（12.3%）、コロンビア・ティチャーズ・カレッジ（12.0%）、アメリカン（12.0%）、クレアモント（10.9%）、アメリカ・カソリック（10.1%）がある。（別表Ⅶ参照）。

学生当りの学生援助費について述べておこう。別表Ⅳには学部学生相当数に対する学生援助費が示されている。この学生当学生援助費が500ドル以上の大学はカリフォルニア工科（714ドル）、プリンストン（706ドル）、シカゴ（672ドル）、ケース・ウエスタン・リザーブ（651ドル）の4校である。500～300ドルの範囲には、額の大きい大学から順に上げると、ハーバード、エール、プリン・マー、ライス、カリフォルニア、バンダービルド、ミシシッピーの7校がある。この中に州立2校が含まれているのが目につく。

コロンビア、M. I. T.、ミネソタ、ロックフェラーなど有名大学のデータは欠けているが、学生当学生援助費が150ドル以上の大学23校のうち約半数に近い10校が、学生援助に積極的なリーダー格のニューヨーク、カリフォルニア、イリノイ、ニュー・ジャージー、バージニア、およびロード・アイランドの6州⁵³⁾に所在している大学であることは注目しておく必要があると思われる。

4.4 学生援助の問題点

奨 学 金

大学院学生にしても平均的な給費額では大学院生活を過すことが楽ではない状態にあることは、これまでになされてきた考察からも予想されることである。

学生が奨学金の高い大学を選ぶ理由について、リースマンとジェンクスは次の喩え⁵⁴⁾を用いて説明している。「1000ドルの昇給につられて大学をかわる教授に似ている。彼は1000ドルでは引越し費用も出ないし、それが別に必要なわけではない。彼が大学をかわるのはたとえ少額とはいえ昇給するのは地位の向上の象徴であり、新しい大学が彼の価値をよりよく評価していることの証左だからである。このように考えれば奨学金は他大学に比べていくらか多いことが重要な意味をもち、必ずしも生活するに十分な額を大学が支出しないことも理解できる」。リースマンらはさらに続けて、「少額の奨学資金は、真に恵まれない学生を助けるためではなく、むしろ大学が、入学することを希望する中産階級の子弟に、他大学へ逃げられないために、彼らに対する大学の敬意のしるしを受けてもらおうというのが趣旨である。」また「もし政治家がこの種の求婚儀礼のためにもっと金を割けば、大型の援助を必要としている学生に対する大学の求愛も、さらに活発になるかもしれない。しかし実情はそうなっていない。」と述べている。⁵⁴⁾

アルバイト

優秀な博士課程の学生で、学位論文だけを残している大学院学生は分野によっては年俸1万ドルぐらいを大学の近くの小さな大学の助教授として稼いでいる。しかもその時の負担は大学の教育助手としてのものより軽いことが多い。⁵⁵⁾このようなアルバイトは条件の良い例であるが、一般にアルバイトは学位取得に重大な障害となっているようである。

「常勤としてアルバイトをする者の損耗率は中高年齢層の学生にみられるごとく、能力段階とは無関係に高い」とL.B. ビーチは述べている。⁵⁶⁾

教育助手

人文系は理工学系に比べて、フェロシップや研究助手の割当が少なく、多くの大学院学生が教育助手になる。教育助手は週に最低10時間の奉仕をしなくてはならない。このことは人文系の学生の学位取得期間が理工学系に比べて2倍も長くなることに関連していると、合衆国大学院協議会会長G.O. アルト⁵⁷⁾は語っている。

リースマンとジェンクスは「大学革命」の中で次のように述べている。⁵⁸⁾ 第2次大戦前は主要大学の一流学者ですら、低学年の学生に対する懇切丁寧な指導、つまり「チビ相手の仕事」にも精を出した。当時彼等の労働の補助は学問的には業績は乏しいが年功の講師・助教授が行っていた。その後、アメリカ大学教授協会をはじめとする諸団体が教員の昇進に関して「昇進するか、さもなければ学外に去る。」という規則を推進してきた。その結果、今日の主要大学において、万年助教授はほとんど影をひそめてしまった。現状では高名な学者で週6時間以上教えるものは少い。それにともない大衆高等教育の日常的問題は大学院学生にしわよせされるにいたった。大学院学生の助手は小試験を処理し、答案に目を通し、学生の苦情に耳を傾け、ものを知らない学部学生との過度の接触から教授を守ることを職務としていると。

例えば、1968年のウイスコンシン大学の報告⁵⁹⁾では教育助手は週平均20時間という過重な授業負担をうけもち、1年間に約3600ドルの給与を受けているに過ぎないと述べている。これらの疎外状況などに対してウイスコンシンの教育助手連合は1970年にストライキを行ない、多少の改善はあったが基本的な状況はそのままであるといわれている。

最後に1961年度の大学院協会の理事長M.E. プライア教授の意見を紹介しておく。彼はPh. D. 課程の修業年限が他の専門職の博士課程の場合に比べて途方もなく長い時間を要することの問題に関連して次のように論じている。

法律・医学の学生は学位を取得するまで、その仕事に就くことはできないが、経済的な理由からPh. D. コースの学生の多くは教授の助手を勤めたり、他のカレッジの教職に就くのである。学部教育を担当する教官の不足に悩んでいる大学やカレッジは彼等の勤務を重宝がっている。そのお蔭でPh. D. コースの学生は財政的に救われている。しかしこれは、学生がフルタイムで大学院課程を履修することを困難にするものである。事実、学修を中断する学生は医学・法律コースの場合より、Ph. D. コースの方がはるかに多いのである。もし、すべての大学院学生に学修を全うさせるような改革（奨学金などの充実）を行なえば、たちまち数多くの大学が危機に直面する事態が起こるのである。

研究助手

研究助手のポストへの羨望は人文系関係者には強いが、それでもやはり問題はある。デュプレとレイコフは「科学と国家」の中で次のように述べている。⁶¹⁾「助手の仕事は博士課程に必ずしも役立つとは限らず、かえって大学院学生の期間を長びかせるだけである」、「研究助手の口があるために学生のエネルギーをかなり現実的な問題にふり向けて、もっと創造力を要するしかも金にならない学位論文のテーマの研究から遠ざけてしまう。」また、「大学から研究助手制度が教育助手の職をくい、大きなクラスの基礎課目の授業を改善するのに必要な人材を減らすという不満がでている。」そして最後に「研究助手制度は大学における政府援助の副産物にすぎず、直接の人材養成プログラムとは考えられぬ。」としている。

P.G. アルトバックは、多くの大学院学生にとって、その助手としての経験が大体において有益なものであ

ることは事実だとしながらも、次のように述べている。⁶²⁾大学院学生は最も弱い立場におかれており、古手の教授たちに酷使されがちであると信じている。極端な例ではあろうが、古参教授による助手の研究成果の剽窃のごときことも現出しているように、アメリカの大学院教育のなかには、まだ依然として、あいまいなもの、専断、ときには不正などが少なからず残存している。

フェローシップ

リースマンやプライアは教育助手制度の矛盾点について、デュプレは、研究助手制度をも矛盾あるものとして批判を加えている。彼等の助手制度批判の前提には奨学金制度の充実に期待している面があるようである。しかし、フェローシップにも問題がないわけではない。

フェローシップ授与の規準は主として成績 (grade) , 試験の結果 (achievement) および推薦状である。これらはすべて、学生の学部時代の行動様式に対する教官の個人的反応を示したものに過ぎないことが多い。財政援助を受けようとする学生で教授に強い反対意見を出し学問の探求に独自の道を進めるだけの余裕のあるものはほとんどいない。教授に取り入る習慣を身につけ、試験に合格する技術をやしなうことになりうる。これは学者としての厳しい個人主義と自主性を養う態度とは異質のものであるというわけである。⁶³⁾

ついでに、**課税上の問題**を付け加えておく。わが国においても、研究助成の立場から「作行会」などの財団が若手研究者への奨学金・助成金を提供している。しかしこれらの中には課税の対象となっているものが少ない。

第2章 §1.6 において説明されているように、フェローシップと研究助手との間に実質的な差はない。フェローシップは主として連邦ならびに民間の各種フェローシップ事業に基づくものであるのに対し、研究助手手当は指導教授の獲得した研究委託費や助成研究費から支払う点が異っているに過ぎないといわれている。

国内歳入局によれば、⁶⁴⁾ 研究費は教授に与えられ、その教授が学生を雇用して研究を行なうのが研究助手である。したがって研究助手に与えられた金は課税されることになる。1965年の時点では、資金源のいかんを問わず、学生の収入の一部を非課税とする動きがあるといわれている。

次に**学生に対する連邦援助の問題**について論じることにしてしよう。§4.3 における議論から明らかなように、学生援助の中で連邦支出金の占める割合は最大である。特に、フェローシップ事業 (トレイニーシップも含めて) や研究助手の財源の中での連邦援助の寄与は極めて大きい。それだけに大学院教育のみならず、大学の研究活動への影響も大きい。したがって逆に連邦政府の科学・技術政策 (高等教育政策を含む) の問題点が学生に対する連邦援助にみられる問題から浮きぼりされる可能性があるだろう。

学生に対する連邦援助の問題点は次の3項目に分けて論じることとする。

A. 専門分野による不均衡, B. 学問の自由の制約, C. 表現の自由, 思想・信条等の自由の侵害

A. 専門分野による不均衡

この不均衡とは、理工学系への援助に比べて人文・社会科学系への援助が極めて少いという問題⁶⁵⁻⁶⁸⁾と、人文・社会科学系の中でも、地域学、言語学、計量経済学、経済開発など主として第2次大戦後の海外政策との関連で重点をおかれた分野以外は軽視されている問題^{67, 69)}などがそれである。

第43表に専門分野別、連邦財源別の援助を受けている博士課程フル・タイム学生の分布を示す。

第43表から、確かに、国防省、全米科学財団 (NSF) の援助は工学、物理科学に重点がおかれていることが明白である。数学も主要な財源は NSF に負っている。

国立保健局 (NIH) はライフ・サイエンス (生物・保健科学) と心理学を重点的に援助している。国防教育法 (NDEA) は社会科学 (人文を含む) に重点をおいていることがわかる。

文献Cの詳細なデータ⁷⁰⁾によれば、NDEAからの援助の多い社会科学 (人文を含む) 分野は、政治学、経済学、社会学 (地域学を含む)、言語学などである。

連邦政府の各種計画がこれらの特定分野の発展に照準を合わせていることは否定できない。

第43表 専門分野別、連邦機関別、援助を受けている
博士課程フル・タイム学生数の比率—1969—

| 専門分野 | 合計 | 国防省 | 保健・教育・福祉省 | | NSF | その他の機関 |
|-----------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | NDEA | NIH | | |
| 工 学 | 100.0% 23.9% | 22.2 55.0 | 8.5 15.4 | 8.3 8.4 | 24.8 23.5 | 36.2 30.5 |
| 物 理 科 学 | 100.0 25.5 | 10.9 29.0 | 10.3 19.7 | 12.7 13.8 | 35.4 35.9 | 30.7 27.7 |
| 数 学 | 100.0 6.2 | 10.1 6.5 | 15.7 7.4 | 5.8 1.5 | 53.0 13.2 | 15.5 3.4 |
| ライフ・サイエンス | 100.0 22.3 | 1.1 2.6 | 11.5 19.3 | 48.8 46.1 | 16.5 14.6 | 22.1 17.4 |
| 心 理 学 | 100.0 9.9 | 3.5 3.6 | 11.0 8.2 | 48.5 20.4 | 9.1 3.6 | 27.9 9.8 |
| 社 会 科 学 | 100.0 12.1 | 2.6 3.2 | 33.0 30.0 | 19.2 9.8 | 19.1 9.2 | 26.1 11.1 |
| 比 率 | 100.0 | 9.6 | 13.3 | 23.6 | 25.1 | 28.3 |
| 全 分 野 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 総 数 | 51,620 | 4,963 | 6,858 | 12,188 | 12,981 | 14,629 |

出典：NSF, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」 pp. 52—54

B. 学問の自由の制約

「一般に学問の自由は、教授の権利であり、特権であると考えられているが、それは大学院の学生がその専攻領域を選び、その教育を受ける大学を選ぶという、同様に重要な自由を含んでいる」とH. E. ベントは述べている。そして、フェローシップ・プログラムに対する批判として、「研究領域を学生が自由選択するという第1目標を達成するにはまだ距りがある。」、さらに「能力のある学生のすべてに進んだ教育の機会を与えるという第2目標にはもっと大きな距離がある。」と語っている。⁶⁶⁾

合衆国大学院審議会の初代会長であり、フェローシップ事業の主要な運営方針をつくったといわれる、ベントはフェローシップ事業に含まれる種々の制約は自由の大きな喪失となることは明らかであるとしながらも、このような自由の喪失は国家防衛を持続し、自然科学や工学を重視するためにわれわれが支払っている代償の一つであるとしている。

C. 表現の自由、思想・信条等の自由の侵害

政府の出資する大学研究の約10—15%は機密指定されている（その多くは核物理関係）といわれている。この機密指定研究は研究の自由という知的原則を侵害するだけでなく、大学に対しては過度の警備体制を要請することになる。自分の研究計画を完成しても、その成果が軍事的価値を有しているか否かにかかわらず公表することは制限される。機密指定は、若い科学者の場合、学位論文の完成に影響するところが大きく、学位論文のテーマとしての研究を禁止された場合もあるといわれている。

ハーバード大学ではあらゆる機密指定の研究を拒否することになった。大学からの圧力によって政府は大学構内の機密研究を削減し、機密研究の多くは研究センターや産業界にむけられた。しかし現在もやむを得ず、機密研究を大学構内で行なうことがあるとデュプレとレイコフは述べている。⁷¹⁾

NDEAは高等教育の発展に大きな寄与をした法律と解されているが、この法律は多くの批判を受けている。この法律で最も問題になったのは、NDEAに基づく貸与奨学金の志願学生のすべてに「力によりあるいは合法的・非合法的方法によりアメリカ合衆国政府の転覆を信条とし、あるいはそれを教える機関を信奉したり、その一員であったり、支持したりしないこと」を誓約せしめ、署名を要求する条項があることである。⁷²⁾この漠然とした条項の中の「機関」は事実上いかなる解釈も可能にし、大学を自己の学生の基本的信条や集会の自由を検閲するという不愉快な立場に置くことになるのである。

この信条否認誓約書を非難する声は進歩的な機関、アメリカ大学教授協会、多くの大学、多くの議員と多方面から起った。また、アイビーリーグなどの有名校を含む少数の大学では、実際にNDEA基金を拒絶し、そのプログラムに参加することを拒否した。しかし、この宣誓書の撤回は議会では成功しなかったといわれている⁷²⁾。

4.5 教育・一般費

学生当教育・一般費

学部学生相当数に対する教育・一般費の各大学別の計算値は別表Ⅳに示されている。この表を整理すると、データのある120大学中1000ドル未満18校、1000ドル台が27校、2000ドル台が53校、3000ドル台が11校、4000ドル台が7校、5000ドル以上が5校という分布を示していることがわかる。

上位12大学のうちケンタッキー（4120ドル）、ロチェスター（4340ドル）、ヤシェバ（4570ドル）以外の9校はAグループ大学に属する。

Aグループの州立大学中最高額（3780ドル）のカリフォルニアに比して、ケンタッキーの値が大きいことは注目される。Aグループ20大学の学生1人当たりの教育・一般費は前掲第37表の中に示されている。

一般費目的政府支出金および各種助成費

第36表に示されているように、公立大学（主として州立）は連邦、州政府、地方自治体から援助を受けている。一方、私立大学は連邦資金の依存度は公立大学よりも高いことは注目すべきことである。つまり、公・私立大学の差異を公的資金援助の観点から見たとき、特徴的なことは、私立大学は連邦資金の導入に関しては州立大学と同様またはそれ以上に積極的であり、かつ多額を獲得している。また、州立大学が全経常費の40%もの多くを州・地方自治体に依存しているのに対して、私立大学は全経常費の約1%程度しかそれらに依存していない。

今回の調査では、各大学からの一般費目的の政府支出金の報告が欠如しているもの、助成研究費等の報告が欠如しているもの、などが混在している。このことは、助成研究費・特別研究費・助成事業費等の財源の多くが連邦・州政府に負うところが大きい大学によって、研究委託費（contract）と同様に一般費目的の政府支出金の項に報告したり、また逆に、一般費政府支出金を各種助成費の中に入れて報告したからではないかと思われる。以上の点は第1章第10表と別表Ⅺとの比較からも裏づけることができる。

また第10表に示された、連邦補助金交付額上位10大学の1位から9位まではAグループ大学である。この中の5校は私立大学であることは注目に値する。さらに重要なことは、全国大学への連邦資金交付額の約2割をこの10大学で分配していることである。

アメリカにおける連邦資金の特定大学への集中は、第1章§3.3において大学間の不均衡の問題と関連して論じられている。わが国の科学研究費の配分においても（例えば昭和44年度国立大学への科学研究費配分総額の59%を旧7帝大で配分している⁷³⁾）、明らかに予算配分額の特定大学への過度の集中が見られる。

基本財産収入・寄付金収入

第36表に見られるように、一般に私立大学は公立大学に比べて、基本財産収入や寄付金収入が多い。基本財産の上位20大学（第1章第10表）の中の85%もの圧倒的多数が私立大学によって占められていることにも反映している。今回の調査対象校の中で、基本財産収入が経常費全収入の20%を越える大学は、プリン・マー（20.9%）、ハーバード（20.4%）、ライス（20.4%）、エール（20.7%）の私立4校がある。Aグループの公立大学の基本財産収入の平均的な比率は0.6%であり、私立大学の場合は8.8%である。また、寄付金・補助金等収入が経常費全収入の20%を越える大学はブランデーズ（29.4%）、ブラウン（24.9%）、フロリダ（29.0%）、イリノイ（20.3%）、ミシガン（36.0%）などがある。ただし、フロリダ、イリノイ、ミシガンの場合は研究委託費も含まれていることに注意しておく必要がある。

日本の私立大学に関する1968年度調査では財産収入、寄付金収入は全純収入のそれぞれ1.4%と7.5%であ

る。⁴²⁾

アメリカでは、第1章§2.3で論じられているごとく、基本財産の所有も比較的少数の大学に集中している。したがって、基本財産の乏しい私立大学は少ないことが予想される。連邦資金の特定大学への集中化により、連邦援助から見離され、基本財産の乏しい大学は深刻な財政難の危機に絶えず見舞われていると考えられる。

4.6 大学財政の問題点 —連邦援助を中心として—

連邦援助の問題についてのアメリカ教育協議会の見解は第1章§3.3においてすでに紹介した。また大学財政中、学生援助に関する問題点は本章の§4.4において若干論じたところである。したがって、ここでは以上の議論との重複を避けながら、若干の問題を論じてみよう。

アメリカにおける高等教育に果してきた連邦政府の役割は極めて重要である(第1章)。学生援助の増大は大学人口の拡大に結びつき、連邦政府の科学に対する関心がアメリカの科学を高度に発展させてきたといわれている。

高等教育機関の経常費中連邦政府支出金の占める割合は、基本財産収入とか民間寄付金の占める割合よりも極めて大きい(第36表参照)。また、奨学金等学生援助費中の連邦援助の占める割合も極めて大きい(第40表、第41表、第42表参照)。このことは、たとえ連邦援助の中に種々の矛盾があろうとも、高等教育の発展状況からみて連邦援助を拒否することは到底不可能な状態に立ち到っていることを意味していると思われる。§4.4において述べたように、NDEA 貸与奨学金、機密指定研究の問題点を重要視し、ハーバード大学など有名な少数の大学が連邦資金の一部を拒否し、連邦援助のあり方を批判し、法改正・修正の努力を試みたことは、その結果が必ずしも成功に結びつかなかったとは言え、その意義は小さいものではあるまい。他の理由もあろうが、最近では機密研究は大学では行なわれていないという。歴史の古いハーバード大学は第10表(第1章)に見られるごとく、基本財産の所有額は全米第1位の最も豊かな大学でもある。この「豊かさ」の裏付けと大学の輝き歴史とが、ハーバードをして批判者であることを可能ならしめたのかもしれない。また、財政的基盤の弱い多くの大学は、連邦援助の矛盾点を認識していたとしても、ハーバードに類する行動は容易にできることではあるまい。

D. K. プライス^{*}は多くの大学の行政担当者の立場を古い俗語^{*}にてでくる若い婦人の立場にいくらか似ていると述べている。⁷⁴⁾

第2次大戦前より兵器体系開発上、軍部各省が主要大学の科学者の援助を求め、大学は「国家防衛」の一翼をになって、兵器開発・戦略研究に協力した。しかしこのいわゆる「軍学協同」のプログラムは、伝統的な学問の自由と両立し難いとして、大学の正規の行政体系から研究センターとして分離して行なっている^{75,76)}となど大学行政担当者の苦心の表われとも言えよう。カリフォルニア大学のロス・アラモス研究所、M.I.T. のリンカーン研究所、ジョーンズ・ホプキンスの応用物理研究所、ハーバード、M.I.T. などの大学連合下のブルックヘブン研究所などがそれである。これらの研究センターには政府機関(普通は原子力委員会や軍部)が助成研究費、研究委託費を支給している。

研究センターは大学内部問題とはほとんど関係をもたないが、個々の研究計画に対する委託契約金や助成金は、実験室の予算から教授会や学生にいたるまで大学の運営に深い影響を与える。一方この研究計画は大学自

* ケントから出てきた一人の若い婦人がいた。
彼女は知っているといつた、
男が彼女を食事にさそい、
カクテルとワインを与えることの意味を。
知つていながら彼女はついていつた。
(ケント：トーマス河南方の森の多い田園地方)

体の中で進められ、その知的機能の不可欠な要素となっているといわれている。⁷⁶⁾

このような大学と政府・軍部との協力体制が完成する上で、第2次大戦前の「国家防衛」という大学と政府を結ぶ精神的紐帯の他に、政府と科学の関係が科学を支持するための「目立って新しい体系」⁷⁷⁾が極めて重要な役割を果している。

「目立って新しい体系」は一般行政官の終身職制の廃止と科学行政官の導入、連邦補助金を通しての政府の専門家と州の専門家の密接な紐帯によって支えられている。⁷⁷⁾ また、かつて科学開発局長 V. ブッシュ(カーネギー協会会長)が大統領に直接責任を負っていたことに象徴される「流線型の権威主義的組織」⁷⁸⁾によってこの「目立って新しい体系」が運営されてきたのである。

プライスは、ブッシュなど科学開発局を指揮してきた人々は、科学に対する政治的干渉の危険を心配するとともに教育機関、科学機関に対する資金配分が集権化された官僚制に委ねられた場合の危険性を深く懸念していたと述べている。一方政府の組織・行政に関心をもつ人々は、科学に対する政府の支持が高まれば、その研究開発活動は社会の強力な利益に影響するような問題に統制する力を政府がもつことが必要だと考えていたといわれる。

この科学者のいう「科学の自由」と政府行政官・軍人などのいう「政府責任の強化」とは、第2次大戦後、全米科学財団や原子力委員会の設立の際も議会で争点となったし、⁷⁹⁾現在もおお解決していない問題がある。というよりも、「自由か責任か」という問題は「大学と国家」という大学と国家が存続する限り取りくまざるを得ない課題であろう。

「国家防衛」のもつ、またはもたらしている問題を1, 2取り上げることにする。§ 4.4で多少論じたように連邦援助から比較的見離されていた人文の分野にあって、言語学研究には多くの援助が行なわれた。これはNDEA第6条により言語研究・教育が特別の考慮を払われるべきものと規定されている⁸⁰⁾からである。

G. O. アルトは「国家防衛」という言葉が言語研究のための資金源となる連邦の金庫を開ける鍵であり、その他いかなる鍵をもってしてもそれを開けることはできなかった。外国語が国家の安全に必須な学問の系統に入れられ、それに関連する権利と特権を与えられていることが明らかであると語っている。⁸⁰⁾

デュプレとレイコフも「科学と国家」の中で、NDEAが高等教育に実際に果たした役割を評価しながらも、「議会は、教育のための教育ではなくて、現実のあるいは想像上の国防の必要に対する教育のために法令をつくる。しかし冷戦中に時に起こる国防上の要請は必ずしも長期の教育目標とは一致しない。国防教育法の多くの難点はその名前の最初の言葉、つまり国防の方に内在しているのである。」⁸¹⁾と述べている。

国防の名の下で発展した大学と軍(および軍事的企業)などとの協力体制が、ベトナム戦争以後、コロンビア、ハーバード、スタンフォード、M. I. T.などの大学紛争の中で学生によって告発されるにいたっている。この現象は、今後アメリカの大学と国家のかかわり方に新しい関係を生み出す上で、重要なモメントになるであろう。しかしこの新しい関係がアメリカ国民にとって、プラスのベクトルをもったものになるかどうかの鍵は、明日のアメリカを担うべきこれらの学生や若手研究者のエネルギーに負うところが少くないと思われる。

参考文献および注

第3章において、引用した参考文献を上げておく。それらの引用箇所を注として示す。

<参考文献>

- A. 沢田 徹編著、「主要国の高等教育」(1970, 第一法規)第1章 アメリカ合衆国
- B. Office of Education, 「Digest of Educational Statistics 1970 Ed.」
- C. National Science Foundation, 「Graduate Student Support and Manpower Resources in Graduate Science Education, Fall 1969」
- D. American Council on Education, 「American University and Colleges 10th Ed.」1968

- E. American Educational Research Association, 「Encyclopedia of Educational Research, 4th Ed.」 1969
- F. E. ウォルターズ編, (木田宏監訳) 「これからの大学院」 (1969, 東京大学出版会)
- G. E. J. マックグラス編, (清水義弘監訳) 「大衆のための大学」 (1969, 東京大学出版会)
- H. カリフォルニア大学教育特別委員会, (新堀通也監訳) 「バークレーの大学改革」—マスカティン・レポート— (1970, 東京大学出版会)
- I. D. リースマン, C. ジェンクス, (国弘正雄訳) 「大学革命」 (1969, サイマル出版会)
- J. D. K. プライス, (中村陽一訳) 「政府と科学」 (1967, みすず書房)
- K. Elmer D. West, 「Financial Aid to the Undergraduate」 (1963, American Council on Education, Washington)
- L. J.S.デュプレ, S. A. レイコフ, (中山茂訳) 「科学と国家」 (1964, 東海大学出版会)
- M. P. G. アルトバック (喜多村和之訳) 「政治のなかの学生」 (1971, 東京大学出版会)
- N. B. ボールス, (西部邁訳) 「アメリカにおける高等教育の矛盾—その階級的構造」 (「世界」1972, 3月号, 岩波書店)
- O. 中山 茂, 「国家の科学政策と大学の使命」 (「望星」1971, 9月号, 東海教育研究所)
- P. 新堀通也編「学閥」 (1969, 福村出版)
- Q. 文部省, 「学校基本調査報告書 昭和44年度」
- R. 文部省編, 「文部省第96年報 昭和43年度」
- S. 文部省学術局学生課, 「昭和45年度学生生活調査結果の概要」 (「厚生補導」68号, 1972, 第一法規)
- T. 日本育英会, 「昭和44年度日本育英会年報」
- U. 永井憲一, 「大学紛争原因の分析」 (「法律時報」1970, 1月号 日本評論社)
- V. 広島大学一覧 昭和44年—45年
- W. 東京大学広報委員会, 「改革フォーラム」No.23, 1972, 2
- X. 広島大学改革委員会財政問題専門委員会中間報告 (1970)
- Y. 日本学術振興会, 「学術月報」304号 1971年
- Z. 広重 徹「社会のなかの科学 (13)」 (「自然」1972年7月号 中央公論社)

<注>

- 1) 文献 A, p. 41
- 2) 文献 Q, pp. 5—6
- 3) 文献 B, pp. 68—70
- 4) 文献 C, p. 39
- 5) 文献 D, 各大学に関するデータ (概要の項)
- 6) 文献 A, p. 31
- 7) 文献 B, p. 85
- 8) 文献 Q, p. 3
- 9) 文献 U, p. 93
- 10) 文献 Q, p. 12
- 11) 文献 D, 各大学に関するデータ (入学の項)
- 12) 文献 Q, p. 9
- 13) Ibid., pp. 132—133 より計算
- 14) 文献 Y, p. 16

- 15) 文献 F, 第10章 G. O. アルト, 「大学院の動向—人文について」 p. 256
- 16) 文献 B, p. 74
- 17) 文献 F, 第6章 L. B. ビーチ, 「大学院学生」 p. 166
- 18) 文献 H, p. 245
- 19) 文献 C, p. 21
- 20) Ibid., pp. 64—65
- 21) 文献 F, 第7章 H. E. ベント, 「フェローシップ, アシスタントシップ, トレーニーシップ」 p. 182
- 22) 文献 C, pp. 63—65
- 23) 文献 P, 第6章 有本章「外国における学閥」 pp. 221—222
- 24) 文献 B, p. 80
- 25) Ibid., pp. 81—83
- 26) 文献 I, pp. 284—285
- 27) Ibid., p. 95
- 28) 例えば 文献 O, p. 48 および文献 Z, pp. 99—106 など
- 29) 文献 G, 第10章 A. D. ヘンダーソン, 「経済的側面」 p. 274
- 30) Ibid., 第7章 R. ピアソン「大学入学」 p. 209
- 31) 文献 N, p. 109
- 32) 文献 I, pp. 58—60
- 33) 文献 N, p. 103
- 34) 文献 S, p. 41
- 35) 文献 W, p. 24
- 36) 文献 P, 第4章 友田泰正「占拠率の解釈」 p. 109
- 37) 文献 B, pp. 95—96
- 38) 文献 G, 第11章 W. J. ハガティ, 「ハイスクールと大学の教員養成にたいする意義」 p. 250
- 39) 注 17), Ibid., p. 164
- 40) 文献 S, pp. 44—45
- 41) 文献 C, p. 92, p. 96
- 42) 文献 R, p. 295
- 43) 文献 E, pp. 1339—1340
- 44) 文献 S, p. 39
- 45) 文献 V, pp. 254—255
- 46) 文献 T, p. 17
- 47) 文献 V, p. 254, p. 267
- 48) 文献 C, p. 47
- 49) 文献 E, p. 1345
- 50) 文献 C, pp. 50—51
- 51) Ibid., pp. 48—49
- 52) 注 17), Ibid., p. 165
- 53) 文献 K, p. 13
- 54) 文献 I, p. 150
- 55) Ibid., p. 19

- 56) 注17), Ibid., p. 167
- 57) 注15), Ibid., p. 260
- 58) 文献I, p. 18
- 59) 文献M, pp. 132—133
- 60) 文献F, 第2章 M. D. プライア「Ph. D. 学位」 pp. 74—75
- 61) 文献L, pp. 73—75
- 62) 文献M p. 135
- 63) 注 21), Ibid., p. 199
- 64) Ibid., pp. 194—197
- 65) 文献F, 第4章 J. L. スネル「修士号」, pp. 133—134
- 66) 注 21), Ibid., pp. 184—188
- 67) 注 15), Ibid., p. 260
- 68) 文献F, 第13章 A. M. カーター「大学院の動向」 pp. 303—308
- 69) Ibid., 第9章 J. P. ミラー「大学院の動向 — 社会科学について」 pp. 225—238
- 70) 文献C, pp. 52—54
- 71) 文献L, p. 65
- 72) Ibid., pp. 75—78
- 73) 文献X, 付属資料, 第8表 国立大学の現勢力表
- 74) 文献J, p. 78
- 75) Ibid., pp. 64—65
- 76) 文献L, p. 63
- 77) 文献J, p. 27
- 78) Ibid., p. 42
- 79) Ibid., pp. 43—56
- 80) 注 15), Ibid., pp. 252—253
- 81) 文献L, p. 80

第4章 アメリカの大学院教育の質の評価

「大学院教育の質の評価 (An assessment of quality in graduate education)」は、アメリカ教育協議会の企画のもとに、1964年に著名な学者4,000人を対象にアメリカの大学院教育に関する評価を調査し、その分析結果を報告したものである。アメリカの大学院の実態を知るうえで参考になるとと思われるので、ここにその概要を報告する。

§1 調査の目的, 方法

1924年、当時マイアミ大学学長のヒューズは、じぶんの大学の大学院教育のレベルを知るために、当時アメリカで Ph. D. を出している65の大学の中から38を選んで専門家にアンケートを依頼し、結果を公表した。次に、1934年、ヒューズはアメリカ教育協議会の依頼で、2回目の大学院教育に関する調査を59校についておこなった。第3回目は、ペンシルバニア大学のケニスンが1957年に、アメリカ大学協会に属する25の大学の大学院に限って調査を行なっている。ところが、アメリカ教育協議会の1934年の調査当時では、年間10人程の Ph. D. を出す大学数が45校位だったのが、現在では106大学にも達している。1934年1年間の全米の博士号の数は2,800人であったが、1966年には16,000人もの多数になっており、さらに急速に増えつつある。また、学生への援助費の面では、1967年には329億ドルの多額におよんでいる。このような状況下で、大学院教育のあり方を、質・量ともに再検討が要求されているにもかかわらず、現状は必ずしもそれが明らかでない。本調査は、現在の大学院教育を、世の中の人々がどのように評価しているのか、不完全ながらも明らかにしようという計画である。

現在、アメリカには Ph. D. を授与している大学は200以上あるが、今回の調査の対象になった大学は106校、30の専門分野についてである。このうち100校の全博士数は、アメリカ全体の博士数の95%に相当し、文理系にだけ限ると、全体の98%以上である。残りの6校は、過去10年間に3分野以上にわたり100人以上の博士号取得者を出している大学である。

アンケートの回答者は、次の3つの大きなグループから選んでいる。

- (1) 学科主任級学者 (チェアマン)
- (2) すぐれた古参学者, 研究者 (セニア・スカラー)
- (3) 10年以上は研究を続けている新進の若手学者 (ジュニア・スカラー)

そして、その専門分野における全米の博士数の2%以上の博士を出している学科からは、チェアマン1名、セニア・スカラー2名、ジュニア・スカラー1名の計4名から回答してもらい、0.5~1.9%の博士を出している学科からは、それぞれのグループから1名ずつ計3名、0.5%以下は2名、博士コースはあるが過去10年間に1人も博士が出ていない学科からは1名とし、2名あるいは1名の学科に対しては、セニアとジュニアが同数になるようにランダムに選んだ。

106大学の大学院部長に手紙を送り、学科主任と相談して人選を行ない、総数5,367人のアンケート対象者を選んだ。この全員にアンケートが送られた。回収は4,256通で全体の約80%で、そのうち約250通は記載不備のため取り除き、4,008通(75%以上)がデータとして使われた。

アンケートの質問内容は主として次の2つである。

〔質問 A〕 あなたの専門分野で、各大学院の教授陣の質 (教師としての能力) を評価して、その大学院に
適当な番号を選んで下さい。「優秀」は5校以下に限って下さい。

- | | | | | |
|--------|----------|-------|-------|---------|
| 1. 優秀 | 2. 強力 | 3. 良好 | 4. 適当 | 5. まあまあ |
| 6. 不十分 | 7. わからない | | | |

〔質問B〕 あなたは現在博士号をとるために大学院に入るとして考えたら、それぞれの大学院について下のどのように入りますか。番号で答えて下さい。特に、教授の影響力や能力、カリキュラム、教育・研究施設、大学院学生の質など博士課程において重要な事柄を考慮しながら答えて下さい。

1. ごく魅力的 2. 魅力的 3. まあまあ良い 4. 魅力がない 5. わからない

結果の集計は次のように行なった。

〔質問Aについて〕 優秀—5点、強力—4点、良好—3点、適当—2点、まあまあ—1点、不十分—0点とし、平均点を計算した。そして、平均点が4.01—5.00にある学科を「優秀」、3.01—4.00を「強力」、2.51—3.00を「良好」、2.00—2.50を「適当」としてグループ分けした。

〔質問Bについて〕 ごく魅力的—3点、魅力的—2点、まあまあ良い—1点、魅力がない—0点とし、平均点が2.01—3.00を「ごく魅力的」、1.51—2.00を「魅力的」、0.75—1.50を「まあまあ良い」とした。

§ 2 集計結果

第44表は質問Aの回答の集計の概要を、第45表は質問Bの回答の集計の概要を示す。

第44表 学科別質の評価、質問A

| 学 科 名 | 大学数 | 6 段 階 評 価 (学科数) | | | | | | |
|---------|-----------|-----------------|-----|-----|-----|------|-------|---|
| | | 優 秀 | 強 力 | 良 好 | 適 当 | まあまあ | 不 充 分 | |
| 人 文 科 学 | 古 典 語 | 30 | 1 | 12 | 4 | 6 | 7 | — |
| | 英 語 | 74 | 5 | 18 | 11 | 17 | 21 | 2 |
| | フ ラ ン ス 語 | 48 | 3 | 13 | 8 | 10 | 14 | — |
| | ド イ ツ 語 | 39 | 4 | 15 | 3 | 5 | 9 | 3 |
| | 哲 学 | 48 | 4 | 12 | 7 | 10 | 14 | 1 |
| | ス ペ イ ン 語 | 48 | 4 | 12 | 10 | 9 | 11 | 2 |
| 社 会 科 学 | 人 類 学 | 24 | 4 | 8 | 5 | 2 | 4 | 1 |
| | 経 済 学 | 71 | 7 | 9 | 13 | 7 | 29 | 6 |
| | 地 理 学 | 30 | 3 | 7 | 9 | 4 | 7 | — |
| | 歴 史 学 | 75 | 8 | 12 | 13 | 17 | 19 | 6 |
| | 政 治 学 | 64 | 6 | 12 | 10 | 9 | 26 | 1 |
| | 社 会 学 | 64 | 5 | 12 | 7 | 10 | 24 | 6 |
| 生 物 科 学 | 微 生 物 学 | 75 | 6 | 21 | 17 | 18 | 13 | — |
| | 生 化 学 | 75 | 7 | 20 | 13 | 13 | 22 | — |
| | 植 物 学 | 61 | 4 | 17 | 12 | 13 | 13 | 2 |
| | 昆 虫 学 | 31 | 1 | 9 | 6 | 8 | 7 | — |
| | 薬 理 学 | 52 | 4 | 16 | 8 | 12 | 12 | — |
| | 心 理 学 | 71 | 2 | 25 | 15 | 14 | 13 | 2 |
| | 心 動 物 学 | 88 | 6 | 17 | 14 | 23 | 23 | 5 |
| | 動 物 学 | 64 | 5 | 19 | 11 | 14 | 15 | — |
| 物 理 科 学 | 天 文 学 | 16 | 5 | 3 | 2 | 2 | 4 | — |
| | 化 学 | 96 | 6 | 22 | 19 | 18 | 29 | 2 |
| | 地 質 学 | 55 | 4 | 15 | 3 | 15 | 17 | 1 |
| | 数 学 | 81 | 9 | 16 | 7 | 14 | 27 | 8 |
| | 物 理 学 | 86 | 9 | 12 | 17 | 11 | 34 | 3 |
| 工 学 | 化 学 工 学 | 56 | 7 | 8 | 11 | 15 | 15 | — |
| | 土 木 工 学 | 40 | 4 | 11 | 14 | 8 | 3 | — |
| | 電 気 工 学 | 54 | 4 | 18 | 9 | 13 | 10 | — |
| | 機 械 工 学 | 47 | 3 | 14 | 10 | 11 | 9 | — |
| 計 | 1,663 | 140 | 405 | 288 | 328 | 451 | 51 | |

第45表 学科別魅力度, 質問 B

| 学 科 名 | | 大学数 | 魅 力 度 別 学 科 数 | | | | |
|------------------|-----------|-------|---------------|-------|-------------|--------------|------|
| | | | ごく魅力的 | 魅 力 的 | まあまあ 良 好 | なんとも いえない | 魅力なし |
| 人 文 科 学 | 古 典 語 | 30 | 4 | 9 | 9 | 8 | — |
| | 英 語 | 74 | 6 | 14 | 22 | 24 | 8 |
| | フ ラ ン ス 語 | 48 | 6 | 9 | 18 | 14 | 1 |
| | ド イ ツ 語 | 39 | 6 | 12 | 10 | 8 | 3 |
| | 哲 学 | 48 | 4 | 7 | 18 | 17 | 2 |
| | ス ペ イ ン 語 | 48 | 5 | 12 | 19 | 10 | 2 |
| 社 会 科 学 | 人 類 学 | 24 | 3 | 8 | 7 | 3 | 3 |
| | 経 済 学 | 71 | 7 | 8 | 15 | 30 | 11 |
| | 地 理 学 | 30 | 4 | 5 | 12 | 9 | — |
| | 歴 史 学 | 75 | 8 | 11 | 24 | 25 | 7 |
| | 政 治 学 | 64 | 8 | 8 | 16 | 27 | 5 |
| | 社 会 学 | 64 | 5 | 9 | 15 | 27 | 8 |
| 生 物 科 学 | 微 生 物 学 | 75 | 7 | 15 | 35 | 17 | 1 |
| | 生 化 学 | 75 | 9 | 17 | 28 | 20 | 1 |
| | 植 物 学 | 61 | 9 | 10 | 26 | 14 | 2 |
| | 昆 虫 学 | 31 | 3 | 5 | 14 | 8 | 1 |
| | 薬 学 | 52 | 4 | 14 | 26 | 7 | 1 |
| | 生 理 学 | 71 | 6 | 20 | 29 | 14 | 2 |
| | 心 理 学 | 88 | 8 | 11 | 32 | 29 | 8 |
| 物 理 科 学 | 動 物 学 | 64 | 9 | 12 | 26 | 16 | 1 |
| | 天 文 学 | 16 | 3 | 4 | 5 | 3 | 1 |
| | 化 学 | 96 | 9 | 14 | 37 | 30 | 6 |
| | 地 質 学 | 55 | 7 | 9 | 18 | 18 | 3 |
| | 数 理 学 | 81 | 9 | 11 | 24 | 27 | 10 |
| 工 学 | 物 理 学 | 86 | 8 | 11 | 29 | 33 | 5 |
| | 化 学 工 学 | 56 | 8 | 7 | 22 | 17 | 2 |
| | 土 木 工 学 | 40 | 5 | 6 | 24 | 5 | — |
| | 電 気 工 学 | 54 | 6 | 8 | 23 | 17 | — |
| 機 械 工 学 | 47 | 4 | 11 | 21 | 11 | — | |
| 計 | | 1,663 | 180 | 297 | 604 | 488 | 94 |

ここで注目される点は、回答者は分野によって評価の基準が異なるという点である。工学関係学科 197 のうちで、Ph. D. を授与する資格がないと評価された大学は、2つにすぎない。一方、経済学、数学、物理学、社会学の評価はきびしい。経済学では下位 2 グループの大学数だけで半数以上を占めている。上の 4 つと歴史、政治学、心理学、地質学の各分野は 45% 余りの大学が、下位の 2 グループに含まれる。

アンケートの詳細な分析結果は付録別表 XIII に示してある。表中の数字は 1 番からの順位を示し、順位のつけられた大学は質問 A では「優秀」と「強力」に評価された大学であり、質問 B では「ごく魅力的」と「魅力的」と評価された大学である。質問 A の項目中の◎は「良好」(Good)を、○は「適当」(Adequate plus)を示す。質問 B の項目中の□は、「まあまあ良い」(Acceptable plus)を示す。

§ 3 大学の質の諸形式

3.1 総合評価

第46表は、人文科学、社会科学、生物科学、物理科学、工学の各分野ごとの平均点の高い大学を示す(*印は、A. M. カーターの分類にわれわれがさらに加えた大学を指す)。

カリフォルニア大学バークレイ校は、それぞれの分野ともすぐれており、バランスのとれた優秀な大学とい

えよう。ウィスコンシン大学についても同じことがいえる。ハーバード大学とスタンフォード大学は4分野において高く評価され、コロンビア大学、イリノイ大学、エール大学、プリンストン大学、ミシガン大学、それにカリフォルニア工科大学は3分野で高く評価されている。

第46表 分野別質の評価の総合順位

| 人文科学 | | 社会科学 | | 生物科学 | | 物理科学 | | 工 学 | |
|----------|------|----------|------|-------------|------|-----------|------|-----------|------|
| ハーバード | 4.36 | ハーバード | 4.66 | ハーバード | 4.42 | ハーバード | 4.60 | M. I. T. | 4.48 |
| パークレー | 4.27 | パークレー | 4.48 | パークレー | 4.33 | パークレー | 4.55 | パークレー | 4.23 |
| エール | 4.17 | シカゴ | 4.39 | ロックフェラー | 3.97 | カリフォルニア工科 | 4.46 | スタンフォード | 4.02 |
| プリンストン | 3.91 | エール | 4.12 | カリフォルニア工科 | 3.95 | M. I. T. | 4.33 | カリフォルニア工科 | 3.94 |
| コロンビア | 3.79 | プリンストン | 3.98 | スタンフォード | 3.92 | プリンストン | 4.33 | スタンフォード | 4.22 |
| ミシガン | 3.69 | ウイスコンシン | 3.91 | ミシガン | 3.85 | スタンフォード | 4.22 | イリノイ | 3.91 |
| ウイスコンシン* | 3.60 | コロンビア | 3.77 | ウイスコンシン | 3.76 | シカゴ | 3.98 | ウイスコンシン* | 3.66 |
| ペンシルバニア* | 3.56 | ミシガン | 3.75 | イリノイ | 3.73 | イリノイ | 3.82 | ピアデュー* | 3.62 |
| コーネル* | 3.54 | スタンフォード | 3.75 | エール | 3.68 | コロンビア | 3.78 | ミネソタ* | 3.57 |
| ロサンゼルス* | 3.51 | コーネル* | 3.66 | ジョンズ・ホプキンス* | 3.68 | エール* | 3.76 | ウイスコンシン* | 3.65 |
| | | ペンシルバニア* | 3.66 | インディアナ* | 3.60 | ロサンゼルス* | 3.54 | プリンストン* | 3.56 |
| | | ウイスコンシン* | 3.60 | ミネソタ* | 3.55 | | | | |
| | | ペンシルバニア* | 3.56 | コロンビア* | 3.51 | | | | |
| | | | | デューク* | 3.50 | | | | |
| | | | | ペンシルバニア* | 3.50 | | | | |
| | | | | ウエスタン・リザーブ* | 3.50 | | | | |

* A. M. カーターの分類にわれわれがさらに加えた大学

3. 2 連邦のフェローシップをもらう学生の集中化

1960—63年の4年の間に、ウッドロー・ウィルソン事業、全米科学財団 (NSF) の正規 (Regular) ならびに共同 (Cooperative)、国家防衛教育法 (NDEA) などから奨学金を受けた大学院学生は約 13,000 人であった。ウッドロー・ウィルソンと NSF の正規の奨学生は、どこの大学院を選ぶかと自由であるので、これら 2つの奨学資金が特定の大学院に集中するのではないかと考えられた。調査によると、約 13,000 人のおよそ 2/3 の学生はトップ10番目までの大学に在学していた。そして NSF の正規の奨学生のおよそ 86% と、ウッドロー・ウィルソンの奨学生のおよそ 82% は 25番目までの大学に在学している。このように、大学院を自由選択できる奨学資金を受けている学生は、大学院の質の高いところに集中している。それとは逆に、NSF-共同奨学生の半分以上、国家防衛教育法第4条の奨学生の 4/5 が 25番以下の大学に在学している。それは、この2つの奨学金が人材を広く散らばすという目的をもっているためである。

3. 3 地理的分布

「優秀」と評価された大学院は、13の州に集中している。特に、そのうちの80%は、わずか5つの州に限られている。

さらに、「優秀」または「強力」と評価された大学院数は 545 で、分野別、地方別に表わすと第47表の如く

第47表 「優秀」または「強力」と評価された大学院の分布別、地方別分類

| 地 方 | 人文科学 | 社会科学 | 生物科学 | 物理科学 | 工学 | 計 |
|-------------|------|------|------|------|----|-----|
| ニュー・イングランド… | 16 | 12 | 20 | 17 | 7 | 72 |
| 中 東 部…………… | 32 | 21 | 46 | 25 | 19 | 143 |
| 南 東 部…………… | 5 | 5 | 9 | 2 | — | 21 |
| 南 西 部…………… | 3 | 1 | 3 | 4 | 3 | 14 |
| グレート・レイク… | 29 | 28 | 48 | 27 | 20 | 152 |
| 平原地方…………… | 2 | 6 | 16 | 5 | 4 | 33 |
| ロッキー山脈地方… | — | — | 1 | — | — | 1 |
| 極 西 部…………… | 16 | 20 | 36 | 21 | 16 | 109 |
| 計 …………… | 103 | 93 | 179 | 101 | 69 | 545 |

なる。ここで、ロッキー山脈地方、平原地方、南西部ならびに南東部の大学院数が少ないのは、人口ならびに大学への入学者数と関係している。ニュー・イングランドと中東部地方の大学院数が多いのは、この地方が高等教育の中心的存在でかつ私立大学の評価が高いためである。

3.4 所要経費との関係

いい教育をするためには金がいるものだという者がいるが、教授の給料と大学院の質とは極めて密接な相関関係がある。(相関係数 $r = 0.873$)。次の第48表はこの関係を示している。

次に、学生1人あたりの所要経費を大ざっぱに計算してみると、データが得られた103大学の平均は約1,460ドルで、私立大学はこれより100ドル程高く、公立大学は100ドル程低い。上位25大学では、1人あたり1,900ドルで、その他の大学の平均は1,200ドルであった(ただし、パート・タイムの学生1人は学部学生の3/5人に、大学院学生と上級の職業課程の学生1人は学部学生の3人に相当すると換算して学生相当数を算出している)。

第48表 大学院の質と教授の給与との関係

| 大学院の質 | 大学数 | 教授の平均給与 |
|-------------|-----|----------|
| 4.01 以上 | 4 | 14,700ドル |
| 3.51 - 4.00 | 8 | 13,400 |
| 3.01 - 3.50 | 9 | 12,600 |
| 2.51 - 3.00 | 16 | 12,100 |
| 2.01 - 2.50 | 21 | 10,900 |
| 1.51 - 2.00 | 25 | 10,300 |
| 1.50 以下 | 12 | 9,500 |

3.5 図書館の蔵書数との関係

図書館は大学の心臓である。人間以外の因子の中で大学院の質と最も密接に関連したものは図書館において外にはないように思われる。少い図書数で優秀な教育を行なっている大学もあるが、それらは、近くに大きい立派な図書館があったり、実験系の大学で、図書よりもむしろ実験器具を中心とする大学である。しかし、全分野にわたり高く評価された大学は、大きな図書館をもっている。本研究で、上位20大学の内の17大学(理工科大学3校は除く)の蔵書数は、130万冊から800万冊の間で、平均270万冊である。下位20大学では13万冊から100万冊の間で、平均47万冊である。しかしながら、図書の冊数だけでは、必ずしも図書館の質の評価を正確に表現しているとは言えない。たとえば、古い大学ほど図書数は多いだろうし、また学問分野によって図書の重要度は異なる。したがって、ライス大学や、M. I. T. とテキサス大学やハーバード大学と一つの尺度では評価できない。それ故に、図書館の比較をするために、4つの数値を考えた。まず、全図書数、年々加わる図書数、定期刊行図書の購入冊数の3つをとった。この3つの数について、106大学の平均値を出し、平均値を1.00とし、平均値に対する各大学の所蔵冊数の比をとった。次に、こうして出した3つの数を平均した数を図書館の充実度とした。こうすれば、古い本は多いが、新しい本が少いというような図書館の充実度は、図書数のみで比較した場合と比べて下がるはずである。計算値は第49表に示されている。この指数でみると、古い大学で図書数が多い図書館の指数が必ずしも高くない。大学院の質の評価で3.0以上(優秀と強力)と評価された大学は、図書館の充実度は1.4以上である。質問Aの質の評価の指数と、図書館の力の指数の相関をとると、相関係数 $r = 0.794$ で、給与の場合程高くはないけれども、しかし有意な関係があるといえる。

第49表 106大学の図書館の充実度 (1963-64年)

| 大 学 名 | 全図書の指数 | 増加図書指数 | 定期の図書指数 | 充実度 |
|------------------|--------|--------|---------|------|
| ハーバード | 7.32 | 5.06 | 3.51 | 5.29 |
| カリフォルニア, バークレー校 | 2.99 | 3.19 | 5.34 | 3.84 |
| エール | 4.75 | 3.08 | 2.73 | 3.52 |
| カリフォルニア, ロサンゼルス校 | 2.03 | 3.14 | 4.05 | 3.07 |
| コーネル | 2.60 | 3.52 | 2.96 | 3.03 |
| イリノイ | 3.79 | 2.48 | 2.53 | 2.93 |

| | | | | |
|---------|------|------|------|------|
| スタンフォード | 2.44 | 2.13 | 3.57 | 2.71 |
| ミシガン | 3.26 | 2.85 | 1.65 | 2.58 |
| コロンビア | 3.49 | 2.16 | 2.11 | 2.58 |
| シカゴ | 2.16 | 1.99 | 2.96 | 2.44 |

充実度 1.50—1.99 (9大学, アルファベット順)

| | | |
|--------------|---------|----------|
| ジョンズ・ホプキンス | オハイオ州立 | プリンストン |
| ワシントン (シアトル) | ミネソタ | ペンシルバニア |
| テキサス | ウィスコンシン | ノースウエスタン |

充実度 1.00—1.49 (21大学, アルファベット順)

| | | |
|--------|--------------|----------|
| コロラド | ルイジアナ州立 | ノースカロライナ |
| ラトガーズ | デューク | ミシガン州立 |
| オレゴン | サウザン・カリフォルニア | フロリダ |
| ミズーリ | ペンシルバニア州立 | コータ |
| インディアナ | ニューヨーク | ピッツバーグ |
| ヴァージニア | アイオワ (アイオワ市) | ニュー・メキシコ |
| パァデュー | 州立ウェイン | カンサス |

充実度 0.75—0.99 (18大学, アルファベット順)

| | | |
|--------------|----------|-----------------|
| アリゾナ | M. I. T. | シラキュース |
| ブラウン | メリーランド | テネシー |
| カリフォルニア・デービス | ネブラスカ | チューラン |
| コネチカット | ノートル・ダム | バンダービルト |
| ジョージ・ピィボディ | オクラホマ | ワシントン (セント・ルイス) |
| ケンタッキー | ロチェスター | ワシントン州立 |

充実度 0.50—0.74 (17大学, アルファベット順)

| | | |
|---------|---------|------------|
| アラバマ | フロリダ州立 | ライス |
| アーカンサス | フォルダム | セント・ルイス |
| ボストン U. | ジョージタウン | テンプル |
| カソリック | カンサス州立 | ウエスト・バージニア |
| シンシナティ | オクラホマ州立 | ウエスタン・リザーブ |
| エモリー | オレゴン州立 | |

充実度 0.50 以下 (31大学, アルファベット順)

| | | |
|---------------|------------|-------------|
| アメリカン | デンバー | ノース・カロライナ州立 |
| ブランデーズ | ジョージ・ワシントン | ノース・ダコタ |
| ブルックリン | ジョージア工大 | レンセラー |
| プリン・マー | ヒューストン | ロックフェラー |
| ニューヨーク・バッファロー | イリノイ工大 | セント・ジョンズ |
| カリフォルニア工大 | アイオワ州立 | テキサス A&M |
| カーネギー | リーハイ | タフツ |
| ケース | ロヨラ (シカゴ) | バージニア・ポリテク |
| クレアモント | マサチューセッツ | ワイオミング |
| クラーク | ニュー・スクール | ヤシエバ |
| デラウェア | | |

3. 6 各種名誉賞受賞者数との関係

1964年、A. M. ボーカーは、人文、社会科学分野と自然科学分野のおおの分野で著名なフェローや賞をもらった教授や学生の数で、大学の評価を行なった。すなわち、人文、社会科学分野では、ウッドロー・ウィルソン・フェローを受けている学生数、前述のウッドロー・ウィルソン・フェロー、グゲンハイム・フェローならびに ACLS (American Council of Learned Societies) 賞を受けている教授数をしらべた。自然科学分野では、NSF フェローをもらっている学生数、教授については、ノーベル賞受賞者数と全米科学アカデミー (National Academy of Sciences) の会員数をしらべて、今回の調査と、A. M. ボーカーの評価と比較すると、若干の相違はあるが、両者にはおよその相関関係があることがわかった。

§ 4 本章のむすび 一大学院の拡張一

1861年に、アメリカ合衆国で最初の博士が出てから、これまで文理学部の部門での大学院教育は急速に拡大してきた。しかし、そのペースは同じではなく、およそ3つの急激な膨張する期間がある。最初は、1921年から1931年までで、博士の数は年間650人から2,500人に増加した。2度目は第2次世界大戦の後である。戦前の1946年には年間3,000人ペースが2,000人位におちたが、1954年には9,000人になった。第3の時期というのは現在である。1962-72年の10年間は極めて大きな増加をとげよう。1962年頃は年間11,500人位の博士号取得者であったが、1972年には25,000人から30,000人となろう。

第2次世界大戦までは、大学院教育は少数の大きな大学に限られていた。例えば、H. ケニソンの1957年の調査では、「1925年には15の大学が全博士数の75%を輩出していたが、それは1934年には59%になり、1950年には49%となった。現在では40%以下ではなかろうか」と報告している。第50表は、1964年に行なった大学院の質の評価に基づいて分類した大学群別の1920年から1962年までの博士号取得者数の比率の推移を表わしたものである。

われわれの調査の対象となった106大学は、文理学部関係では、過去10年間に全体の90%以上の博士を出しているが、1980年には半分以下になるであろう。博士の学位を出す大学は当初は主なる100大学であったが、現在では約250 (実際は博士を出していない大学もある) の多くに達しているのである。

第50表 グループ別、年度別博士号取得者数の比率分布 (パーセント)

| 大 学 数 | 1960-62 | 1950-59 | 1940-49 | 1930-39 | 1920-29 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 上 位 10 | 27 | 29 | 35 | 38 | 44 |
| 次 の 15 | 26 | 28 | 29 | 30 | 32 |
| (当該年時での大学数) | (15) | (15) | (14) | (13) | (12) |
| 次 の 25 | 21 | 22 | 20 | 19 | 13 |
| (当該年時での大学数) | (25) | (25) | (24) | (21) | (20) |
| 次 の 55 | 21 | 19 | 14 | 12 | 10 |
| (当該年時での大学数) | (55) | (54) | (49) | (39) | (26) |
| 調査対象 106 大学 | 95 | 98 | 98 | 99 | 99 |
| (当該年時での大学数) | (105) | (104) | (97) | (83) | (68) |
| 全博士取得者数 | 26,793 | 68,813 | 25,817 | 22,482 | 10,743 |

付 録

別表 I 大学の概要 (1)

| 大 学 名 | 大学所在州名 | 類 型 | 設 置 者 | 創立年次 | 現在の大学名 になった年 | 学士号を授与 した最初の年 | |
|-------|------------------------|-------------|-------|------|-----------------|------------------|------|
| 1 | Alabama | K | St | 1820 | 当初より | 1832 | |
| 2 | American | KK | Pro | 1893 | 当初より | 1925 | |
| 3 | Arizona | KK | St | 1885 | 当初より | 1895 | |
| 4 | Arizona State* | KK | St | 1885 | 1958 | 1886 | |
| 5 | Arkansas | KK | St | 1871 | 1899 | 1876 | |
| 6 | Auburn* | K | St | 1859 | 1960 | 1860 | |
| 7 | Baylor* | KK | Pro | 1845 | — | 1854 | |
| 8 | Boston | K | I | 1839 | 1869 | 1871 | |
| 9 | Brandeis | J | I | 1948 | 当初より | 1952 | |
| 10 | Brooklyn Polytech. | G | I | 1854 | 1889 | 1871 | |
| 11 | Brown | Rhode Isl. | E | I | 1764 | 1804 | 1769 |
| 12 | Bryn Mawr | Pennsyl. | J | I | 1880 | 当初より | 1888 |
| 13 | Buffalo | K | St | 1846 | 1962 | 1920 | |
| 14 | California, Berkeley | KK | St | 1855 | 1868 | 1873 | |
| 15 | Calif., Davis | KK | St | 1906 | 1951 | 1923 | |
| 16 | Calif., Los Angeles | KK | St | 1861 | 1927 | — | |
| 17 | Calif., Riverside* | KK | St | 1907 | 1958 | 1954 | |
| 18 | Calif., San Diego* | KK | St | 1903 | 1960 | 1967 | |
| 19 | Calif., Santa Barbara* | KK | St | 1891 | 1958 | — | |
| 20 | Cal. Tech. | G | I | 1891 | 1920 | 1896 | |
| 21 | Carnegie-Mellon | Pennsyl. | K | I | 1900 | 1912 | 1912 |
| 22 | Case Western Reserve | Ohio | G | I | 1800 | 1967 | 1885 |
| 23 | Catholic | Columbia | K | RC | 1867 | — | 1897 |
| 24 | Chicago | Illinois | KK | I | 1890 | 当初より | 1893 |
| 25 | Cincinnati | Ohio | K | Cty | 1819 | 1870 | 1823 |
| 26 | Claremont | California | E | I | 1925 | 1967 | — |
| 27 | Clark | Massachu. | E | I | 1887 | — | 1905 |
| 28 | Colorado | K | St | 1861 | 当初より | 1882 | |
| 29 | Colorado State C.* | E | St | 1889 | 1957 | 1908 | |
| 30 | Colorado State U.* | K | St | 1870 | 1957 | 1885 | |
| 31 | Columbia | New York | K | I | 1754 | 1912 | — |
| 32 | Connecticut | K | St | 1881 | 1939 | 1904 | |
| 33 | Cornell | New York | KK | I | 1865 | — | 1869 |
| 34 | Delaware | K | St | 1743 | 1921 | — | |
| 35 | Denver | Colorado | K | P | 1864 | 1880 | 1884 |
| 36 | Duke | North Caro. | KK | P | 1830 | 1924 | 1853 |
| 37 | Emory | Georgia | K | P | 1836 | 1915 | 1842 |
| 38 | Florida | K | St | 1853 | 1909 | 1882 | |
| 39 | Florida State | K | St | 1851 | 1947 | 1891 | |
| 40 | Fordham | New York | K | RC | 1841 | 1907 | 1846 |
| 41 | George Peabody | Tennessee | F | I | 1785 | 1909 | 1877 |
| 42 | George Washington | K | I | 1821 | 1904 | 1824 | |
| 43 | Georgetown | Columbia | K | RC | 1789 | 1815 | 1817 |
| 44 | Georgia | K | St | 1785 | 1850 | 1804 | |
| 45 | Georgia Tech. | I | St | 1885 | 1948 | 1890 | |
| 46 | Harvard | Massachu. | K | I | 1638 | 当初より | 1642 |
| 47 | Hawaii* | K | I | 1907 | 1920 | 1911 | |
| 48 | Houston | Texas | K | St | 1927 | 1934 | 1935 |
| 49 | Illinois | K | St | 1867 | 1885 | 1878 | |
| 50 | Ill. Inst. of Tech. | J | I | 1892 | 1940 | 1897 | |
| 51 | Indiana | K | St | 1820 | 1838 | 1830 | |
| 52 | Iowa | K | St | 1847 | 当初より | 1858 | |
| 53 | Iowa State | K | St | 1858 | 1959 | 1872 | |
| 54 | Johns Hopkins | Maryland | KK | I | 1867 | 当初より | 1879 |
| 55 | Kansas | K | St | 1856 | 当初より | 1873 | |
| 56 | Kansas State | K | St | 1863 | 1959 | 1867 | |
| 57 | Kent State* | Ohio | KK | St | 1910 | 1935 | 1915 |
| 58 | Kentucky | K | St | 1865 | 1916 | 1869 | |
| 59 | Lehigh | Pennsyl. | I | I | 1865 | 当初より | 1869 |
| 60 | Louisiana State | K | St | 1860 | 1877 | 1869 | |
| 61 | Loyola (Ill.) | Illinois | K | RC | 1869 | 1909 | 1874 |
| 62 | M. I. T. | K | I | 1861 | 当初より | 1868 | |
| 63 | Maryland | K | St | 1807 | 1920 | — | |
| 64 | Massachusetts | K | St | 1863 | 1947 | 1871 | |
| 65 | Miami* | Florida | K | I | 1925 | 当初より | 1927 |

a : この項のみ全キャンパスの人数である。 b : 第一専門職業課程の学生を含む。デューク大
d : ペンブローク・カレッジの1012人の女子学生を含む。 e : 専門職業課程の学生を含む。コ
ピア大学, 8,105人。ジョージ・ワシントン大学, 1998人。ジョージア大学, 193人。ハワイ大学,
i : このうち, 8290人はフル・タイムの学生で, 769人はパート・タイムの学生である。

| 博士号を授与 した最初の年 | 1861-1966年 106年間博士 号取得者数 | 学 年 暦 | 学 生 数 1966年 秋 | | | |
|------------------|--------------------------------|-------|---------------|----------|----------|----|
| | | | 学 部 生 | 大学院学生 | 合 計 | |
| 1952 | 379 | S | 14,369 | 3,876 b | 18,245 | 1 |
| 1916 | 664 | | 10,757 c | 2,306 | 13,063 | 2 |
| 1922 | 510 | | 17,551 | 3,856 | 21,407 | 3 |
| 1954 | 182 | | 15,972 | 4,697 | 20,669 | 4 |
| 1953 | 388 | | 8,843 | 1,150 | 9,993 | 5 |
| 1955 | 202 | Q | 11,469 | 1,174 | 12,643 | 6 |
| 1954 | 132 | Q | 5,960 | 472 | 6,432 | 7 |
| 1877 | 2,128 | S | 16,936 | 4,900 | 21,836 | 8 |
| 1957 | 228 | S | 1,872 | 677 | 2,549 | 9 |
| 1935 | 914 | S | 2,463 | 2,646 | 5,109 | 10 |
| 1889 | 1,371 | S | 3,597 d | 1,290 | 4,887 | 11 |
| 1888 | 518 | | 774 | 373 | 1,147 | 12 |
| 1926 | 678 | | 14,669 | 5,208 | 19,877 | 13 |
| 1885 | 12,987 a | Q | 16,862 | 10,101 | 26,963 | 14 |
| - | - | Q | 7,063 | 2,155 | 9,218 | 15 |
| - | - | Q | 17,487 | 9,411 | 26,893 | 16 |
| - | - | Q | 2,970 | 912 | 3,882 | 17 |
| - | - | Q | 1,560 | 865 | 2,425 | 18 |
| - | - | Q | 9,963 | 1,282 | 11,245 | 19 |
| 1920 | 1,937 | Q | 717 | 778 | 1,495 | 20 |
| 1920 | 1,039 | S | 4,876 | 1,282 | 6,158 | 21 |
| 1939 | 1,805 | | 5,555 | 5,372 | 10,927 | 22 |
| 1895 | 2,915 | | 2,660 | 4,119 | 6,779 | 23 |
| 1893 | 10,022 | Q | 2,496 | 5,614 | 8,110 | 24 |
| 1886 | 1,031 | S | 22,224 | 3,363 | 25,587 | 25 |
| 1937 | 253 | S | 0 | 974 | 974 | 26 |
| 1891 | 855 | S | 1,182 | 245 | 1,527 | 27 |
| 1895 | 1,625 | S | 19,232 | 5,543 e | 24,775 | 28 |
| 1934 | 709 | Q | 6,337 | 1,200 | 7,537 | 29 |
| 1955 | 157 | Q | 11,049 | 1,652 | 12,701 | 30 |
| 1875 | 15,935 a | S | 8,105 f | 9,272 | 17,377 | 31 |
| 1949 | 689 | S | 12,907 | 4,403 | 17,310 | 32 |
| 1872 | 8,060 | | 10,082 | 4,041 | 14,123 | 33 |
| 1948 | 440 | | 6,019 | 1,844 | 7,863 | 34 |
| 1902 | 750 | Q | 5,715 | 2,458 | 8,173 | 35 |
| 1928 | 1,913 | Q | 4,942 g | 2,454 b | 7,396 | 36 |
| 1948 | 296 | Q | 4,591 b | 752 | 5,343 h | 37 |
| 1934 | 1,499 | Q | 15,554 | 2,485 | 18,039 | 38 |
| 1952 | 853 | S | 11,851 | 2,457 | 14,308 | 39 |
| 1918 | 1,662 | S | 6,554 | 3,146 | 9,956 | 40 |
| 1919 | 611 | S | 11,214 | 608 | 1,822 | 41 |
| 1888 | 806 | S | 7,160 f | 5,570 | 12,730 | 42 |
| 1875 | 788 | S | 3,990 | 3,601 e | 7,591 | 43 |
| 1940 | 341 | | 11,879 f | 2,581 b | 14,460 | 44 |
| 1950 | 254 | Q | 6,204 | 1,145 | 7,349 | 45 |
| 1873 | 10,760 | Q | 4,850 | 9,059 i | 13,909 | 46 |
| 1926 | 102 | | 19,034 f | 3,352 | 22,386 | 47 |
| 1947 | 360 | | 17,673 | 2,313 | 19,986 | 48 |
| 1903 | 8,846 a | S | 20,786 | 8,334 e | 29,120 | 49 |
| 1939 | 546 | S | 6,080 | 2,169 | 8,249 | 50 |
| 1883 | 4,237 | S | 31,946 | 12,705 e | 44,651 | 51 |
| 1900 | 4,952 | | 13,264 | 4,491 | 17,755 | 52 |
| 1916 | 3,458 | Q | 12,878 h | 2,305 h | 15,183 h | 53 |
| 1878 | 4,578 | S | 6,822 | 4,145 | 10,967 | 54 |
| 1896 | 1,478 | S | 12,813 | 2,950 | 15,763 | 55 |
| 1933 | 519 | S | 9,963 | 1,322 | 11,285 | 56 |
| 1964 | 23 | S | 15,199 | 1,970 | 17,169 | 57 |
| 1930 | 646 | S | 10,966 | 1,910 | 12,876 | 58 |
| 1893 | 417 | S | 3,070 | 1,749 | 4,819 | 59 |
| 1943 | 1,244 a | S | 14,411 | 3,218 | 17,629 | 60 |
| 1928 | 379 | S | 8,560 | 3,682 e | 12,242 | 61 |
| 1907 | 4,912 | S | 3,857 | 3,707 | 7,567 | 62 |
| 1920 | 1,959 a | S | 29,866 | 5,821 | 35,687 | 63 |
| 1902 | 432 | S | 11,165 | 2,514 | 13,679 | 64 |
| 1962 | 93 | S | 12,080 | 2,553 | 14,633 | 65 |

学, 944人。ジョージア大学, 856人。

コラド大学, 566人。イリノイ大学, 830人。

3744人。 g : その他560人を含む。

c : 5554人の nondegree students を含む。

f : unclassified students を含む。コロン

h : フル・タイムの学生のみ。

別表I 大学の概要 (1) 続き

| 大学名 | 大学所在州名 | 類型 | 設置者 | 創立年次 | 現在の大学名になった年 | 学士号を授与した最初の年 |
|-----|------------------------|----|-----|------|-------------|--------------|
| 66 | Michigan | K | St | 1817 | 1821 | 1845 |
| 67 | Michigan State | K | St | 1855 | 1964 | 1861 |
| 68 | Minnesota | K | St | 1851 | 当初より | 1873 |
| 69 | Mississippi* | K | St | 1844 | 当初より | 1851 |
| 70 | Mississippi State* | K | St | 1878 | 1958 | 1883 |
| 71 | Missouri | K | St | 1839 | 当初より | 1843 |
| 72 | Montana State* | H | St | 1893 | 1965 | 1896 |
| 73 | New York | K | I | 1831 | 1896 | 1834 |
| 74 | Nebraska | K | St | 1869 | 当初より | 1873 |
| 75 | New Hampshire* | K | St | 1866 | 1923 | 1872 |
| 76 | New Mexico | K | St | 1889 | 当初より | 1901 |
| 77 | New School | G | I | 1919 | 1965 | 1936 |
| 78 | North Carolina | K | St | 1789 | 当初より | 1798 |
| 79 | No. Carolina State | K | St | 1887 | 1965 | 1893 |
| 80 | North Dakota | K | St | 1883 | - | 1889 |
| 81 | North Texas State* | K | St | 1890 | 1961 | 1919 |
| 82 | Northwestern | K | I | 1851 | 1867 | 1859 |
| 83 | Notre Dame | K | RC | 1842 | 当初より | 1849 |
| 84 | Ohio State | K | St | 1870 | 1878 | 1878 |
| 85 | Oklahoma | K | St | 1800 | - | 1896 |
| 86 | Oklahoma State | K | St | 1890 | 1957 | 1896 |
| 87 | Oregon | K | St | 1872 | 当初より | 1878 |
| 88 | Oregon State | K | St | 1858 | 1961 | 1870 |
| 89 | Pennsylvania | K | I | 1740 | 1791 | 1757 |
| 90 | Penn. State | K | St | 1855 | 1953 | 1861 |
| 91 | Pittsburgh | K | St | 1787 | 1908 | 1822 |
| 92 | Princeton | K | I | 1746 | 1896 | 1748 |
| 93 | Purdue | K | St | 1865 | - | 1875 |
| 94 | Rensselaer | K | I | 1824 | 1861 | 1826 |
| 95 | Rice | K | I | 1891 | 1960 | 1916 |
| 96 | Rochester | K | I | 1850 | 当初より | 1851 |
| 97 | Rockefeller Inst. | - | - | - | - | - |
| 98 | Rutgers | K | St | 1766 | 1956 | 1774 |
| 99 | St. John's | K | RC | 1870 | 1954 | - |
| 100 | St. Louis | K | RC | 1818 | 1832 | 1830 |
| 101 | South Carolina* | K | St | 1801 | 1865 | 1807 |
| 102 | South Dakota* | K | St | 1862 | 1891 | 1888 |
| 103 | Southern California | K | I | 1880 | - | 1884 |
| 104 | Southern Illinois* | K | St | 1869 | 1947 | 1908 |
| 105 | Stanford | K | I | 1885 | - | 1892 |
| 106 | Syracuse | K | I | 1870 | - | 1872 |
| 107 | Teachers College* | K | I | 1887 | 当初より | - |
| 108 | Temple | K | St | 1884 | 1907 | 1892 |
| 109 | Tennessee | K | St | 1794 | 1879 | 1806 |
| 110 | Texas | K | St | 1876 | 1967 | 1884 |
| 111 | Texas A&M | K | St | 1870 | 1963 | 1880 |
| 112 | Tufts | K | I | 1852 | 1955 | 1857 |
| 113 | Tulane | K | I | 1835 | 1884 | - |
| 114 | Utah | K | St | 1850 | - | 1892 |
| 115 | Utah State* | K | St | 1888 | 1957 | 1894 |
| 116 | Vanderbilt | K | I | 1872 | 1873 | 1877 |
| 117 | Virginia | K | St | 1819 | 当初より | 1829 |
| 118 | Virginia Polytech. | K | St | 1872 | 1944 | 1885 |
| 119 | Washington (St. Louis) | K | I | 1853 | 1857 | 1862 |
| 120 | Washington (Seattle) | K | St | 1861 | 1889 | 1876 |
| 121 | Washington State | K | St | 1890 | 1959 | 1897 |
| 122 | Wayne State | K | St | 1933 | 1956 | - |
| 123 | West Virginia | K | St | 1867 | 1868 | 1870 |
| 124 | Wisconsin | K | St | 1848 | 1968 | 1854 |
| 125 | Wyoming | K | St | 1886 | 当初より | 1891 |
| 126 | Yale | K | I | 1701 | 1887 | 1703 |
| 127 | Yeshiva | K | Oth | 1886 | 1945 | 1932 |

a : 本項目のみ全キャンパスの人数である。 b : トライメスター制。 c : 第一専門職
程の学生を含む。セント・ルイス大学, 1344人。テキサス大学, 1558人。ワシントン大学, 1013人。

| 博士号を授与 した最初の年 | 1861-1966年 106年間博士 号取得者数 | 学 年 層 | 学 生 数 1966年秋 | | | |
|------------------|--------------------------------|-------|--------------|---------|----------|-----|
| | | | 学 部 生 | 大学院学生 | 合 計 | |
| 1876 | 7,867 | Tb | 19,913 | 13,149 | 33,062 | 66 |
| 1925 | 3,252 | Q | 31,449 | 10,025 | 41,474 | 67 |
| 1888 | 6,452 a | Q | 31,197 c | 7,048 | 38,245 | 68 |
| 1893 | 154 | S | 6,112 | 807 | 7,749 | 69 |
| 1953 | 67 | S | 7,127 | 965 | 8,092 | 70 |
| 1899 | 2,113 a | S | 14,853 | 3,816 | 18,669 | 71 |
| 1956 | 113 | Q | 5,820 | 500 | 6,320 | 72 |
| 1866 | 7,651 | Q | 11,595 | 20,482 | 12,077 | 73 |
| 1896 | 1,562 a | S | 14,389 | 2,665 | 17,054 | 74 |
| 1896 | 106 | S | 5,417 | 702 | 6,119 | 75 |
| 1947 | 317 | S | 10,695 | 2,284 | 12,979 | 76 |
| 1936 | 172 | S | 98 | 1,535 | 1,633 | 77 |
| 1883 | 2,338 | S | 9,864 | 4,292 | 14,156 | 78 |
| 1948 | 661 | S | 8,343 | 1,860 | 10,203 | 79 |
| 1914 | 222 | S | 5,145 | 951 | 6,410 | 80 |
| 1954 | 153 | S | 11,883 | 2,102 | 13,985 | 81 |
| 1896 | 3,562 | Q | 11,811 | 5,358 | 17,169 | 82 |
| 1912 | 967 | Q | 6,783 | 1,162 | 7,425 | 83 |
| 1879 | 7,040 | Q | 31,825 | 9,382 d | 41,207 | 84 |
| 1929 | 1,116 | S | 13,997 | 3,175 | 17,172 | 85 |
| 1948 | 796 | Q | 13,939 | 2,071 | 16,010 | 86 |
| 1926 | 960 | Q | 9,803 | 3,132 | 12,935 | 87 |
| 1935 | 1,006 | S | 10,938 e | 1,727 e | 12,665 | 88 |
| 1871 | 5,102 | S | 10,397 | 8,900 | 19,297 | 89 |
| 1926 | 3,225 | S | 25,710 | 3,941 | 32,234 f | 90 |
| 1886 | 2,122 | Tb | 15,222 | 6,818 | 22,040 | 91 |
| 1879 | 3,548 | S | 3,228 | 1,510 | 4,738 | 92 |
| 1928 | 4,247 | S | 23,608 | 6,661 c | 30,269 | 93 |
| 1917 | 624 | S | 3,532 | 1,848 | 5,380 | 94 |
| 1918 | 537 | S | 2,008 | 760 | 2,768 | 95 |
| 1925 | 1,550 | S | 4,901 | 3,265 | 8,166 | 96 |
| 1959 | 91 | S | - | - | - | 97 |
| 1884 | 1,833 | S | 20,732 | 5,384 | 26,116 | 98 |
| 1939 | 249 | S | 8,781 | 3,278 | 12,202 | 99 |
| 1883 | 942 | S | 6,372 | 4,360 d | 11,148 | 100 |
| 1891 | 118 | S | 11,021 | 1,106 | 12,127 | 101 |
| 1959 | 38 | S | 3,615 | 620 | 4,235 | 102 |
| 1927 | 3,094 | S | 7,428 | 9,071 | 16,499 | 103 |
| 1959 | 148 | Q | 21,772 | 3,979 | 25,751 | 104 |
| 1894 | 5,126 | Q | 5,903 | 6,520 | 12,423 | 105 |
| 1873 | 1,803 | S | 16,169 | 7,411 | 23,580 | 106 |
| - | - | S | 338 | 5,328 | 5,666 | 107 |
| 1928 | 727 | S | 21,092 c | 8,615 | 31,253 | 108 |
| 1886 | 859 a | Q | 15,196 | 3,890 | 19,086 | 109 |
| 1915 | 3,623 a | S | 21,480 | 5,865 d | 27,345 | 110 |
| 1940 | 734 | S | 8,610 | 2,057 | 10,667 | 111 |
| 1895 | 207 | S | 3,171 | 1,748 | 4,919 | 112 |
| 1887 | 648 | S | 3,589 | 1,597 | 5,239 | 113 |
| 1947 | 961 | Q | 14,399 | 3,304 | 17,703 | 114 |
| 1950 | 194 | S | 7,123 | 953 | 8,076 | 115 |
| 1879 | 874 | S | 3,566 | 1,768 c | 5,334 | 116 |
| 1885 | 1,284 a | S | 4,793 | 3,060 | 7,873 | 117 |
| 1942 | 309 | Q | 7,399 | 996 | 8,395 | 118 |
| 1889 | 1,190 | S | 10,112 c | 2,250 | 12,362 | 119 |
| 1914 | 2,589 | Q | 20,148 | 6,283 d | 26,431 | 120 |
| 1929 | 767 | S | 9,274 | 1,345 | 10,619 | 121 |
| 1948 | 877 | Q | 21,858 | 8,974 c | 30,832 | 122 |
| 1902 | 255 | S | 9,046 | 3,037 | 12,083 | 123 |
| 1892 | 10,520 a | S | 21,885 | 9,235 d | 31,120 | 124 |
| 1948 | 306 | S | 5,708 | 948 | 6,656 | 125 |
| 1861 | 7,448 | S | 4,080 | 4,360 | 8,454 | 126 |
| 1942 | 245 | S | 3,315 | 2,224 | 5,539 | 127 |

業課程の学生を含む。バァデュー大学, 207人。州立ウェイン大学, 1707人。
e : フル・タイムの学生数のみ f : 2583人の nondegree students を含む。

d : 専門職業課

別表Ⅱ 大学の概要 (2)

| 大 学 名 | 教 員 数 1966-67 | 教育・一般 費収入千ドル 1966-67 | 經常費全収 入 千ドル 1966-67 | 帳簿価格 千ドル | 市場価格 千ドル | 大学の敷地 千㎡ | 評 価 額 千ドル |
|-------------------------------------|------------------|----------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 Alabama | 2,169 | 24,772 | 31,597 | 12,000 | 12,200 | 4,791 | 95,375 |
| 2 American | 570 | 17,669 | 21,105 | 3,968 | 4,143 | 263 | 29,413 |
| 3 Arizona | 1,118 | 44,234 | 55,030 | 3,543 | 3,768 | 647 | 99,597 |
| 4 Arizona State* | 902 | 25,041 | 25,430 | 545 | 570 | 2,849 | 72,474 |
| 5 Arkansas | 603 | 33,651 | 40,451 | 1,104 | 1,265 | 1,238 | 82,720 |
| 6 Auburn* | 722 | 19,401 | 41,287 | 3,916 | 3,916 | 7,571 | 40,855 |
| 7 Baylor* | 1,881 | 7,286 | 12,705 | 17,840 | 20,941 | 1,161 | 23,043 |
| 8 Boston | 2,093 | 41,594 | 54,769 | 32,732 | 37,704 | 182 | 150,252 |
| 9 Brandeis | 354 | 16,848 | 19,197 | 19,800 | 22,000 | 931 | 45,730 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 394 | 11,747 | 12,901 | 4,870 | 6,042 | 117 | 17,985 |
| 11 Brown | 491 | 23,688 | 28,922 | 59,086 | 76,422 | 2,740 | 53,181 |
| 12 Bryn Mawr | 147 | 3,505 | 5,353 | 30,036 | 41,526 | 384 | 13,239 |
| 13 Buffalo | 3,212 | 54,626 | 63,616 | 35,265 | 45,989 | 720 | 53,587 |
| 14 California, Berkeley | 1,583 a | 491,294 d | 537,407 d | 207,816 d | 259,794 d | 6,264 | 260,563 |
| 15 Calif., Davis | 656 a | - | - | - | - | 15,272 | 136,829 |
| 16 Calif., Los Angeles | 1,392 a | - | - | - | - | 3,897 | 270,611 |
| 17 Calif., Riverside* | 284 a | - | - | - | - | 11,557 | 80,000 |
| 18 Calif., San Diego* | 205 a | - | - | - | - | 4,047 | 56,192 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 442 a | - | - | - | - | 2,550 | 70,618 |
| 20 Cal. Tech. | 259 | 26,607 | 30,350 | 110,198 | 129,665 | 316 | 69,339 |
| 21 Carnegie-Mellon | 434 | 18,700 | 23,600 | 62,164 | 72,597 | 1,558 | 48,035 |
| 22 Case Western Reserve | 1,287 | 50,711 | 55,326 | 123,698 | 139,869 | 3,581 | 95,069 |
| 23 Catholic | 671 | 13,031 | 17,339 | 7,207 | 10,008 | 514 | 32,020 |
| 24 Chicago | 1,534 | 198,464 | 210,815 | 189,721 | 286,802 | 31,491 | 308,844 |
| 25 Cincinnati | 1,195 | 44,063 | 51,961 | 36,494 | 44,737 | 1,801 | 150,000 |
| 26 Claremont | 242 | 2,974 | 3,566 | 14,747 | 19,194 | 927 | 10,431 |
| 27 Clark | 162 | 5,415 | 6,813 | 9,631 | 13,736 | 142 | 12,000 |
| 28 Colorado | 1,250 | 63,442 | 76,308 | 7,039 | 7,312 | 3,456 | 123,000 |
| 29 Colorado State C.* | 345 | 6,863 | 19,531 | - | - | 1,319 | 30,000 |
| 30 Colorado State U.* | - | 28,840 | 36,770 | 900 | 900 | 9,712 | 70,209 |
| 31 Columbia | 3,320 | 128,145 | 134,376 | 245,252 | 281,068 | 223 | 125,478 |
| 32 Connecticut | 895 | 33,476 | 44,081 | 1,454 | 1,593 | 16,680 | 97,656 |
| 33 Cornell | 2,939 | 102,619 | 118,570 | 162,837 | 209,697 | 2,954 | 234,608 |
| 34 Delaware | 406 | 16,694 | 23,716 | 59,214 | - | 7,486 | 82,000 |
| 35 Denver | 524 | 17,892 | 21,472 | 12,900 | - | 506 | 45,000 |
| 36 Duke | 1,025 | 58,198 | 66,509 | 60,302 | 89,975 | 32,374 | 126,081 |
| 37 Emory | 1,451 | 20,147 | 24,862 | 61,362 | 89,104 | 3,160 | 57,256 |
| 38 Florida | 1,604 | 72,249 | 82,470 | - | - | 8,579 | 141,018 |
| 39 Florida State | 774 | 30,633 | 39,916 | 69 | 75 | 5,613 | 93,381 |
| 40 Fordham | 539 | 13,980 | 16,682 | 10,000 | - | 838 | 57,100 |
| 41 George Peabody | 170 | 6,869 | 7,721 | 11,764 | 13,202 | 283 | 13,639 |
| 42 George Washington | 1,578 | 35,271 | 238,595 | 9,600 | 12,800 | 125 | 56,000 |
| 43 Georgetown | 1,495 | 33,255 | 37,775 | 11,993 | 13,154 | 445 | 65,000 |
| 44 Georgia | 907 | 45,765 | 52,723 | 3,815 | 3,814 | 16,690 | 110,000 |
| 45 Georgia Tech. | 460 | 14,393 | 18,856 | 3,413 | - | 700 | 54,800 |
| 46 Harvard | 2,151 b | - | 151,356 | 621,795 | 1,017,776 e | 1,327 | 250,000 |
| 47 Hawaii* | 988 | 55,461 | 58,588 | 6,049 | 6,418 | 1,700 | - |
| 48 Houston | 939 | 14,618 | 18,558 | 6,000 | 6,325 | 1,214 | 35,000 |
| 49 Illinois | 2,090 | 147,623 | 175,751 | 7,700 | 7,903 | 31,491 | 308,844 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 490 | 11,124 | 14,776 | 5,007 | 5,465 | 486 | 70,338 |
| 51 Indiana | 1,845 | 83,432 | 121,022 | 9,913 | 11,127 | 12,083 | 291,500 |
| 52 Iowa | 1,193 | 69,060 | 82,579 | 4,145 | - | 8,093 | 143,893 |
| 53 Iowa State | 1,057 | 55,344 | 74,170 | 2,468 | - | 3,990 | 99,704 |
| 54 Johns Hopkins | 1,856 c | 52,472 | 60,631 | 123,574 | 160,457 | 567 | 90,158 |
| 55 Kansas | 1,472 | 27,656 | 35,067 | 1,624 | - | 3,642 | 150,000 |
| 56 Kansas State | 895 | 31,172 | 40,689 | 761 | 778 | 34,053 | 71,355 |
| 57 Kent State* | 975 | 24,595 | 33,954 | - | - | 3,318 | 82,486 |
| 58 Kentucky | 1,153 | 58,745 | 78,894 | 478 | 503 | 83,856 | 124,000 |
| 59 Lehigh | 363 | 13,202 | 16,758 | 30,624 | 40,026 | 2,833 | 45,227 |
| 60 Louisiana State | 822 | 58,119 | 77,411 | 553 | - | 1,214 | 100,000 |
| 61 Loyola (Ill.) | 421 b | 14,556 | 17,286 | 9,970 | 12,143 | 364 | 40,713 |
| 62 M. I. T. | 969 | 34,977 | 200,109 | 282,963 | 332,325 | 506 | 110,324 |
| 63 Maryland | 1,378 | 88,101 d | 99,694 d | 8,738 d | 11,560 d | 22,127 | 155,804 |
| 64 Massachusetts | 999 | 39,068 | 41,606 | 941 | 1,133 | 4,451 | 99,229 |
| 65 Miami* | 884 | 31,073 | 36,911 | 16,796 | 16,566 | 9,226 | 67,745 |

a : 講師, 準教授などを含んでいない。
d : 全キャンパスの数値である。

b : フル・タイムの教員ののみ。
e : 一般投資用。

c : 夜間の教員も含む。

別表Ⅱ 大学の概要 (2) 続き

| 大 学 名 | 教 員 数 1966-67 | 教育・一般 費収入千ドル 1966-67 | 経常費全収 入千ドル 1966-67 | 帳簿価格 千ドル | 市場価格 千ドル | 大学の敷地 千㎡ | 評 価 格 千ドル |
|--------------------------------------|------------------|----------------------------|--------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 66 Michigan | 3,987 | 156,963 | 202,007 | 49,884 | 71,978 | 84,851 | 357,426 |
| 67 Michigan State | 2,500 | 106,561 | 143,340 | 6,755 | 7,540 | 74,055 | 300,000 |
| 68 Minnesota | 2,923 | — | 169,292 | — | — | 71,404 | 261,090 |
| 69 Mississippi * | 480 | 8,075 | 11,895 | 1,259 | 1,460 | 2,590 | 77,000 |
| 70 Mississippi State* | 496 | 22,877 | 28,977 | 461 | 546 | 113,308 | 48,346 |
| 71 Missouri | 2,094 | 61,146 | 72,810 | 4,541 | 4,907 | 2,956 | 145,300 |
| 72 Montana State* | 450 | 11,081 | 14,545 | 2,890 | 2,890 | 4,735 | 40,804 |
| 73 New York | 4,225 | 128,158 | 144,718 | 79,169 | 95,480 | 3,185 | 221,993 |
| 74 Nebraska | 1,593 | 41,222 | 43,169 | 942 | — | 2,035 | 117,219 |
| 75 New Hampshire* | 484 | 17,136 | 20,780 | 3,272 | 4,079 | 11,452 | 31,000 |
| 76 New Mexico | — | 26,884 | 33,894 | 2,439 | 2,750 | 2,023 | 61,960 |
| 77 New School | 427 | 3,246 | 3,246 | 1,073 | 1,291 | 63 | 79,000 |
| 78 North Carolina | 1,417 | 57,375 | 76,696 | 15,788 | 21,017 | 13,285 | 127,000 |
| 79 No. Carolina State | 700 | 38,966 | 47,516 | 600 | 1,721 | 2,315 | 70,036 |
| 80 North Dakota | 424 | 10,892 | 16,905 | 1,096 | 1,190 | 850 | 43,714 |
| 81 North Texas State* | 763 | 10,805 | 16,056 | — | — | 1,323 | 41,100 |
| 82 Northwestern | 2,159 | 49,833 | 61,142 | 155,305 | 239,250 | 704 | 100,837 |
| 83 Notre Dame | 610 | 32,968 | 39,377 | 58,346 | 67,351 | 5,665 | 48,386 |
| 84 Ohio State | 2,338 | 154,583 | 171,450 | 23,053 | 35,673 | 19,849 | 252,614 |
| 85 Oklahoma | 900 | 17,625 | 32,145 | 23,263 | — | 1,469 | 88,302 |
| 86 Oklahoma State | 697 | 18,749 | 29,640 | 10,074 | — | 23,143 | 93,475 |
| 87 Oregon | — | 27,580 | 37,972 | 3,155 | 3,212 | 1,165 | — |
| 88 Oregon State | 943 | 35,279 | 42,864 | 1,275 | — | 1,821 | 80,000 |
| 89 Pennsylvania | 4,223 | 108,158 | 117,988 | 141,225 | 166,100 | 587 | 134,050 |
| 90 Penn. State | 2,288 | 96,639 | 115,215 | 4,895 | — | 53,586 | 212,340 |
| 91 Pittsburgh | 1,550 | 57,617 | 70,578 | 76,935 | 83,682 | 429 | 144,119 |
| 92 Princeton | 664 | 50,951 | 62,498 | 141,446 | 316,498 | 10,521 | — |
| 93 Purdue | 1,696 | 77,143 | 102,827 | 16,401 | 16,624 | 2,460 | 208,624 |
| 94 Rensselaer | 401 | 16,574 | 20,311 | 54,277 | 71,867 | 1,105 | 56,104 |
| 95 Rice | 327 | 16,616 | 21,120 | 94,730 | 126,077 | 1,214 | 46,123 |
| 96 Rochester | 1,678 | 63,840 | 66,343 | 143,095 | 334,046 | 1,416 | 70,954 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 1,784 | 57,975 | 70,635 | 25,766 | 31,856 | 20,314 | 156,835 |
| 99 St. John's | 561 | 13,176 | 13,980 | 11,699 | 11,393 | 425 | 26,000 |
| 100 St. Louis | 1,628 | 21,496 | 26,013 | 12,402 | 15,875 | 692 | 72,133 |
| 101 South Carolina* | 439 | 12,934 | 23,237 | 716 | — | 1,534 | 50,500 |
| 102 South Dakota* | 327 | 8,465 | 11,047 | 1,452 | — | 275 | 16,650 |
| 103 Southern California | 2,005 | 50,574 | 57,452 | 26,733 | 28,519 | 449 | 74,207 |
| 104 Southern Illinois* | 1,000 | 61,047 | 69,485 | — | — | 34,733 | 155,656 |
| 105 Stanford | 1,714 | 109,215 | 128,500 | 202,000 | 240,000 | 33,611 | 145,333 |
| 106 Syracuse | 1,311 | 47,045 | 61,766 | 38,879 | 46,707 | 3,844 | 87,683 |
| 107 Teachers College* | 396 | 15,604 | 21,166 | 17,050 | 20,110 | 149 | 14,311 |
| 108 Temple | 2,396 | 44,251 | 48,603 | 7,755 | 7,732 | 1,267 | 59,414 |
| 109 Tennessee | 2,120 | 59,610 | 61,185 | 4,089 | 4,724 | 151,751 | 130,300 |
| 110 Texas | 1,310 | 56,313 | 64,454 | 15,863 | — | 6,734 | 170,658 |
| 111 Texas A&M | 766 | 18,736 | 25,310 | 2,489 | 2,640 | 51,393 | 100,000 |
| 112 Tufts | 367 a | 20,899 | 24,165 | 21,000 | 26,500 | 583 | 31,946 |
| 113 Tulane | 1,426 | 30,163 | 36,656 | 40,297 | 56,781 | 3,954 | 56,996 |
| 114 Utah | 1,338 | 36,724 | 52,730 | 3,739 | 3,810 | 2,586 | 77,629 |
| 115 Utah State* | 496 | 17,261 | 22,246 | 956 | 981 | 1,012 | 39,696 |
| 116 Vanderbilt | 909 | 33,651 | 41,277 | 76,406 | 98,400 | 607 | 58,000 |
| 117 Virginia | 881 | 44,543 | 50,984 | 48,220 | 81,361 | 29,411 | 75,000 |
| 118 Virginia Polytech. | 743 | 24,601 | 30,617 | 864 | 914 | 9,307 | 100,000 |
| 119 Washington (St. Louis) | 2,220 | 47,879 | 53,510 | 69,103 | 125,109 | 627 | 78,279 |
| 120 Washington (Seattle) | — | 106,635 | 117,414 | 54,501 | 56,052 | 17,919 | 192,404 |
| 121 Washington State | 733 | 37,204 | 44,712 | 41,794 | — | 24,689 | 102,021 |
| 122 Wayne State | 1,624 | 55,516 | 61,501 | 2,712 | 2,688 | 700 | 95,048 |
| 123 West Virginia | 969 | 41,382 | 46,383 | 126 | 126 | 6,879 | 96,000 |
| 124 Wisconsin | 2,119 | 163,173 b | 186,072 b | 49,383 b | 51,073 b | 10,797 | — |
| 125 Wyoming | 509 | 20,976 | 26,236 | 12,046 | 12,639 | 463,307 | 60,000 |
| 126 Yale | 2,036 | 79,636 | 90,826 | 401,693 | 485,336 | 4,350 | 205,000 |
| 127 Yeshiva | 1,896 | 45,611 | 48,473 | 4,994 | 5,406 | 929 | 66,806 |

a : フル・タイムの教員のみ。

b : 全キャンパスの数値である。

別表Ⅲ フル・タイム, パート・タイム, 性別, 学部学生数および大学院学生数 (1966年秋)

| 大 学 名 | 学 部 学 生 数 1966年秋 | | | | 計 |
|-------------------------------------|------------------|---------|---------|---------|----------|
| | 男 子 学 生 | | 女 子 学 生 | | |
| | フル・タイム | パート・タイム | フル・タイム | パート・タイム | |
| 1 Alabama | 6,622 | 1,964 | 4,420 | 1,363 | 14,369 |
| 2 American | 2,162 | 505 | 2,179 | 357 | 10,757 b |
| 3 Arizona | 8,829 | 1,555 | 5,515 | 1,652 | 17,551 |
| 4 Arizona State* | 8,330 | 1,489 | 4,870 | 1,283 | 15,972 |
| 5 Arkansas | 5,615 | 144 | 2,991 | 87 | 8,843 |
| 6 Auburn* | 7,444 | 633 | 2,890 | 502 | 11,469 |
| 7 Baylor* | 5,310 c | 650 c | — | — | 5,960 |
| 8 Boston | 5,401 | 2,487 | 6,776 | 2,272 | 16,936 |
| 9 Brandeis | 981 | 26 | 860 | 5 | 1,872 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 1,592 | 837 | 27 | 7 | 2,463 |
| 11 Brown | 2,571 | 14 | 0 | 0 | 3,597 d |
| 12 Bryn Mawr | 0 | 0 | 774 | 0 | 774 |
| 13 Buffalo | 5,556 | 3,503 | 3,764 | 1,846 | 14,669 |
| 14 California, Berkeley | 9,319 | 589 | 6,443 | 511 | 16,862 |
| 15 Calif., Davis | 3,169 | 365 | 3,157 | 372 | 7,063 |
| 16 Calif., Los Angeles | 8,934 | 652 | 7,157 | 744 | 17,487 |
| 17 Calif., Riverside* | 1,443 | 98 | 1,288 | 141 | 2,970 |
| 18 Calif., San Diego* | 989 | 17 | 437 | 27 | 1,560 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 4,799 | 69 | 4,946 | 149 | 9,963 |
| 20 Cal. Tech. | 717 | 0 | 0 | 0 | 717 |
| 21 Carnegie-Mellon | 2,734 | 728 | 1,226 | 188 | 4,876 |
| 22 Case Western Reserve | 3,090 | 571 | 1,241 | 653 | 5,555 |
| 23 Catholic | 1,698 | 39 | 903 | 29 | 2,660 |
| 24 Chicago | 1,509 | 18 | 930 | 39 | 2,496 |
| 25 Cincinnati | 8,863 | 6,112 | 4,069 | 3,180 | 22,224 |
| 26 Claremont | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 27 Clark | 682 | 17 | 460 | 23 | 1,182 |
| 28 Colorado | 11,059 e | — | 8,173 e | — | 19,232 |
| 29 Colorado State C.* | 2,537 | 85 | 3,487 | 228 | 6,337 |
| 30 Colorado State U.* | 6,420 | 313 | 4,006 | 310 | 11,049 |
| 31 Columbia | 4,120 | 619 | 482 | 664 | 8,105 g |
| 32 Connecticut | 5,830 | 1,792 | 4,393 | 892 | 12,907 |
| 33 Cornell | 7,169 e | — | 2,913 e | — | 10,082 |
| 34 Delaware | 3,245 | 143 | 2,493 | 138 | 6,019 |
| 35 Denver | 3,063 | 296 | 2,108 | 248 | 5,715 |
| 36 Duke | 2,731 | 20 | 1,588 | 43 | 4,942 h |
| 37 Emory | 3,634 | 0 | 1,709 | 0 | 4,591 a |
| 38 Florida | 10,305 a | — | 5,249 e | — | 15,554 |
| 39 Florida State | 5,808 | 343 | 5,342 | 348 | 11,851 |
| 40 Fordham | 3,930 | 572 | 1,237 | 815 | 6,554 |
| 41 George Peabody | 271 | 29 | 823 | 91 | 11,214 |
| 42 George Washington | 2,108 | 457 | 2,069 | 528 | 7,160 g |
| 43 Georgetown | 3,068 | 62 | 760 | 100 | 3,990 |
| 44 Georgia | 6,966 e | — | 4,913 e | — | 11,879 g |
| 45 Georgia Tech. | 5,851 | 281 | 66 | 6 | 6,204 |
| 46 Harvard | 4,850 | 0 | 4,850 | 0 | 4,850 |
| 47 Hawaii* | 6,547 | 1,826 | 6,363 | 554 | 19,034 g |
| 48 Houston | 7,624 | 4,038 | 3,592 | 2,419 | 17,673 |
| 49 Illinois | 13,048 | 218 | 7,195 | 325 | 20,786 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 2,133 | 3,615 | 115 | 217 | 6,080 |
| 51 Indiana | 13, 93 | 3,518 | 11,543 | 3,702 | 31,946 |
| 52 Iowa | 7,924 | — | 5,340 | — | 13,264 |
| 53 Iowa State | 9,246 | — | 3,632 | — | 12,878 |
| 54 Johns Hopkins | 1,763 | 3,878 | 0 | 1,181 | 6,822 |
| 55 Kansas | 7,424 | 239 | 4,781 | 369 | 12,813 |
| 56 Kansas State | 6,317 | 126 | 3,431 | 89 | 9,963 |
| 57 Kent State* | 7,300 | 1,288 | 5,973 | 1,054 | 15,199 |
| 58 Kentucky | 5,674 | 356 | 4,644 | 292 | 10,866 |
| 59 Lehigh | 3,061 | 9 | — | — | 3,070 |
| 60 Louisiana State | 8,019 | 885 | 4,785 | 722 | 14,411 |
| 61 Loyola (Ill.) | 3,759 | 1,541 | 1,912 | 1,348 | 8,560 |
| 62 M. I. T. | 3,618 | 39 | 186 | 14 | 3,857 |
| 63 Maryland | 13,006 | 5,258 | 8,771 | 2,831 | 29,866 |
| 64 Massachusetts | 6,622 | 55 | 4,640 | 148 | 11,165 |
| 65 Miami* | 5,731 | 1,686 | 2,749 | 1,914 | 12,080 |

a : 第一専門職業課程の学生を含む。ジョージア大学, 856人。 b : 5554人の nondegree
 女子学生を含む。 e : パート・タイムの学生を含む。コロラド大学, 566人。イリノイ大学,
 ソ大学, 1998人。ジョージア大学, 193人。ハワイ大学, 3744人。 h : その他560人を含む。
 のみの人数。

| 大 学 院 学 生 数 (1966年 秋) | | | | | 計 | 総 学 生 数 | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|--|
| 男 子 学 生 | | 女 子 学 生 | | | | | |
| フル・タイム | パート・タイム | フル・タイム | パート・タイム | | | | |
| 2,014 | 1,010 | 365 | 487 | 3,876 a | 18,245 | 1 | |
| 552 | 1,331 | 80 | 343 | 2,306 | 13,063 | 2 | |
| 1,751 | 850 | 477 | 778 | 3,856 | 21,407 | 3 | |
| 862 | 2,153 | 285 | 1,397 | 4,697 | 20,669 | 4 | |
| 822 | 6 | 320 | 2 | 1,150 | 9,993 | 5 | |
| 413 | 431 | 92 | 238 | 1,174 | 12,643 | 6 | |
| 117 c | 355 c | - | - | 472 | 6,432 | 7 | |
| 1,989 | 1,092 | 921 | 898 | 4,900 | 21,836 | 8 | |
| 478 | 20 | 176 | 3 | 677 | 2,549 | 9 | |
| 519 | 2,080 | 18 | 29 | 2,646 | 5,109 | 10 | |
| 803 | 187 | 238 | 62 | 1,290 | 4,887 | 11 | |
| 65 | 48 | 158 | 102 | 373 | 1,147 | 12 | |
| 2,167 | 1,775 | 371 | 895 | 5,208 | 19,877 | 13 | |
| 7,453 | 0 | 2,648 | 0 | 10,101 | 26,963 | 14 | |
| 1,709 | 0 | 446 | 0 | 2,155 | 9,218 | 15 | |
| 6,974 | 0 | 2,437 | 0 | 9,411 | 26,893 | 16 | |
| 668 | 0 | 244 | 0 | 912 | 3,882 | 17 | |
| 746 | 0 | 119 | 0 | 865 | 2,425 | 18 | |
| 878 | 0 | 404 | 0 | 1,282 | 11,245 | 19 | |
| 715 | 25 | 35 | 3 | 778 | 1,495 | 20 | |
| 957 | 189 | 117 | 19 | 1,282 | 6,158 | 21 | |
| 2,501 | 1,290 | 872 | 709 | 5,372 | 10,927 | 22 | |
| 1,157 | 1,625 | 730 | 607 | 4,119 | 6,779 | 23 | |
| 3,748 | 451 | 1,054 | 361 | 5,614 | 8,110 | 24 | |
| 868 | 1,419 | 257 | 819 | 3,364 | 25,587 | 25 | |
| 391 | 291 | 136 | 156 | 976 | - | 26 | |
| 198 | 52 | 54 | 41 | 345 | 1,527 | 27 | |
| 3,280 e | - | 1,697 e | - | 5,543 f | 24,775 | 28 | |
| 329 | 425 | 132 | 314 | 1,200 | 7,537 | 29 | |
| 939 | 403 | 146 | 164 | 1,652 | 12,701 | 30 | |
| 4,452 | 2,011 | 1,624 | 1,185 | 9,272 | 17,377 | 31 | |
| 885 | 2,465 | 279 | 774 | 4,403 | 17,310 | 32 | |
| 3,425 e | - | 616 e | - | 4,041 | 14,123 | 33 | |
| 458 | 901 | 122 | 363 | 1,844 | 7,863 | 34 | |
| 714 | 879 | 354 | 511 | 2,458 | 8,173 | 35 | |
| - | - | - | - | 2,454 e | 7,396 | 36 | |
| 437 | 0 | 315 | 0 | 752 | 5,343 | 37 | |
| 1,868 e | - | 617 e | - | 2,485 | 18,039 | 38 | |
| 1,066 | 665 | 394 | 332 | 2,457 | 14,308 | 39 | |
| 1,374 | 732 | 375 | 665 | 3,146 | 9,956 | 40 | |
| 163 | 109 | 157 | 179 | 608 | 1,822 | 41 | |
| 1,719 | 2,761 | 350 | 740 | 5,570 | 12,730 | 42 | |
| 2,386 | 645 | 333 | 237 | 3,601 f | 7,591 | 43 | |
| 2,061 e | - | 520 e | - | 2,581 a | 14,460 | 44 | |
| 669 | 440 | 13 | 23 | 1,145 | 7,349 | 45 | |
| 7,726 e | - | 1,333 e | - | 9,059 i | 13,909 | 46 | |
| 1,108 | 794 | 773 | 677 | 3,352 | 22,386 | 47 | |
| 588 | 980 | 188 | 557 | 2,313 | 19,986 | 48 | |
| 3,784 | 1,820 | 929 | 1,012 | 8,334 f | 29,120 | 49 | |
| 732 | 1,166 | 104 | 167 | 2,169 | 8,249 | 50 | |
| 7,309 | 1,439 | 2,555 | 1,402 | 12,705 | 44,651 | 51 | |
| 3,325 | - | 1,166 | - | 4,491 | 17,755 | 52 | |
| 1,993 | - | 312 | - | 2,305 | 15,183 j | 53 | |
| 2,236 | 961 | 454 | 494 | 4,145 | 10,967 | 54 | |
| 1,170 | 938 | 322 | 520 | 2,950 | 15,763 | 55 | |
| 650 | 375 | 106 | 191 | 1,322 | 11,285 | 56 | |
| 628 | 653 | 234 | 455 | 1,970 | 17,169 | 57 | |
| 956 | 379 | 344 | 231 | 1,910 | 12,879 | 58 | |
| 598 | 825 | 73 | 253 | 1,749 | 4,819 | 59 | |
| 1,365 | 997 | 406 | 450 | 3,218 | 17,629 | 60 | |
| 1,652 | 965 | 244 | 821 | 3,682 f | 12,242 | 61 | |
| 3,050 | 456 | 148 | 53 | 3,707 | 7,567 | 62 | |
| 3,954 e | - | 1,867 e | - | 5,821 | 35,687 | 63 | |
| 1,549 | 344 | 510 | 111 | 2,514 | 13,679 | 64 | |
| 1,036 | 686 | 158 | 673 | 2,553 | 14,633 | 65 | |

candidates を含む。 c : 女子学生も含む。 d : ペンブローク・カレッジの1012人の
 830人。 g : unclassified students を含む。コロンビア大学, 2220人。ジョージ・ワシントン
 i : 8290人はフル・タイム学生, 769人がパート・タイム学生。 j : フル・タイム学生

別表Ⅲ フル・タイム、パート・タイム、性別、学部学生数および大学院学生数（1966年秋） 続き

| 大 学 名 | 学 部 学 生 数 (1966年秋) | | | | 計 |
|--------------------------------------|--------------------|---------|----------|---------|----------|
| | 男 子 学 生 | | 女 子 学 生 | | |
| | フル・タイム | パート・タイム | フル・タイム | パート・タイム | |
| 66 Michigan | 10,625 | 626 | 8,034 | 628 | 19,913 |
| 67 Michigan State | 16,266 | 1,198 | 12,677 | 1,110 | 31,449 |
| 68 Minnesota | 19,444 a | — | 11,753 a | — | 31,197 b |
| 69 Mississippi * | 3,299 | 513 | 1,896 | 404 | 6,112 |
| 70 Mississippi State* | 5,588 | 218 | 1,253 | 68 | 7,127 |
| 71 Missouri | 9,059 | 101 | 5,497 | 196 | 14,853 |
| 72 Montana State* | 3,616 | 103 | 2,010 | 91 | 5,820 |
| 73 New York | 5,004 | 1,868 | 3,557 | 1,166 | 11,595 |
| 74 Nebraska | 8,650 | 652 | 4,562 | 525 | 14,389 |
| 75 New Hampshire* | 3,029 | 38 | 2,294 | 56 | 5,417 |
| 76 New Mexico | 5,328 | 1,012 | 3,354 | 1,001 | 10,695 |
| 77 New School | 45 | 0 | 53 | 0 | 98 |
| 78 North Carolina | 7,033 | 246 | 2,297 | 288 | 9,864 |
| 79 No. Carolina State | 6,671 | 877 | 703 | 92 | 8,343 |
| 80 North Dakota | 3,136 | 104 | 1,792 | 113 | 5,145 |
| 81 North Texas State* | 5,872 | 936 | 4,511 | 564 | 11,883 |
| 82 Northwestern | 3,438 | 3,513 | 2,701 | 2,159 | 11,811 |
| 83 Notre Dame | 6,258 | 1 | 0 | 0 | 6,263 c |
| 84 Ohio State | 18,507 | 1,024 | 11,383 | 911 | 31,825 |
| 85 Oklahoma | 9,077 a | — | 4,920 a | — | 13,997 |
| 86 Oklahoma State | 8,431 | 303 | 5,016 | 187 | 13,939 |
| 87 Oregon | 5,412 a | — | 4,391 a | — | 9,803 |
| 88 Oregon State | 6,871 | — | 4,067 | — | 10,938 |
| 89 Pennsylvania | 4,728 | 1,971 | 2,253 | 1,445 | 10,397 |
| 90 Penn. State | 18,394 | 219 | 6,992 | 106 | 25,710 |
| 91 Pittsburgh | 5,340 | 4,245 | 2,791 | 2,846 | 15,222 |
| 92 Princeton | 3,213 | 0 | 15 | 0 | 3,228 |
| 93 Purdue | 17,031 a | — | 6,577 a | — | 23,815 b |
| 94 Rensselaer | 3,410 | 38 | 78 | 6 | 3,532 |
| 95 Rice | 1,484 | — | 524 | — | 2,008 |
| 96 Rochester | 2,300 | 601 | 1,524 | 476 | 4,901 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 8,632 | 5,192 | 4,461 | 2,442 | 20,732 |
| 99 St. John's | 4,702 | 584 | 2,710 | 785 | 8,781 |
| 100 St. Louis | 3,610 | 581 | 1,688 | 493 | 6,372 |
| 101 South Carolina* | 6,603 | 549 | 3,064 | 805 | 11,021 |
| 102 South Dakota* | 2,366 | 54 | 1,114 | 81 | 3,615 |
| 103 Southern California | 4,353 | 598 | 2,316 | 161 | 7,428 |
| 104 Southern Illinois* | 12,064 | 1,835 | 6,478 | 1,395 | 21,772 |
| 105 Stanford | 4,151 | — | 1,752 | — | 5,903 |
| 106 Syracuse | 6,794 | 2,682 | 4,837 | 1,856 | 16,169 |
| 107 Teachers College* | — | — | — | — | 338 |
| 108 Temple | 7,440 | 5,556 | 5,268 | 2,828 | 21,092 b |
| 109 Tennessee | 7,503 | 2,269 | 3,862 | 1,562 | 15,196 |
| 110 Texas | 12,681 a | — | 8,799 a | — | 21,480 |
| 111 Texas A & M | 7,892 | 290 | 238 | 190 | 8,610 |
| 112 Tufts | 1,932 | 76 | 1,010 | 153 | 3,171 |
| 113 Tulane | 2,396 | 975 | 1,167 | 723 | 3,589 |
| 114 Utah | 10,923 g | 3,476 g | — | — | 14,399 |
| 115 Utah State* | 4,230 | 254 | 2,447 | 192 | 7,123 |
| 116 Vanderbilt | 2,431 | 77 | 1,058 | 50 | 3,566 |
| 117 Virginia | 4,411 | 77 | 304 | 1 | 4,793 |
| 118 Virginia Polytech. | 6,540 | 317 | 506 | 36 | 7,399 |
| 119 Washington (St. Louis) | 2,944 | 4,151 | 1,562 | 1,455 | 10,112 b |
| 120 Washington (Seattle) | 10,818 | 84 | 7,495 | 1,051 | 20,148 |
| 121 Washington State | 5,344 | 173 | 3,671 | 86 | 9,274 |
| 122 Wayne State | 8,283 | 3,661 | 6,313 | 3,601 | 21,858 |
| 123 West Virginia | 5,648 | 152 | 3,070 | 176 | 9,046 |
| 124 Wisconsin | 12,207 a | — | 9,678 a | — | 21,885 |
| 125 Wyoming | 3,504 | 209 | 1,825 | 170 | 5,708 |
| 126 Yale | 4,080 | 0 | 0 | 0 | 4,080 |
| 127 Yeshiva | 2,112 | 147 | 683 | 373 | 3,315 |

a : パート・タイムの学生を含む。 b : 第一専門職業課程の学生を含む。 パデュー大学。
d : 専門職業課程の学生を含む。 セント・ルイス大学, 1344人。 テキサス大学, 1558人。 ワシントン大
students を含む。 f : 女子のパート・タイムの学生を含む。 g : 女子学生も含む。

| 大 学 院 学 生 数 (1966 年 秋) | | | | | 計 | 総 学 生 数 | |
|--------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|--|
| 男 子 学 生 | | 女 子 学 生 | | | | | |
| フル・タイム | パート・タイム | フル・タイム | パート・タイム | | | | |
| 7,702 | 1,973 | 1,982 | 1,492 | 13,149 | 33,062 | 66 | |
| 3,626 | 3,311 | 1,120 | 1,968 | 10,025 | 41,474 | 67 | |
| 5,605 a | - | 1,443 a | - | 7,048 | 38,245 | 68 | |
| 434 | 150 | 111 | 112 | 807 | 7,749 | 69 | |
| 359 | 415 | 50 | 141 | 965 | 8,092 | 70 | |
| 1,769 | 1,008 | 455 | 584 | 3,816 | 18,669 | 71 | |
| 277 | 133 | 60 | 30 | 500 | 6,320 | 72 | |
| 5,568 | 9,039 | 2,101 | 3,784 | 20,482 | 32,077 | 73 | |
| 1,195 | 857 | 254 | 359 | 2,665 | 17,054 | 74 | |
| 520 | - | 182 | - | 702 | 6,119 | 75 | |
| 708 | 910 | 203 | 463 | 2,284 | 12,979 | 76 | |
| 424 | 692 | 67 | 352 | 1,535 | 1,633 | 77 | |
| 2,009 | 1,071 | 974 | 238 | 4,292 | 14,156 | 78 | |
| 1,011 | 635 | 140 | 74 | 1,860 | 10,203 | 79 | |
| 770 | - | 181 | - | 951 | 6,410 | 80 | |
| 330 | 1,042 | 96 | 634 | 2,102 | 13,985 | 81 | |
| 3,334 | 1,015 | 642 | 367 | 5,358 b | 17,169 | 82 | |
| 788 | 185 | 79 | 110 | 1,162 | 7,425 | 83 | |
| 5,538 | 1,649 | 1,529 | 666 | 9,382 d | 41,207 | 84 | |
| 2,272 a | - | 903 a | - | 3,175 | 17,172 | 85 | |
| 1,163 | 479 | 246 | 183 | 2,071 | 16,010 | 86 | |
| 2,365 a | - | 767 a | - | 3,132 | 12,935 | 87 | |
| 1,437 | - | 290 | - | 1,727 | 12,665 | 88 | |
| 5,449 | 1,782 | 1,036 | 633 | 8,900 | 19,297 | 89 | |
| 1,109 | 2,141 | 221 | 470 | 3,941 | 32,234 e | 90 | |
| 2,534 | 1,952 | 855 | 1,477 | 6,818 | 22,040 | 91 | |
| 1,469 | 7 | 34 | 0 | 1,510 | 4,738 | 92 | |
| 4,943 a | - | 1,511 a | - | 6,454 | 30,269 | 93 | |
| 505 | 1,296 | 19 | 28 | 1,848 | 5,380 | 94 | |
| 607 | 57 | 86 | 10 | 760 | 2,768 | 95 | |
| 1,359 | 1,122 | 313 | 471 | 3,265 | 8,166 | 96 | |
| - | - | - | - | - | - | 97 | |
| 1,860 | 1,926 | 516 | 1,082 | 5,384 | 26,116 | 98 | |
| 848 | 1,567 | 138 | 725 | 3,278 | 12,202 | 99 | |
| 2,124 | 1,115 | 491 | 416 | 4,360 d | 11,148 | 100 | |
| 636 | 185 | 106 | 179 | 1,106 | 12,127 | 101 | |
| 278 | 200 | 37 | 105 | 620 | 4,235 | 102 | |
| 2,761 | 4,439 | 771 | 1,100 | 9,071 | 16,499 | 103 | |
| 774 | 2,029 | 221 | 955 | 3,979 | 25,751 | 104 | |
| 4,578 | 1,112 f | 830 | - | 6,250 | 12,423 | 105 | |
| 1,562 | 3,821 | 391 | 1,637 | 7,411 | 23,580 | 106 | |
| 642 | 1,413 | 1,074 | 2,199 | 5,328 | 5,666 | 107 | |
| 722 | 4,353 | 286 | 3,254 | 8,615 | 31,253 | 108 | |
| 1,439 | 1,511 | 503 | 437 | 3,890 | 19,086 | 109 | |
| 4,757 a | - | 1,108 a | - | 5,865 d | 27,345 | 110 | |
| 1,333 | 576 | 40 | 108 | 2,057 | 10,667 | 111 | |
| 1,200 | 146 | 237 | 165 | 1,748 | 4,919 | 112 | |
| 1,142 | 360 | 455 | 163 | 1,597 | 8,239 | 113 | |
| 1,834 g | 1,470 g | - | - | 3,304 | 17,703 | 114 | |
| 536 | 248 | 84 | 85 | 953 | 8,076 | 115 | |
| 1,419 | 85 | 225 | 39 | 1,768 b | 5,334 | 116 | |
| 2,201 | 375 | 285 | 219 | 3,080 | 7,873 | 117 | |
| 379 | 520 | 57 | 40 | 996 | 8,395 | 118 | |
| 1,562 | - | 688 | - | 2,250 | 12,362 | 119 | |
| 3,816 | 1,033 | 1,044 | 385 | 6,283 d | 26,431 | 120 | |
| 255 | 742 | 61 | 287 | 1,345 | 10,619 | 121 | |
| 3,244 | 2,587 | 417 | 2,226 | 8,974 b | 30,832 | 122 | |
| 1,400 | 928 | 199 | 510 | 3,037 | 12,083 | 123 | |
| 6,882 a | - | 2,353 a | - | 9,235 d | 31,120 | 124 | |
| 563 | 98 | 178 | 109 | 948 | 6,656 | 125 | |
| - | - | - | - | 4,360 | 8,454 | 126 | |
| 740 | 887 | 192 | 405 | 2,224 | 5,539 | 127 | |

207人。州立ウエイン大学, 1707人。 c : 第一専門職業課程の学生と特別学生4人を含む。
 学(シアトル), 975人。ウィスコンシン大学, 1013人。 e : 2583人のnondegree

別表Ⅳ 勤務条件別，性別，取得学位別教員数，教員当学部学生相当数，学部学生相当数当教育。一般費ならび

| 大 学 名 | 教 員 | | | | |
|------------------------------------|---------|---------|-------|-----|---------|
| | 勤 務 条 件 | | 性 別 | | 博 士 |
| | フル・タイム | パート・タイム | 男 | 女 | |
| 1 Alabama | 1,523 | 646 | 1,848 | 321 | 839 |
| 2 American | 296 | 274 | 462 | 108 | 166 |
| 3 Arizona | 974 | 144 | 951 | 167 | 673 |
| 4 Arizona State* | 758 | 144 | 725 | 177 | 460 |
| 5 Arkansas | 516 | 87 | 503 | 100 | 301 |
| 6 Auburn* | 722 | — | 620 | 102 | 291 |
| 7 Baylor* | 628 | 1,253 | 400 | 128 | 281 |
| 8 Boston | 969 | 1,124 | 761 | 209 | 471 a |
| 9 Brandeis | 333 | 21 | 324 | 30 | 256 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 286 | 108 | 384 | 10 | 210 |
| 11 Brown | 462 | 29 | 472 | 19 | 395 |
| 12 Bryn Mawr | 114 | 33 | 78 | 69 | 95 |
| 13 Buffalo | 1,106 | 2,106 | 2,727 | 485 | 572 a |
| 14 California Berkeley | 1,018 | 565 | — | — | — |
| 15 Calif. Davis | 271 | 385 | — | — | — |
| 16 Calif. Los Angeles | 1,116 | 276 | — | — | — |
| 17 Calif. Riverside* | 200 | 84 | 265 | 19 | — |
| 18 Calif. San Diego* | 125 | 80 | 201 | 4 | — |
| 19 Calif. Santa Barbara* | 400 | 42 | 354 | 88 | — |
| 20 Cal. Tech. | 248 | 19 | 257 | 2 | 234 |
| 21 Carnegie-Mellon | 367 | 67 | 371 | 63 | 225 |
| 22 Case Western Reserve | 1,287 | — | 1,067 | 220 | 628 |
| 23 Catholic | 473 | 198 | 550 | 121 | 273 a |
| 24 Chicago | 1,543 | — | — | — | 1,092 a |
| 25 Cincinnati | 934 | 261 | 972 | 223 | 407 |
| 26 Claremont | 191 | 51 | 220 | 22 | 196 |
| 27 Clark | 118 | 44 | 142 | 20 | 125 |
| 28 Colorado | 1,155 | 95 | — | — | 683 |
| 29 Colorado State C.* | 345 | — | 265 | 80 | 169 |
| 30 Colorado State U.* | — | — | — | — | — |
| 31 Columbia | 1,866 | 1,454 | 3,030 | 290 | 1,588 |
| 32 Connecticut | 877 | 8 | 745 | 150 | 510 |
| 33 Cornell | 2,936 | 3 | 2,583 | 356 | 1,151 |
| 34 Delaware | 380 | 26 | 336 | 70 | 254 |
| 35 Denver | 345 | 179 | 434 | 90 | 213 |
| 36 Duke | 798 | 227 | — | — | 820 |
| 37 Emory | 669 | 782 e | 1,322 | 124 | 326 |
| 38 Florida | 1,464 | 140 | — | — | 957 |
| 39 Florida State | 742 | 32 | — | — | 526 |
| 40 Fordham | 434 | 105 | 453 | 86 | 243 |
| 41 George Peabody | 128 | 42 | 125 | 45 | 94 |
| 42 George Washington | 614 | 964 | 1,379 | 199 | 472 |
| 43 Georgetown | 856 | 639 | 1,354 | 141 | 322 |
| 44 Georgia | 901 | 6 | 792 | 115 | 650 |
| 45 Georgia Tech. | 404 | 56 | 444 | 16 | 255 |
| 46 Harvard | 2,151 | — | 2,015 | 136 | 1,033 |
| 47 Hawaii* | — | — | 730 | 258 | — |
| 48 Houston | 543 | 396 | 753 | 186 | 312 a |
| 49 Illinois | 1,930 | 180 | 1,869 | 221 | 1,296 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 309 | 181 | 446 | 24 | 226 |
| 51 Indiana | — | — | 1,516 | 329 | 1,089 |
| 52 Iowa | 1,112 | 81 | 1,035 | 158 | — |
| 53 Iowa State | 942 | 115 | 893 | 164 | 525 |
| 54 Johns Hopkins | 910 | 925 | — | — | 648 |
| 55 Kansas | 970 | 502 | 619 | 101 | 478 |
| 56 Kansas State | 783 | 112 | 790 | 105 | 433 |
| 57 Kent State* | 696 | 279 | 563 | 133 | 297 |
| 58 Kentucky | 839 | 314 | 1,016 | 137 | 598 |
| 59 Lehigh | 324 | 39 | 357 | 6 | 234 |
| 60 Louisiana State | 821 | 1 | 671 | 151 | 453 |
| 61 Loyola (Ill.) | 421 | — | 319 | 102 | 154 |
| 62 M. I. T. | 912 | 57 | 894 | 26 | 739 |
| 63 Maryland | 1,211 | 167 | 980 | 259 | 636 |
| 64 Massachusetts | 949 | 50 | 798 | 201 | 589 |
| 65 Miami* | 782 | 102 | 751 | 133 | 406 |

a : 常勤の教員のみ。
(voluntary) を含む。b : 講師，アソシエートなど含まない。
f : 夜間の教員も含む。

c : 79人が大学院。

に学生援助費（1966 - 67年）

| 数 (1966 - 1967) | | | | 学部学生相当数 | 教育・一般費 | 学生援助費 | |
|-----------------|------|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 学 位 | | | 合 計 | | | | |
| 修 士 | 学 士 | 専門職業士 | | | 教員数 | 学部学生相当数 | 学部学生相当数 |
| 464 | 70 | 718 | 2,169 | 12.0 | 0.99 | 39 | 1 |
| 99 | 26 | 5 | 570 | 31.0 | 1.00 | 21 | 2 |
| 325 | 77 | 37 | 1,118 | 26.0 | 1.52 | 86 | 3 |
| 234 | 38 | 0 | 902 | 33.3 | 0.83 | 4 | 4 |
| 245 | 34 | 21 | 603 | 20.4 | 2.74 | 24 | 5 |
| 333 | 69 | 29 | 722 | 20.8 | 1.29 | 54 | 6 |
| 158 | 51 | 366 | 1,881 | 3.9 | 0.99 | 81 | 7 |
| 291 a | 61 a | 149 a | 2,093 | 15.1 | 1.31 | 113 | 8 |
| 67 | 20 | 11 | 354 | 11.0 | 1.62 | - | 9 |
| 170 | 14 | 0 | 394 | 26.4 | 1.13 | 70 | 10 |
| 54 | 33 | 10 | 491 | 15.2 | 3.17 | 235 | 11 |
| 12 | 6 | 1 | 147 | 12.9 | 1.85 | 470 | 12 |
| 266 a | 74 a | 174 a | 3,212 | 9.4 | 1.80 | 83 | 13 |
| - | - | - | 1,583 b | 29.8 | 3.78 | 336 | 14 |
| - | - | - | 656 b | 20.6 | - | - | 15 |
| - | - | - | 1,392 b | 32.8 | - | - | 16 |
| - | - | - | 284 b | 20.1 | - | - | 17 |
| - | - | - | 205 b | 20.3 | - | - | 18 |
| - | - | - | 442 b | 31.2 | - | - | 19 |
| 15 | 7 | 2 | 259 | 11.8 | 8.72 | 714 | 20 |
| 132 | 62 | 0 | 434 | 20.1 | 2.14 | 138 | 21 |
| 215 | 37 | 407 | 1,287 a | 16.8 | 2.34 | 651 | 22 |
| 93 a | 6 a | 101 a | 671 | 22.4 | 0.87 | 117 | 23 |
| 135 a | 19 a | 259 a | 1,534 a | 12.6 | 10.26 | 672 | 24 |
| 337 | 125 | 306 | 1,195 | 27.0 | 1.36 | 18 | 25 |
| 36 | 3 | 14 | 242 c | 12.1 | 1.02 | 133 | 26 |
| 27 | 4 | 6 | 162 | 13.7 | 2.44 | 60 | 27 |
| 261 | 47 | 260 | 1,250 | 28.7 | 1.77 | 57 | 28 |
| 163 | 13 | - | 345 | 28.8 | 0.69 | 137 | 29 |
| - | - | - | - | - | 1.80 | 41 | 30 |
| 348 | 211 | 1,234 | 3,320 | 10.8 | 3.57 | - | 31 |
| 318 | 45 | 22 | 895 | 29.2 | 1.28 | 107 | 32 |
| 556 | 801 | 431 | 2,939 | 7.6 | 4.62 | 187 | 33 |
| 125 | 26 | 1 | 406 | 28.5 | 1.45 | 90 | 34 |
| 194 | 4 | 90 | 524 | 25.0 | 1.37 | 10 | 35 |
| 195 d | 10 | - | 1,025 | 12.0 | 4.73 | 160 | 36 |
| 162 | 18 | 301 | 1,451 | 4.7 | 2.94 | 217 | 37 |
| 431 | 51 | 165 | 1,604 | 14.3 | 3.14 | 45 | 38 |
| 212 | 22 | 5 | 774 | 24.8 | 1.59 | 46 | 39 |
| 170 | 62 | 64 | 539 | 29.7 | 0.87 | 53 | 40 |
| 73 | 1 | 2 | 170 | 17.9 | 2.26 | 11 | 41 |
| 269 | 58 | 779 | 1,578 | 15.1 | 1.48 | 10 | 42 |
| 137 | 36 | 996 | 1,495 | 9.9 | 2.25 | 19 | 43 |
| 205 | 14 | 38 | 907 | 21.6 | 2.33 | 92 | 44 |
| 148 | 37 | 0 | 460 | 21.0 | 1.49 | 106 | 45 |
| 186 | 70 | 862 | 2,151 | 12.8 | - | 497 | 46 |
| - | - | - | 988 | 29.4 | 1.91 | 11 | 47 |
| 164 a | 39 a | 22 a | 939 | 26.2 | 0.59 | 8 | 48 |
| 585 | 134 | 73 | 2,090 | 21.9 | 3.22 | 90 | 49 |
| 163 | 64 | 9 | 490 | 25.7 | 0.88 | 38 | 50 |
| 402 | 88 | 245 | 1,845 | 38.0 | 1.19 | 50 | 51 |
| - | - | - | 1,193 | 22.4 | 2.58 | 113 | 52 |
| 367 | 139 | 26 | 1,057 | 18.7 | 2.80 | 108 | 53 |
| 158 | 84 | 959 | 1,856 f | 10.4 | 2.72 | 242 | 54 |
| 177 | 41 | 19 | 1,472 | 14.7 | 1.28 | 80 | 55 |
| 312 | 107 | 40 | 895 | 15.6 | 2.24 | 120 | 56 |
| 419 | - | - | 975 | 21.7 | 1.17 | 20 | 57 |
| 299 | 41 | 215 | 1,153 | 14.5 | 4.12 | 75 | 58 |
| 105 | 21 | 3 | 363 | 22.9 | 1.59 | 132 | 59 |
| 298 | 54 | 9 | 822 | 29.3 | 2.42 | 102 | 60 |
| 159 | 10 | 98 | 421 | 46.6 | 0.74 | 48 | 61 |
| 131 | 28 | 14 | 969 | 15.5 | - | - | 62 |
| 431 | 102 | 9 | 1,378 | 34.3 | 1.86 | 14 | 63 |
| 325 | 67 | 18 | 999 | 18.7 | 2.09 | 80 | 64 |
| 236 | 25 | 210 | 884 | 22.3 | 1.57 | 35 | 65 |

163人はカレッジ、その他の教員。

d：専門職業士を含む。

e：627人のボランティア

別表Ⅳ 勤務条件別、性別、取得学位別教員数、教員当学部学生相当数、学部学生相当数当教育・一般費ならび

| 大 学 名 | 教 員 | | | | |
|--------------------------------------|---------|---------|-------|-------|-------|
| | 勤 務 条 件 | | 性 別 | | 博 士 |
| | フル・タイム | パート・タイム | 男 | 女 | |
| 66 Michigan | 2,343 | 1,644 | - | - | - |
| 67 Michigan State | 1,861 | 639 | 2,108 | 392 | 1,481 |
| 68 Minnesota | 1,829 | 1,094 | 2,598 | 825 | 1,259 |
| 69 Mississippi* | 332 | 148 | 391 | 89 | 168 |
| 70 Mississippi State* | 442 | 54 | 440 | 56 | 229 |
| 71 Missouri | 1,193 | 901 | 1,722 | 372 | 657 |
| 72 Montana State* | 419 | 31 | 376 | 74 | 180 |
| 73 New York | 1,847 | 2,378 | 3,643 | 582 | 1,181 |
| 74 Nebraska | 835 | 758 | 1,439 | 154 | 537 |
| 75 New Hampshire* | 475 | 9 | 424 | 60 | 237 |
| 76 New Mexico | - | - | - | - | - |
| 77 New School | 40 | 387 | - | - | - |
| 78 North Carolina | 1,006 | 411 | - | - | 474 |
| 79 No. Carolina State | 652 | 48 | 661 | 39 | 380 |
| 80 North Dakota | 367 | 57 | 344 | 80 | 165 |
| 81 North Texas State* | 514 | 249 | 579 | 184 | 267 |
| 82 Northwestern | 926 | 1,233 | 1,877 | 282 | 696 |
| 83 Notre Dame | 590 | 20 | 608 | 2 | 377 |
| 84 Ohio State | 1,997 | 342 | 2,005 | 333 | 1,182 |
| 85 Oklahoma | 550 | 350 | - | - | 300 |
| 86 Oklahoma State | 654 | 43 | 565 | 132 | 315 |
| 87 Oregon | - | - | - | - | - |
| 88 Oregon State | 813 | 130 | 830 | 113 | 550 |
| 89 Pennsylvania | 1,636 | 2,587 | 3,722 | 501 | 1,035 |
| 90 Penn. State | 2,082 | 206 | - | - | 1,096 |
| 91 Pittsburgh | 1,158 | 392 | 987 | 171 | 581 a |
| 92 Princeton | 619 | 45 | 659 | 5 | 526 |
| 93 Purdue | 1,654 | 42 | 1,487 | 209 | 1,089 |
| 94 Rensselaer | 322 | 79 | 396 | 5 | 268 |
| 95 Rice | 299 | 28 | 312 | 15 | 271 |
| 96 Rochester | 869 | 809 | - | - | 1,207 |
| 97 Rockefeller Inst. | - | - | - | - | - |
| 98 Rutgers | 1,643 | 141 | 1,408 | 376 | 1,048 |
| 99 St. John's | 470 | 91 | 469 | 92 | 248 |
| 100 St. Louis | 680 | 948 | 1,388 | 240 | 321 |
| 101 South Carolina* | 418 | 21 | 379 | 60 | 266 |
| 102 South Dakota* | 264 | 63 | 281 | 46 | 137 |
| 103 Southern California | 1,113 | 892 | 1,795 | 210 | 934 |
| 104 Southern Illinois* | 759 | 241 | 851 | 149 | 572 |
| 105 Stanford | 1,037 | 677 | 1,606 | 108 | - |
| 106 Syracuse | 925 | 386 | - | - | 666 |
| 107 Teachers College* | 226 | 170 | 253 | 143 | 187 b |
| 108 Temple | 1,324 | 1,072 | 2,023 | 373 | 656 |
| 109 Tennessee | 1,231 | 889 | 1,806 | 314 | 784 |
| 110 Texas | 1,159 | 151 | 1,145 | 165 | 926 |
| 111 Texas A&M | 670 | 96 | 753 | 13 | 420 |
| 112 Tufts | 367 | - | 301 | 66 | 263 |
| 113 Tulane | 594 | 832 | 1,249 | 177 | 416 |
| 114 Utah | 727 | 611 | 1,121 | 217 | 889 |
| 115 Utah State* | 317 | 179 | 423 | 73 | 259 |
| 116 Vanderbilt | 587 | 322 | 844 | 65 | 339 |
| 117 Virginia | 715 | 166 | 808 | 73 | 597 |
| 118 Virginia Polytech. | 726 | 17 | 692 | 51 | 358 |
| 119 Washington (St. Louis) | 854 | 1,366 | 1,910 | 310 | 436 a |
| 120 Washington (Seattle) | - | - | - | - | - |
| 121 Washington State | 488 | 245 c | 623 | 110 | 471 |
| 122 Wayne State | 1,178 | 446 | 918 a | 260 a | 552 a |
| 123 West Virginia | 805 | 164 | 840 | 129 | 356 |
| 124 Wisconsin | 1,966 | 153 | 1,839 | 280 | 1,407 |
| 125 Wyoming | 481 | 28 | 421 | 88 | 232 |
| 126 Yale | 1,252 | 784 | - | - | - d |
| 127 Yeshiva | 1,577 | 319 | 1,736 | 160 | 705 |

a : 常勤の教員のみ。

b : 常勤、アソシエートならびに助教について。

c : 207A

に学生援助費(1966-67年) 続き

| 数 (1966 - 1967) | | | | 学部学生相当数 教員数 | 教育・一般費 学部学生相当数 | 学生援助費 学部学生相当数 | |
|-----------------|------|-------|-------|----------------|-------------------|------------------|-----|
| 修士 | 学士 | 専門職業士 | 合計 | | | | |
| - | - | - | 3,987 | 14.9 | 2.64 | 24 | 66 |
| 791 | 214 | - | 2,500 | 24.6 | 1.73 | 88 | 67 |
| 830 | 169 | 665 | 2,923 | 17.9 | - | - | 68 |
| 141 | 150 | 15 | 480 | 17.8 | 0.95 | 306 | 69 |
| 219 | 43 | 5 | 496 | 20.2 | 2.28 | 61 | 70 |
| 481 | 92 | 198 | 2,094 | 12.6 | 2.32 | 49 | 71 |
| 228 | 37 | 5 | 450 | 16.3 | 1.51 | 75 | 72 |
| 766 | 266 | 1,892 | 4,225 | 25.1 | 1.21 | 16 | 73 |
| 234 | 0 | 64 | 1,593 | 14.1 | 1.84 | 73 | 74 |
| 177 | 64 | 6 | 484 | 15.5 | 2.28 | - | 75 |
| - | - | - | - | - | 1.53 | 90 | 76 |
| 539 | 0 | 404 | 1,417 | 11.0 | 0.69 | - | 77 |
| 238 | 82 | 0 | 700 | 16.0 | 2.52 | 27 | 78 |
| 195 | 36 | 25 | 424 | 18.9 | 2.80 | 167 | 79 |
| - | - | - | - | - | 1.36 | 195 | 80 |
| 324 | 168 | - | 763 | 23.8 | 0.59 | 25 | 81 |
| 230 | 158 | 1,033 | 2,159 | 12.9 | 1.79 | 125 | 82 |
| 162 | 59 | 12 | 610 | 16.0 | 3.38 | 117 | 83 |
| 496 | 81 | 579 | 2,338 | 25.7 | 2.58 | 45 | 84 |
| 425 | 150 | 25 | 900 | 26.1 | 0.75 | 52 | 85 |
| 279 | 84 | 19 | 697 | 28.9 | 0.93 | 74 | 86 |
| - | - | - | - | - | 1.44 | 153 | 87 |
| 283 | 104 | 6 | 943 | 17.1 | 2.19 | 125 | 88 |
| 767 | 465 | 1,956 | 4,223 | 8.8 | 2.92 | 101 | 89 |
| 740 | 276 | 46 | 2,288 | 16.4 | 2.57 | 10 | 90 |
| 291 a | 39 a | 247 a | 1,550 | 23.0 | 1.62 | 23 | 91 |
| - | - | - | 664 | 11.7 | 6.57 | 706 | 92 |
| 425 | 166 | 16 | 1,696 | 25.7 | 1.77 | 126 | 93 |
| 91 | 40 | 0 | 401 | 22.6 | 1.83 | 117 | 94 |
| 44 | 11 | 1 | 327 | 13.1 | 3.88 | 427 | 95 |
| 259 | 173 | 39 | 1,678 | 8.8 | 4.34 | 170 | 96 |
| - | - | - | - | - | - | - | 97 |
| 440 | 161 | 84 | 1,784 | 20.7 | 1.57 | 37 | 98 |
| 249 | 33 | 19 | 561 | 33.2 | 0.71 | 41 | 99 |
| 383 | 219 | 705 | 1,628 | 11.9 | 1.11 | 14 | 100 |
| 148 | 19 | 6 | 439 | 32.7 | 0.90 | 9 | 101 |
| 121 | 18 | 51 | 327 | 16.7 | 1.55 | 68 | 102 |
| 337 | 117 | 582 | 2,005 | 17.3 | 1.46 | 14 | 103 |
| 274 | 150 | 4 | 1,000 | 33.7 | 1.81 | 66 | 104 |
| - | - | - | 1,714 | 14.9 | 4.29 | 298 | 105 |
| 255 | 57 | 7 | 1,311 | 29.3 | 1.23 | - | 106 |
| 3 b | - | - | 396 | 41.2 | 0.96 | 155 | 107 |
| 633 | 90 | 991 | 2,396 | 19.6 | 0.94 | 11 | 108 |
| 789 | 363 | - | 2,120 | 12.7 | 2.22 | 61 | 109 |
| 260 | 55 | 50 | 1,310 | 29.8 | 1.44 | 20 | 110 |
| 229 | 31 | 86 | 766 | 19.3 | 1.27 | 20 | 111 |
| 71 | 31 | 0 | 367 | 22.9 | 2.48 | 44 | 112 |
| 182 | 54 | 768 | 1,426 | 5.9 | 3.60 | 137 | 113 |
| 289 | 122 | 38 | 1,338 | 18.2 | 1.51 | 112 | 114 |
| 208 | 18 | 11 | 496 | 20.1 | 1.73 | 66 | 115 |
| 83 | 25 | 449 | 909 | 9.8 | 3.79 | 325 | 116 |
| 159 | 67 | 58 | 881 | 15.9 | 3.17 | 183 | 117 |
| 315 | 36 | 34 | 743 | 14.0 | 2.37 | 93 | 118 |
| 154 a | 49 a | 204 a | 2,220 | 7.6 | 2.84 | 82 | 119 |
| - | - | - | - | - | 2.73 | 51 | 120 |
| 211 | 27 | 24 | 733 | 18.2 | 2.80 | 66 | 121 |
| 428 a | 85 a | 111 a | 1,624 | 30.0 | 1.14 | 39 | 122 |
| 385 | 60 | 168 | 969 | 18.7 | 2.28 | 13 | 123 |
| 453 | 97 | 161 | 2,119 | 23.4 | 3.29 | 133 | 124 |
| 207 | 48 | 22 | 509 | 16.8 | 2.45 | 76 | 125 |
| - | - | - | 2,036 | 8.4 | 4.64 | 478 | 126 |
| 272 | 65 | 854 | 1,896 | 5.3 | 4.57 | 140 | 127 |

の fulltime teaching parttime staffs を含む。

d : 専任講師以上はPh. D. が要請される。

別表V 新入生の入学前の成績，新入生中全米特別奨学生数（1966—67年）

| 大 学 名 | 高 校 での 成 績 | | | A C T の 平 均 点 | | |
|-------------------------------------|------------|----------|-----------|---------------|-----|-----|
| | 1/2以上の者% | 1/4以上の者% | 1/10以上の者% | 総 合 | 英 語 | 数 学 |
| 1 Alabama | 66 | 45 | 21 | 23 | 21 | 22 |
| 2 American | 87 | 55 | — | — | — | — |
| 3 Arizona | — | — | — | — | — | — |
| 4 Arizona State* | 75 | 42 | 20 | 22 | 20 | 21 |
| 5 Arkansas | 50 | 40 | 30 | — | — | — |
| 6 Auburn* | — | 85 | 12 | 23 | 22 | 24 |
| 7 Baylor* | 97 | 68 | 20 | 23 | 23 | 23 |
| 8 Boston | 86 | 74 | 38 | — | — | — |
| 9 Brandeis | — | 82 | 65 | — | — | — |
| 10 Brooklyn Polytech. | 83 | 54 | — | — | — | — |
| 11 Brown | — | 100 | 92 | — | — | — |
| 12 Bryn Mawr | — | 90 | 83 | — | — | — |
| 13 Buffalo | 95 | 84 | 35 | — | — | — |
| 14 California, Berkeley | — | — | — | — | — | — |
| 15 Calif., Davis | — | — | a | — | — | — |
| 16 Calif., Los Angeles | — | — | — | — | — | — |
| 17 Calif., Riverside* | — | — | — | — | — | — |
| 18 Calif., San Diego* | — | — | — | — | — | — |
| 19 Calif., Santa Barbara* | — | — | — | — | — | — |
| 20 Cal. Tech. | — | 95 | 89 | — | — | — |
| 21 Carnegie-Mellon | 90 | 64 | 44 | — | — | — |
| 22 Case Western Reserve | — | 92 | 68 | — | — | — |
| 23 Catholic | — | 75 | 30 | — | — | — |
| 24 Chicago | — | 92 | 82 | 26 | — | — |
| 25 Cincinnati | 95 | — | 27 b | 23 | 22 | 24 |
| 26 Claremont | — | — | — | — | — | — |
| 27 Clark | — | c | — | — | — | — |
| 28 Colorado | 92 | 62 | 29 | — | — | — |
| 29 Colorado State C. * | 80 | 43 | 16 | 21 | 21 | 20 |
| 30 Colorado State U. * | 94 | 49 | 19 | — | — | — |
| 31 Columbia | 95 | 80 | 56 | — | — | — |
| 32 Connecticut | 98 d | 64 e | — | — | — | — |
| 33 Cornell | — | 78 | 59 | — | — | — |
| 34 Delaware | 90 | 40 | 25 | — | — | — |
| 35 Denver | 55 d | 28 e | — | — | — | — |
| 36 Duke | 98 | 90 | 70 | — | — | — |
| 37 Emory | 97 | 83 | 63 | — | — | — |
| 38 Florida | — | — | — | — | — | — |
| 39 Florida State | — | — | — | — | — | — |
| 40 Fordham | 76 d | 50 e | — | — | — | — |
| 41 George Peabody | 85 | 35 | 20 | 24 | 21 | 26 |
| 42 George Washington | 90 | 59 | 25 | — | — | — |
| 43 Georgetown | 91 | 72 | 43 | — | — | — |
| 44 Georgia | — | 65 f | — | — | — | — |
| 45 Georgia Tech. | — | 85 | 52 | — | — | — |
| 46 Harvard | — | 80 | 70 | — | — | — |
| 47 Hawaii * | 75 d | 47 e | — | — | — | — |
| 48 Houston | 83 | 51 | — | — | — | — |
| 49 Illinois | 97 | 75 | 38 | 26 | — | — |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 95 | 75 | 45 | — | — | — |
| 51 Indiana | 89 | 60 | 29 | — | — | — |
| 52 Iowa | 90 | 60 | 27 | 25 | 24 | 26 |
| 53 Iowa State | 97 | 65 | 29 | 26 | 24 | 28 |
| 54 Johns Hopkins | 97 | 87 | 60 | — | — | — |
| 55 Kansas | 85 | 50 | 28 | — | — | — |
| 56 Kansas State | 78 | 47 | 23 | 22 | 23 | 24 |
| 57 Kent State* | 43 | 41 | — | 22 | 20 | 21 |
| 58 Kentucky | — | — | — | 23 | 23 | 24 |
| 59 Lehigh | 94 | 86 | 50 | — | — | — |
| 60 Louisiana State | — | — | — | 21 | 20 | 20 |
| 61 Loyola (Ill.) | 77 | 60 | — | — | — | — |
| 62 M. I. T. | — | — | 94 | — | — | — |
| 63 Maryland | 81 | 55 | 19 | 23 | 21 | 23 |
| 64 Massachusetts | 95 | 75 | 36 | — | — | — |
| 65 Miami * | 80 | 30 | 10 | — | — | — |

a : 高校のクラスでは全員が1/8以上に入る。
 での成績がクラスで2/5以上だった学生の割合。
 g : ケース工大の学生についてのみ。

b : 文理学部以外の学生だけの成績。
 e : 全学生中高校での成績がクラスで1/5以
 h : 男子学生について。 i : 1966

| 適性検査の平均点と内容 | | | | | | | | 新入生中全米 特別奨学生 | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------------|----|
| 言語検査 | | | | 数的検査 | | | | | |
| 平均点 | 500点以上の者% | 600点以上の者% | 700点以上の者% | 平均点 | 500点以上の者% | 600点以上の者% | 700点以上の者% | | |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1 |
| 556 | 75 | 28 | - | 537 | 67 | 22 | - | - | 2 |
| 505 | 56 | 21 | - | 486 | 48 | 22 | - | 10 | 3 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 6 | 4 |
| 485 | 40 | 19 | - | 520 | 50 | 10 | - | 30 | 5 |
| 500 | 46 | 15 | - | 543 | 71 | 23 | - | 6 | 6 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 23 | 7 |
| 597 | 91 | 43 | - | 602 | 90 | 45 | - | - | 8 |
| 668 | - | 83 | 29 | 669 | - | 81 | 32 | 8 | 9 |
| 560 | 70 | 29 | 4 | 650 | 99 | 65 | 25 | 2 | 10 |
| 647 | - | 90 | 18 | 683 | - | 95 | 24 | 3 | 11 |
| 701 | - | 96 | 49 | 662 | - | 78 | 28 | - | 12 |
| 580 | - | - | - | 610 | - | - | - | 5 | 13 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 16j | 14 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 15 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 16 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 17 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 18 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 19 |
| 677 | - | 92 | 42 | 752 | - | 100 | 94 | 19 | 20 |
| 587 | 84 | 48 | 10 | 630 | 89 | 68 | 29 | 16 | 21 |
| 599 g | - | 48 | 10 | 695 | - | 95 | 52 | - | 22 |
| 600 | - | 40 | 10 | 597 | - | 40 | 10 | 8 | 23 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 41 | 24 |
| 504 | 51 | 14 | - | 530 | 63 | 21 | - | - | 25 |
| 600 h | 93 | 52 | 9 | 620 | 94 | 60 | 13 | - | 26 |
| - | 59 | 19 | - | - | 71 | 30 | - | 80 | 27 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 28 |
| 484 | 41 | 6 | - | 512 | 55 | 10 | - | 3 | 29 |
| 667 | - | 80 | 34 | 677 | - | 82 | 38 | 22 | 30 |
| 539 | 68 | 24 | - | 560 | 78 | 34 | - | - | 31 |
| 631 | - | - | - | 682 | - | - | - | 42 | 32 |
| 520 | 70 | 25 | - | 550 | 75 | 40 | - | 1 | 33 |
| 519 | 40 | 14 | - | 535 | 45 | 20 | - | 4 | 34 |
| 615 | - | 60 | 12 | 642 | - | 74 | 20 | 32 | 35 |
| 597 | - | 50 | 10 | 626 | - | 67 | 14 | 13 | 36 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 37 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 38 |
| 610 | - | 43 | - | 615 | - | 43 | - | 4 | 39 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 40 |
| 588 | 92 | 44 | - | 586 | 90 | 44 | - | 15 | 41 |
| 624 | - | 62 | 17 | 631 | - | 70 | 15 | 4 | 42 |
| 500 | 49 | 12 | - | 520 | 59 | 17 | - | 5 | 43 |
| 552 | 73 | 27 | 4 | 634 | 98 | 68 | 18 | 25 | 44 |
| 680 | - | 80 | 40 | 709 | - | 85 | 45 | 18 | 45 |
| 474 i | 39 | 9 | - | 541 i | 56 | 20 | - | 130 | 46 |
| 491 | 45 | 10 | - | 516 | 56 | 17 | - | - | 47 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 41j | 48 |
| 574 | 81 | 41 | 5 | 642 | 98 | 71 | 23 | 4 | 49 |
| 498 | 49 | 16 | - | 512 | 58 | 18 | - | 20 | 50 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 51 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 4 | 52 |
| 637 | - | 70 | 22 | 654 | - | 85 | 38 | 8 | 53 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 54 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 55 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 7 | 56 |
| 603 | - | 52 | 6 | 676 | - | 89 | 40 | 13 | 57 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 58 |
| 543 | 67 | 28 | - | 534 | 73 | 27 | - | 12 | 59 |
| 677 | - | - | 47 | 751 | - | - | 94 | 84 | 60 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 61 |
| 561 | 74 | 25 | - | 592 | 87 | 38 | - | - | 62 |
| 490 | 46 | 13 | - | 501 | 54 | 19 | - | 17 | 63 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 64 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 65 |

c : 男子学生の68%と女子学生の86%が、高校のクラスで1/5以上の成績。
 d : 全学生中高校以上だった学生の割合。
 f : 全学生中高校での成績がクラスで1/3以上だった学生の割合。
 -67年の新入生中の人数。
 j : 全学での人数。

別表V 新入生の入学前の成績、新入生中全米特別奨学生数(1966—67年) 続き

| 大 学 名 | 高 校 での 成 績 | | | A C T の 平 均 点 | | |
|--------------------------------------|------------|----------|-----------|---------------|-----|------|
| | 1/2以上の者% | 1/4以上の者% | 1/10以上の者% | 総 合 | 英 語 | 数 学 |
| 66 Michigan | — | 93 | 64 | — | — | — |
| 67 Michigan State | 99 | 81 | — | — | — | — |
| 68 Minnesota | — | 77 | 48 a | — | — | — |
| 69 Mississippi * | — | — | — | 22 | — | — |
| 70 Mississippi State * | 100 | — | — | 21 | — | — |
| 71 Missouri | 74 b | 42 c | — | — | — | — |
| 72 Montana State * | 86 d | 51 e | — | — | — | — |
| 73 New York | 87 | 65 | 30 | — | — | — |
| 74 Nebraska | 73 | 43 | — | — | — | — |
| 75 New Hampshire * | 86 b | 56 c | — | — | — | — |
| 76 New Mexico | 80 | — | — | 22 | 20 | 21 |
| 77 New School | — | — | — | — | — | — |
| 78 North Carolina | 98 | 76 | 50 | — | — | — |
| 79 No. Carolina State | 96 | 68 | 33 | — | — | — |
| 80 North Dakota | 76 | 44 | 15 | 23 | 21 | 23 |
| 81 North Texas State * | 60 | 20 | 6 | 20 | 19 | 18 |
| 82 Northwestern | 98 | 94 | 60 | — | — | — |
| 83 Notre Dame | 93 | 74 | 40 | 25 | 22 | 27 i |
| 84 Ohio State | 82 | — | 25 | 22 | 20 | 22 |
| 85 Oklahoma | 70 | 42 | — | 22 | 21 | 20 |
| 86 Oklahoma State | — | — | — f | 21 | 20 | 22 |
| 87 Oregon | — | — | — | — | — | — |
| 88 Oregon State | — | — | — | — | — | — |
| 89 Pennsylvania | 97 | 85 | 63 | — | — | — |
| 90 Penn. State | 93 b | 70 c | — | — | — | — |
| 91 Pittsburgh | 91 b | 63 c | — | — | — | — |
| 92 Princeton | 97 | 86 | 71 | — | — | — |
| 93 Purdue | 96 | 71 | 36 | — | — | — |
| 94 Rensselaer | — | 96 | 61 | — | — | — |
| 95 Rice | — | 98 | 86 | — | — | — |
| 96 Rochester | 95 | 73 | 62 | — | — | — |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 97 | 83 | 48 | — | — | — |
| 99 St. John's | — | — | — | — | — | — |
| 100 St. Louis | 80 | 43 | 22 | 24 | 22 | 24 |
| 101 South Carolina * | 67 | 37 | — | — | — | — |
| 102 South Dakota * | 90 | 35 | 13 | 23 | 22 | 22 |
| 103 Southern California | 90 | 50 | 20 | — | — | — |
| 104 Southern Illinois * | 80 | 41 | 13 | — | — | — |
| 105 Stanford | — | 94 | 81 | — | — | — |
| 106 Syracuse | 86 b | 56 c | — | — | — | — |
| 107 Teachers College * | — | — | — | — | — | — |
| 108 Temple | 67 b | 38 c | — | — | — | — |
| 109 Tennessee | 75 | 50 | — | 22 | 21 | 22 |
| 110 Texas | 93 | 67 | — | — | — | — |
| 111 Texas A & M | 86 | 44 | 20 | — | — | — |
| 112 Tufts | 94 | 86 | 55 g | — | — | — |
| 113 Tulane | 92 | 62 c | 23 | — | — | — |
| 114 Utah | 100 | — | — | 23 | 21 | 22 |
| 115 Utah State * | — | — | — | 20 | 19 | 19 |
| 116 Vanderbilt | 95 | 76 | 45 h | — | — | — |
| 117 Virginia | 95 | 70 | 39 | — | — | — |
| 118 Virginia Polytech. | 91 | 54 | 20 | — | — | — |
| 119 Washington (St. Louis) | 90 | 70 | 49 | — | — | — |
| 120 Washington (Seattle) | 100 | 75 | 50 | — | — | — |
| 121 Washington State | — | — | — | — | — | — |
| 122 Wayne State | — | — | — | — | — | — |
| 123 West Virginia | 100 | 91 | 59 | 22 | 21 | 23 |
| 124 Wisconsin | 92 | 62 | 31 | 25 | 23 | 25 |
| 125 Wyoming | 67 | 37 | — | — | — | — |
| 126 Yale | — | 100 | 90 | — | — | — |
| 127 Yeshiva | — | — | — | — | — | — |

a : メインキャンパスのみでなく、全学の学生についての成績。 b : 全学生中、高校での成
 った学生の割合。 d : 全学生中、高校での成績がクラスで2/3以上だった学生の割合。
 上の成績。 g : 文理学部学生の平均。 h : 文理学部の男子学生について、女子学
 生の学生についての平均点。 i : 他州からの学生について。 k : 男子学生について。

| 適性検査の平均点と内容 | | | | | | | | 新入生中全米 特別奨学生 | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-----|
| 言語検査 | | | | 数的検査 | | | | | |
| 平均点 | 500点以上の者% | 600点以上の者% | 700点以上の者% | 平均点 | 500点以上の者% | 600点以上の者% | 700点以上の者% | | |
| 578 | — | 41 | 9 | 621 | — | 60 | 19 | 69 | 66 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 193 | 67 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 68 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 4 | 69 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 70 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 71 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 72 |
| 587 | 87 | 47 | 9 | 591 | 85 | 50 | 13 | 9 | 73 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 74 |
| 530 | — | — | — | 555 | — | — | — | — | 75 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 76 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 77 |
| 560 | 74 | 32 | — | 592 | 89 | 45 | — | — | 78 |
| 495 | 48 | 12 | — | 577 | 86 | 43 | — | 5 | 79 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 4 | 80 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 81 |
| 439 | 33 | — | — | 457 | 31 | — | — | 2 | 82 |
| 589 | 89 | 50 | 9 | 618 | 90 | 60 | 18 | 27 | 83 |
| 570 | 80 | 35 | 5 | 626 | 96 | 62 | 13 | 7 | 84 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 3 | 85 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 18 | 86 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 29 | 87 |
| 506 | 52 | 26 | — | 517 | 57 | 21 | — | — | 88 |
| 500 | 45 | 12 | — | 500 | 59 | 26 | — | — | 89 |
| 647 | — | 79 | 26 | 662 | — | 84 | 36 | 27 | 90 |
| 548 | 72 | 26 | — | 592 | 89 | 46 | — | 21 | 91 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 92 |
| 545 | 75 | 32 | 7 | 579 | 74 | 43 | 12 | — | 93 |
| 640 | — | 73 | 25 | 681 | — | 88 | 48 | 37 | 94 |
| 506 | 51 | 16 | — | 580 | 74 | 41 | — | 17 | 95 |
| 600 | — | 50 | 9 | 695 | — | 92 | 44 | 60 | 96 |
| 666 | — | — | 37 | 702 | — | — | 59 | 2 | 97 |
| 630 | — | 71 | 16 | 659 | — | 80 | 31 | — | 98 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 12 | 99 |
| 550 | 76 | 31 | — | 556 | 87 | 41 | — | 7 | 100 |
| 512 | — | — | — | 520 | — | — | — | — | 101 |
| 540 | 65 | 30 | 4 | 551 | 70 | 35 | 10 | — | 102 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 3 | 103 |
| 482 | 36 | 8 | — | 513 | 55 | 14 | — | 2 | 104 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 9 | 105 |
| 531 | 65 | 25 | — | 557 | 70 | 35 | — | — | 106 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 107 |
| — | 98 | 74 | 25 | — | 97 | 80 | 37 | 78 | 108 |
| 573 | 83 | 36 | — | 592 | 87 | 46 | — | 3 | 109 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 110 |
| 502 | 38 | 12 | — | — | — | — | — | — | 111 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 112 |
| 535 | 64 | 21 | — | 559 | 74 | 31 | — | 5 | 113 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 4 | 114 |
| 468 | 40 | 18 | 4 | 565 | 65 | 35 | 10 | — | 115 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 7 | 116 |
| 559 | 82 | 32 | 4 | 604 | 92 | 56 | 13 | 2 | 117 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 118 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 119 |
| 613 | 55 | 10 h | — | 639 | — | 73 | 20 h | 14 g | 120 |
| 601 | — | 49 | 9 g | 638 | — | 68 | 17 g | 8 g | 121 |
| 514 | 55 | 16 | — | 588 | 87 | 47 | — | 16 | 122 |
| 597 | — | 47 | 9 | 625 | — | 65 | 22 | 7 | 123 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 11 | 124 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | 125 |
| 530 j | 58 | 23 | — | 555 | 69 | 33 | — | — | 126 |
| 501 | 49 | 11 | — | 521 | 57 | 23 | — | 35 | 127 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 16 | 128 |
| 564 | 77 | 39 | 6 | 590 | 85 | 46 | 11 | — | 129 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 130 |
| 683 | — | 88 | 43 | 697 | — | 90 | 54 | — | 131 |
| 569 k | 75 | 38 | 7 | 601 k | 85 | 52 | 13 | — | 132 |

績がクラスで2/5以上だった学生の割合。 c : 全学生中、高校での成績がクラスで1/5以上だ
 e : 全学生中、高校での成績がクラスで1/3以上だった学生の割合。 f : 全員が高校で3/4以
 上は、高校でのクラス順位が1/2以上の者は98%、1/4以上は91%、1/10以上は74%。 i : 24%

別表Ⅴ 入学率、大学所在州出身者の占める割合、転入率、大学院進学率、学位取得者数、所蔵図書数

| 大 学 名 | 入学率 % 1966年秋 | 所在州出身者の割合1966年秋 | | 3.4年生中 の転入生% | 大 学 院 進 学 率 % |
|-------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| | | 新入生 % | 学部生 % | | |
| 1 Alabama | 75 | 88 | 87 | 12 | — ^a |
| 2 American | 59 | 4 | 12 | 10 | 40 |
| 3 Arizona | 77 | 82 | 79 | 18 | 20 |
| 4 Arizona State* | — | — | 84 | 8 | 75 |
| 5 Arkansas | 90 | 82 | 85 | 20 | 30 |
| 6 Auburn* | 80 | — | 74 | 31 | 20 |
| 7 Baylor* | 75 | — | 78 | 9 | — |
| 8 Boston | 70 | 40 | 44 | 30 | — |
| 9 Brandeis | 21 | — | 25 | — | 75 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 70 | — | 91 | — | 50 |
| 11 Brown | 13 | — | 14 | — ^b | 61 |
| 12 Bryn Mawr | 43 | 17 | 12 | 4 | 65 |
| 13 Buffalo | 43 | 98 | 98 | 20 | — |
| 14 California, Berkeley | 77 | 90 | 87 | 50 | — |
| 15 Calif., Davis | 80 | 95 | 94 | 18 | — |
| 16 Calif., Los Angeles | 62 | 94 | 93 | 18 | — |
| 17 Calif., Riverside* | 76 | 97 | 96 | 90 | — |
| 18 Calif., San Diego* | 95 | — | 95 | 32 | — |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 71 | 96 | 96 | 24 | — |
| 20 Cal. Tech. | 29 | 37 | 40 | 6 | 82 |
| 21 Carnegie-Mellon | 61 | 45 | 47 | 1 | 40 |
| 22 Case Western Reserve | 78 | 40 | 50 | 10 | 45 |
| 23 Catholic | 65 | — | — | 6 | 60 |
| 24 Chicago | 54 | 29 | 31 | 11 | 85 |
| 25 Cincinnati | 73 | — | 84 | 2 | 44 |
| 26 Claremont | — | — | — | — | — |
| 27 Clark | 45 | — | 48 | — | 60 |
| 28 Colorado | 35 | 68 | 65 | 2 | — |
| 29 Colorado State C.* | 70 | 80 | 75 | 22 | 30 |
| 30 Colorado State U.* | 61 | 80 | 78 | 13 | 15 |
| 31 Columbia | 40 | 37 | — | 4 | 85 |
| 32 Connecticut | 57 | — | 85 | 8 | 31 ^c |
| 33 Cornell | 37 | 55 | 52 | — | 80 |
| 34 Delaware | — | 75 | 71 | 4 | 20 |
| 35 Denver | 68 | 16 | 30 | 12 | — |
| 36 Duke | 43 | 18 | 20 | 4 | 79 |
| 37 Emory | 51 | 35 | 47 | — | 48 |
| 38 Florida | 70 | — | 91 | — | 33 |
| 39 Florida State | 69 | — | — | — ^d | — |
| 40 Fordham | 61 | — | 75 | 5 | 60 |
| 41 George Peabody | 75 | — | 60 | 25 | 75 |
| 42 George Washington | 70 | 23 | 39 | 17 | — |
| 43 Georgetown | 39 | — | — | 10 | — |
| 44 Georgia | 75 | — | 84 | 17 | 30 |
| 45 Georgia Tech. | 56 | 53 | 47 | 1 | 22 |
| 46 Harvard | 22 | — | 23 | — ^c | 75 |
| 47 Hawaii* | 58 | 88 | 80 | — | — |
| 48 Houston | 82 | — | 92 | 11 | 25 |
| 49 Illinois | 49 ^e | — | 94 ^e | 9 ^e | 35 ^f |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 65 | — | 70 | 25 | — |
| 51 Indiana | 72 | 90 | 88 ^e | 6 ^e | — |
| 52 Iowa | 88 | 81 | 72 | — | — |
| 53 Iowa State | 60 | 82 | — | 20 | — |
| 54 Johns Hopkins | 37 | 33 | 36 | 8 | — ^g |
| 55 Kansas | — | 69 | — | — | 60 |
| 56 Kansas State | 80 | — | 85 | 6 | 35 |
| 57 Kent State* | 85 | — | 85 | 3 | — |
| 58 Kentucky | — ^h | 80 | 75 | 22 | — |
| 59 Lehigh | 50 | 37 | 41 | 4 | 30 |
| 60 Louisiana State | 86 | — | 87 | 6 | 28 |
| 61 Loyola (Ill.) | 71 | — | 87 | 11 | — |
| 62 M. I. T. | 39 | 9 | 12 | 1 | 80 |
| 63 Maryland | 78 | — | 85 | 2 | — |
| 64 Massachusetts | 46 | — | 95 | — ^c | — |
| 65 Miami* | 66 | 26 | 40 | 48 | 30 |

a : 25~30%。 b : i%より少ない。 c : 男子学生について、女子学生は15%。
 み。35%の学生が1月に、46%の学生が6月に進学すると予想される。 g : 75-80%。

(1966 — 67 年)

| 学位取得者数 1966~1967年 | | | | 図 書 | | | | |
|-------------------|---------|---------|-------|---------|----------|----------|----------|----|
| 学 士 | 第一専門職業士 | 修 士 | 博 士 | 図 書 | 定期購入物 | マイクロフィルム | 録 音 物 | |
| 1,734 | 214 | 780 | 78 | 1,085 | 6,936 | 25,595 | 10,743 | 1 |
| 1,016 | 169 | 484 | 65 | 245 | 2,400 | 3,792 | 3,000 | 2 |
| 2,281 | 102 | 908 | 157 | 1,186 | 11,467 | 10,273 | 10,049 | 3 |
| 2,276 | — | 996 | 79 | 760 | 5,713 | 151,757 | 2,000 | 4 |
| 1,254 | 153 | 533 | 80 | 580 | 5,470 | 6,370 | 4,790 | 5 |
| 1,893 | 68 | 377 | 49 | 475 | 4,200 | 5,409 | — | 6 |
| 1,018 | 247 | 168 | 28 | 387 | 2,378 | 6,217 | 7,695 | 7 |
| 2,621 | 268 | 1,241 | 134 | 700 | 3,200 | 100,000 | 7,000 | 8 |
| 356 | — | 104 | 75 | 430 | 2,290 | 10,500 | 4,000 | 9 |
| 382 | — | 376 | 84 | 140 | 2,100 | 801 | 800 | 10 |
| 903 | — | 281 | 91 | 1,500 | 10,000 | 8,500 | 2,500 | 11 |
| 154 | — | 82 | 24 | 360 | 1,100 | 3,500 | 3,650 | 12 |
| 1,807 | 212 | 642 | 114 | 879 | 12,119 | — | — | 13 |
| 4,507 | 247 | 2,192 | 722 | 3,328 | 48,156 | 96,276 | 24,942 | 14 |
| 1,093 | 48 | 300 | 112 | 560 | 10,000 | 7,377 | 5,414 | 15 |
| 3,817 | 328 | 1,807 | 396 | 2,469 | 42,434 | 20,792 | 26,476 | 16 |
| 572 | — | 130 | 48 | 398 | 6,000 | 7,500 | 3,900 | 17 |
| 7 | — | 51 | 40 | 421 | 13,000 | 2,116 | 1,423 | 18 |
| 1,455 | — | 166 | 31 | 451 | 3,100 | 9,690 | 6,138 | 19 |
| 141 | — | 112 | 110 | 181 | 3,744 | 230 | 650 | 20 |
| 650 | — | 348 | 104 | 247 | 2,180 | 1,446 | 2,057 | 21 |
| 885 | 261 | 1,007 | 178 | 1,320 | 8,980 | 31,416 | 6,761 | 22 |
| 488 | 213 | 825 | 133 | 730 | 4,660 | 15,639 | 3,739 | 23 |
| 474 | 236 | 1,405 | 293 | 3,751 | 22,500 | 34,625 | 18,672 | 24 |
| 1,812 | 162 | 546 | 74 | 930 | 4,000 | 5,008 | 1,700 | 25 |
| — | — | 169 | 67 | 425 | 3,824 | 8,408 | 1,963 | 26 |
| 261 | — | 61 | 24 | 265 | 1,685 | 1,300 | 900 | 27 |
| 2,250 | 158 | 746 | 152 | 1,010 | 10,600 | 309,250 | 20,119 | 28 |
| 998 | — | 603 | 96 | 267 | 1,648 | — | 540 | 29 |
| 1,396 | 68 | 464 | 61 | 408 | 4,701 | 3,859 | 3,191 | 30 |
| 1,312 | 417 | 2,135 | 557 | 3,782 | 16,811 | 44,127 | 15,489 | 31 |
| 1,732 | 101 | 718 | 119 | 619 | 5,000 | 6,000 | — | 32 |
| 2,077 | 250 | 899 | 367 | 3,000 | 26,000 | 33,000 | 1,400 | 33 |
| 922 | — | 322 | 48 | 588 | 3,637 | 12,893 | 216,428 | 34 |
| 1,066 | 117 | 635 | 56 | 518 | 2,800 | 6,195 | — | 35 |
| 842 | 275 | 273 | 158 | 1,866 | 9,346 | 19,203 | 453 | 36 |
| 494 | 333 | 310 | 38 | 898 | 5,167 | 8,075 | 1,814 | 37 |
| 2,730 | 253 | 876 | 199 | 1,148 | 12,567 | 312,930 | 3,000 | 38 |
| 2,576 | — | 799 | 182 | 827 | 7,599 | 24,000 | 5,000 | 39 |
| 1,064 | 213 | 604 | 79 | 721 | 3,449 | 4,745 | — | 40 |
| 262 | — | 363 | 38 | 234 | 1,057 | 461 | 5,691 | 41 |
| 1,100 | 473 | 1,706 | 68 | 434 | 2,924 | 2,698 | 1,400 | 42 |
| 822 | 484 | 274 | 49 | 534 | 3,364 | 4,467 | 1,700 | 43 |
| 2,357 | 108 | 526 | 132 | 884 | 6,789 | 20,087 | 5,901 | 44 |
| 1,059 | — | 312 | 56 | 463 | 3,588 | 3,614 | 7,637 | 45 |
| 1,525 | 757 | 1,823 | 524 | 7,600 | 50,000 | 29,663 | — | 46 |
| 1,516 | — | 555 | 28 | 851 | 17,071 | 38,725 | 238 | 47 |
| 1,966 | 140 | 411 | 60 | 383 | 3,559 | 5,245 | 1,300 | 48 |
| 4,871 e | 455 e | 2,260 e | 589 e | 3,751 e | 22,500 e | 34,625 e | 18,672 e | 49 |
| 577 | — | 292 | 71 | 1,097 | 13,650 | 2,432 | — | 50 |
| 3,260 | 475 | 2,729 | 382 | 993 | 12,000 | 18,000 | 26,000 | 51 |
| 1,922 | 303 | 1,181 | 282 | 1,285 | 9,329 | 31,922 | 9,425 | 52 |
| 1,867 | 66 | 404 | 254 | 609 | 10,854 | 5,400 | — | 53 |
| 602 | 89 | 508 | 148 | 1,618 | 12,159 | 11,507 | 4,000 | 54 |
| 1,940 | 192 | 695 | 160 | 1,264 | 15,614 | 14,733 | 7,788 | 55 |
| 1,454 | 69 | 422 | 78 | 485 | 6,000 | 13,323 | 1,682 | 56 |
| 2,412 | — | 816 | 35 | 447 | 4,881 | 19,478 | 3,949 | 57 |
| 1,490 | 217 | 459 | 91 | 1,131 | 4,314 | 5,000 | — | 58 |
| 666 | — | 395 | 57 | 462 | 2,798 | 3,472 | — | 59 |
| 1,789 | 82 | 737 | 148 | 1,030 | 15,111 | 28,030 | 4,000 | 60 |
| 1,179 | 242 | 440 | 58 | 470 | 3,951 | 3,181 | 2,507 | 61 |
| 872 | — | 923 | 386 | 988 | 5,234 | 5,425 | 4,814 | 62 |
| 3,683 | 332 | 817 | 206 | 845 | 9,650 | 11,291 | 4,300 | 63 |
| 1,677 | — | 539 | 73 | 630 | 6,000 | 11,000 | 1,500 | 64 |
| 1,680 | 168 | 308 | 45 | 814 | 5,922 | 1,167 | — | 65 |

d : 大部分が転入生。 e : 全キャンパスのデータである。 f : 文理学部の学生の
 h : 自州出身者は 100% , 他州出身者は 30%。

別表Ⅴ 入学率、大学所在州出身者の占める割合、転入率、大学院進学率、学位取得者数、所蔵図書数

| 大 学 名 | 入学率 % 1966年秋 | 所在州出身者の割合1966年秋 | | 3,4年生中 の転入生% | 大 学 院 進 学 率 % |
|--------------------------------------|-----------------|-----------------|-------|-----------------|------------------|
| | | 新入生 % | 学部生 % | | |
| 66 Michigan | 58 | 74 | 80 | 14 | — |
| 67 Michigan State | 71 | — | 85 | — | — |
| 68 Minnesota | — | 98a | 95a | 8a | — |
| 69 Mississippi* | 96 | 60 | 71 | 25 | 28 |
| 70 Mississippi State* | 95 | — | 89 | 50 | — |
| 71 Missouri | 80 | 83 | 84 | 13 | 30 |
| 72 Montana State* | 95 | 88 | 85 | 9 | — |
| 73 New York | 65 | — | 74 | 50 | — |
| 74 Nebraska | — | — | 92 | 6 | 25 |
| 75 New Hampshire* | 51 | 75 | 72 | 4 | — |
| 76 New Mexico | 79 | — | 85 | 5 | — |
| 77 New School | — | — | 85 | — | — |
| 78 North Carolina | 59 | — | 76 | 21 | — |
| 79 No. Carolina State | 72 | — | 85 | 2 | — |
| 80 North Dakota | 75 | 80 | 75 | 10 | 37 |
| 81 North Texas State* | 90 | — | 93 | 10 | —b |
| 82 Northwestern | 60 | 36 | — | 10 | 48 |
| 83 Notre Dame | 53 | 10 | 14 | 4 | 55 |
| 84 Ohio State | 91 | 94 | 92 | 2 | — |
| 85 Oklahoma | 95 | — | 75 | 5 | — |
| 86 Oklahoma State | 90 | 91 | 85 | 22 | — |
| 87 Oregon | — | — | — | — | — |
| 88 Oregon State | 75 | — | 83 | 8 | — |
| 89 Pennsylvania | 37 | — | 31 | 2 | 70 |
| 90 Penn. State | 55 | 91 | 90 | 5c | 37d |
| 91 Pittsburgh | 63 | 74 | 87 | 2 | — |
| 92 Princeton | 22 | 14 | 13 | 1 | 75 |
| 93 Purdue | — | 75 | — | — | — |
| 94 Rensselaer | 78 | — | 55 | 1 | 51 |
| 95 Rice | 40 | 67 | 71 | 7 | 51 |
| 96 Rochester | 71 | — | 65 | 12 | 65 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 55 | — | 90 | 1 | 50 |
| 99 St. John's | 52 | — | 95 | 3 | 48 |
| 100 St. Louis | 90 | 45 | 55 | 7 | 68 |
| 101 South Carolina* | 57 | 80 | 80 | — | — |
| 102 South Dakota* | — | — | 73 | — | 40 |
| 103 Southern California | 70 | — | — | 13 | — |
| 104 Southern Illinois* | 65 | 94 | 89 | 7 | 14 |
| 105 Stanford | 25 | 52 | 54 | — | 80 |
| 106 Syracuse | 63 | 59 | 62 | 17 | — |
| 107 Teachers College* | 57 | — | 6 | — | — |
| 108 Temple | 51 | — | 85 | — | — |
| 109 Tennessee | 85 | 76a | 83a | 10a | 81 |
| 110 Texas | 90 | — | 90 | 17 | — |
| 111 Texas A&M | 83 | 91 | 82 | 50 | 14 |
| 112 Tufts | 23 | 44 | — | 3 | —e |
| 113 Tulane | 66 | 25 | 30 | 7 | 60 |
| 114 Utah | 71 | — | 86 | 6 | — |
| 115 Utah State* | 87 | — | 66 | 46 | — |
| 116 Vanderbilt | 55 | 28 | 31 | 5 | 65d |
| 117 Virginia | 51 | — | 58 | 5 | 35 |
| 118 Virginia Polytech. | 66 | — | 81 | 20 | 20 |
| 119 Washington (St. Louis) | — | 30 | 40 | 15 | 55 |
| 120 Washington (Seattle) | 85 | 90 | 92 | 7 | — |
| 121 Washington State | 65 | — | 92 | 30 | 35 |
| 122 Wayne State | 61 | — | 97 | 4 | — |
| 123 West Virginia | 83 | — | 71 | 5 | — |
| 124 Wisconsin | — | 62 | 70 | — | — |
| 125 Wyoming | 86 | — | 76 | — | — |
| 126 Yale | 17 | — | 9 | 2 | 80 |
| 127 Yeshiva | 77 | — | 81 | 1 | 93d |

a : 全キャンパスのデータである。

b : 33~35%。

c : 新入生の5%。

e : 60~70%。

(1966 - 67 年) 続 ぎ

| 学 位 取 得 者 数 1966-1967年 | | | | 図 書 | | | | |
|------------------------|---------|-------|-----|-------|--------|----------|---------|-----|
| 学 士 | 第一専門職業士 | 修 士 | 博 士 | 図 書 | 定期購入物 | マイクロフィルム | 録 音 物 | |
| 3,958 | 627 | 3,098 | 475 | 3,715 | 27,570 | 380,411 | 11,879 | 66 |
| 5,034 | 57 | 2,081 | 423 | 1,287 | 12,595 | 11,859 | 20,000 | 67 |
| 4,874 | 479 | 1,377 | 501 | 2,480 | 12,468 | 39,626 | 10,487 | 68 |
| 1,877 | 170 | 469 | 36 | 376 | 3,731 | 6,814 | - | 69 |
| 1,180 | - | 363 | 26 | 286 | 3,129 | 4,466 | 2,430 | 70 |
| 2,352 | 166 | 1,097 | 189 | 1,250 | 12,000 | 40,000 | 2,000 | 71 |
| 906 | - | 128 | 32 | 437 | 4,481 | 1,460 | 400 | 72 |
| 2,290 | 613 | 3,339 | 438 | 1,447 | 10,000 | 404,226 | 2,118 | 73 |
| 1,887 | 162 | 591 | 171 | 900 | 8,100 | 14,435 | 1,700 | 74 |
| 783 | - | 225 | 25 | 432 | 3,345 | 5,410 | 3,659 | 75 |
| 1,055 | 36 | 437 | 65 | 521 | 15,500 | 11,782 | 13,060 | 76 |
| 62 | - | 151 | 23 | 50 | 400 | 1,200 | - | 77 |
| 2,007 | 250 | 826 | 155 | 1,456 | 4,970 | 24,313 | 10,310 | 78 |
| 1,240 | - | 357 | 123 | 403 | 5,596 | 3,612 | - | 79 |
| 910 | - | 274 | 22 | 300 | 2,800 | 7,200 | 810 | 80 |
| 1,790 | - | 649 | 34 | 597 | 36,000 | - | 12,500 | 81 |
| 1,490 | 316 | 1,083 | 245 | 1,772 | 21,530 | 11,255 | 11,287 | 82 |
| 1,336 | 62 | 572 | 90 | 781 | 9,116 | 6,530 | 1,033 | 83 |
| 4,544 | 459 | 1,472 | 425 | 1,963 | 10,673 | 25,410 | 13,444 | 84 |
| 2,075 | 189 | 715 | 177 | 1,080 | 7,000 | - | 7,575 | 85 |
| 1,904 | 43 | 531 | 182 | 842 | 6,215 | 4,880 | - | 86 |
| 1,697 | 187 | 769 | 145 | 980 | 6,555 | 6,148 | 13,030 | 87 |
| 1,791 | - | 580 | 95 | 533 | 5,230 | 6,621 | 2,142 | 88 |
| 1,671 | 485 | 1,476 | 263 | 1,959 | 10,000 | 21,312 | 14,598 | 89 |
| 4,091 | - | 947 | 258 | 1,030 | 8,650 | 33,650 | - | 90 |
| 1,410 | 226 | 1,210 | 160 | 1,071 | 11,000 | 15,922 | 2,800 | 91 |
| 743 | - | 328 | 216 | 2,000 | 20,279 | 30,190 | 1,230 | 92 |
| 2,725 | 49 | 1,336 | 356 | 834 | 10,500 | 6,000 | 2,500 | 93 |
| 726 | - | 458 | 95 | 160 | 3,060 | 389 | 4 | 94 |
| 445 | - | 85 | 91 | 554 | 3,797 | 13,316 | 2,866 | 95 |
| 900 | 66 | 449 | 144 | 1,063 | 11,650 | - | - | 96 |
| 2,873 | 174 | 1,070 | 191 | 1,368 | 8,000 | 10,000 | 25,000 | 97 |
| 1,662 | 239 | 392 | 41 | 370 | 2,881 | 4,000 | 750 | 98 |
| 1,244 | 262 | 643 | 102 | 720 | 5,525 | 30,000 | 1,500 | 99 |
| 1,158 | 94 | 234 | 33 | 665 | 3,200 | 18,000 | 4,500 | 101 |
| 557 | 30 | 240 | 25 | 231 | 2,108 | 4,340 | - | 102 |
| 1,671 | 384 | 1,088 | 267 | 1,192 | 7,864 | 8,642 | 10,902 | 103 |
| 2,768 | - | 756 | 62 | 1,154 | 7,038 | - | 11,816 | 104 |
| 1,511 | 188 | 1,487 | 498 | 2,764 | 30,643 | 25,880 | 13,218 | 105 |
| 2,380 | 86 | 1,245 | 177 | 1,272 | 5,684 | 15,259 | 211,847 | 106 |
| 121 | - | 1,414 | 220 | 327 | 1,381 | 3,965 | 4,400 | 107 |
| 1,668 | 325 | 617 | 32 | 777 | 4,955 | 13,255 | 5,000 | 108 |
| 2,152 | 384 | 685 | 103 | 981 | 9,410 | 52,000 | 9,410 | 109 |
| 3,910 | 454 | 761 | 346 | 1,969 | 15,600 | 21,600 | - | 110 |
| 1,402 | 69 | 542 | 138 | 515 | 4,680 | 111,220 | 150 | 111 |
| 754 | 210 | 259 | 30 | 380 | 3,347 | 3,408 | 210 | 112 |
| 987 | 232 | 415 | 128 | 985 | 7,577 | 6,585 | 3,419 | 113 |
| 1,861 | 125 | 532 | 132 | 975 | 10,406 | 12,733 | 4,000 | 114 |
| 1,340 | - | 391 | 56 | 541 | 4,062 | 5,284 | - | 115 |
| 663 | 193 | 217 | 73 | 1,047 | 5,975 | 88,501 | 8,120 | 116 |
| 903 | 292 | 699 | 119 | 1,367 | 6,654 | 13,904 | 100 | 117 |
| 1,148 | - | 248 | 77 | 436 | 3,746 | 4,100 | 1,352 | 118 |
| 1,023 | 185 | 610 | 98 | 1,009 | 12,000 | 13,000 | 10,558 | 119 |
| 3,379 | 259 | 1,329 | 266 | 1,553 | 25,467 | 30,823 | - | 120 |
| 1,670 | 39 | 281 | 93 | 950 | 9,500 | 28,166 | 2,396 | 121 |
| 2,562 | 266 | 1,450 | 143 | 1,066 | 8,133 | 14,300 | 3,100 | 122 |
| 1,281 | 154 | 845 | 49 | 700 | 5,000 | 8,500 | 3,000 | 123 |
| 3,757 | 268 | 2,078 | 627 | 1,883 | 14,153 | 13,500 | - | 124 |
| 964 | 34 | 279 | 45 | 411 | 2,897 | 6,167 | 1,293 | 125 |
| 996 | 355 | 781 | 277 | 5,200 | 15,000 | - | - | 126 |
| 263 | 91 | 174 | 57 | 423 | 2,888 | 2,398 | - | 127 |

d : 男子学生について。ペンシルバニア州立大学の女子学生は21%、ヤンエバ大学の女子学生は51%。

別表Ⅵ 年度別博士号取得者数(創立—1967年)

| 大 学 名 | 1967 | 1966 | 1965 | 1964 | 1963 |
|---------------------------|------------------|------------------|------|------|------|
| 1 Alabama | 78 | 68 | 47 | 51 | 46 |
| 2 American | 65 | 51 | 56 | 49 | 37 |
| 3 Arizona | 157 | 155 | 99 | 63 | 44 |
| 4 Arizona State* | 79 | 59 | 43 | 32 | 22 |
| 5 Arkansas | 80 | 65 | 62 | 51 | 46 |
| 6 Auburn* | 49 | — | — | — | — |
| 7 Baylor* | 28 | 24 | 14 | 14 | 13 |
| 8 Boston | 134 | 111 | 118 | 106 | 116 |
| 9 Brandeis | 75 | 49 | 45 | 33 | 35 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 84 | 72 | 51 | 63 | 51 |
| 11 Brown | 91 | 96 | 77 | 82 | 64 |
| 12 Bryn Mawr | 24 | — | — | — | — |
| 13 Buffalo | 114 | 100 | 72 | 51 | 37 |
| 14 California, Berkeley | 722 | 645 | 585 | 492 | 418 |
| 15 Calif., Davis | 112 | 109 | 87 | 62 | 62 |
| 16 Calif., Los Angeles | 396 | 311 | 306 | 269 | 224 |
| 17 Calif., Riverside* | 48 | 40 | 21 | 14 | 2 |
| 18 Calif., San Diego* | 40 | 28 | 21 | 14 | 5 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 31 | 14 | 6 | 3 | — |
| 20 Cal. Tech. | 110 | 104 | 98 | 101 | 90 |
| 21 Carnegie Mellon | 104 | 92 | 73 | 88 | 75 |
| 22 Case Western Reserve | 178 | 145 | 180 | 148 | 146 |
| 23 Catholic | 133 | 130 | 129 | 107 | 118 |
| 24 Chicago | 293 | 306 | 290 | 273 | 280 |
| 25 Cincinnati | 74 | 62 | 55 | 70 | 45 |
| 26 Claremont | 67 | 57 | 41 | 39 | 23 |
| 27 Clark | 24 | 15 | 24 | 29 | 14 |
| 28 Colorado | 152 | 189 | 148 | 123 | 108 |
| 29 Colorado State C. * | 96 | 101 | 78 | 81 | 71 |
| 30 Colorado State U. * | 61 | 41 | 39 | 15 | 20 |
| 31 Columbia | 557 | 631 ^d | 616 | 602 | 517 |
| 32 Connecticut | 119 | 105 | 85 | 62 | 63 |
| 33 Cornell | 367 | 319 | 312 | 259 | 212 |
| 34 Delaware | 48 | 46 | 52 | 45 | 23 |
| 35 Denver | 56 | 50 | 58 | 43 | 34 |
| 36 Duke | 158 | 159 | 141 | 115 | 106 |
| 37 Emory | 38 | 38 | 26 | 23 | 24 |
| 38 Florida | 199 | 185 | 159 | 129 | 99 |
| 39 Florida State | 182 | 131 | 126 | 81 | 84 |
| 40 Fordham | 79 | 65 | 61 | 62 | 80 |
| 41 George Peabody | 38 | 80 | 38 | 39 | 33 |
| 42 George Washington | 68 | 56 | 48 | 33 | 29 |
| 43 Georgetown | 49 | 47 | 57 | 45 | 33 |
| 44 Georgia | 132 | 92 | 55 | 51 | 41 |
| 45 Georgia Tech. | 56 | 45 | 40 | 27 | 31 |
| 46 Harvard | 524 | 491 | 471 | 483 | 446 |
| 47 Hawaii* | 28 | 29 | 20 | 14 | 15 |
| 48 Houston | 60 | 42 | 37 | 40 | 34 |
| 49 Illinois | 589 ^e | 545 | 493 | 495 | 450 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 71 | 56 | 46 | 32 | 41 |
| 51 Indiana | 382 | 383 | 342 | 322 | 266 |
| 52 Iowa | 282 | 225 | 224 | 223 | 205 |
| 53 Iowa State | 254 | 208 | 216 | 201 | 174 |
| 54 Johns Hopkins | 148 | 141 | 136 | 119 | 103 |
| 55 Kansas | 160 | 139 | 128 | 107 | 92 |
| 56 Kansas State | 78 | 85 | 51 | 57 | 27 |
| 57 Kent State* | 35 | 15 | 6 | 2 | — |
| 58 Kentucky | 91 | 60 | 44 | 44 | 28 |
| 59 Lehigh | 57 | 58 | 45 | 25 | 24 |
| 60 Louisiana State | 148 | 117 | 95 | 99 | 104 |
| 61 Loyola (Ill.) | 58 | 32 | 46 | 46 | 23 |
| 62 M. I. T. | 386 | 360 | 335 | 306 | 274 |
| 63 Maryland | 206 | 166 | 177 | 116 | 110 |
| 64 Massachusetts | 73 | 70 | 36 | 30 | 26 |
| 65 Miami* | 45 | 21 | 27 | 20 | 15 |

a: 取得博士数が不詳。
e: 全学の入数である。

b: 1960年まで個々のキャンパス別の博士号の記録がない。全学のデータ

| 1958-62 5年 間の年平均 | 1948-57 10年 間の年平均 | 1926-47 22年 間の年平均 | 1861-1925 65年 間の年平均 | 1967年まで の年平均 | 最初に博士 を出した年 | |
|---------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------|----------------|----|
| 20 | 11 | - | - | 28 | 1952 | 1 |
| 28 | 14 | 6 | 6 | 14 | 1916 | 2 |
| 23 | 4 | 1 | 1 | 15 | 1922 | 3 |
| 4 | 1 | - | - | 19 | 1954 | 4 |
| 21 | 12 | - | - | 31 | 1953 | 5 |
| - | - | - | - | - | 1955 | 6 |
| 10 | 4 | - | - | 11 | 1954 | 7 |
| 108 | 64 | 11 | 5 | 25 | 1877 | 8 |
| 13 | a | - | - | 28 | 1957 | 9 |
| 41 | 36 | 9 | - | 30 | 1935 | 10 |
| 49 | 37 | 14 | 4 | 19 | 1889 | 11 |
| 34 | 23 | 1 | - | 19 | 1888 | 12 |
| 541 b | 386 b | 99 b | 10 b | 173 b | 1926 | 13 |
| - | - | - | - | - | 1885 | 14 |
| - | - | - | - | - | - | 15 |
| - | - | - | - | - | - | 16 |
| - | - | - | - | - | - | 17 |
| - | - | - | - | - | - | 18 |
| - | - | - | - | - | - | 19 |
| 64 | 68 | 24 | 4 | 43 | 1920 | 20 |
| 55 | 37 | 3 | c | 24 | 1920 | 21 |
| 82 | 52 | 12 | c | 27 | 1939 | 22 |
| 88 | 80 | 44 | 7 | 42 | 1895 | 23 |
| 224 | 255 | 153 | 56 | 138 | 1893 | 24 |
| 26 | 25 | 16 | 1 | 13 | 1886 | 25 |
| 5 | 4 | c | - | 10 | 1937 | 26 |
| 20 | 17 | 10 | 9 | 11 | 1891 | 27 |
| 67 | 51 | 9 | 1 | 24 | 1895 | 28 |
| 41 | 15 | 1 | - | 24 | 1934 | 29 |
| 9 | 1 | - | - | 17 | 1955 | 30 |
| 561 | 499 | 171 | 39 | 177 | 1875 | 31 |
| 44 | 17 | - | - | 43 | 1949 | 32 |
| 224 | 235 | 112 | 19 | 88 | 1872 | 33 |
| 20 | 17 | - | - | 24 | 1948 | 34 |
| 44 | 30 | c | 2 | 12 | 1902 | 35 |
| 76 | 59 | 21 | - | 52 | 1928 | 36 |
| 19 | 9 | - | - | 17 | 1948 | 37 |
| 90 | 43 | 6 | - | 50 | 1934 | 38 |
| 58 | 24 | - | - | 65 | 1952 | 39 |
| 65 | 47 | 24 | 9 | 35 | 1918 | 40 |
| 34 | 23 | - | 3 | 13 | 1919 | 41 |
| 24 | 22 | 6 | 4 | 11 | 1888 | 42 |
| 34 | 29 | 5 | 1 | 9 | 1875 | 43 |
| 12 | 4 | c | - | 17 | 1940 | 44 |
| 12 | 6 | - | - | 17 | 1950 | 45 |
| 340 | 308 | 117 | 29 | 119 | 1873 | 46 |
| 3 | 1 | a | a | 3 | 1926 | 47 |
| 18 | 12 | a | - | 20 | 1947 | 48 |
| 387 | 260 | 85 | 20 | 145 | 1903 | 49 |
| 30 | 20 | 2 | - | 21 | 1939 | 50 |
| 212 | 141 | 17 | 2 | 54 | 1883 | 51 |
| 155 | 143 | 72 | 7 | 77 | 1900 | 52 |
| 135 | 107 | 40 | 4 | 71 | 1916 | 53 |
| 94 | 81 | 65 | 29 | 53 | 1878 | 54 |
| 72 | 42 | 10 | 1 | 23 | 1896 | 55 |
| 24 | 14 | 2 | - | 17 | 1933 | 56 |
| - | - | - | - | 15 | 1964 | 57 |
| 33 | 23 | 4 | - | 19 | 1930 | 58 |
| 22 | 15 | c | c | 6 | 1893 | 59 |
| 68 | 35 | 28 | - | 56 | 1943 | 60 |
| 24 | 9 | 1 | - | 11 | 1928 | 61 |
| 196 | 159 | 39 | 6 | 87 | 1907 | 62 |
| 97 | 58 | 14 | 1 | 45 | 1920 | 63 |
| 13 | 11 | 3 | 1 | 8 | 1902 | 64 |
| 10 | - | - | - | 23 | 1962 | 65 |

を示す。

c : 平均が1人以下。

d : 1966年以前はティチャーズ・カレッジの人数も含む。

別表Ⅶ 年度別博士号取得者数(創立—1967年) 続き

| 大 学 名 | 1967 | 1966 | 1965 | 1964 | 1963 |
|--------------------------------------|------|------|------|------|------|
| 66 Michigan | 475 | 439 | 364 | 403 | 379 |
| 67 Michigan State | 423 | 355 | 368 | 303 | 223 |
| 68 Minnesota | 501 | 396 | 366 | 316 | 314 |
| 69 Mississippi* | 36 | 21 | 31 | 34 | 14 |
| 70 Mississippi State* | 26 | 23 | 15 | 12 | 7 |
| 71 Missouri | 189 | 190 | 184 | 122 | 100 |
| 72 Montana State* | 32 | 27 | 20 | 17 | 10 |
| 73 New York | 438 | 385 | 345 | 362 | 349 |
| 74 Nebraska | 171 | 135 | 99 | 101 | 91 |
| 75 New Hampshire* | 25 | 24 | 12 | 16 | 13 |
| 76 New Mexico | 65 | 48 | 48 | 21 | 27 |
| 77 New School | 23 | 20 | 15 | 17 | 15 |
| 78 North Carolina | 155 | 164 | 162 | 136 | 117 |
| 79 No. Carolina State | 123 | 95 | 95 | 54 | 54 |
| 80 North Dakota | 22 | 29 | 29 | 19 | 12 |
| 81 North Texas State* | 34 | 32 | 26 | 23 | 20 |
| 82 Northwestern | 245 | 241 | 236 | 198 | 196 |
| 83 Notre Dame | 90 | 73 | 92 | 63 | 62 |
| 84 Ohio State | 425 | 362 | 397 | 341 | 329 |
| 85 Oklahoma | 177 | 155 | 122 | 107 | 91 |
| 86 Oklahoma State | 182 | 144 | 120 | 94 | 63 |
| 87 Oregon | 145 | 152 | 124 | 93 | 70 |
| 88 Oregon State | 95 | 119 | 99 | 82 | 66 |
| 89 Pennsylvania | 263 | 251 | 246 | 212 | 164 |
| 90 Penn. State | 258 | 258 | 232 | 201 | 202 |
| 91 Pittsburgh | 160 | 169 | 158 | 135 | 137 |
| 92 Princeton | 216 | 222 | 171 | 192 | 172 |
| 93 Purdue | 356 | 345 | 322 | 302 | 290 |
| 94 Rensselaer | 95 | 76 | 70 | 53 | 44 |
| 95 Rice | 91 | 64 | 61 | 48 | 33 |
| 96 Rochester | 144 | 119 | 104 | 86 | 93 |
| 97 Rockefeller Inst. | - | 18 | 11 | 12 | 16 |
| 98 Rutgers | 191 | 160 | 172 | 147 | 111 |
| 99 St. John's | 41 | 30 | 35 | 19 | 23 |
| 100 St. Louis | 102 | 61 | 49 | 51 | 57 |
| 101 South Carolina* | 33 | 24 | 19 | 8 | 4 |
| 102 South Dakota* | 25 | 11 | 3 | 8 | 5 |
| 103 Southern California | 267 | 241 | 205 | 175 | 169 |
| 104 Southern Illinois* | 62 | 47 | 31 | 32 | 17 |
| 105 Stanford | 498 | 403 | 382 | 301 | 276 |
| 106 Syracuse | 177 | 131 | 132 | 102 | 90 |
| 107 Teachers College* | 220 | - | - | - | - |
| 108 Temple | 32 | 57 | 54 | 47 | 37 |
| 109 Tennessee | 103 | 98 | 91 | 77 | 77 |
| 110 Texas | 346 | 336 | 249 | 243 | 219 |
| 111 Texas A&M | 138 | 130 | 86 | 73 | 45 |
| 112 Tufts | 30 | 20 | 17 | 19 | 19 |
| 113 Tulane | 128 | 96 | 79 | 66 | 54 |
| 114 Utah | 132 | 114 | 92 | 81 | 81 |
| 115 Utah State* | 56 | 36 | 20 | 26 | 30 |
| 116 Vanderbilt | 73 | 84 | 72 | 67 | 50 |
| 117 Virginia | 119 | 90 | 64 | 73 | 58 |
| 118 Virginia Polytech. | 77 | 65 | 52 | 25 | 22 |
| 119 Washington (St. Louis) | 98 | 76 | 65 | 84 | 70 |
| 120 Washington (Seattle) | 266 | 252 | 226 | 182 | 161 |
| 121 Washington State | 93 | 102 | 66 | 56 | 48 |
| 122 Wayne State | 143 | 124 | 111 | 90 | 89 |
| 123 West Virginia | 49 | 43 | 34 | 17 | 11 |
| 124 Wisconsin | 627 | 545 | 531 | 458 | 428 |
| 125 Wyoming | 45 | 50 | 38 | 28 | 26 |
| 126 Yale | 277 | 285 | 295 | 253 | 231 |
| 127 Yeshiva | 57 | 39 | 39 | 28 | 12 |

a : 平均が1人以下。

b : 取得博士数が不詳。

c : 1966年以前はコロンビア大学に含まれる。

| 1958-62 5年 間の年平均 | 1948-57 10年 間の年平均 | 1926-47 22年 間の年平均 | 1861-1925 65年 間の年平均 | 1967年まで の年平均 | 最初に博士 を出した年 | |
|---------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------|----------------|-----|
| 317 | 228 | 88 | 8 | 91 | 1876 | 66 |
| 170 | 89 | 7 | - | 85 | 1925 | 67 |
| 240 | 194 | 76 | 7 | 87 | 1888 | 68 |
| 6 | 2 | - | a | 3 | 1893 | 69 |
| 1 | a | - | - | 6 | 1953 | 70 |
| 85 | 65 | 17 | 2 | 34 | 1899 | 71 |
| 7 | a | - | - | 12 | 1956 | 72 |
| 292 | 229 | 85 | 10 | 79 | 1866 | 73 |
| 65 | 42 | 14 | 3 | 24 | 1896 | 74 |
| 8 | a | - | a | 2 | 1896 | 75 |
| 18 | 8 | a | - | 18 | 1947 | 76 |
| 9 | 6 | a | - | 6 | 1936 | 77 |
| 91 | 77 | 23 | 1 | 29 | 1883 | 78 |
| 38 | 15 | - | - | 39 | 1948 | 79 |
| 9 | 6 | 1 | a | 6 | 1914 | 80 |
| 8 | 1 | - | - | 16 | 1954 | 81 |
| 135 | 126 | 32 | 2 | 53 | 1896 | 82 |
| 43 | 31 | 6 | 1 | 19 | 1912 | 83 |
| 260 | 232 | 83 | 3 | 84 | 1879 | 84 |
| 55 | 28 | 5 | - | 33 | 1929 | 85 |
| 40 | 17 | - | - | 49 | 1946 | 86 |
| 48 | 22 | 3 | - | 26 | 1926 | 87 |
| 48 | 35 | 4 | - | 33 | 1935 | 88 |
| 165 | 125 | 56 | 17 | 55 | 1871 | 89 |
| 147 | 110 | 22 | - | 83 | 1926 | 90 |
| 102 | 93 | - | 2 | 28 | 1886 | 91 |
| 133 | 91 | 41 | 7 | 42 | 1879 | 92 |
| 222 | 148 | 20 | - | 115 | 1928 | 93 |
| 33 | 12 | 4 | 1 | 14 | 1917 | 94 |
| 25 | 12 | 4 | 1 | 13 | 1918 | 95 |
| 75 | 52 | 11 | b | 40 | 1925 | 96 |
| 9 | - | - | - | - | 1959 | 97 |
| 88 | 55 | 10 | 1 | 24 | 1884 | 98 |
| 14 | 5 | 2 | - | 10 | 1939 | 99 |
| 43 | 30 | 9 | 1 | 12 | 1883 | 100 |
| 6 | 2 | 1 | a | 2 | 1891 | 101 |
| 3 | - | - | - | 7 | 1959 | 102 |
| 151 | 109 | 22 | - | 82 | 1927 | 103 |
| 5 | - | - | - | 11 | 1959 | 104 |
| 209 | 166 | 41 | 5 | 76 | 1894 | 105 |
| 78 | 65 | 6 | 3 | 21 | 1873 | 106 |
| - | - | - | - | - | - | 107 |
| 40 | 22 | 6 | - | 19 | 1928 | 108 |
| 50 | 26 | a | a | 12 | 1886 | 109 |
| 155 | 122 | 26 | 1 | 75 | 1915 | 110 |
| 40 | 20 | b | - | 31 | 1940 | 111 |
| 12 | 6 | a | a | 3 | 1895 | 112 |
| 30 | 17 | 1 | a | 10 | 1887 | 113 |
| 55 | 32 | b | - | 52 | 1947 | 114 |
| 12 | 3 | - | - | 14 | 1950 | 115 |
| 38 | 25 | 6 | 1 | 11 | 1879 | 116 |
| 50 | 37 | 14 | 2 | 17 | 1885 | 117 |
| 17 | 6 | b | - | 15 | 1942 | 118 |
| 38 | 47 | 10 | 1 | 16 | 1889 | 119 |
| 125 | 70 | 19 | 2 | 53 | 1914 | 120 |
| 39 | 25 | 3 | - | 22 | 1929 | 121 |
| 51 | 21 | - | - | 51 | 1948 | 122 |
| 7 | 7 | 2 | a | 5 | 1902 | 123 |
| 375 | 325 | 122 | 22 | 147 | 1892 | 124 |
| 15 | 9 | - | - | 18 | 1948 | 125 |
| 224 | 190 | 96 | 19 | 72 | 1861 | 126 |
| 19 | 3 | b | - | 12 | 1942 | 127 |

別表Ⅶ 専門分野別博士号取得者数 (1957—66年, 10年間)

| 大 学 名 | 人 文 科 学 | 生 物 系 科 学 | 物 理 系 科 学 | 社 会 科 学 | そ の 他 | 計 |
|-------------------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------|-------|
| 1 Alabama | 6 | 64 | 59 | 141 | — | 270 |
| 2 American | — | 44 | 9 | 308 | — | 361 |
| 3 Arizona | 12 | 137 | 171 | 113 | 1 | 434 |
| 4 Arizona State* | 2 | 6 | 36 | 125 | — | 169 |
| 5 Arkansas | 31 | 19 | 66 | 227 | — | 343 |
| 6 Auburn* | 1 | 59 | 50 | 80 | — | 190 |
| 7 Baylor* | 1 | 81 | 29 | 22 | — | 133 |
| 8 Boston | — | 224 | 100 | 385 | — | 709 |
| 9 Brandeis | 19 | 62 | 71 | 75 | — | 227 |
| 10 Brooklyn Polytech. | — | — | 473 | — | — | 473 |
| 11 Brown | 104 | 113 | 310 | 79 | 1 | 607 |
| 12 Bryn Mawr | 61 | 15 | 24 | 35 | 6 | 141 |
| 13 Buffalo | 37 | 154 | 107 | 170 | — | 468 |
| 14 California, Berkeley | 243 | 707 | 1,425 | 842 | 27 | 3,244 |
| 15 Calif., Davis | 6 | 368 | 55 | — | — | 429 |
| 16 Calif., Los Angeles | 162 | 406 | 544 | 513 | — | 1,625 |
| 17 Calif., Riverside* | — | 26 | 50 | 1 | — | 77 |
| 18 Calif., San Diego* | 2 | 22 | 64 | — | — | 88 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 1 | 4 | 9 | 9 | — | 23 |
| 20 Cal. Tech. | — | 60 | 719 | — | — | 779 |
| 21 Carnegie-Mellon | 8 | 14 | 569 | 42 | — | 633 |
| 22 Case Western Reserve | 71 | 131 | 470 | 350 | 1 | 1,023 |
| 23 Catholic | 367 | 149 | 205 | 285 | 1 | 1,007 |
| 24 Chicago | 370 | 409 | 576 | 1,077 | 37 | 2,469 |
| 25 Cincinnati | 46 | 80 | 209 | 56 | 5 | 396 |
| 26 Claremont | 48 | 51 | — | 111 | — | 210 |
| 27 Clark | — | 67 | 96 | 37 | — | 200 |
| 28 Colorado | 79 | 161 | 369 | 352 | — | 961 |
| 29 Colorado State C.* | 1 | 20 | 1 | 520 | 15 | 557 |
| 30 Colorado State U.* | — | 68 | 70 | 32 | — | 170 |
| 31 Columbia | 998 a | 550 | 1,074 | 3,041 | 16 | 5,679 |
| 32 Connecticut | 36 | 165 | 115 | 223 | — | 539 |
| 33 Cornell | 208 | 891 | 456 | 571 | 6 | 2,132 |
| 34 Delaware | 2 | 38 | 240 | 6 | — | 286 |
| 35 Denver | 142 | 83 | 10 | 197 | — | 432 |
| 36 Duke | 174 | 282 | 223 | 278 | — | 957 |
| 37 Emory | 49 | 81 | 32 | 49 | 17 | 228 |
| 38 Florida | 98 | 311 | 310 | 318 | 3 | 1,040 |
| 39 Florida State | 56 | 206 | 202 | 273 | 12 | 749 |
| 40 Fordham | 165 | 152 | 93 | 240 | — | 650 |
| 41 George Peabody | 23 | 49 | 20 | 305 | — | 397 |
| 42 George Washington | 5 | 124 | 32 | 147 | — | 308 |
| 43 Georgetown | 29 | 51 | 107 | 175 | 1 | 363 |
| 44 Georgia | 15 | 118 | 35 | 124 | 11 | 303 |
| 45 Georgia Tech. | — | — | 213 | — | — | 213 |
| 46 Harvard | 813 | 452 | 981 | 1,591 | 27 | 3,864 |
| 47 Hawaii* | 1 | 60 | 23 | 4 | — | 88 |
| 48 Houston | — | 117 | 28 | 132 | — | 277 |
| 49 Illinois | 384 | 960 | 1,872 | 938 | 40 | 4,194 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 1 | 56 | 285 | 3 | — | 345 |
| 51 Indiana | 419 | 280 | 332 | 1,504 | 7 | 2,542 |
| 52 Iowa | 27 | 396 | 352 | 587 | — | 1,362 |
| 53 Iowa State | 396 | 516 | 822 | 200 | — | 1,934 |
| 54 Johns Hopkins | 142 | 312 | 470 | 174 | 5 | 1,103 |
| 55 Kansas | 38 | 239 | 321 | 259 | — | 857 |
| 56 Kansas State | 2 | 238 | 132 | 10 | — | 382 |
| 57 Kent State* | 3 | 2 | 2 | 16 | — | 23 |
| 58 Kentucky | 18 | 117 | 66 | 159 | — | 360 |
| 59 Lehigh | 7 | 16 | 239 | 15 | — | 277 |
| 60 Louisiana State | 78 | 364 | 217 | 208 | — | 867 |
| 61 Loyola (Ill.) | 36 | 133 | 17 | 92 | — | 278 |
| 62 M. I. T. | 31 | 119 | 2,128 | 146 | — | 2,424 |
| 63 Maryland | 61 | 348 | 413 | 300 | — | 1,122 |
| 64 Massachusetts | 2 | 175 | 44 | 17 | — | 238 |
| 65 Miami* | — | 61 | 13 | 19 | — | 93 |

a : ティチャーズ・カレッジの人数も含む。

b : コロンビア大学に含まれる。

別表Ⅶ 専門分野別博士号取得者数(1957—66年, 10年間) 続き

| 大 学 名 | 人 文 科 学 | 生 物 系 科 学 | 物 理 系 科 学 | 社 会 科 学 | そ の 他 | 計 |
|--------------------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------|-------|
| 66 Michigan | 563 | 744 | 1,175 | 872 | 41 | 3,395 |
| 67 Michigan State | 158 | 778 | 478 | 837 | — | 2,251 |
| 68 Minnesota | 246 | 1,093 | 717 | 788 | 10 | 2,854 |
| 69 Mississippi * | 3 | 45 | 28 | 59 | — | 135 |
| 70 Mississippi State* | — | 39 | 6 | 19 | — | 64 |
| 71 Missouri | 98 | 296 | 231 | 458 | — | 1,083 |
| 72 Montana State* | — | 31 | 50 | 30 | — | 111 |
| 73 New York | 420 | 556 | 676 | 1,567 | 6 | 3,225 |
| 74 Nebraska | 38 | 170 | 146 | 449 | — | 803 |
| 75 New Hampshire* | — | 45 | 60 | — | — | 105 |
| 76 New Mexico | 33 | 13 | 117 | 85 | — | 248 |
| 77 New School | 9 | 34 | — | 81 | — | 124 |
| 78 North Carolina | 234 | 246 | 266 | 389 | — | 1,135 |
| 79 No. Carolina State | — | 258 | 196 | 49 | — | 503 |
| 80 North Dakota | — | 35 | 7 | 98 | — | 140 |
| 81 North Texas State* | 16 | — | — | 134 | — | 150 |
| 82 Northwestern | 456 | 204 | 606 | 384 | — | 1,650 |
| 83 Notre Dame | 97 | 41 | 306 | 101 | — | 545 |
| 84 Ohio State | 292 | 859 | 869 | 940 | — | 2,960 |
| 85 Oklahoma | 60 | 190 | 207 | 340 | 2 | 799 |
| 86 Oklahoma State | 2 | 194 | 242 | 196 | — | 634 |
| 87 Oregon | 17 | 108 | 113 | 427 | 1 | 666 |
| 88 Oregon State | 18 | 344 | 215 | 95 | 8 | 680 |
| 89 Pennsylvania | 311 | 298 | 533 | 657 | 10 | 1,809 |
| 90 Penn. State | 62 | 411 | 676 | 577 | 33 | 1,759 |
| 91 Pittsburgh | 156 | 250 | 391 | 420 | 3 | 1,220 |
| 92 Princeton | 260 | 131 | 783 | 305 | 25 | 1,504 |
| 93 Purdue | 21 | 1,102 | 1,145 | 296 | 1 | 2,565 |
| 94 Rensselaer | — | 7 | 401 | 9 | 6 | 423 |
| 95 Rice | 33 | 28 | 265 | 17 | — | 343 |
| 96 Rochester | 48 | 247 | 286 | 74 | — | 855 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | 88 | 3 | — | — | 91 |
| 98 Rutgers | 26 | 551 | 282 | 254 | 9 | 1,122 |
| 99 St. John's | 28 | 55 | 6 | 90 | — | 179 |
| 100 St. Louis | 88 | 95 | 119 | 148 | — | 450 |
| 101 South Carolina* | 9 | 5 | 42 | 32 | — | 88 |
| 102 South Dakota* | — | 6 | — | 31 | — | 37 |
| 103 Southern California | 333 | 218 | 153 | 875 | — | 1,579 |
| 104 Southern Illinois* | 25 | 42 | 2 | 79 | — | 148 |
| 105 Stanford | 261 | 265 | 1,248 | 791 | 48 | 2,613 |
| 106 Syracuse | 64 | 131 | 254 | 385 | 107 | 941 |
| 107 Teachers College* | b | — | — | — | — | — |
| 108 Temple | 49 | 109 | 94 | 177 | — | 429 |
| 109 Tennessee | 23 | 217 | 205 | 195 | — | 640 |
| 110 Texas | 235 | 356 | 732 | 634 | — | 1,957 |
| 111 Texas A & M | — | 258 | 258 | 31 | — | 547 |
| 112 Tufts | 4 | 42 | 22 | 80 | — | 148 |
| 113 Tulane | 113 | 168 | 98 | 79 | 2 | 460 |
| 114 Utah | 43 | 171 | 329 | 134 | — | 677 |
| 115 Utah State* | — | 120 | 29 | 30 | — | 179 |
| 116 Vanderbilt | 149 | 129 | 134 | 85 | — | 497 |
| 117 Virginia | 54 | 60 | 213 | 243 | 4 | 574 |
| 118 Virginia Polytech. | — | 184 | 172 | — | — | 356 |
| 119 Washington (St. Louis) | 42 | 126 | 235 | 119 | 5 | 527 |
| 120 Washington (Seattle) | 221 | 378 | 596 | 365 | 8 | 1,568 |
| 121 Washington State | — | 243 | 94 | 162 | — | 499 |
| 122 Wayne State | 84 | 97 | 193 | 333 | 2 | 709 |
| 123 West Virginia | 1 | 71 | 49 | 33 | — | 154 |
| 124 Wisconsin | 525 | 1,421 | 1,112 | 1,091 | 40 | 4,189 |
| 125 Wyoming | — | 35 | 35 | 158 | — | 228 |
| 126 Yale | 830 | 391 | 659 | 507 | 9 | 2,396 |
| 127 Yeshiva | 35 | 87 | 18 | 75 | — | 215 |

別表Ⅹ 学部学生に関する年間授業料(1967-68年), 奨学金等援助受給者数と平均受給額

| 大 学 名 | 授業料(1967-68)ドル | | 学部学生の各種援助 受給者総数 |
|-------------------------------------|----------------|-------------|--------------------|
| | フル・タイム | パート・タイム | |
| 1 Alabama | 350/ 700 | 12/ 15 a | 2,800 |
| 2 American | 680 | 56 a | 731 |
| 3 Arizona | 279/1,094 | | 4,220 |
| 4 Arizona State* | 286/1,100 | 16 b | 5,048 |
| 5 Arkansas | 250/ 750 | 12.5/32.5 b | 1,498 |
| 6 Auburn* | 300/ 600 | 10 a | 3,000 |
| 7 Baylor* | 800 | 25 c | 3,190 |
| 8 Boston | 1,550 | 49 a | 4,750 m |
| 9 Brandeis | 1,900 | 380 d | — |
| 10 Brooklyn Polytech. | 1,900 | 55 a | 907 |
| 11 Brown | 2,000 | 250 d | 3,101 n |
| 12 Bryn Mawr | 1,850 | 250 b | 225 |
| 13 Buffalo | 400/ 600 | 13.5/ 20 c | 2,150 |
| 14 California, Berkeley | 0/ 981 | 0/ 281 e | — p |
| 15 Calif., Davis | 0/ 981 | 0/ 281 e | 1,358 |
| 16 Calif., Los Angeles | 0/ 981 | 0/ 281 e | 1,800 |
| 17 Calif., Riverside* | 0/ 981 | 0/ 281 e | 600 |
| 18 Calif., San Diego* | 0/ 981 | 0/ 281 e | 300 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 0/ 981 | 0/ 281 e | 1,900 |
| 20 Cal. Tech. | 1,800 | 17 f | 329 |
| 21 Carnegie-Mellon | 1,950 | 20 f | 1,600 |
| 22 Case Western Reserve | 2,000 | 62.5 c | 1,733 |
| 23 Catholic | 1,600 | 75 c | 928 |
| 24 Chicago | 1,980 | 270 d | 1,276 |
| 25 Cincinnati | 915/1,050 g | 25/ 27 f | 3,000 |
| 26 Claremont | — | — | — |
| 27 Clark | 1,900 | 80 a | 500 |
| 28 Colorado | 378/1,226 | 39/ 52 a | 3,050 |
| 29 Colorado State C.* | 202/ 607 | | 386 |
| 30 Colorado State U.* | 342/1,119 | | 2,087 |
| 31 Columbia | 1,900 | 63 h | 2,200 |
| 32 Connecticut | 190/ 590 | 20 a | 7,490 |
| 33 Cornell | 1,575 | 45 c | — q |
| 34 Delaware | 350/ 820 | 15/ 35 c | 1,234 |
| 35 Denver | 1,500 | 31 i | 3,800 |
| 36 Duke | 1,450 | 50 a | — |
| 37 Emory | 1,650 | 46 i | — |
| 38 Florida | 375/ 975 | 10/ 24 i | — |
| 39 Florida State | 0/ 600 | 10/ 24 i | 1,900 |
| 40 Fordham | 1,500 | 44 a | 2,330 |
| 41 George Peabody | 1,200 | 37.5 b | 855 |
| 42 George Washington | 1,675 | 57 a | 1,019 |
| 43 Georgetown | 1,650 | 55 j | 983 |
| 44 Georgia | 333/ 753 | 8/ 20 j | 1,800 |
| 45 Georgia Tech. | 0/ 375 | — | 703 |
| 46 Harvard | 2,000 | — | — t |
| 47 Hawaii* | 170 | 9 c | 2,256 |
| 48 Houston | 100/ 400 | — | — |
| 49 Illinois | 170/ 750 | 35/ 55 c | — |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 1,600 | — | 400 |
| 51 Indiana | 360/ 990 | 13/ 33 c | — |
| 52 Iowa | 370/1,000 | — | — |
| 53 Iowa State | 375/1,005 | — | 5,555 |
| 54 Johns Hopkins | 2,000 | 80 a | 670 |
| 55 Kansas | 338/ 798 | 13.8/31.3 b | 4,600 |
| 56 Kansas State | 240/ 700 | 8/ 27 a | 3,000 |
| 57 Kent State* | 188/ 488 | 19/ 33 e | 2,800 |
| 58 Kentucky | 280/ 820 | 12.5/ 37 c | 3,000 |
| 59 Lehigh | 1,800 | 75 b | 648 |
| 60 Louisiana State | 0/ 400 | — | 8,083 |
| 61 Loyola (Ill.) | 1,320 | 28 b | — |
| 62 M. I. T. | 1,900 | 30 c | 1,750 |
| 63 Maryland | 366/ 766 | 18 b | 3,750 |
| 64 Massachusetts | 200/ 600 | 10/ 15 b | 4,500 |
| 65 Miami* | 1,400 | 40 b | 4,000 |

a: credit hour 当りの授業料。 b: semester course 当り。 c: hour 当り。
 出身者はフル・タイムで450ドル, パート・タイムでunit 当り15ドル。 h: point 当り。 i: quarter
 額402ドル, 総額77,175ドル)を受けている192人を含む。 l: 1週間当りの平均額。
 p: 右の他, 1246人が Grants (平均額271ドル)を受けている。 q: 大学院学生も含む。全学生
 上の学生が1ないしそれ以上の奨学金の給付を受けている。

[大学院フル・タイム学生の授業料, 単位ドル] コーネル: 1545 デューク: 141 ジョージタウン:
 他州の学生795。

(1966 - 67 年)

| 給与奨学金 | | 貸与奨学金 | | 学内アルバイト | | 学部学生 奨助額小計 千ドル | |
|---------|-------|---------|-------|---------|-------|----------------------|----|
| 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | | |
| 1,285 | 496 | 1,135 | 630 | 1,665 | 600 | 2,251 | 1 |
| 227 | 720 | 384 | 750 | 476 | 590 | 732 | 2 |
| 2,106 k | 358 | 861 | 675 | 1,061 | 151 | 2,170 | 3 |
| 1,320 | 739 | 2,668 | 489 | 1,950 | 862 | 3,962 | 4 |
| 476 | 205 | 689 | 400 | 500 | 780 | 757 | 5 |
| 665 | 300 | 551 | 450 | 2,091 | 301 | 1,070 | 6 |
| 1,174 | 720 | 866 | 602 | 1,150 | 741 | 2,219 | 7 |
| 2,950 | 600 | 1,775 | 566 | 2,765 | 497 | 4,150 | 8 |
| 585 | 1,271 | 592 | 447 | — | — | 1,008 | 9 |
| 514 | 207 | 73 | 808 | 320 | 1,940 | 287 | 10 |
| 886 | 900 | 691 | 525 | 1,524 | 300 | 1,449 | 11 |
| 215 | 1,265 | 199 | 313 | —o | 150 | 384 | 12 |
| 419 | 384 | 2,045 | 434 | 380 | 657 | 1,297 | 13 |
| 1,053 | 485 | 6,987 | 222 | 2,099 m | 762 | 2,396 | 14 |
| 352 | 342 | 770 | 325 | 542 | 543 | 665 | 15 |
| 1,077 | 600 | 2,790 | 500 | 978 | 1,000 | 2,769 | 16 |
| 199 | 333 | 502 | 512 | 1,100 | 1,000 | 1,527 | 17 |
| 108 | 640 | 141 | 339 | 167 | 808 | 252 | 18 |
| 696 | 405 | 1,244 | 372 | 612 | 690 | 1,168 | 19 |
| 270 | 1,205 | 263 | 671 | — | — | 502 | 20 |
| 1,400 | 800 | 634 | 700 | 245 | 500 | 1,666 | 21 |
| 1,360 | 847 | 1,801 | 642 | 478 | 333 | 3,211 | 22 |
| 704 | 864 | 413 | 820 | 250 | 580 | 1,092 | 23 |
| 1,276 | 1,125 | 625 | 360 | 50 | 400 | 5,678 | 24 |
| 1,540 | 448 | 777 | 676 | 1,685 | 206 | 1,250 | 25 |
| — | — | — | — | — | — | — | 26 |
| 421 | 849 | 313 | 541 | 70 | 400 | 552 | 27 |
| 2,056 | 320 | 2,600 | 500 | 800 | 875 | 2,467 | 28 |
| 235 | 208 | 835 | 674 | 1,031 | 421 | 1,046 | 29 |
| 750 | 507 | 1,062 | 463 | 1,326 | 769 | 890 | 30 |
| 1,500 | 1,150 | 637 | 725 | 1,250 | 675 | 3,031 | 31 |
| — | — | — | — | — | — | 3,181 | 32 |
| 3,761 | 1,411 | 2,333 | 600 | 2,410 | 388 | 7,925 | 33 |
| 1,012 | 438 | 676 | 253 | 480 | 285 | 753 | 34 |
| 870 | 896 | 6,000 | 200 | 1,750 | 700 | 3,205 | 35 |
| 631 | 866 | 560 | 492 | 674 | — | 822 | 36 |
| 745 | 669 | 410 | 585 | — | — | 939 | 37 |
| 1,287 | 386 | 1,847 m | 710 | 2,025 | 842 | 2,202 | 38 |
| 300 | 200 | 900 | 500 | 1,150 | 365 | 930 | 39 |
| 1,958 | 518 | 904 | 555 | 245 | 712 | 1,691 | 40 |
| 178 | 500 | 208 | 700 | 430 | 800 | 575 | 41 |
| 516 | 1,076 | 503 | 700 | 721 | — | 908 | 42 |
| 711 | 505 | 524 | 735 | 136 | 718 | 815 | 43 |
| 634 | 435 | —r | — | 294 | 350 | 379 | 44 |
| 384 s | 520 | 519 | 580 | 23 | 275 | 509 | 45 |
| 1,600 | 1,452 | 1,050 | 750 | 1,850 | 425 | 3,905 | 46 |
| 641 | 267 | —r | — | 2,239 | 786 | 1,931 | 47 |
| 1,700 | 141 | 3,731 | 517 | — | — | 2,169 | 48 |
| 6,691 | 250 | 4,681 | 288 | 8,200 | 324 | 5,678 | 49 |
| 550 | 900 | 350 | 700 | 550 | 180 | 850 | 50 |
| 5,181 | 396 | 9,804 m | 604 | 10,513 | 645 | 8,834 | 51 |
| 700 | 340 | 2,900 | 500 | 3,032 | 700 | 3,852 | 52 |
| 3,732 | 345 | 3,935 | 350 | — | — | 2,878 | 53 |
| 656 | 460 | 375 | 580 | 85 | 130 | 528 | 54 |
| 1,500 | 325 | 3,075 | 420 | 1,500 | 350 | 2,310 | 55 |
| 855 | 332 | 4,700 | 383 | 900 | 230 | 2,384 | 56 |
| 900 | 282 | 1,016 | 412 | 1,800 | 279 | 1,174 | 57 |
| 1,370 | 500 | 910 | 525 | 1,713 | 700 | 2,547 | 58 |
| 625 | 1,019 | 222 | 725 | — | — | 798 | 59 |
| 2,977 | 227 | 1,787 | 639 | 3,319 | 260 | 2,680 | 60 |
| — | — | 590 | 683 | — | — | 403 | 61 |
| 1,730 | 1,000 | 1,630 | 875 | — | — | 3,210 | 62 |
| 1,500 | 500 | 2,000 | 500 | 1,800 | 500 | 2,650 | 63 |
| 1,850 | 375 | 1,600 | 375 | 4,400 | 242 | 2,357 | 64 |
| 1,000 | 1,125 | 2,000 | 1,125 | 1,000 | 1,125 | 4,500 | 65 |

d : course 当り。 e : quarter unit 当り。 f : unit 当り。 g : シンシナティ市
hour 当り。 j : credit 当り。 k : この内に Educational Opportunity Grants (平均
m : 大学院学生も含む。 n : カレッジの学生を含んでいない。 o : 全学生の58%の学生。
の2/3が受給している。 r : 大学院に含まれる。 s : Crant も含む。 t : 50%以

1500, ハーバード:2000 アイオワ:所在州の学生410・他州の学生800 アイオワ州立:所在州の学生405

別表Ⅱ 学部学生に関する年間授業料（1967—68年），奨学金等援助受給者数と平均受給額

| 大 学 名 | 授 業 料 (1967-68) ドル | | 学部学生の各種援助 受 給 者 総 数 |
|--------------------------------------|--------------------|-------------|------------------------|
| | フル・タイム | パート・タイム | |
| 66 Michigan | 410/1,300 | 18/ 60 a | 2,696 j |
| 67 Michigan State | 501/1,200 | — | 15,937 |
| 68 Minnesota | 294/ 840 | 8.3/23.5 a | — |
| 69 Mississippi* | 356/ 796 | 53/ 71 b | 2,000 |
| 70 Mississippi State* | 269/ 450 | 15/ 25 b | 2,250 |
| 71 Missouri | 0 / 500 | 0/10-30 b | 4,000 |
| 72 Montana State* | 375/ 983 | 185/ 428 | 1,161 |
| 73 New York | 1,900 | 38 c | 1,042 |
| 74 Nebraska | 433/ 933 | 18.3/ 39 a | 2,200 |
| 75 New Hampshire* | 630/1,375 | 40/ 75 d | 1,602 |
| 76 New Mexico | 408/ 918 | 17/ 28.3 c | 3,400 |
| 77 New School | 1,700 | — | 25 |
| 78 North Carolina | 175/ 600 | 27/ 66 e | 4,004 |
| 79 No. Carolina State | 175/ 600 | 30.8/83.8 b | 2,000 |
| 80 North Dakota | 240/ 684 | 12/34.2 c | 3,200 |
| 81 North Texas State* | 100/ 400 | 7/ 20 b | 2,845 |
| 82 Northwestern | 1,800 | 47 b | 1,500 |
| 83 Notre Dame | 1,700 | 70 c | 2,250 l |
| 84 Ohio State | 495/1,095 | 83/183 f | 9,000 |
| 85 Oklahoma | — | 12/ 30 c | 3,750 |
| 86 Oklahoma State | — | 12/ 30 c | 6,500 |
| 87 Oregon | 369/ 999 | — | 3,160 |
| 88 Oregon State | 369/ 999 | 15.5 f | 3,180 |
| 89 Pennsylvania | 1,770 | 220 e | 2,864 |
| 90 Penn. State | 600/1,400 | 16/ 44 a | —m |
| 91 Pittsburgh | 450/1,400 | 14/ 47 a | — |
| 92 Princeton | 2,150 | — | 1,450 |
| 93 Purdue | 330/ 950 | 15 c | 4,000 |
| 94 Rensselaer | 2,050 | 60 a | 1,629 |
| 95 Rice | 1,500 | 60 c | 883 |
| 96 Rochester | 2,000 | 62.5 a | 1,195 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — |
| 98 Rutgers | 400/ 636 | 13.5 a | 2,307 |
| 99 St. John's | 1,400 | 42 c | 1,645 |
| 100 St. Louis | 1,400 | 47 a | 2,000 |
| 101 South Carolina* | 455/1,005 | 16/ 20 b | 2,575 |
| 102 South Dakota* | 304/ 800 | 9.5/ 20 b | 1,055 |
| 103 Southern California | 1,500 | 50 a | 2,148 |
| 104 Southern Illinois* | 126/ 516 | 21/ 95 g | 12,600 |
| 105 Stanford | 1,770 | 330 g | 1,900 |
| 106 Syracuse | 1,800 | 57 c | 1,683 |
| 107 Teachers College* | — | 65 h | — |
| 108 Temple | 450/1,350 | 14/ 16 c | 2,595 |
| 109 Tennessee | 0 / 540 | 13/ 19 f | 4,301 |
| 110 Texas | 100/ 400 | 15/ 50 b | — |
| 111 Texas A&M | 100/ 400 | 4/ 16 b | 4,800 |
| 112 Tufts | 1,900 | 63 i | 1,400 |
| 113 Tulane | 1,500 | 43 c | 850 |
| 114 Utah | 390/ 888 | 15/ — f | 2,200 |
| 115 Utah State* | 252/ 726 | 16 a | — |
| 116 Vanderbilt | 1,660 | 60 b | 1,236 |
| 117 Virginia | 330/ 915 | — | —n |
| 118 Virginia Polytech. | 420/ 840 | 14/ 28 b | 1,640 |
| 119 Washington (St. Louis) | 1,900 | 80 a | 1,500 |
| 120 Washington (Seattle) | 345/ 825 | 50/ 75 b | 5,301 |
| 121 Washington State | 345/ 825 | 68.5 b | 1,986 |
| 122 Wayne State | 411/1,050 | 57/118 b | 2,500 |
| 123 West Virginia | 280/ 910 | — | 3,000 |
| 124 Wisconsin | 350/1,150 | 19/ 69 b | —o |
| 125 Wyoming | 347/ 963 | 18/ 40 b | 3,170 |
| 126 Yale | 2,150 | — | 1,650 |
| 127 Yeshiva | 1,500 | 50 c | 1,500 |

a : credit hour 当りの授業料。 b : hour 当り。 c : semester course 当り。 d : semester i : credit 当り。 j : この他、6563人が他の大学の funds (平均1,333ドル、総額8,750,000ドル) を受けている。 m : 全体の20%の学生。 n : 1000人以上。 o : 全キャンパスの学生に付
 [大学院フル・タイム学生の授業料、単位ドル] ミシガン：所在州の学生230、他州の学生700 ミシガン州立
 ライス：1700 州立ウエイン：所在州450、他州1484 ウィスコンシン：所在州410、他州1310 エール：

(1966 - 67 年) 続

| 給与奨学金 | | 貸与奨学金 | | 学内アルバイト | | 学部学生 援助額小計 千ドル | |
|-------|-------|---------|-------|---------|-------|----------------------|-----|
| 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | | |
| — | — | 8,629 k | 418 | — | — | 13,787 | 66 |
| 3,847 | 312 | 6,243 | 413 | 12,677 | 268 | 7,174 | 67 |
| 2,327 | 281 | 4,087 | 569 | 6,000 | 1,054 | 9,299 | 68 |
| 740 | 600 | 950 k | 425 | 2,045 k | 650 | 2,170 | 69 |
| 900 | 422 | 1,350 | 613 | 1,600 k | 987 | 2,788 | 70 |
| 1,200 | 410 | 1,681 | 402 | 3,000 | 500 | 2,678 | 71 |
| 1,650 | 257 | 6,449 | 339 | 1,022 | 369 | 1,054 | 72 |
| 6,900 | 730 | 2,190 | 928 | 942 | 840 | 7,866 | 73 |
| 1,667 | 265 | 1,310 | 434 | 1,300 | 550 | 1,726 | 74 |
| 1,471 | 341 | 650 | 445 | 425 | 1,000 | 1,216 | 75 |
| 876 | 305 | 1,792 | 600 | 1,150 | 404 | 1,807 | 76 |
| 22 | 265 | 15 | 711 | — | — | 18 | 77 |
| 1,088 | 316 | 831 | 406 | 767 | 561 | 1,113 | 78 |
| 500 | 450 | 975 | 467 | 1,000 | 700 | 1,410 | 79 |
| 489 | 240 | 3,921 | 459 | 1,000 | 500 | 1,854 | 80 |
| 975 | 179 | 548 | 360 | 2,445 | 331 | 1,181 | 81 |
| 1,056 | 1,016 | 1,200 | 635 | 340 | 450 | 1,986 | 82 |
| 807 | 1,300 | 428 | 840 | 912 | 441 | 1,919 | 83 |
| 3,200 | 375 | 3,800 | 435 | — | — | 2,830 | 84 |
| 1,000 | 484 | 2,400 | 575 | 1,600 | 445 | 2,599 | 85 |
| 926 | 270 | 3,666 | 287 | 5,000 | 500 | 3,966 | 86 |
| 1,000 | 450 | 750 | 570 | 3,400 | 500 | 2,578 | 87 |
| 1,626 | 325 | 2,700 | 218 | 2,450 | 440 | 2,204 | 88 |
| 2,777 | 1,285 | 1,526 | 520 | 770 | 304 | 4,537 | 89 |
| 1,148 | 258 | 1,923 | 495 | 7,005 | 215 | 2,360 | 90 |
| 2,681 | 459 | 1,235 | 507 | 1,434 | — | 1,858 | 91 |
| 1,146 | 1,300 | 1,002 | 500 | 950 | 420 | 2,731 | 92 |
| 1,736 | 333 | 1,400 | 640 | 2,500 | 480 | 2,678 | 93 |
| 1,055 | 878 | 1,261 | 737 | 228 | 533 | 1,978 | 94 |
| 608 | 860 | — | — | 592 | 605 | 880 | 95 |
| 1,055 | 880 | 425 | 540 | 68 | 350 | 1,183 | 96 |
| — | — | — | — | — | — | — | 97 |
| 1,349 | 434 | 1,088 | 462 | 2,290 | 390 | 1,943 | 98 |
| 1,376 | 693 | 325 | 664 | 150 | 800 | 1,290 | 99 |
| 470 | 550 | 1,478 | 800 | 1,200 | 250 | 1,735 | 100 |
| 175 | 349 | 1,300 | 317 | 850 | 367 | 785 | 101 |
| 388 | 252 | 790 | 398 | 377 | 416 | 569 | 102 |
| 824 | 750 | 425 | 800 | — | — | 1,024 | 103 |
| 6,500 | 180 | 1,100 | 380 | 5,000 | 600 | 4,588 | 104 |
| 1,676 | 874 | 825 | 610 | 205 | 500 | 2,069 | 105 |
| 1,787 | 907 | 625 | 68 | 220 | 455 | 2,147 | 106 |
| — | — | — | — | — | — | — | 107 |
| 2,406 | 330 | 687 | 525 | 1,188 | 962 | 2,299 | 108 |
| 1,204 | 415 | 861 | 437 | 3,311 | 179 | 1,467 | 109 |
| 1,987 | 399 | 1,161 | 473 | — | — | 1,338 | 110 |
| 1,250 | 360 | 1,800 | 300 | 1,500 | 425 | 1,810 | 111 |
| 687 | 1,014 | 422 | 520 | 1,000 | 200 | 1,114 | 112 |
| 687 | 1,126 | 485 | 780 | 101 | 255 | 1,178 | 113 |
| 1,783 | 260 | 1,353 | 265 | 883 | 860 | 1,581 | 114 |
| 1,084 | 190 | 619 | 455 | — | — | 1,588 | 115 |
| 893 | 1,054 | 494 | 693 | 115 | 300 | 1,318 | 116 |
| 903 | 774 | 451 | 466 | — | — | 910 | 117 |
| 475 | 579 | 616 | 587 | 915 | 335 | 943 | 118 |
| 1,206 | 1,173 | 875 | 540 | 301 | 149 | 1,905 | 119 |
| 527 | 363 | 3,663 | 320 | 4,432 | 582 | 3,949 | 120 |
| 304 | 308 | 2,340 | 327 | 256 | 757 | 1,053 | 121 |
| 1,360 | 300 | 1,418 | 450 | 424 | 700 | 1,387 | 122 |
| 433 | 300 | 1,200 | 440 | 1,400 | 530 | 1,396 | 123 |
| 3,564 | 420 | — p | — | 5,537 | 2,520 | 5,285 | 124 |
| 4,067 | 438 | 1,823 | 239 | 958 | 769 | 2,954 | 125 |
| 1,381 | 1,257 | 1,259 | 415 | 1,536 | 372 | 2,831 | 126 |
| 1,500 | 850 | 1,000 | 500 | 1,000 | 400 | 2,175 | 127 |

credit 当り。 e : course 当り。 f : unit 当り。 g : quarter 当り。 h : point 当り。
 受けている。 k : 大学院学生を含む。 l : この内 189 人が Grants (平均 537 ドル, 総額 101,550 ドル)
 いてのデータである。 p : 大学院に含まれる。
 : 所在州 501, 他州 1230 ミネソタ; 所在州の学生 312, 他州 840 ノートル・ダム: 1400 プリンストン: 2250
 1900 ヤシエバ: 1250。

別表X 大学院学生に関するフェローシップ、教育・研究助手等援助受給者数とその平均受給額

| 大 学 名 | 大学院学生 の各種援助 受給者総数 | フェローシップ | | 教育助手手当 | |
|-------------------------------------|-------------------------|---------|-------|---------|-------|
| | | 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル |
| 1 Alabama | 750 | 30 | 2,626 | 286 | 2,010 |
| 2 American | 210 | 36 | 3,526 | 51 | 3,266 |
| 3 Arizona | 2,182 | 828 | 2,443 | 813 | 1,584 |
| 4 Arizona State* | 986 | 200 | 3,000 | 400 | 2,500 |
| 5 Arkansas | 733 | 66 | 3,100 | 300 | 1,835 |
| 6 Auburn* | 320 | 320 a | 2,220 | — | — |
| 7 Baylor* | 374 | 15 | 2,327 | 129 | 1,475 |
| 8 Boston | — b | — | — | — | — |
| 9 Brandeis | — | — | — c | — | — d |
| 10 Brooklyn Polytech. | 385 | 219 | 2,904 | 82 | 2,256 |
| 11 Brown | 920 | 421 | 1,500 | 260 | 2,000 |
| 12 Bryn Mawr | 226 | 179 e | 2,010 | 28 f | 1,844 |
| 13 Buffalo | 1,497 | 66 | 1,584 | 1,128 g | 2,000 |
| 14 California, Berkeley | — | 879 | 2,181 | 988 | — h |
| 15 Calif., Davis | 995 | 201 | 2,580 | 274 | 2,911 |
| 16 Calif., Los Angeles | — | 2,525 | 1,370 | 787 | 3,006 |
| 17 Calif., Riverside* | 620 | 113 | 2,690 | 95 | 3,006 |
| 18 Calif., San Diego* | — | 124 | 2,769 | 112 | 398 |
| 19 Calif., Santa Barbara* | 733 | 163 | 1,992 | 325 | 2,860 |
| 20 Cal. Tech. | 606 | 226 | 4,350 | 215 | 3,293 |
| 21 Carnegie-Mellon | — k | 381 | 4,000 | 104 | 3,500 |
| 22 Case Western Reserve | 2,412 | — | — | — | — |
| 23 Catholic | 548 | 239 | 113 | 170 | 1,415 |
| 24 Chicago | 5,140 | — | — | — | — |
| 25 Cincinnati | — | 928 | 1,141 | 743 | 216 |
| 26 Claremont | 307 | 235 | 2,132 | 16 | 2,402 |
| 27 Clark | 268 | 227 | 1,268 | 34 | 1,774 |
| 28 Colorado | 1,787 | 223 | 2,400 | 633 | 2,441 |
| 29 Colorado State C.* | 40 | 32 | 2,400 | 28 | 3,000 |
| 30 Colorado State U.* | 780 | 104 | 3,000 | 256 | 220 |
| 31 Columbia | 2,821 | 1,978 | 2,200 | 296 | 1,655 |
| 32 Connecticut | 820 | — | — | — | — |
| 33 Cornell | — | — | — | — | — |
| 34 Delaware | 522 | 283 | 2,183 | 208 | 2,280 |
| 35 Denver | 1,000 | 151 | 1,701 | 61 | 2,248 |
| 36 Duke | 879 | 604 | 2,853 | 123 | 2,484 |
| 37 Emory | — | 1,284 | 910 | 70 | 3,303 |
| 38 Florida | — | 708 | 3,483 | 213 | 2,578 |
| 39 Florida State | 2,800 | 210 | 2,500 | 474 | 2,150 |
| 40 Fordham | 360 | 32 | 3,600 | 152 | 3,300 |
| 41 George Peabody | 270 | 130 | 2,292 | 31 | 1,700 |
| 42 George Washington | 753 | 224 | 868 | 166 | 838 |
| 43 Georgetown | 733 | 461 | 2,168 | — | — |
| 44 Georgia | 1,008 | 198 | 2,552 | 493 | 2,622 |
| 45 Georgia Tech. | 445 | 180 | 2,400 | 195 | 2,242 |
| 46 Harvard | — p | — | — | — | — |
| 47 Hawaii* | 1,450 | 817 | 2,400 | 423 | 2,664 |
| 48 Houston | 305 | 212 | 1,810 | 400 g | 1,000 |
| 49 Illinois | — | 1,203 | 2,694 | 3,297 g | 2,970 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 547 | 174 | 4,081 | 233 | 2,361 |
| 51 Indiana | — | 1,098 | 2,183 | 1,391 q | 2,400 |
| 52 Iowa | — | 521 | 2,700 | 1,083 | 2,450 |
| 53 Iowa State | 1,420 | 220 | 2,700 | 371 | 3,000 |
| 54 Johns Hopkins | 1,107 | — | — | — | — |
| 55 Kansas | — | 340 | 2,600 | — | — |
| 56 Kansas State | — | 58 | 2,100 | 223 | 1,950 |
| 57 Kent State* | 647 | 98 | 245 | 98 | 3,148 |
| 58 Kentucky | 1,049 | 72 | 2,400 | 780 g | 2,382 |
| 59 Lehigh | 450 | 130 | 4,000 | 156 | 3,400 |
| 60 Louisiana State | 1,012 | 279 | 2,639 | 497 | 2,310 |
| 61 Loyola (Ill.) | — | — | — | — | — |
| 62 M. I. T. | 2,485 | 530 | 5,000 | 420 | 2,260 |
| 63 Maryland | 855 | 236 | 5,000 | 373 | 2,600 |
| 64 Massachusetts | — | 261 | 2,079 | 473 | 2,223 |
| 65 Miami* | 536 | 152 | 2,235 | 189 | 1,900 |

a : 教育, 研究助手手当を含む。 b : 学部に含まれる。 c : フェローシップの総額 319,000 ドル。
d : 教育助手手当の総額が 180,000 ドル。 e : スカラシップも含む。 f : さらに授業料が免除され
j : 教育, 研究助手手当を含まぬが, 学部と大学院学生をあわせ 2099 人の work-study programs (平均 762 ドル,
m : medical fellowship (109 人, 平均額 603 ドル, 総額 65,850 ドル) を含む。 n : 大学院は含まない。
学内アルバイト (平均 1800 ドル, 総額 358,169 ドル) を含む。

(1966 - 67 年)

| 研究助手手当 | | ロ - ン | | 大学院学生 奨助額小計 | 学部・大学院学生 奨助額合計 | |
|----------------|----------------|--------------------|-------|--------------------|--------------------|----|
| 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | 千ドル | 千ドル | |
| 63 | 2,359 | 560 | 730 | 1,211 | 3,462 | 1 |
| 26 | 2,731 | 97 | 750 | 461 | 1,192 | 2 |
| 404 | 1,928 | 187 | 759 | 4,232 | 6,402 | 3 |
| 100 | 2,500 | 286 | 139 | 2,176 | 6,137 | 4 |
| 367 | 2,195 | 155 | 610 | 1,650 | 2,407 | 5 |
| — | — | — | — | 710 | 1,780 | 6 |
| 28 | 977 | 202 | 469 | 347 | 2,914 | 7 |
| — | — | — | — | — ^b | 4,150 | 8 |
| — | — | — | — | 1,490 | 2,498 | 9 |
| 84 | 2,785 | — | — | 1,055 | 1,342 | 10 |
| 197 | 2,200 | 42 | 800 | 1,635 | 3,083 | 11 |
| 9 ^f | 2,913 | 13 | 738 | 448 | 832 | 12 |
| — | — | 567 | 1,492 | 3,208 | 4,505 | 13 |
| 985 | — ⁱ | 3,671 | 435 | 5,112 ^j | 7,508 | 14 |
| 250 | 3,158 | 271 | 613 | 2,272 | 2,936 | 15 |
| 832 | 3,192 | 1,203 | 800 | 10,232 | 13,001 | 16 |
| 253 | 3,192 | 100 | 695 | 1,467 | 2,994 | 17 |
| 285 | 268 | 185 | 1,000 | 650 | 902 | 18 |
| 245 | 3,060 | 253 | 647 | 2,140 | 3,308 | 19 |
| 227 | 2,818 | 36 | 1,160 | 2,373 | 2,875 | 20 |
| 249 | 4,900 | 91 | 800 | 2,986 | 4,652 | 21 |
| — | — | — | — | 5,231 | 8,442 | 22 |
| 54 | 1,415 | 196 | 915 | 767 | 1,859 | 23 |
| — | — | 1,500 | — | 13,045 | 18,723 | 24 |
| 163 | — | 27 | 762 | 1,238 ^l | 2,489 | 25 |
| 9 | 2,792 | 329 | 422 | 703 | 703 | 26 |
| 58 | 1,489 | 46 | 474 | 630 | 1,181 | 27 |
| 171 | 603 | 392 | 700 | 2,688 ^m | 5,155 | 28 |
| — | — | 12 | 1,000 | 173 | 1,218 | 29 |
| 326 | 255 | 94 | — | 8,302 | 9,192 | 30 |
| 421 | 1,955 | 702 | 1,375 | 6,631 | 9,662 | 31 |
| — | — | — | — | — | 3,181 ⁿ | 32 |
| — | — | — | — | — ^b | 7,925 | 33 |
| 31 | 2,800 | 5 | 517 | 1,182 | 1,935 | 34 |
| 141 | 1,376 | 3,000 | 210 | 1,283 | 4,488 | 35 |
| 135 | 3,539 | 539 | 841 | 2,960 | 3,781 | 36 |
| 240 | 1,141 | 493 | 1,010 | 2,171 | 3,110 | 37 |
| 116 | 3,111 | — ^b | — | 4,688 | 6,890 | 38 |
| 316 | 2,150 | 300 | 800 | 2,465 | 3,395 | 39 |
| 64 | 2,600 | 140 | 1,000 | 923 | 2,614 | 40 |
| 27 | 1,348 | 55 | 1,794 | 488 | 1,063 | 41 |
| 19 | 825 | 529 | 897 | 824 | 1,732 | 42 |
| — | — | 522 | 1,086 | 1,566 | 2,381 | 43 |
| 317 | 2,452 | 1,270 ^o | 393 | 3,074 | 3,453 | 44 |
| 70 | 1,983 | — | — | 1,008 | 1,517 | 45 |
| — | — | — | — | — | 14,150 | 46 |
| 210 | 2,886 | 563 ^o | 503 | 3,977 | 5,908 | 47 |
| — | — | 40 | 950 | 822 | 2,891 | 48 |
| — | — | — | — | 13,045 | 18,723 | 49 |
| 121 | 2,526 | 65 | 1,059 | 1,635 | 2,485 | 50 |
| — | — | — | — | 10,370 | 19,204 | 51 |
| 171 | 2,450 | 422 | 1,000 | 4,920 | 8,672 | 52 |
| 719 | 3,180 | 70 | 750 | 4,052 | 6,930 | 53 |
| — | — | — | — | — | 528 | 54 |
| — | — | 675 | 640 | 1,344 | 3,654 | 55 |
| 283 | 1,950 | 346 | 800 | 1,385 | 3,769 | 56 |
| 52 | 1,746 | 125 | 669 | 725 | 1,897 | 57 |
| — | — | 197 | 675 | 2,193 | 4,740 | 58 |
| 134 | 4,200 | 88 | 719 | 1,675 | 2,473 | 59 |
| 236 | 2,595 | — | — | 2,865 ^r | 5,535 | 60 |
| — | — | — | — | — | 403 | 61 |
| 1,047 | 4,400 | 375 | 950 | 8,722 | 11,932 | 62 |
| 137 | 2,600 | 109 | 1,200 | 2,244 | 4,894 | 63 |
| 305 | 1,439 | — | — | 2,095 | 4,452 | 64 |
| 127 | 2,576 | 100 | 1,000 | 1,130 | 5,630 | 65 |

スカラシップの総額 490,000 ドル, direct government fellowship と traineeship の総額が 501,000 ドル。
 る。 g : 研究助手手当も含む。 h : 2860~3162ドル。 i : 3036~3354ドル。
 総額 1,599,362 ドル) を含む。 k : 775~800人。 l : 研究助手手当を含まない。
 o : 学部を含む。 p : 75名以上。 q : 研究助手手当, grant を含む。 r : 199人の

別表 X 大学院学生に関するフェローシップ、教育・研究助手等援助受給者数とその平均受給額

| 大 学 名 | 大学院学生 の各種援助 受給者総数 | フェローシップ | | 教育助手手当 | |
|--------------------------------------|-------------------------|---------|-------|--------|-------|
| | | 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル |
| 66 Michigan | — | — | — | — | — |
| 67 Michigan State | 1,980 | 180 | 3,247 | 993 | 2,400 |
| 68 Minnesota | — | 989 | 2,735 | — | — |
| 69 Mississippi * | 900 | 69 c | 1,997 | 128 d | 2,400 |
| 70 Mississippi State* | 387 | 38 | 2,826 | 122 | 191 |
| 71 Missouri | 1,800 | 420 | 1,373 | 612 | 4,995 |
| 72 Montana State* | 293 | 49 | 2,950 | 117 | 2,283 |
| 73 New York | — | — | — | 390 d | 1,153 |
| 74 Nebraska | 1,151 | 302 | 2,120 | 627 | 1,974 |
| 75 New Hampshire* | 349 | 74 | 4,650 | 160 | 2,218 |
| 76 New Mexico | 724 | 153 | 3,885 | 337 | 2,350 |
| 77 New School | 173 | 12 | 3,600 | 20 | 2,000 |
| 78 North Carolina | 2,058 | 825 | 2,800 | 418 | 1,875 |
| 79 No. Carolina State | 966 | 364 | 2,694 | 260 | 2,333 |
| 80 North Dakota | 599 | 66 | 2,530 | 183 | 1,778 |
| 81 North Texas State* | 475 | 40 | 2,216 | 420 d | 909 |
| 82 Northwestern | 1,691 | 696 | 3,195 | 382 | 2,856 |
| 83 Notre Dame | 706 | 181 | 3,600 | 304 | 3,300 |
| 84 Ohio State | 3,196 | 540 | 2,840 | 1,326 | 2,775 |
| 85 Oklahoma | — | — | — | — | — |
| 86 Oklahoma State | 1,100 | 100 | 2,000 | 479 | 1,850 |
| 87 Oregon | 1,410 | 376 | 2,750 | 518 | 2,102 |
| 88 Oregon State | 1,290 | 195 | 2,960 | 286 | 2,452 |
| 89 Pennsylvania | 4,041 f | 2,683 | 1,559 | — | — |
| 90 Penn. State | 2,263 | 578 | 3,123 | 783 | 2,186 |
| 91 Pittsburgh | — | 446 | 1,040 | 616 | 3,300 |
| 92 Princeton | 1,004 | 642 | 4,235 | 110 | 4,275 |
| 93 Purdue | 3,000 | 950 | 3,500 | 1,300 | 3,000 |
| 94 Rensselaer | 417 | 142 | 5,160 | 233 | 4,300 |
| 95 Rice | 615 | 452 | 3,900 | — | — |
| 96 Rochester | 898 | 256 | 2,466 | 275 | 3,579 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 870 | 257 | 2,720 | 495 | 2,934 |
| 99 St. John's | 237 | 37 | 3,613 | 185 | 2,495 |
| 100 St. Louis | 750 | 271 | 2,494 | 200 | 3,000 |
| 101 South Carolina* | 750 | 106 | 2,491 | 663 d | 1,734 |
| 102 South Dakota* | 309 | 85 | 4,000 | 85 | 2,200 |
| 103 Southern California | 5,016 | 1,064 | 2,350 | 332 | 2,236 |
| 104 Southern Illinois* | 1,275 | 136 | 1,750 | 680 | 256 |
| 105 Stanford | 3,800 | 1,643 | 1,848 | — | — |
| 106 Syracuse | — | 415 | 813 | — | — |
| 107 Teachers College* | 2,194 | 1,226 | 2,176 | — | — |
| 108 Temple | 993 | 42 | 1,213 | 308 | 2,468 |
| 109 Tennessee | 1,000 | 244 | 3,950 | 148 | 782 |
| 110 Texas | — | 1,464 | 1,966 | 1,063 | 1,732 |
| 111 Texas A & M | 1,886 | 299 | 3,000 | 325 | 2,250 |
| 112 Tufts | 428 | 267 | 1,218 | 85 | 3,154 |
| 113 Tulane | 825 | 311 | 2,369 | 336 | 2,254 |
| 114 Utah | 1,150 | 150 | 2,600 | 450 | 2,225 |
| 115 Utah State* | — | 167 | — | — | 2,000 |
| 116 Vanderbilt | 924 | 560 | 1,750 | 226 | 2,050 |
| 117 Virginia | — | 1,060 | 1,303 | 379 | 708 |
| 118 Virginia Polytech. | 428 | 107 | 3,000 | 175 | 2,461 |
| 119 Washington (St. Louis) | 966 | 548 | 1,908 | 35 | 1,723 |
| 120 Washington (Seattle) | — | 791 | 1,500 | 1,015 | 3,000 |
| 121 Washington State | 1,093 | 818 i | 2,881 | — | — |
| 122 Wayne State | — | 36 | 5,300 | 500 | 2,500 |
| 123 West Virginia | — | — | — | — | — |
| 124 Wisconsin | — j | 3,212 | 1,205 | 1,880 | 3,087 |
| 125 Wyoming | 1,352 | 95 | 3,654 | 240 | 2,842 |
| 126 Yale | 2,582 | 1,906 | 3,196 | 458 | 969 |
| 127 Yeshiva | 350 | 150 | 2,000 | 100 | 2,000 |

a : 84人の NDEA - フェロー-第IV条 (平均2400ドル, 総額 201,600ドル) を含む。 b : 大学院学生
353,000ドル, Health Professions Loans and Scholarship 88,000ドル を含む。 c : Grant も含
ドル) を含む。 f : この内1066人が faculty and staff scholarship を受けている。 g : 教育
804,000ドル, NDEA - awards - 第VI条 9人 21,194ドル, NSF - awards 43人 215,500ドル,
助手手当を含む。 j : 全キャンパスの学生についてのデータである。 k : 学部を含む。

(1966 - 67 年) 続 ぎ

| 研究助手手当 | | ロ - ソ ン | | 大学院学生 奨助額小計 千ドル | 学部・大学院学生 奨助額合計 千ドル | |
|---------|-------|---------|-------|-----------------------|--------------------------|-----|
| 人 数 | 平均額ドル | 人 数 | 平均額ドル | | | |
| — | — | — | — | — | 13,787 | 66 |
| 580 | 2,400 | 227 | 1,275 | 4,851 a | 12,024 | 67 |
| — | — | — | 712 | 2,706 | 17,614 b | 68 |
| — | — | — | — | 444 | 2,614 | 69 |
| 135 | 212 | 92 | 830 | 236 | 3,023 | 70 |
| 41 | 5,305 | 1,082 | 473 | 4,363 | 7,041 | 71 |
| 116 | 2,330 | 10 | 639 | 689 | 1,743 | 72 |
| — | — | — | — | 450 | 8,316 | 73 |
| 222 | 1,921 | 454 | 575 | 2,565 | 4,291 | 74 |
| 87 | 2,614 | 39 | 608 | 948 | 2,164 | 75 |
| 127 | 2,900 | 92 | 800 | 1,828 | 3,636 | 76 |
| 10 | 2,500 | 21 | 1,374 | 144 | 162 | 77 |
| 693 | 1,750 | 752 | 627 | 4,072 | 5,184 | 78 |
| 342 | 3,051 | 45 | 667 | 2,660 | 4,070 | 79 |
| 5 | 2,300 | 114 | 902 | 607 | 2,461 | 80 |
| — | — | 25 | 933 | 261 | 1,442 | 81 |
| 322 | 3,539 | 800 | 950 | 5,214 | 7,200 | 82 |
| 100 | 3,600 | 46 | 785 | 1,823 e | 3,742 | 83 |
| 830 | 2,425 | 500 | 700 | 7,484 | 10,314 | 84 |
| — | — | — | — | — | 2,599 | 85 |
| 283 | 2,132 | 290 | 317 | 1,782 | 5,747 | 86 |
| 250 | 2,384 | 300 | 840 | 2,971 | 5,549 | 87 |
| 185 | 3,846 | 792 | 320 | 2,243 | 4,447 | 88 |
| — | — | 998 | 1,031 | 5,211 | 9,797 | 89 |
| 898 | 2,186 | 375 | 665 | 5,593 | 7,952 | 90 |
| 146 | 3,300 | 547 | 1,070 | 3,564 | 5,422 | 91 |
| 215 | 4,075 | 148 | 751 | 4,177 | 6,908 | 92 |
| 1,050 | 3,000 | — | — | 10,350 | 13,028 | 93 |
| 140 | 4,300 | 82 | 1,125 | 2,429 | 4,406 | 94 |
| — | — | 407 | 554 | 1,988 | 2,868 | 95 |
| 121 | 3,954 | — | — | 2,600 | 3,783 | 96 |
| — | — | — | — | — | — | 97 |
| 366 | 2,934 | 43 | 1,163 | 3,187 | 5,131 | 98 |
| 7 | 3,000 | 29 | 952 | 639 | 1,929 | 99 |
| 26 | 2,860 | 656 | 1,000 | 1,954 | 3,689 | 100 |
| — | — | 554 | 319 | 1,590 | 2,375 | 101 |
| 30 | 3,200 | 79 | 514 | 664 | 1,232 | 102 |
| 739 | 1,600 | 507 | 1,000 | 5,042 | 6,066 | 103 |
| 259 | 245 | 100 | 600 | 524 | 5,112 | 104 |
| 1,580 g | 2,710 | 1,525 | 1,043 | 8,910 | 10,979 | 105 |
| — | — | — | — | 411 | 3,932 h | 106 |
| — | — | 643 | 1,150 | 3,622 | 3,622 | 107 |
| 62 | 2,400 | 355 | 1,336 | 1,425 | 3,724 | 108 |
| 604 | 2,000 | 148 | 782 | 2,403 | 3,870 | 109 |
| — | — | 310 | 685 | 4,932 | 6,269 | 110 |
| 875 | 2,250 | 1,440 | 250 | 3,881 | 5,691 | 111 |
| 24 | 2,789 | 295 | 813 | 900 | 2,014 | 112 |
| 291 | 2,856 | 139 | 1,351 | 2,515 | 3,693 | 113 |
| 275 | 2,700 | 488 | 653 | 2,601 | 4,182 | 114 |
| — | 2,300 | 75 | 1,136 | 85 | 1,673 | 115 |
| 95 | 1,810 | 389 | 887 | 1,958 | 3,276 | 116 |
| — | — | 459 | 807 | 2,021 | 2,931 | 117 |
| 141 | 3,433 | 45 | 700 | 1,267 | 2,210 | 118 |
| 217 | 1,639 | 387 | 665 | 1,719 | 3,623 | 119 |
| 606 | 2,850 | 841 | 350 | 5,926 | 9,875 | 120 |
| — | — | 350 | 327 | 2,471 | 3,524 | 121 |
| — | — | 738 | 850 | 2,292 | 3,679 | 122 |
| — | — | 310 | 1,396 | 433 | 1,829 | 123 |
| 1,500 | 2,520 | 7,179 k | 483 | 13,457 | 18,741 | 124 |
| 93 | 2,842 | 184 | 674 | 1,418 | 4,371 | 125 |
| 218 | 2,870 | 479 | 687 | 7,490 | 10,320 | 126 |
| 100 | 2,000 | 150 | 500 | 775 | 2,950 | 127 |

の学内アルバイト 4,800,000 ドル, work-study position 368,000 ドル, Educational Opportunity Grants
 助。 d : 研究助手手当も含む。 e : 80人の tuition scholarship (平均 1,200 ドル, 総額 96,000
 助手手当も含む。 h : special awards 22人 10,137 ドル, NDEA-awards - 第IV条 156人
 NASA-awards 26人 145,600 ドル, その他の grants 45人 178,460 ドルを含む。 i : 教育・研究

別表Ⅻ 項目別教育・一般費（1966—67年）

| 大 学 名 | 教 育 | | | |
|-------------------------------------|--------------|------------------|---------------|--------------|
| | 授 業 料 千ドル | 一般費政府支出 金 千ドル | 基本財産収入 千ドル | 寄 付 金 千ドル |
| 1 Alabama | 5,200 | 13,172 | 400 | 300 |
| 2 American | 12,504 | — | 116 | 1,271 |
| 3 Arizona | 8,722 | 12,955 | 350 | 524 |
| 4 Arizona State* | 8,171 | 11,863 | 88 | 41 |
| 5 Arkansas | 2,962 | 18,354 | 7 | 50 |
| 6 Auburn* | 4,507 | 9,491 | — | 73 |
| 7 Baylor* a | 4,707 | 85 | 763 | 955 |
| 8 Boston | 29,106 | — | 538 | 10,844 g |
| 9 Brandeis | 4,468 | — | 853 | 5,636 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 5,462 | — | 194 | 354 |
| 11 Brown | 8,993 | — | 1,886 | 7,206 |
| 12 Bryn Mawr | 1,663 | — | 1,117 | 316 |
| 13 Buffalo | 6,442 | 36,282 | 1,400 | 453 |
| 14 California, Berkeley b | 44,149 | 239,441 | 7,975 | 13,462 |
| 15 Calif. Davis | — | — | — | — |
| 16 Calif. Los Angeles | — | — | — | — |
| 17 Calif. Riverside* | — | — | — | — |
| 18 Calif. San Diego* | — | — | — | — |
| 19 Calif. Santa Barbara* | — | — | — | — |
| 20 Cal. Tech. | 2,620 | — | 3,709 | 4,159 |
| 21 Carnegie-Mellon | 7,199 | — | 1,696 | 745 |
| 22 Case Western Reserve | 12,849 | — | 5,108 | (f) |
| 23 Catholic | 7,211 | — | 188 | 2,109 h |
| 24 Chicago | 17,477 | — | 10,274 | 13,595 |
| 25 Cincinnati | 14,022 | 5,444 | 1,805 | (f) |
| 26 Claremont | 716 | — | 528 | 128 |
| 27 Clark | 2,799 | — | 400 | 451 |
| 28 Colorado | 10,129 | 22,719 | 160 | 586 |
| 29 Colorado State C.* | 2,169 | 3,753 c | — | — |
| 30 Colorado State U.* | 4,290 | 8,710 | 30 | 180 |
| 31 Columbia | 24,250 | 66,246 | 14,886 | 18,487 |
| 32 Connecticut | 2,773 | 21,134 | 95 | 1,284 |
| 33 Cornell | 19,943 | 28,037 | 6,503 f | 8,314 |
| 34 Delaware | 4,014 | 8,862 | 1,400 | 1,496 |
| 35 Denver | 8,853 | — | 436 | 699 |
| 36 Duke | 8,716 | — | 8,211 | 9,203 |
| 37 Emory | 6,461 | 1,481 | 2,605 | 1,065 |
| 38 Florida | 5,322 | 33,779 | — | 23,903 i |
| 39 Florida State | 3,182 | 15,947 | 2 | — |
| 40 Fordham | 11,616 | — | 237 | 21 |
| 41 George Peabody | 2,396 | — | 601 | 413 |
| 42 George Washington | 15,870 | — | 383 | 1,949 |
| 43 Georgetown | 10,645 | — | 525 | 442 |
| 44 Georgia | 6,905 | 26,074 | 303 | — |
| 45 Georgia Tech. | 4,497 | 6,564 | 32 | 890 |
| 46 Harvard | 25,543 | 55,430 d | 30,884 | 18,313 |
| 47 Hawaii* | 2,022 | 28,664 e | — | 915 |
| 48 Houston | 2,542 | 10,608 | 424 | — |
| 49 Illinois | 5,645 | 99,247 | 243 | 35,742 j |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 5,591 | — | 125 | 711 |
| 51 Indiana | 10,990 | 44,626 c | 236 | 6,180 |
| 52 Iowa | 7,140 | 35,356 | 22 | 5,480 |
| 53 Iowa State | 5,825 | 25,050 | 30 | (f) |
| 54 Johns Hopkins | 8,895 | — | 4,839 | 1,093 |
| 55 Kansas | 4,799 | 15,103 | 20 | 35 |
| 56 Kansas State | 3,194 | 10,376 | 24 | 4 |
| 57 Kent State* | 11,173 | 10,389 | — | 12 |
| 58 Kentucky | 6,138 | 37,957 | 47 | 1,923 |
| 59 Lehigh | 7,135 | — | 1,443 | 629 |
| 60 Louisiana State | 5,275 | 40,656 | 15 | (f) |
| 61 Loyola (Ill.) | 9,478 | — | 212 | 1,506 |
| 62 M. I. T. | 15,068 | — | 4,859 | 9,970 |
| 63 Maryland | 14,001 | 41,204 | 117 | 269 |
| 64 Massachusetts | 3,920 | 29,130 | 131 | 670 |
| 65 Miami* | 13,479 | 1,383 | 468 | 321 |

a : ワコー・キャンパスのデータ。 b : カリフォルニア大学全分校の合計額。
 済金。 e : 授業料、基本財産収入など州への貸付、再流用によって生じた収入を含む。
 i : 補助金、委託費、寄付金 (donation) の値。 j : 補助金または委託費を含む。
 m : (f), (g) のデータも含む。 n : (f) を含む。 o : (f), (g), (h) を含む。
 r : 病院収入を含む。 s : 数値がないため、各項目の和を合計値として記入した (編者

| 一般費収入 | | | | | | 合 計 千ドル | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|------------|------------|--|
| 助成研究費 千ドル | 特別研究費 千ドル | 助成事業費 千ドル | 事業収入(1) 千ドル | 事業収入(2) 千ドル | 合 計 千ドル | | |
| 4,000 | — | — | 1,134 | 11,376 | 24,772 | 1 | |
| 3,122 | — | — | 528 | 33 | 17,669 | 2 | |
| 12,869 | 5,231 | 1,275 | 572 | 1,346 | 44,234 | 3 | |
| 1,150 | 366 | 3,089 | 156 | 66 | 25,041 | 4 | |
| 5,000 | 3,355 | 500 | 2,357 | 11 | 33,651 | 5 | |
| 1,829 | 6,025 | 6,210 | 254 | 2,586 | 19,401 | 6 | |
| 211 | — | 8 | 36 | 42 | 7,286 | 7 | |
| — | — | — | — | — | 41,594 | 8 | |
| 5,700 | — | 150 | — | — | 16,848 | 9 | |
| 3,617 | — | 2,047 | — | — | 11,747 | 10 | |
| 3,811 | — | — | 676 | 198 | 23,688 | 11 | |
| 113 | — | — | — | 228 | 3,505 | 12 | |
| 9,724 | — | — | — | 17 | 54,626 | 13 | |
| 110,085 | — | 28,341 | 3,581 | 34,826 | 491,294 | 14 | |
| — | — | — | — | — | — | 15 | |
| — | — | — | — | — | — | 16 | |
| — | — | — | — | — | — | 17 | |
| — | — | — | — | — | — | 18 | |
| — | — | — | — | — | — | 19 | |
| 13,313 | — | — | — | — | 26,607 | 20 | |
| 7,410 | — | 1,000 | — | 155 | 18,700 | 21 | |
| 16,918 | — | (a) | 14,108 p | 584 | 50,711 | 22 | |
| 3,030 | — | — | — | 322 | 13,031 | 23 | |
| 134,500 | — | — | — | 16,745 | 198,464 | 24 | |
| (b) | — | 6,075 m | 150 | 11,115 | 44,063 | 25 | |
| 140 | — | — | — | — | 2,974 | 26 | |
| 1,726 | — | — | — | — | 5,415 | 27 | |
| 12,946 | — | 6,887 | 832 | 8,558 | 63,442 | 28 | |
| 941 | — | — | — | — | 6,863 | 29 | |
| 8,500 | — | 6,200 | 600 | — | 28,840 | 30 | |
| — | — | 3,426 | — | — | 128,145 | 31 | |
| 3,749 | 407 | 2,410 | 391 | 966 | 33,476 | 32 | |
| — | 28,832 l | — | — | 11,554 | 102,619 | 33 | |
| 1,249 k | — | — | 163 | — | 16,694 | 34 | |
| 5,821 | — | 1,844 | — | 77 | 17,892 | 35 | |
| 12,834 | — | 2,411 | 3,763 | 12,274 r | 58,198 | 36 | |
| 4,796 | — | 1,630 | — | 1,638 | 20,147 | 37 | |
| — | — | — | 7,623 | — | 72,249 | 38 | |
| (c) | (a) | 10,336 m | 14 | — | 30,633 | 39 | |
| 813 | — | 690 | 463 q | — | 13,980 | 40 | |
| 2,780 | — | — | — | 393 | 6,869 | 41 | |
| 9,000 | — | — | — | — | 35,271 | 42 | |
| 10,887 | — | 9,822 | 173 | 536 | 33,255 | 43 | |
| 8,723 | — | — | 3,469 | — | 45,765 | 44 | |
| 1,667 | — | — | 625 | — | 14,393 | 45 | |
| — | — | — | — | — | 148,314 s | 46 | |
| 8,436 | — | 10,185 | 457 | 2,838 | 55,461 | 47 | |
| 214 | — | — | 293 | — | 14,618 | 48 | |
| — | — | — | 2,972 | 2,856 | 147,623 | 49 | |
| 3,077 | — | — | 178 | — | 11,124 | 50 | |
| 9,649 | — | 3,600 | — | — | 83,432 | 51 | |
| 9,547 | — | — | 31 | 9,501 | 69,060 | 52 | |
| — | — | 20,926 n | 361 | 2,009 | 55,344 | 53 | |
| 23,510 | — | 6,485 | — | 367 | 52,472 | 54 | |
| 4,281 | — | 1,784 | 1,634 | — | 27,656 | 55 | |
| 3,973 | 4,398 | 1,534 | 803 | 8 | 31,172 | 56 | |
| 551 | — | 1,038 | 478 | — | 24,595 | 57 | |
| 8,515 | 5,865 | 1,156 | 2,971 | 295 | 68,745 | 58 | |
| 2,227 | — | 516 | — | 6 | 13,202 | 59 | |
| (d) | (b) | 9,534 o | 1,325 | 359 | 58,119 | 60 | |
| 2,468 | 318 | — | — | 409 | 14,556 | 61 | |
| 165,132 | — | — | — | — | 195,029 s | 62 | |
| 13,272 | — | — | — | 11,134 | 88,101 | 63 | |
| 4,913 | 186 | — | — | — | 39,068 | 64 | |
| 11,317 | 86 | 2,436 | — | 921 | 31,073 | 65 | |

c : 州政府支出分。 d : 補助金, 委託費に関連した直接的また間接的支出に対する政府の返
f : 投資に対する収入。 g : 補助金, 契約金を含む。 h : 教会からの寄付を含む。
k : 研究委託費を含む。 l : 機関研究費 (organized research) をこの欄に記入した。
p : (i), (a)および学生奨励金を含む。 q : 奉仕に対する収入 (contributed research)。

別表Ⅹ 項目別教育・一般費(1966—67年) 続き

| 大 学 名 | 教 育 | | | |
|--------------------------------------|--------------|---------------------|---------------|--------------|
| | 授 業 料 千ドル | 一般費政府支出 金 千ドル | 基本財産収入 千ドル | 寄 付 金 千ドル |
| 66 Michigan | 18,362 | 58,095 | 4,470 l | 12,619 m |
| 67 Michigan State | 15,223 | 44,566 | 429 | 1,498 |
| 68 Minnesota | 16,390 | 82,889 h | (f) | 9,107 m |
| 69 Mississippi * | 2,856 | 4,804 | — | — |
| 70 Mississippi State * | 2,926 | 11,347 | 14 | 203 |
| 71 Missouri a | 7,433 | 35,775 | 49 | — |
| 72 Montana State * | 1,435 | 6,495 | 129 | 11 |
| 73 New York | 42,667 | — | 2,382 | 9,021 |
| 74 Nebraska b | 5,214 | 18,256 i | 206 | 8,035 o |
| 75 New Hampshire * | 3,556 | 6,645 | 96 | 181 |
| 76 New Mexico | 3,062 | 10,245 | 90 | 349 |
| 77 New School | 2,600 | — | 50 | 200 |
| 78 North Carolina c | 6,501 | 21,525 | 605 | 1,107 p |
| 79 No. Carolina State d | 3,686 | 16,134 | 40 | 2,496 |
| 80 North Dakota | 2,474 | 5,550 | 103 | 1,886 q |
| 81 North Texas State * | 1,856 | 8,141 | — | — |
| 82 Northwestern | 19,839 | — | 4,831 | 2,079 |
| 83 Notre Dame | 15,972 | — | 2,085 | 3,245 |
| 84 Ohio State | 21,122 | 44,267 | 3,010 | 3,685 |
| 85 Oklahoma | 4,309 | 8,546 | 3,440 | — |
| 86 Oklahoma State | 4,003 | 8,834 | — | — |
| 87 Oregon | 4,163 | 10,332 | 17 | 130 |
| 88 Oregon State | 3,782 | 20,372 | 11 | 47 |
| 89 Pennsylvania | 26,251 | 9,712 | 3,821 | 7,240 |
| 90 Penn. State | 19,754 | 38,952 | 26 | 2,249 |
| 91 Pittsburgh | 21,068 | 8,632 | 1,879 | 1,236 |
| 92 Princeton | 9,150 | — | 7,032 | 5,868 |
| 93 Purdue | 7,840 | 39,560 | 75 | 361 |
| 94 Rensselaer e | 7,061 | 427 | 1,967 | 236 |
| 95 Rice | 2,340 | — | 4,317 | 483 |
| 96 Rochester | 11,925 | — | 1,707 | 850 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 10,240 | 30,411 | 488 | 2,006 |
| 99 St. John's | 12,301 | — | — | 370 |
| 100 St. Louis | 12,183 | — | 416 | 2,335 |
| 101 South Carolina * | 5,526 | 8,485 | 20 | — |
| 102 South Dakota * | — | 5,142 j | — | (f) |
| 103 Southern California | 21,642 | — | 849 | 3,493 |
| 104 Southern Illinois * | 3,153 | 41,360 | — | 14 |
| 105 Stanford | 18,115 | — | 6,800 | 9,400 |
| 106 Syracuse | 30,609 | — | 338 | 395 |
| 107 Teachers College * | 5,925 | — | 687 | 10 |
| 108 Temple | 12,906 | 20,291 | 109 | 1,330 |
| 109 Tennessee | 9,065 | 29,273 | 50 | 8,964 |
| 110 Texas f | 4,316 | 27,667 | 992 | 2,356 |
| 111 Texas A&M | 1,900 | 11,873 | 9 | — |
| 112 Tufts | 8,578 | — | 800 | 502 |
| 113 Tulane | 9,557 | — | 2,055 | 3,286 |
| 114 Utah | 5,488 | 11,813 | 87 | 1,789 |
| 115 Utah State * | 2,804 | 5,781 | — | 1 |
| 116 Vanderbilt | 7,423 | — | 3,237 | 288 |
| 117 Virginia | 6,856 | 14,162 | 2,028 | 1,020 |
| 118 Virginia Polytech. | 4,145 | 17,037 | 16 | 217 |
| 119 Washington (St. Louis) | 10,252 | — | 3,763 | 5,278 |
| 120 Washington (Seattle) | 8,670 | 45,536 | 3,145 | 1,371 |
| 121 Washington State | 2,014 | 17,574 | 7 | 2 |
| 122 Wayne State | 8,460 | 32,319 | 111 | (f) |
| 123 West Virginia | 4,260 | 22,908 k | — | 3,253 |
| 124 Wisconsin g | 26,241 | 63,642 | 276 | 9,562 |
| 125 Wyoming | 3,147 | 10,425 | 408 | 51 |
| 126 Yale | 20,500 | — | 18,760 | 7,300 |
| 127 Yeshiva | 4,078 | — | 153 | 6,244 |

a : コロンビア・キャンパスのデータ。 b : リンカーン・キャンパスのデータ。
e : トロイ・キャンパスとグラジュエート・スクールのデータを加算。 f : オーステン・キ
千ドル(教育・農業研究・エクステンション3,942千ドルおよびスポンサー付きの研究・訓練 26,954
service) 収入49千ドルを加算した。 k : 研究のための政府支出金を含む。 l : 投資
助金(連邦以外からの)を含む。 n : (f)および補助金, 研究委託費を含む。
q : 補助金を含む。 r : サービスに対する収入も含む。 s : 訓練, 相談サービスに対
む。 w : (=)を含む。 x : 病院収入を意味する。 y : 数値がないので各項目の

| 一般 費 収 入 | | | | | | 合 計 千ドル | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|------------|------------|--|
| 助成研究費 千ドル | 特別研究費 千ドル | 助成事業費 千ドル | 事業収入(1) 千ドル | 事業収入(2) 千ドル | 合 計 千ドル | | |
| 60,008 l | — | — | (f) | 5,974 t | 156,968 | 66 | |
| 17,513 | 4,932 | 11,214 | 721 | 8,656 | 106,561 | 67 | |
| — | — | — | 25,313 | — | 133,699 | 68 | |
| 881 r | — | — | — | — | 8,075 | 69 | |
| 5,201 | 1,243 | 1,484 | 11 | 386 | 22,877 | 70 | |
| 1,143 | 4,143 | 5,775 | 7,972 | — | 61,146 y | 71 | |
| 2,807 | — | — | 37 | 84 | 11,081 | 72 | |
| 46,204 | — | — | 23,824 | 1,882 | 128,158 | 73 | |
| — | — | — | 6,223 | 293 | 41,222 | 74 | |
| (f) | 323 | 1,836 t | 1,992 | 1,341 | 17,136 | 75 | |
| 5,095 | — | 4,315 | 320 | — | 26,884 | 76 | |
| 180 | — | 48 | 13 | — | 3,246 | 77 | |
| 11,484 | — | 7,413 | 1,319 | 7,140 | 57,375 | 78 | |
| 5,199 | 5,114 | 1,509 | 1,038 | 3,750 | 38,966 | 79 | |
| — | — | — | 62 | 48 | 10,892 | 80 | |
| 397 | — | 335 | 15 | 6 | 10,805 | 81 | |
| 14,677 | — | 5,111 | 794 | 814 | 49,833 | 82 | |
| 8,293 | — | — | 520 | — | 32,968 | 83 | |
| 17,620 | — | 10,875 | 4,795 | 1,540 | 154,583 | 84 | |
| — | — | — | 2 | 67 | 17,625 | 85 | |
| 2,500 | 122 | 1,151 | 1,726 | 412 | 18,749 | 86 | |
| 13 | 241 | 12,463 | 196 | 26 | 27,580 | 87 | |
| 5,758 | 955 | 2,241 | 1,927 | 180 | 35,279 | 88 | |
| 33,348 | — | — | 2,236 | 25,549 | 108,158 | 89 | |
| 24,031 | — | 6,714 | 2,123 | 578 | 96,639 | 90 | |
| 23,231 s | — | — | 923 | — | 57,617 | 91 | |
| 26,931 | — | — | — | — | 50,951 | 92 | |
| 18,619 | — | — | 7,285 | 3,403 | 77,143 | 93 | |
| 4,667 | — | 841 | 76 | 185 | 16,574 | 94 | |
| 7,921 | — | 1,089 | — | — | 16,616 | 95 | |
| 18,300 | 4,966 | 1,611 | 15,991 | — | 63,840 | 96 | |
| — | — | — | — | — | — | 97 | |
| 11,618 | — | 734 | 118 | 256 | 57,975 | 98 | |
| — | — | — | — | — | 13,176 | 99 | |
| 3,500 | 35 | 1,900 | — | 322 | 21,496 | 100 | |
| 4,585 | 20 | 78 | 127 | 187 | 12,934 | 101 | |
| (h) | — | 3,176 u | — | — | 8,465 | 102 | |
| 19,555 | — | — | 2,917 | 677 | 50,573 | 103 | |
| 8,850 | 1,573 | 2,139 | 2,184 | 596 | 61,047 | 104 | |
| 63,610 | 2,315 | 5,100 | 2,100 | 775 | 109,215 | 105 | |
| 6,010 | — | 5,633 | — | 1,320 | 47,045 | 106 | |
| 6,489 | — | 972 | — | — | 15,604 | 107 | |
| 4,606 | — | 4,018 | 10 | 236 | 44,251 | 108 | |
| 5,488 | — | — | 6,484 | — | 59,610 | 109 | |
| — | 20,218 | — | 144 | 57 | 56,313 | 110 | |
| 1,526 | — | 1,621 | 41 | 241 | 18,736 | 111 | |
| 5,450 | — | 4,825 | — | 545 | 20,899 | 112 | |
| 13,162 | — | — | — | — | 30,163 | 113 | |
| 13,010 | 849 | 423 | 162 | 949 | 36,724 | 114 | |
| 3,027 | 1,940 | 3,554 | 9 | 122 | 17,261 | 115 | |
| 5,868 | — | 4,128 | — | 10,938 | 33,651 | 116 | |
| 7,386 | — | 2,788 | 331 | 9,970 | 44,543 | 117 | |
| 2,101 | — | — | 28 | 484 | 24,601 | 118 | |
| — | 15,011 | 5,038 | 2,954 | 3,814 | 47,879 | 119 | |
| 33,394 | 39 | 1,559 | 459 | 5,815 | 106,635 | 120 | |
| 5,475 | 5,565 | 4,823 | 397 | 390 | 37,204 | 121 | |
| (h) | (f) | 12,209 v | (=) | 2,121 w | 55,516 | 122 | |
| 4,625 | — | — | 1,156 | 5,138 | 41,382 | 123 | |
| 36,645 | 9,034 | 1,283 | 1,839 | 13,652 x | 163,173 | 124 | |
| 1,900 | 516 | 3,526 | 202 | 11 | 20,976 | 125 | |
| (f) | (h) | 26,976 u | 90 | 2,500 | 79,636 | 126 | |
| 20,467 | — | — | 8,315 | 6,801 | 45,611 | 127 | |

c: チャペルヒル・キャンパスのデータ。 d: ラレー・キャンパスのデータ。
 キャンパスのデータ。 g: マジソン・キャンパスのデータ。 h: 連邦支出金 30,997
 千ドル)を加算した。 i: 州政府支出分のみ。 j: 学生健康相談 (student health
 に対する収入を含む。 m: 連邦からの研究委託費・補助金 60,000千ドルを加算。さらに補
 o: 補助金、委託金(研究補助金込み)を含む。 p: 補助金、遺贈金を含む。
 する収入を含む。 l: (f)を含む。 u: (f), (h)を含む。 v: (f), (h), (j)を含
 和を合計値として記入した(編者)。

別表Ⅱ 項目別経常費収入，施設拡充費，各項目収入の経常費全収入に対する比率（1966—67年）

| 大 学 名 | 学生援助費収入 千ドル | 補助活動収入 千ドル | 経常費全収入 千ドル | 設備・施設拡充費 千ドル |
|-------------------------------------|----------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1 Alabama | 1,025 | 5,800 | 31,597 | 6,000 |
| 2 American | 367 | 3,069 | 21,105 | 7,347 |
| 3 Arizona | 2,496 | 8,300 | 55,030 | 14,909 |
| 4 Arizona State* | 108 | 282 | 25,430 | 8,254 |
| 5 Arkansas | 300 | 6,500 | 40,451 | 6,300 |
| 6 Auburn* | 759 | 8,892 | 41,287 | 446 |
| 7 Baylor* | 594 | 4,825 | 12,705 | 294 |
| 8 Boston | 3,575 | 9,599 | 54,769 | 23,494 |
| 9 Brandeis | — | 2,389 | 19,197 | 5,345 |
| 10 Brooklyn Polytech. | 731 | 429 | 12,901 | 1,808 |
| 11 Brown | 1,756 | 3,479 | 28,922 | — |
| 12 Bryn Mawr | 890 | 958 | 5,353 | — |
| 13 Buffalo | 2,524 | 6,466 | 63,616 | 1,285 |
| 14 California, Berkeley | 15,851 | 30,262 | 537,407 | 126,771 |
| 15 Calif., Davis | — | — | — | — |
| 16 Calif., Los Angeles | — | — | — | — |
| 17 Calif., Riverside* | — | — | — | — |
| 18 Calif., San Diego* | — | — | — | — |
| 19 Calif., Santa Barbara* | — | — | — | — |
| 20 Cal. Tech. | 2,178 | 1,565 | 30,350 | 9,396 |
| 21 Carnegie-Mellon | 1,200 | 3,700 | 23,600 | 1,554 |
| 22 Case Western Reserve | 14,108 b | 4,615 | 55,326 | 10,836 |
| 23 Catholic | 1,754 | 2,554 | 17,339 | 2,205 |
| 24 Chicago | 12,997 c | 12,351 | 210,815 | 10,132 |
| 25 Cincinnati | 568 | 7,330 | 51,961 | 15,294 |
| 26 Claremont | 390 | 202 | 3,566 | 1,802 |
| 27 Clark | 132 | 1,100 | 6,813 | 3,000 g |
| 28 Colorado | 2,032 | 10,834 | 76,308 | 10,334 |
| 29 Colorado State C.* | 1,353 | 3,815 | 19,531 | 7,500 g |
| 30 Colorado State U.* | 650 | 7,280 | 36,770 | 8,500 |
| 31 Columbia | — | 6,231 | 134,376 | 5,134 |
| 32 Connecticut | 2,803 | 7,803 | 44,081 | 10,984 |
| 33 Cornell | 4,160 | — | 118,570 d | 118,570 |
| 34 Delaware | 1,045 | 4,729 | 23,716 | 8,098 |
| 35 Denver | 126 | 3,454 | 21,472 | 3,548 |
| 36 Duke | 1,970 | 6,341 | 66,509 | 15,420 |
| 37 Emory | 1,486 | 3,229 | 24,862 | 3,619 |
| 38 Florida | 1,024 | 8,541 | 82,470 | 19,312 |
| 39 Florida State | 879 | 8,403 | 39,916 | 9,379 |
| 40 Fordham | 840 | 1,864 | 16,682 | 8,317 h |
| 41 George Peabody | 33 | 819 | 7,721 | 2,499 |
| 42 George Washington | 248 | 3,076 | 38,595 | 1,750 |
| 43 Georgetown | 277 | 4,243 | 37,775 | 1,534 |
| 44 Georgia | 1,796 | 5,162 | 52,723 | 15,247 |
| 45 Georgia Tech. | 1,018 | 3,446 | 18,856 | — |
| 46 Harvard | 13,734 | — | 151,356 | 20,033 i |
| 47 Hawaii* | 319 | 2,808 | 58,588 | — |
| 48 Houston | 186 | 3,754 | 18,558 | 7,500 |
| 49 Illinois | 4,132 | 23,996 | 175,751 | 38,313 |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | 479 | 3,173 | 14,776 e | 6,352 |
| 51 Indiana | 3,505 | 34,086 | 121,022 | 27,788 |
| 52 Iowa | 3,034 | 10,485 | 82,579 | 14,142 |
| 53 Iowa State | 2,144 | 16,527 | 74,170 | 10,670 |
| 54 Johns Hopkins | 4,651 | 3,509 | 60,631 | 9,260 |
| 55 Kansas | 1,724 | 5,686 | 35,067 | 5,347 |
| 56 Kansas State | 1,669 | 7,848 | 40,689 | 7,311 |
| 57 Kent State* | 425 | 8,933 | 33,954 | 21,544 |
| 58 Kentucky | 1,244 | 8,905 | 78,894 | 26,474 |
| 59 Lehigh | 1,100 | 2,456 | 16,758 | 5,339 |
| 60 Louisiana State | 2,457 | 14,502 | 77,411 f | 19,764 |
| 61 Loyola (Ill.) | 948 | 1,781 | 17,286 | 7,443 |
| 62 M. I. T. | — | 5,081 | 200,109 | 14,142 |
| 63 Maryland | 672 | 10,921 | 99,694 | 15,618 |
| 64 Massachusetts | 1,500 | 1,038 | 41,606 | — |
| 65 Miami* | 683 | 5,154 | 36,911 | 6,538 |

a : カリフォルニア大学全分校のデータ。 b : 寄付金，助成事業費，事業収入(1)，学生援助は除外してある。 d : これまでの項の中に含めていない年金 237 千ドルも加算した。
 いない。 f : 施設費資金への繰入金 2,332 千ドルを含む。 g : 工事中のものについて支出のための寄付金をこの欄に記入した。

| 教育・一般費収入の全収入に対する割合 | | | | | 教育・一般費 合計 全収入 % | 学生援助費 全収入 % | 補助的事業 収入 全収入 % | |
|--------------------|----------------|-----------------|--------------|--------------------------------|-----------------------|----------------|----------------------|----|
| 授業料 全収入 % | 政府支出金 全収入 % | 基本財産収入 全収入 % | 寄付金 全収入 % | 助成研究費+特別研 究費+助成事業費 全収入 % | | | | |
| 16.5 | | 1.3 | 0.9 | 12.7 | 78.4 | 3.2 | 18.4 | 1 |
| 59.2 | 41.7 | 0.5 | 6.0 | 14.8 | 83.7 | 12.0 | 14.5 | 2 |
| 15.8 | 23.5 | 2.3 | 1.0 | 35.2 | 80.4 | 4.5 | 15.1 | 3 |
| 32.1 | 46.6 | 1.1 | 0.2 | 18.1 | 98.5 | 0.4 | 1.1 | 4 |
| 7.3 | 45.4 | — | 0.1 | 21.9 | 83.2 | 0.7 | 16.1 | 5 |
| 10.9 | 23.0 | — | 0.2 | 34.1 | 47.0 | 8.5 | 21.5 | 6 |
| 37.0 | 0.7 | 6.0 | 7.5 | 1.7 | 57.3 | 12.3 | 38.0 | 7 |
| 53.1 | — | 1.0 | 19.8 | — | 75.9 | 6.5 | 17.5 | 8 |
| 23.3 | — | 4.4 | 29.4 | 30.5 | 87.8 | — | 12.4 | 9 |
| 42.3 | — | 1.5 | 2.7 | 43.9 | 91.1 | 5.7 | 3.3 | 10 |
| 31.1 | — | 6.5 | 24.9 | 13.2 | 81.9 | 6.1 | 12.0 | 11 |
| 31.2 | — | 20.9 | 5.9 | 2.1 | 65.5 | 16.6 | 17.9 | 12 |
| 10.1 | 57.0 | 2.2 | 0.7 | 15.3 | 85.9 | 4.0 | 10.2 | 13 |
| 8.2 | 44.6 | 1.5 | 2.5 | 25.8 | 91.4 | 2.9 | 5.6 | 14 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 15 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 16 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 17 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 18 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 19 |
| 8.6 | — | 12.2 | 13.7 | 43.9 | 87.7 | 7.2 | 5.2 | 20 |
| 30.5 | — | 7.2 | 3.2 | 35.6 | 79.2 | 5.1 | 15.7 | 21 |
| 23.2 | — | 9.2 | — | — | — | 25.5 | 8.3 | 22 |
| 41.6 | — | 1.1 | 12.2 | 17.5 | 91.7 | 10.1 | 14.7 | 23 |
| 8.3 | — | 4.9 | 6.4 | 63.8 | 94.1 | 6.2 | 5.9 | 24 |
| 27.0 | 10.5 | 3.5 | — | — | 84.8 | 1.1 | 14.1 | 25 |
| 20.1 | — | 14.8 | 3.6 | 3.9 | 83.4 | 10.9 | 5.7 | 26 |
| 41.1 | — | 5.9 | 6.6 | 25.3 | 79.5 | 2.0 | 16.1 | 27 |
| 13.3 | 30.0 | 0.2 | 0.8 | 26.0 | 83.1 | 2.7 | 14.2 | 28 |
| 11.1 | 19.2 | — | — | 4.8 | 35.1 | 6.9 | 19.5 | 29 |
| 11.7 | 23.7 | — | 0.5 | 40.0 | 78.4 | 1.8 | 19.8 | 30 |
| 18.0 | 49.3 | 11.1 | 13.8 | 2.5 | 95.4 | — | 4.6 | 31 |
| 6.3 | 47.9 | 0.2 | 2.9 | 14.9 | 75.9 | 6.4 | 17.7 | 32 |
| 16.9 | 23.6 | 5.5 | 7.0 | 24.3 | 86.5 | 3.5 | — | 33 |
| 16.9 | 37.4 | 5.9 | 6.3 | 5.3 | 70.4 | 4.4 | 20.0 | 34 |
| 41.2 | — | 2.0 | 3.3 | 35.7 | 83.3 | 0.6 | 16.1 | 35 |
| 13.1 | — | 12.3 | 13.8 | 22.9 | 87.5 | 3.0 | 9.5 | 36 |
| 26.0 | 6.0 | 10.5 | 4.3 | 25.8 | 81.0 | 6.0 | 13.0 | 37 |
| 6.5 | 41.0 | — | 29.0 | — | 87.6 | 1.2 | 10.4 | 38 |
| 8.0 | 40.0 | — | — | 25.9 | 76.7 | 2.2 | 21.1 | 39 |
| 69.6 | — | 1.5 | 0.1 | 9.0 | 83.8 | 5.0 | 11.2 | 40 |
| 31.0 | — | 6.7 | 5.3 | 36.0 | 89.0 | 0.4 | 10.6 | 41 |
| 41.1 | — | 1.0 | 5.0 | 23.3 | 91.4 | 0.6 | 8.0 | 42 |
| 28.2 | — | 1.4 | 1.2 | 54.8 | 88.0 | 0.7 | 2.2 | 43 |
| 13.1 | 49.5 | 0.6 | — | 23.1 | 86.8 | 3.4 | 9.8 | 44 |
| 23.8 | 34.8 | 0.2 | 4.7 | 8.8 | 76.3 | 5.4 | 18.3 | 45 |
| 16.9 | 36.6 | 20.4 | 12.1 | — | — | 9.1 | — | 46 |
| 3.5 | 48.9 | — | 1.6 | 31.8 | 94.7 | 0.5 | 4.8 | 47 |
| 13.7 | 57.2 | 2.3 | — | 1.2 | 78.8 | 1.0 | 20.2 | 48 |
| 3.2 | 56.5 | 0.1 | 20.3 | — | 84.0 | 2.4 | 13.7 | 49 |
| 37.8 | — | 0.8 | 4.8 | 20.8 | 75.3 | 3.2 | 21.5 | 50 |
| 9.1 | 36.9 | 0.2 | 5.1 | 10.9 | 68.9 | 2.9 | 28.2 | 51 |
| 8.6 | 42.8 | — | 6.6 | 11.6 | 83.6 | 3.7 | 12.7 | 52 |
| 7.9 | 33.8 | — | — | 28.2 | 74.6 | 2.9 | 22.3 | 53 |
| 14.7 | — | 8.0 | 1.8 | 49.5 | 86.5 | 7.7 | 5.8 | 54 |
| 13.7 | 43.1 | 0.1 | 0.1 | 17.3 | 78.9 | 4.9 | 16.2 | 55 |
| 7.8 | 25.5 | 0.6 | — | 24.3 | 76.6 | 4.1 | 19.3 | 56 |
| 32.9 | 30.6 | — | — | 4.7 | 72.4 | 1.3 | 26.3 | 57 |
| 7.8 | 48.1 | 0.1 | 2.4 | 19.7 | 87.1 | 1.6 | 11.3 | 58 |
| 42.6 | — | 8.6 | 3.8 | 16.4 | 78.8 | 6.6 | 14.7 | 59 |
| 6.8 | 52.5 | — | — | 12.3 | 75.1 | 3.2 | 18.7 | 60 |
| 54.8 | — | 1.2 | 8.7 | 16.1 | 84.2 | 5.5 | 10.3 | 61 |
| 7.5 | — | 2.4 | 5.0 | 82.5 | — | — | 2.5 | 62 |
| 14.0 | 41.3 | 0.1 | 0.3 | 13.3 | 88.4 | 0.7 | 11.0 | 63 |
| 9.4 | 70.0 | 0.3 | 1.6 | 12.3 | 93.9 | 3.6 | 2.5 | 64 |
| 36.5 | 3.7 | 1.3 | 0.9 | 37.5 | 84.2 | 1.9 | 14.0 | 65 |

費収入の合計値を記入した(编者)。 c: 貸与奨学金、授業料繰延金(deferred tuition)
e: 研究所の委託研究(contract and research services)による収入 30,946千ドルは含まれて
ての値である。 h: 資本的支出のための寄付 2,754千ドルを加算した。 i: 資本的

別表Ⅱ 項目別経常費収入、施設拡充費、各項目収入の経常費全収入に対する比率（1966—67年）

| 大 学 名 | 学生援助費収入 | 補助活動収入 | 経常費全収入 | 設備・施設拡充費 |
|--------------------------------------|---------|----------|-----------|----------|
| | 千ドル | 千ドル | 千ドル | 千ドル |
| 66 Michigan | 1,425 | 43,555 | 202,007 | 43,260 |
| 67 Michigan State | 5,437 | 31,342 | 143,340 | 37,941 |
| 68 Minnesota | — | 25,692 a | 169,292 | — |
| 69 Mississippi * | 2,614 | 3,820 | 11,895 b | 1,815 |
| 70 Mississippi State* | 610 | 5,485 | 28,977 c | 5,559 |
| 71 Missouri | 1,288 | 10,375 | 72,810 | 5,005 |
| 72 Montana State* | 548 | 2,925 | 14,545 | 3,944 |
| 73 New York | 1,644 | 14,917 | 144,718 c | 11,358 |
| 74 Nebraska | 1,637 | 6,291 | 43,169 | 8,120 |
| 75 New Hampshire* | — | 3,644 | 20,780 | 3,763 |
| 76 New Mexico | 1,587 | 5,425 | 33,894 | 9,337 |
| 77 New School | — | — | 3,246 | 4,270 |
| 78 North Carolina | 603 | 18,718 | 76,696 | 13,000 |
| 79 No. Carolina State | 2,331 | 6,219 | 47,516 | 9,198 |
| 80 North Dakota | 1,558 | 4,455 | 16,905 | 1,979 |
| 81 North Texas State* | 446 | 4,805 | 16,056 | 4,255 |
| 82 Northwestern | 3,474 | 7,835 | 61,142 | 8,113 |
| 83 Notre Dame | 1,143 | 5,266 | 39,377 | 4,619 |
| 84 Ohio State | 2,690 | 44,979 | 171,450 | 28,834 |
| 85 Oklahoma | 1,213 | 13,307 | 32,145 | 12,358 |
| 86 Oklahoma State | 1,499 | 9,393 | 29,640 | 7,001 |
| 87 Oregon | 2,933 | 7,458 | 37,972 | 7,706 |
| 88 Oregon State | 2,020 | 5,565 | 42,864 | 8,474 |
| 89 Pennsylvania | 3,762 | 6,069 | 117,988 | 7,594 |
| 90 Penn. State | 374 | 18,202 | 115,215 | 24,952 |
| 91 Pittsburgh | 831 | 8,000 | 70,578 d | 15,327 |
| 92 Princeton | 5,480 | 6,068 | 62,498 | 13,986 |
| 93 Purdue | 5,509 | 20,176 | 102,827 | 15,146 |
| 94 Rensselaer | 1,064 | 2,673 | 20,311 | 7,099 |
| 95 Rice | 1,832 | 2,672 | 21,120 | 5,181 |
| 96 Rochester | 2,503 | — | 66,343 | 39,000 |
| 97 Rockefeller Inst. | — | — | — | — |
| 98 Rutgers | 1,363 | 11,297 | 70,635 | 11,083 |
| 99 St. John's | 769 | 303 | 13,980 | 1,235 |
| 100 St. Louis | 275 | 4,243 | 26,013 | 8,215 |
| 101 South Carolina* | 123 | 2,047 | 23,237 | 9,637 |
| 102 South Dakota* | 372 | 2,211 | 11,047 | 1,493 |
| 103 Southern California | 477 | 6,401 | 57,452 | 12,956 |
| 104 Southern Illinois* | 2,237 | 6,201 | 69,485 | 13,774 |
| 105 Stanford | 7,585 | 11,700 | 128,500 | 11,000 |
| 106 Syracuse | — | 14,721 | 61,766 | 6,404 |
| 107 Teachers College* | 2,532 | 3,738 | 21,166 | 1,824 |
| 108 Temple | 497 | 3,855 | 48,603 | 6,237 |
| 109 Tennessee | 1,629 | 5,946 | 61,185 | 30,342 |
| 110 Texas | 795 | 7,346 | 64,454 | 22,981 |
| 111 Texas A&M | 295 | 6,279 | 25,310 | 5,814 |
| 112 Tufts | 372 | 2,895 | 24,165 | 5,500 |
| 113 Tulane | 1,152 | 5,342 | 36,656 | 2,173 |
| 114 Utah | 2,728 | 13,278 | 52,730 | 15,625 |
| 115 Utah State* | 656 | 4,330 | 22,246 | 5,963 |
| 116 Vanderbilt | 2,883 | 4,743 | 41,277 | 4,592 |
| 117 Virginia | 2,568 | 3,872 | 50,984 | 11,151 |
| 118 Virginia Polytech. | 963 | 5,053 | 30,617 | 6,132 |
| 119 Washington (St. Louis) | 1,384 | 4,428 | 53,510 | 3,391 |
| 120 Washington (Seattle) | 1,995 | 8,784 | 117,414 | 21,790 |
| 121 Washington State | 874 | 6,633 | 44,712 | 10,000 |
| 122 Wayne State | 1,926 | 4,059 | 61,501 | 8,988 |
| 123 West Virginia | 229 | 4,752 | 46,363 | 10,353 |
| 124 Wisconsin | 6,606 | 16,293 | 186,072 | 52,626 |
| 125 Wyoming | 654 | 4,606 | 26,236 | 7,365 |
| 126 Yale | 8,198 | 3,000 | 90,826 | 6,500 |
| 127 Yeshiva | 1,398 | 1,464 | 48,473 | 2,954 |

a : 対抗運動競技会 (intercollegiate athletics) 収入1,575千ドルを加算した。 b : c も含めていない。 c : 大学実験基地・産学共同事業 (Univ. Exp. Station and 部門の収入4,129千ドルはこの中に含まれているかどうか不詳。

続き

| 教育・一般費収入の全収入に対する割合 | | | | | 教育・一般費 合計 全収入 % | 学生援助費 全収入 % | 補助的事業 収入 全収入 % | |
|--------------------|----------------|-----------------|--------------|--------------------------------|-----------------------|----------------|----------------------|-----|
| 授業料 全収入 % | 政府支出金 全収入 % | 基本財産収入 全収入 % | 寄付金 全収入 % | 助成研究費+特別研 究費+助成事業費 全収入 % | | | | |
| 9.1 | 28.8 | 2.2 | 6.2 | 29.7 | 77.7 | 0.7 | 21.6 | 66 |
| 10.6 | 31.1 | 0.3 | 1.0 | 23.5 | 74.3 | 3.8 | 21.9 | 67 |
| 9.7 | 49.0 | — | 5.4 | — | 79.0 | — | 15.2 | 68 |
| 24.0 | 40.4 | — | — | 7.4 | 67.9 | 22.0 | 32.1 | 69 |
| 10.1 | 39.2 | — | 0.7 | 27.3 | 78.9 | 2.1 | 18.9 | 70 |
| 10.2 | 49.1 | 0.1 | — | 15.2 | — | 1.8 | 14.2 | 71 |
| 9.9 | 44.7 | 0.9 | 0.1 | 19.3 | 76.2 | 3.8 | 20.1 | 72 |
| 29.5 | — | 1.6 | 6.2 | 31.9 | 88.6 | 1.1 | 10.3 | 73 |
| 12.1 | 42.3 | 0.5 | 18.6 | — | 95.5 | 3.8 | 14.6 | 74 |
| 17.1 | 32.0 | 0.5 | 0.9 | 10.4 | 82.5 | — | 17.5 | 75 |
| 9.0 | 30.2 | 0.3 | 1.0 | 27.8 | 79.3 | 4.7 | 16.0 | 76 |
| 80.1 | — | 1.5 | 6.2 | 7.0 | 100.0 | — | — | 77 |
| 8.5 | 28.1 | 0.8 | 1.4 | 24.6 | 74.8 | 0.8 | 24.4 | 78 |
| 7.8 | 34.0 | 0.1 | 5.3 | 15.2 | 82.0 | 4.9 | 13.1 | 79 |
| 14.6 | 32.8 | 0.6 | 11.2 | — | 64.4 | 9.2 | 26.4 | 80 |
| 11.6 | 50.7 | — | — | 4.6 | 67.3 | 2.8 | 29.9 | 81 |
| 32.4 | — | 7.9 | 3.4 | 32.4 | 81.5 | 5.7 | 12.8 | 82 |
| 40.6 | — | 5.3 | 8.2 | 21.1 | 83.7 | 2.9 | 13.4 | 83 |
| 12.3 | 25.8 | 1.8 | 2.1 | 16.6 | 90.2 | 1.6 | 26.2 | 84 |
| 13.4 | 26.6 | 10.7 | — | — | 54.8 | 3.8 | 41.4 | 85 |
| 13.5 | 29.8 | — | — | 12.7 | 63.3 | 5.1 | 31.7 | 86 |
| 11.0 | 27.2 | — | 0.3 | 33.5 | 72.6 | 7.7 | 19.6 | 87 |
| 8.8 | 47.5 | — | 0.1 | 20.9 | 82.3 | 4.7 | 13.0 | 88 |
| 22.2 | 8.2 | 3.2 | 6.1 | 28.3 | 91.7 | 3.2 | 5.1 | 89 |
| 17.1 | 33.8 | — | 2.0 | 26.7 | 83.9 | 0.3 | 15.8 | 90 |
| 29.9 | 12.2 | 2.7 | 1.8 | 32.9 | 81.6 | 1.2 | 11.3 | 91 |
| 14.6 | — | 11.3 | 9.4 | 43.1 | 81.5 | 8.8 | 9.7 | 92 |
| 7.6 | 38.5 | 0.1 | 0.4 | 18.1 | 75.0 | 5.4 | 19.6 | 93 |
| 34.8 | 2.1 | 9.7 | 1.2 | 27.1 | 81.6 | 5.2 | 13.2 | 94 |
| 11.1 | — | 20.4 | 2.3 | 42.7 | 78.7 | 8.7 | 12.7 | 95 |
| 18.0 | — | 2.6 | 1.3 | 37.5 | 96.2 | 3.8 | — | 96 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 97 |
| 14.5 | 43.1 | 0.7 | 2.8 | 17.5 | 82.1 | 1.9 | 16.0 | 98 |
| 88.0 | — | — | 2.6 | — | 94.2 | 5.5 | 2.2 | 99 |
| 46.8 | — | 1.6 | 9.0 | 20.9 | 82.6 | 1.1 | 16.3 | 100 |
| 23.8 | 36.5 | 0.1 | — | 20.2 | 55.7 | 0.5 | 8.8 | 101 |
| — | 46.5 | — | — | 28.7 | 76.6 | 3.4 | 20.0 | 102 |
| 37.8 | — | 1.5 | 6.1 | 34.0 | 88.0 | 0.8 | 11.1 | 103 |
| 4.5 | 59.5 | — | — | 18.1 | 87.8 | 3.2 | 8.9 | 104 |
| 14.1 | — | 5.3 | 7.3 | 55.3 | 85.0 | 5.9 | 9.1 | 105 |
| 50.0 | — | 0.5 | 0.6 | 18.9 | 76.2 | — | 23.8 | 106 |
| 28.0 | — | 3.2 | — | 35.2 | 73.7 | 12.0 | 17.7 | 107 |
| 26.6 | 41.7 | 0.2 | 2.7 | 17.7 | 91.0 | 1.0 | 7.9 | 108 |
| 14.8 | 47.8 | 0.1 | 14.7 | 9.0 | 97.4 | 2.7 | 9.7 | 109 |
| 6.7 | 42.9 | 1.5 | 3.7 | 31.4 | 87.4 | 1.2 | 11.4 | 110 |
| 7.5 | 46.9 | — | — | 12.4 | 74.0 | 1.2 | 24.8 | 111 |
| 35.5 | — | 3.3 | 2.1 | 42.5 | 86.5 | 1.5 | 12.0 | 112 |
| 26.1 | — | 5.6 | 9.0 | 35.9 | 82.3 | 3.1 | 14.6 | 113 |
| 10.4 | 22.4 | 0.2 | 3.4 | 27.1 | 69.6 | 5.2 | 25.2 | 114 |
| 12.6 | 26.0 | — | — | 38.3 | 77.6 | 2.9 | 19.5 | 115 |
| 18.0 | — | 7.8 | 0.7 | 24.2 | 81.5 | 7.0 | 11.5 | 116 |
| 13.4 | 27.8 | 4.0 | 2.0 | 20.0 | 87.4 | 5.0 | 7.6 | 117 |
| 13.5 | 55.6 | 0.1 | 0.7 | 6.9 | 80.4 | 3.1 | 16.5 | 118 |
| 19.2 | — | 7.0 | 9.9 | 37.5 | 89.5 | 2.6 | 8.3 | 119 |
| 7.4 | 38.8 | 2.7 | 1.2 | 29.8 | 90.8 | 1.7 | 7.5 | 120 |
| 4.5 | 39.3 | — | — | 35.5 | 83.2 | 2.0 | 14.8 | 121 |
| 13.8 | 52.6 | 0.2 | — | 19.9 | 90.3 | 3.1 | 6.6 | 122 |
| 41.1 | 49.4 | — | 7.0 | 10.0 | 89.3 | 0.5 | 10.2 | 123 |
| 14.1 | 34.2 | 0.1 | 5.1 | 25.2 | 87.7 | 3.6 | 8.8 | 124 |
| 12.0 | 39.7 | 1.6 | 0.2 | 22.6 | 80.0 | 24.9 | 17.6 | 125 |
| 22.6 | — | 20.7 | 8.0 | 29.7 | 87.7 | 9.0 | 3.3 | 126 |
| 8.4 | — | 0.3 | 12.9 | 42.2 | 94.1 | 2.9 | 3.0 | 127 |

の中には学生援助費収入は含まれていない。また、資本的支出のための寄付・政府支出金 301 千ドル
Cooperative Extention Service) のデータも含めてある。 d : 精神医学研究所・診療

別表Ⅻ 大学院の質の評価に関するアンケートの分析結果

| Abbreviated Name | Humanities | | | | | | | | | | Social Sciences | | | | | | Bacteriology Microbiology | | Biochemistry | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------|----|---------|----|-----------------|----|--------|----|------------|----|-----------------|----------------|--------------|----|-----------|----|---------------------------|---|--------------|----|-------------------|----|----------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|---|
| | Classics | | English | | French | | German | | Philosophy | | Spanish | | Anthropology | | Economics | | Geography | | History | | Political Science | | Sociology | | A | | B | | | | |
| | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | | | |
| 1 Alabama | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 American | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 Arizona | | | | | | | | | | | | 12 | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 Arkansas | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 Boston U. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 Brandeis | | | ◎ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19 ^c | 17 | 9 | 9 | | | |
| 7 Brooklyn Polytech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 Brown | ○ | □ | 22 | □ | ◎ | □ | 17 | □ | 12 | 8 | 13 ^b | 13 | | | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ○ | | ○ | □ | | | ○ ^c | □ | | | |
| 9 Bryn Mawr | 4 | 4 | ◎ | □ | ◎ | □ | | ○ | □ | ◎ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 Buffalo | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ ^c | □ | | | |
| 11 California, Berkeley | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 | 1 | 3 | 6 | 6 | 1 ^b | 1 | 3 | 4 | 5 | 5 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1 ^a | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | |
| 12 California, Davis | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 ^c | 11 | | | |
| 13 Cal. Tech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 ^c | 19 | | | |
| 14 Carnegie Tech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 6 | | | |
| 15 Case | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 Catholic | ○ | □ | | | ○ ^a | □ | | | | | ◎ ^b | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 Chicago | 12 | 13 | 6 | 7 | 8 ^a | 9 | 12 | 11 | 9 | 9 | 12 ^b | 15 | 1 | 1 | 3 | 7 | 2 | 2 | 7 | 8 | 4 | 4 | 4 | 4 | 20 | 20 | 19 | 17 | | | |
| 18 Cincinnati | 10 | 9 | | | | | ○ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ ^c | □ | | | | | |
| 19 Claremont | | | ◎ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 Clark | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | | | | | | | | | | | | | |
| 21 Colorado | | | | | ○ | □ | ○ | □ | | | ◎ ^b | □ | | | | | | | | | | | | | | ○ ^c | □ | ○ ^c | □ | | |
| 22 Columbia | 6 | 7 | 5 | 10 | 2 ^a | 2 | 10 | 10 | 7 | 11 | 11 ^b | 11 | 7 | 10 | 9 | 14 | ○ | □ | ○ | □ | 4 | 9 | 5 | 9 | 3 | 5 | 23 | □ | 11 ^c | 18 | |
| 23 Connecticut | | | ○ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 Cornell | 13 | 12 | 8 | 6 | 13 ^a | 13 | 8 | 6 | 5 | 5 | ○ ^b | □ | 9 | 6 | ◎ | □ | | | | | 9 | 10 | 11 | 12 | 7 | 8 | 25 | □ | 26 | 24 | |
| 25 Delaware | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 Denver | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 Duke | | | 20 | 17 | ◎ ^a | □ | | | ◎ | □ | ◎ ^b | □ | | | ◎ | □ | | | | | 17 | 15 | ◎ | □ | ○ | □ | ◎ ^c | □ | 15 ^c | 12 | |
| 28 Emory | | | ○ | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ ^c | □ | ○ | □ | |
| 29 Florida | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ ^c | □ | ○ | □ | | |
| 30 Florida State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ ^c | □ | ○ | □ | | |
| 31 Fordham | ○ | □ | ○ | | ○ | □ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 George Peabody | | | | | | | | | | | | ○ ^b | □ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 33 George Washington | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 Georgetown | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 Georgia Tech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 Harvard | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 ^a | 3 | 2 | 1 | 1 | 4 | 3 ^b | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 6 ^c | 4 | 1 ^c | 2 | |
| 37 Houston | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 Illinois | ◎ | □ | 11 | 13 | 16 | □ | 13 | 16 | ◎ | □ | 6 ^b | 7 | | | ◎ | □ | ◎ | □ | 15 | 18 | 17 | □ | ◎ | □ | | 3 | 5 | 10 ^c | 10 | | |
| 39 Ill. Inst. of Tech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 Indiana | | | 10 | 8 | 15 ^a | 14 | 7 | 7 | 15 | □ | ◎ ^b | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 17 | 16 | 14 | 13 | ◎ | □ | | 18 ^c | 16 | ◎ | □ | | |
| 41 Iowa (Iowa City) | | | ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ○ ^b | □ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 Iowa State (Ames.) | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | |
| 43 Johns Hopkins | 9 | 11 | 11 | 8 | 6 ^a | 6 | 19 | 17 | 16 | □ | 16 ^b | 16 | | | 15 | 12 | ◎ | □ | ◎ | □ | 11 | 7 | 18 | 15 | ◎ | 13 | ◎ | □ | 8 ^c | 8 | |
| 44 Kansas | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | |
| 45 Kansas State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | |
| 46 Kentucky | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 47 Lehigh | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 Louisiana State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 Loyola (Chicago) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 M. I. T. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 ^c | 4 |
| 51 Maryland | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | |
| 52 Massachusetts | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | |
| 53 Michigan | 6 | 5 | 13 | 12 | 10 ^a | 11 | 11 | 9 | 2 | 2 | 4 ^b | 4 | 4 | 5 | 8 | 9 | 9 | 9 | 10 | 11 | 10 | 10 | 5 | 3 | | 20 | 17 | 16 ^c | 19 | | |
| 54 Michigan State | | | ○ | □ | | | | | ○ | □ | ◎ ^b | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ○ | □ | ◎ | □ | 17 | □ | | ◎ ^c | □ | ◎ | □ | | |
| 55 Minnesota | ○ | □ | | | ◎ ^a | □ | ○ | □ | 14 | □ | ◎ ^b | □ | ◎ | □ | 11 | 12 | 7 | 5 | 16 | □ | 16 | □ | 9 | 9 | | 9 ^c | 10 | ◎ | □ | | |

番号は、質問Aでは「優秀」と「強力」と評価された大学院の順位を示し、質問Bでは「ごく魅力的」と「魅力的」とBの□印は「まあまあ良い」と評価された大学院である。
 a : フランス語以外にローマ語、現代語などの分野もこの中に含まれている。 b : スペイン語以外にローマ語、

| Biological Science | | | | | | Physical Science | | | | | | Engineering | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-------------|---|---------------|---|------------------|---|-------------|---|---------|---|-------------|---|------------|---|---------|---|-------------|---|---------|---|-----------|---|-------|---|-------------|---|-------------|----|
| Botany | | Ento-mology | | Pharma-cology | | Physi-ology | | Psy-chology | | Zoology | | Astro-nomy | | Chem-istry | | Geology | | Math-matics | | Physics | | Chem-ical | | Civil | | Elect-rical | | Mecha-nical | |
| A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 17 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 18 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 21 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 22 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 23 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 24 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 26 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 28 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 29 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 30 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 31 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 32 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 33 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 34 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 35 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 36 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 37 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 38 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 39 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 40 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 41 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 42 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 43 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 44 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 45 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 46 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 47 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 48 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 49 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 50 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 51 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 52 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 53 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 54 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 55 |

評価された大学院の順位を示す。さらに質問Aで◎印は「良好」を、○印は「適当」と評価された大学院を示し、質問

現代語などの分野もこの中に含まれている。 c : 上記表題以外の分野も含まれている。

別表Ⅷ 大学院の質の評価に関するアンケートの分析結果 続き

| Abbreviated Name | Humanities | | | | | | | | | | Social Sciences | | | | | | Bacteriology Microbiology | | Biochemistry | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|------------|----|---------|----|-----------------|----|--------|----|------------|----|-----------------|----|--------------|----|-----------|----|---------------------------|---|--------------|----|-------------------|----|-----------|----|---------------------------|---|-----------------|----|-----------------|----|
| | Classics | | English | | French | | German | | Philosophy | | Spanish | | Anthropology | | Economics | | Geography | | History | | Political Science | | Sociology | | Bacteriology Microbiology | | Biochemistry | | | |
| | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | | |
| 56 Missouri | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 57 N. Y. U. | ⊙ | □ | 21 | □ | ⊙ ^a | □ | ○ | □ | ⊙ | □ | 15 ^b | □ | | ○ | | | | | ○ | □ | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | | 22 ^c | 22 | 13 ^c | 26 |
| 58 Nebraska | | | ○ | □ | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | □ | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | | ⊙ ^c | □ | | |
| 59 New Mexico | | | | | | | | | | | ⊙ ^b | | ○ | 17 | | | | | | | | | ○ | □ | | | | | | |
| 60 New School | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | □ | | | | | | |
| 61 North Carolina | 11 | 10 | 17 | 14 | 14 ^a | 12 | ⊙ | □ | ○ | □ | 10 ^b | 8 | ○ | □ | ⊙ | □ | | | 19 | 19 | 15 | 14 | 10 | 10 | | | ⊙ ^c | □ | ○ | □ |
| 62 No. Carolina State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 North Dakota | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 Northwestern | ○ | □ | 16 | 15 | ○ ^a | □ | 16 | 14 | ○ | □ | ⊙ ^b | □ | ⊙ | □ | 12 | 10 | 6 | 6 | 14 | 14 | 12 | 11 | 14 | 11 | | | ○ | □ | ⊙ ^c | □ |
| 65 Notre Dame | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | ⊙ | □ | ○ | □ | | | | | | |
| 66 Ohio State | ○ | | ⊙ | □ | ⊙ ^a | □ | 9 | 14 | ○ | □ | ⊙ ^b | □ | | | ⊙ | □ | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ | ○ | □ | | | ○ | □ | | |
| 67 Oklahoma | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 Oklahoma State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 Oregon | | | ○ | □ | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | | | ○ | □ | | | ⊙ | □ | | | ⊙ ^c | □ | ⊙ ^c | □ |
| 70 Oregon State | | | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | | | ○ | □ | | | ⊙ | □ | | | ⊙ ^c | □ | ⊙ ^c | □ |
| 71 Pennsylvania | 8 | 8 | 18 | 19 | 9 ^a | 8 | 5 | 5 | ⊙ | □ | 8 ^b | 10 | 5 | 3 | 14 | 15 | | | 13 | 13 | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | | 16 | 19 | 17 ^c | 24 |
| 72 Penn. State | | | ○ | □ | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | | | ○ | □ | ○ | □ | | | ⊙ | □ | ○ | □ |
| 73 Pittsburgh | | | ○ | | ○ ^a | | | | 8 | 6 | ○ ^b | □ | | | ○ | | ○ | | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | | | 24 ^c | □ | 24 ^c | □ |
| 74 Princeton | 3 | 2 | 4 | 4 | 5 ^a | 4 | 6 | 8 | 4 | 1 | 6 ^b | 6 | | | 7 | 6 | | | 6 | 4 | 6 | 5 | 8 | 7 | | | 11 ^c | 13 | ⊙ | □ |
| 75 Purdue | | | | | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 76 Rensselaer | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 77 Rice | | | ⊙ | □ | ○ | □ | | | | | | | | | | | | | ○ | □ | | | | | | | | | | |
| 78 Rochester | | | ⊙ | □ | | | | | ○ | □ | | | | | ⊙ | □ | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | | | | ⊙ ^c | □ | ⊙ ^c | □ |
| 79 Rockefeller Inst. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 ^c | 2 | 4 ^c | 4 |
| 80 Rutgers | | | ⊙ | □ | | | | | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | ○ | | | | | | 16 ^c | 21 | ○ ^c | □ |
| 81 St. John's | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 St. Louis | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ |
| 83 Southern California | | | ○ | | | | ○ | □ | | | ○ ^b | □ | | | | | | | | | | | ○ | | | | ⊙ ^c | □ | ○ ^c | □ |
| 84 Stanford | | | 7 | 5 | 12 ^a | 10 | 15 | 13 | 10 | 10 | ⊙ ^b | 14 | 10 | 10 | 6 | 4 | | | 7 | 6 | 9 | 6 | 12 | 12 | | | 7 ^c | 7 | 3 ^c | 3 |
| 85 Syracuse | | | ○ | □ | ○ ^a | □ | | | | | ○ ^b | □ | | | ○ | | 5 | 6 | ○ | □ | ⊙ | □ | | | | | ⊙ ^c | □ | ○ ^c | □ |
| 86 Temple | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 87 Tennessee | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 88 Texas | ⊙ | ○ | 23 | □ | ⊙ ^a | □ | 4 | 4 | ⊙ | □ | 9 ^b | 12 | | | ○ | | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | | 14 ^c | 15 | ⊙ ^c | □ |
| 89 Texas A & M | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90 Tufts | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | 23 | 22 |
| 91 Tulane | | | ⊙ | □ | ○ ^a | □ | | | | | ⊙ ^b | □ | | | | | | | ○ | □ | | | | | | | ⊙ | □ | ○ | □ |
| 92 Calif, Los Angeles | | | 14 | 15 | 11 ^a | 15 | ⊙ | □ | 11 | □ | 5 ^b | 5 | 7 | 7 | 16 | □ | 8 | 8 | 12 | 12 | 13 | 15 | 11 | 14 | | | 26 ^c | □ | 20 ^c | 14 |
| 93 Utah | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ |
| 94 Vanderbilt | | | ○ | □ | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | ○ | □ | ⊙ | □ | | | | | ○ | □ | ⊙ ^c | □ |
| 95 Virginia | | | ⊙ | □ | | | | | | | | | | | ⊙ | □ | | | ⊙ | □ | ○ | □ | | | | | | | | |
| 96 Virginia Polytech. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 97 Washington (St. Louis) | | | ⊙ | □ | ○ ^a | □ | ⊙ | □ | ○ | □ | | | | | ○ | | | | ⊙ | □ | ⊙ | □ | | □ | | | ⊙ | □ | 22 ^c | 23 |
| 98 Washington (Seattle) | | | 19 | 20 | ⊙ ^a | □ | 18 | 18 | ⊙ | □ | ○ ^b | □ | ⊙ | □ | ⊙ | □ | 4 | 4 | 20 | 17 | ⊙ | □ | ⊙ | □ | 13 | □ | 12 | 8 | 14 | 11 |
| 99 Washington State | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ⊙ ^c | □ | | |
| 100 Wayne State | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ ^c | □ |
| 101 West Virginia | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 102 Western Reserve | | | ○ | | ○ ^a | □ | | | | | 2 ^b | 3 | 11 | 11 | 10 | 8 | 1 | 1 | ○ | □ | | | | | | | 8 | 12 | 12 | 13 |
| 103 Wisconsin | ⊙ | □ | 9 | 11 | 7 ^a | 7 | 14 | 12 | 13 | □ | | | | | | | | | 5 | 5 | 7 | 8 | 6 | 6 | | | 4 ^c | 6 | 5 ^c | 7 |
| 104 Wyoming | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 105 Yale | 5 | 6 | 1 | 1 | 1 ^a | 1 | 3 | 2 | 3 | 3 | 14 ^b | 9 | 6 | 8 | 4 | 3 | | | | | 3 | 2 | 1 | 1 | 15 | □ | 13 | 14 | 20 | 21 |
| 106 Yeshiva | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 26 ^c | □ | 17 | 15 |
| Total Number of Department Surveyed | 30 | | 74 | | 48 | | 39 | | 48 | | 48 | | 24 | | 71 | | 30 | | 75 | | 64 | | 64 | | | | 75 | | 75 | |

番号は、質問Aでは「優秀」と「強力」と評価された大学院の順位を示し、質問Bでは「ごく魅力的」と「魅力的」とBの□印は「まあまあ良い」と評価された大学院である。
 a : フランス語以外にローマ語、現代語などの分野もこの中に含まれている。 b : スペイン語以外にローマ語。

| Biological Science | | | | | | Physical Science | | | | | | Engineering | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|----|----------------|---|--------------|---|------------------|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------|---|---------|----|----|-------------|----|---------|----|----------|----|-------|----|------------|----|------------|-----|
| Botany | | Entomology | | Pharmacology | | Physiology | | Psychology | | Zoology | | Astronomy | | Chemistry | | Geology | | | Mathematics | | Physics | | Chemical | | Civil | | Electrical | | Mechanical | |
| A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B |
| ○ | □ | | | | | ◎ ^c | □ | ○ | □ | ○ | | | | ○ | □ | | | 8 | 12 | ◎ | □ | ◎ | □ | ○ | □ | 19 | □ | ◎ | □ | 56 |
| ○ | □ | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | | | | | ○ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ◎ | □ | 57 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 58 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 59 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 60 |
| 17 | 16 | | | | | ◎ ^c | □ | 23 | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ○ | □ | ◎ | □ | | | | | 61 |
| ◎ | □ | ◎ ^c | □ | | | ◎ | □ | 26 | □ | 16 | 13 | 22 ^c | □ | | | 14 | 14 | 18 | □ | 21 | 20 | ◎ | □ | ◎ | □ | 9 | 8 | ◎ | □ | 62 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 63 |
| ◎ | □ | 7 ^c | 8 | | | ◎ | □ | 20 | □ | ○ | □ | ○ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 64 |
| ○ | □ | | | | | ◎ ^c | □ | | | | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 65 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | 27 | 23 | ◎ | □ | ○ | □ | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 66 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 67 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 68 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 69 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 70 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 71 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 72 |
| ○ | | | | | | ◎ | □ | | | | | | | ◎ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | ○ | □ | 73 |
| 13 | 14 | ◎ | □ | | | ◎ | □ | 15 ^c | 14 | 21 | □ | 12 ^c | 11 | 2 | 2 | 13 | 12 | 5 | 5 | 3 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | ◎ | □ | 16 | 8 | 74 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 23 ^c | 21 | | | 17 | 22 | | | 23 | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 75 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | 19 | 15 | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 76 |
| ◎ ^c | □ | | | | | ◎ | □ | 12 ^c | 12 | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 77 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | 2 ^c | 2 | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 78 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 79 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 80 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 81 |
| 10 ^c | 7 | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 82 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 83 |
| ○ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 84 |
| 8 | 9 | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 85 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 86 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 87 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 88 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 89 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 90 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 91 |
| 11 | 10 | | | | | ◎ | □ | 13 ^c | 9 | 13 | 13 | 8 | 10 | | | 9 | 8 | 10 | 10 | 16 | 17 | 19 | □ | ◎ | □ | 20 | □ | 17 | □ | 92 |
| ○ | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 93 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 94 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 95 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 96 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 97 |
| ◎ | □ | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 98 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 99 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 100 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 101 |
| 4 | 4 | 4 | 4 | | | 19 ^c | 20 | ○ | | 17 ^c | 15 | 9 | 8 | 7 | 5 | ○ | | 7 | 6 | 13 | 13 | 10 | 8 | 12 | 9 | 1 | 1 | 11 | 10 | 102 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 103 |
| 16 | 17 | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 104 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 105 |
| | | | | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | | | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | ◎ | □ | 106 |
| 61 | | 31 | | 52 | | 71 | | 88 | | 64 | | 16 | | 96 | | 55 | | 81 | | 86 | | 56 | | 40 | | 54 | | 47 | | |

評価された大学院の順位を示す。さらに質問Aで◎印は「良好」を、○印は「適当」と評価された大学院を示し、質問

現代語などの分野もこの中に含まれている。

c: 上記表題以外の分野も含まれている。

別表 XIV 本調査の対象大学名

| 省 略 名 | 正 式 名 |
|---------------------------|--|
| 1 Alabama | University of Alabama |
| 2 American | American University |
| 3 Arizona | University of Arizona |
| 4 Arizona State* | Arizona State University |
| 5 Arkansas | University of Arkansas |
| 6 Auburn* | Auburn University |
| 7 Baylor* | Baylor University |
| 8 Boston | Boston University |
| 9 Brandeis | Brandeis University |
| 10 Brooklyn Polytech. | Polytechnic Institute of Brooklyn |
| 11 Brown | Brown University |
| 12 Bryn Mawr | Bryn Mawr College |
| 13 Buffalo | State University of New York at Buffalo |
| 14 California, Berkeley | University of California, Berkeley |
| 15 Calif., Davis | University of California, Davis |
| 16 Calif., Los Angeles | University of California, Los Angeles |
| 17 Calif., Riverside* | University of California, Riverside |
| 18 Calif., San Diego* | University of California, San Diego |
| 19 Calif., Santa Barbara* | University of California, Santa Barbara |
| 20 Cal. Tech. | California Institute of Technology |
| 21 Carnegie-Mellon | Carnegie-Mellon University |
| 22 Case Western Reserve | Case Western Reserve University |
| 23 Catholic | Catholic University of America |
| 24 Chicago | University of Chicago |
| 25 Cincinnati | University of Cincinnati |
| 26 Claremont | Claremont Graduate School and University Center |
| 27 Clark | Clark University |
| 28 Colorado | University of Colorado |
| 29 Colorado State C.* | Colorado State College |
| 30 Colorado State U.* | Colorado State University |
| 31 Columbia | Columbia University |
| 32 Connecticut | University of Connecticut |
| 33 Cornell | Cornell University |
| 34 Delaware | University of Delaware |
| 35 Denver | University of Denver |

| | |
|------------------------|---|
| 36 Duke | Duke University |
| 37 Emory | Emory University |
| 38 Florida | University of Florida |
| 39 Florida State | Florida State University |
| 40 Fordham | Fordham University |
| 41 George Peabody | George Peabody College for Teachers |
| 42 George Washington | George Washington University |
| 43 Georgetown | Georgetown University |
| 44 Georgia | University of Georgia |
| 45 Georgia Tech. | Georgia Institute of Technology |
| 46 Harvard | Harvard University |
| 47 Hawaii* | University of Hawaii |
| 48 Houston | University of Houston |
| 49 Illinois | University of Illinois |
| 50 Ill. Inst. of Tech. | Illinois Institute of Technology |
| 51 Indiana | Indiana University |
| 52 Iowa | University of Iowa |
| 53 Iowa State | Iowa State University |
| 54 Johns Hopkins | Johns Hopkins University |
| 55 Kansas | University of Kansas |
| 56 Kansas State | Kansas State University |
| 57 Kent State* | Kent State University |
| 58 Kentucky | University of Kentucky |
| 59 Lehigh | Lehigh University |
| 60 Louisiana State | Louisiana State University |
| 61 Loyola(III.) | Loyola University |
| 62 M.I.T. | Massachusetts Institute of Technology |
| 63 Maryland | University of Maryland |
| 64 Massachusetts | University of Massachusetts |
| 65 Miami* | Miami University |
| 66 Michigan | University of Michigan |
| 67 Michigan State | Michigan State University |
| 68 Minnesota | University of Minnesota |
| 69 Mississippi* | University of Mississippi |
| 70 Mississippi State* | Mississippi State University |
| 71 Missouri | University of Missouri |
| 72 Montana State* | Montana State University |
| 73 New York | New York University |
| 74 Nebraska | University of Nebraska |
| 75 New Hampshire* | University of New Hampshire |
| 76 New Mexico | University of New Mexico |
| 77 New School | New School for Social Research |
| 78 North Carolina | University of North Carolina at Chapel Hill |
| 79 No. Carolina State | North Carolina State University at Raleigh |
| 80 North Dakota | University of North Dakota |

| | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 81 North Texas State* | North Texas State University |
| 82 Northwestern | Northwestern University |
| 83 Notre Dame | University of Notre Dame |
| 84 Ohio State | Ohio State University |
| 85 Oklahoma | University of Oklahoma |
| 86 Oklahoma State | Oklahoma State University |
| 87 Oregon | University of Oregon |
| 88 Oregon State | Oregon State University |
| 89 Pennsylvania | University of Pennsylvania |
| 90 Penn. State | Pennsylvania State University |
| 91 Pittsburgh | University of Pittsburgh |
| 92 Princeton | Princeton University |
| 93 Purdue | Purdue University |
| 94 Rensselaer | Rensselaer Polytechnic Institute |
| 95 Rice | Rice University |
| 96 Rochester | University of Rochester |
| 97 Rockefeller Inst. | Rockefeller Institute |
| 98 Rutgers | Rutgers-The State University |
| 99 St. John's | St. John's University |
| 100 St. Louis | St. Louis University |
| 101 South Carolina* | University of South Carolina |
| 102 South Dakota* | University of South Dakota |
| 103 Southern California | University of Southern California |
| 104 Southern Illinois* | Southern Illinois University |
| 105 Stanford | Stanford University |
| 106 Syracuse | Syracuse University |
| 107 Teachers College* | Teachers College, Columbia University |
| 108 Temple | Temple University |
| 109 Tennessee | University of Tennessee |
| 110 Texas | University of Texas |
| 111 Texas A & M | Texas A & M University |
| 112 Tufts | Tufts University |
| 113 Tulane | Tulane University |
| 114 Utah | University of Utah |
| 115 Utah State* | Utah State University |
| 116 Vanderbilt | Vanderbilt University |
| 117 Virginia | University of Virginia |
| 118 Virginia Polytech. | Virginia Polytechnic University |
| 119 Washington(St. Louis) | Washington University |
| 120 Washington(Seattle) | University of Washington |
| 121 Washington State | Washington State University |
| 122 Wayne State | Wayne State University |
| 123 West Virginia | West Virginia University |
| 124 Wisconsin | University of Wisconsin |
| 125 Wyoming | University of Wyoming |
| 126 Yale | Yale University |
| 127 Yeshiva | Yeshiva University |

* A. M. カーターの報告(1966)の対象以外の大学で、1966-67年において25名以上の博士号取得者を輩出した大学。

大学研究ノート 通巻5号

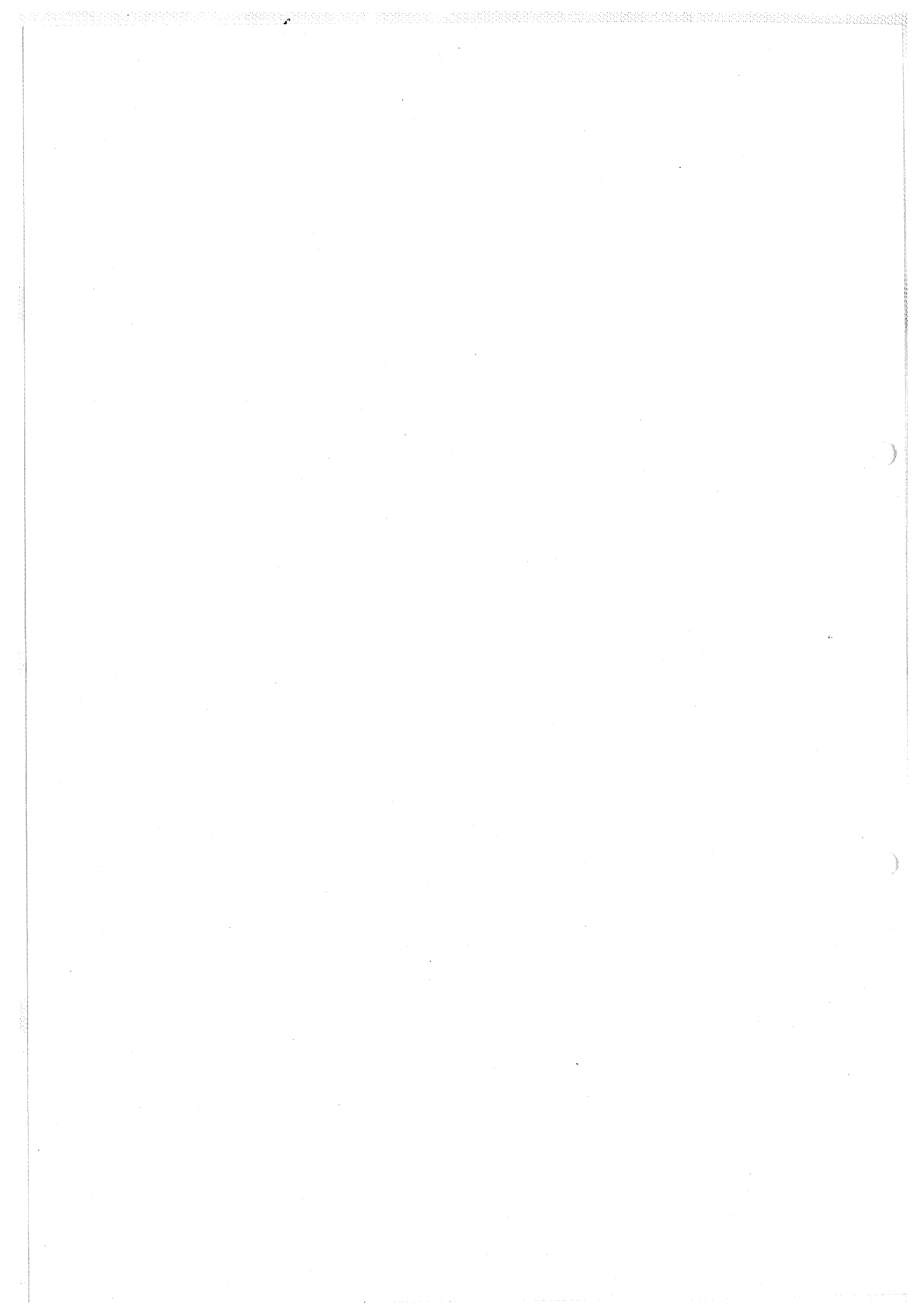
1972年8月 発行

郵便番号 730

広島市東千田町1丁目1の89

広島大学大学教育研究センター

(TEL 0822 41 - 1221)



Notes on Higher Education

No. 5 August, 1972

Basic data on main universities and colleges in the United

States of America..... Masao Seki and Shogo Kawakami

**RESEARCH INSTITUTE
FOR
HIGHER EDUCATION**

**Hiroshima University
Hiroshima, Japan**